3. 対象最終処分場事業実施区域及びその周辺の概況

3.1. 自然的状況

3.1.1. 気象、大気質、騒音、振動その他の大気にかかる環境の状況

(1) 気　象

対象地域には、気象観測所は存在しないが、気象庁管理の「佐川」、国土交通省管理の「佐川」及び「本郷」、高知県防災砂防課管理の「甲原」の雨量観測所がある（図 3.1.2 及び表 3.1.1 参照）。

対象地域外では周辺に、降水量、風、気温、日照時間を観測している「須崎」及び「本川」の気象観測所がある（図 3.1.1 及び表 3.1.2 参照）。

表 3.1.1　雨量観測所における気象データ（10 年間の平均値）

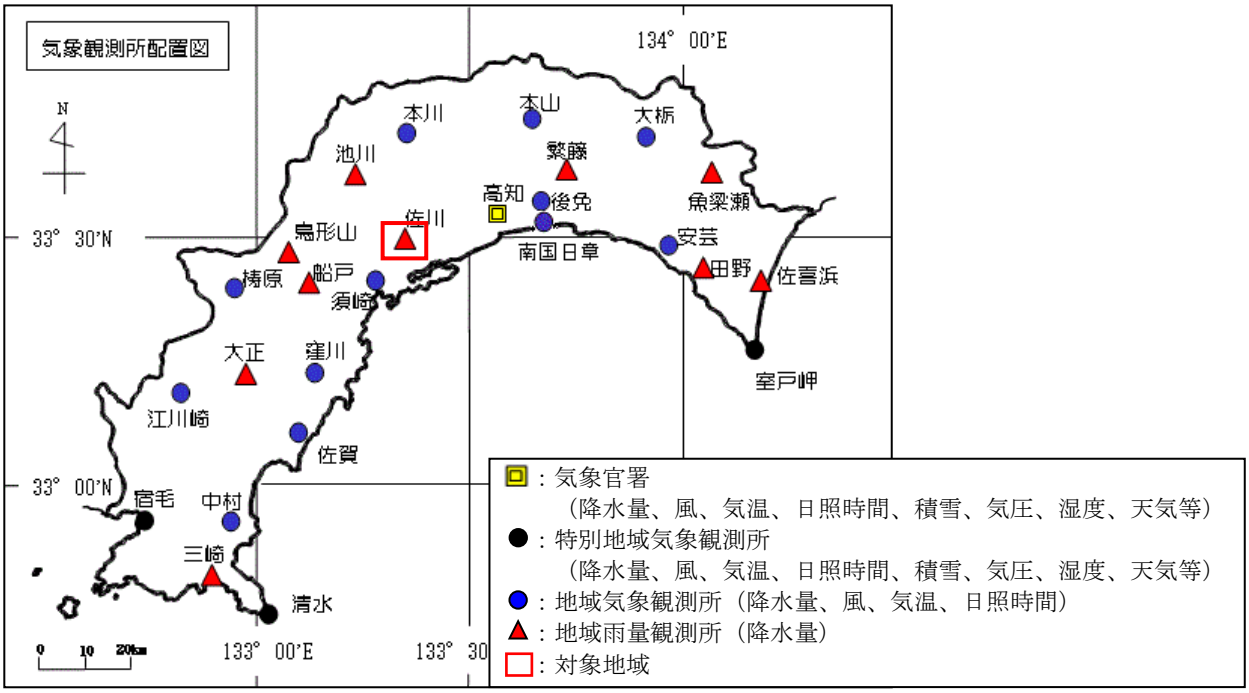
観測所名	観測所位置	観測期間 (年)	年間降水量 (mm)	管理
佐川	佐川町丙	2010～2019	3,222.3	気象庁
佐川	佐川町字西的場乙 2583-2	2010～2019	3,167.3	国土交通省
本郷	日高村本郷字赤はげ 2974-3	2010～2019	3,205.4	国土交通省
甲原	土佐市甲原	2010～2019	3,089.8※	高知県防災砂防課

※「甲原」の年間降水量は、速報値より算出している。
出典：気象庁 HP（令和 2 年 10 月現在）
国土交通省 川の防災情報 HP（令和 2 年 10 月現在）
高知県土木部河川課調べ（令和 2 年 10 月現在）

表 3.1.2　気象観測所における気象データ（平年値）

観測所名	観測期間 (年)	年平均 気温 (℃)	日平均 最高気温 (℃)	日平均 最低気温 (℃)	年平均 風速 (m/s)	最多 風向	日照 時間 (時間)	年間 降水量 (mm)
須崎	1981～2010※	16.7	21.5(8 月)	12.5(1 月)	1.8	北西	2,098.4	2,604.3
本川	1981～2010※	12.1	17.7(8 月)	7.1(1 月)	0.7	北西	1,441.6	3,077.2

※日照時間のみ、1987～2010 年の 24 年間分の統計値を示している。
出典：気象庁 HP（令和 2 年 10 月現在）



出典：高知地方気象台 HP（令和 2 年 10 月現在）

図 3.1.1　気象観測所配置図



凡　例			
記　号	番　号	観測所名	管　理
●	1	佐　川	気　象　庁
	2	佐　川	国　土　交　通　省
	3	本　郷	国　土　交　通　省
	4	甲　原	高知県防災砂防課

出典：気象庁HP（令和2年10月現在）
国土交通省 川の防災情報HP（令和2年10月現在）
高知県河川課調べ（令和2年10月現在）

図名	図 3.1.2　雨量観測所設置位置図

日本地誌第 18 巻によると、対象地域の気温、降水、気候は下記のとおりと記されている。

○気温（Ⅱb）

四国においては温暖な広い高知平野を含む。年平均気温は 16℃以上である。

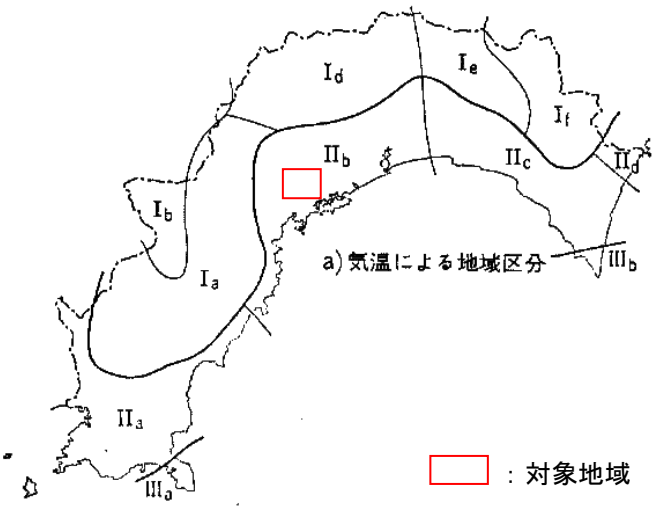
○降水（Ⅱb1～Ⅱc1）

西部では、降水量は背後の山地Ⅰa2（6～9 月の降水量が特に多く、8 月には 500mm 以上）の約 3 分の 2 であり、東部では、降水日数や降水量は少ない地域となっている。

○気候（Ⅱb1～Ⅱc）

西部から中央部にかけては、降水量は背後の山地より少なく、冬は温暖な傾向を示す。

東部においては、降水量は少なく、冬に最も温暖となる。



a）

Ⅰa　1 月の月平均気温は 0～2℃、累年最低気温は-16.0℃に達し、冬の気温に山地特性が強い。

Ⅰb　四国の中では最も低温である。年平均気温は 9.5℃、8 月の月平均最高気温は 24.7℃、1 月の月平均最低気温は-5.5℃など注目に値する。

Ⅰd　山地的特性はやや弱い。石鎚山の記録では、2 月の月平均最低気温-17.1℃、年平均気温は 4.0℃である。

Ⅰe　東部山地では If に次いで、山地気候の特性が強い気候。年平均 15℃以下。累年最高気温は池田で 41.0℃、祖谷で 40.5℃である。

Ⅰf　山地気候で 8 月の月平均最高気温は 30℃以下、1 月の月平均最低気温は約-2℃である。

Ⅱa　冬には温暖。

Ⅱb　四国においては温暖な広い高知平野を含む。年平均気温は 16℃以上。

Ⅱc　1 月には温暖。

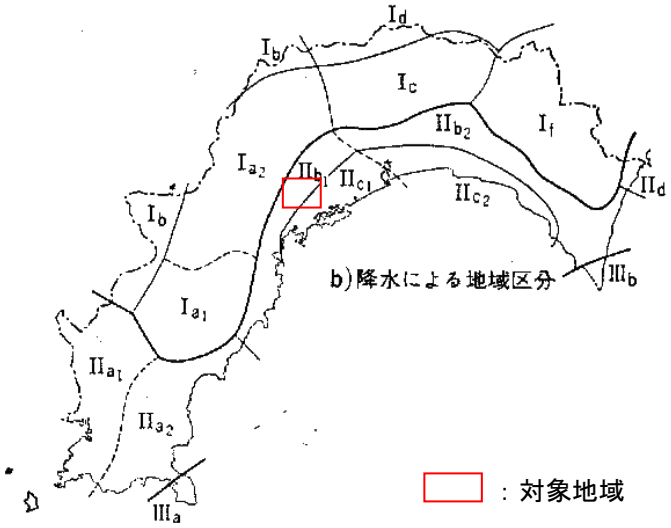
Ⅱd　1 月に温暖なことはⅡc と同じ。夏には局地性がやや大きく、8 月の月平均最高気温は 32℃以上になる地点がある。

Ⅲa　冬に極めて温暖。1 月の月平均気温は 8.0℃で四国地方では温暖。典型的な岬の気候。

Ⅲb　室戸岬は足摺岬より岬気候の特性が強くはないが、やはり冬に温暖。

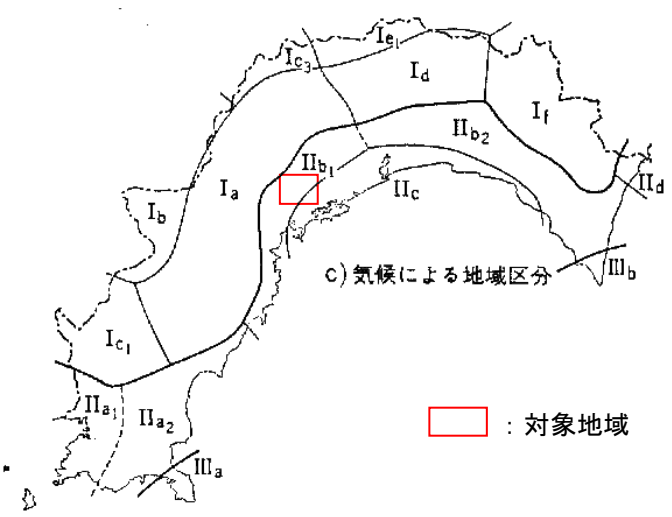
出典：「日本地誌　第 18 巻　香川県・愛媛県・徳島県・高知県」（昭和 44 年 3 月　日本地誌研究所）
「中国・四国地方の気候区分」（昭和 43 年　吉原正敏）

図 3.1.3(1)　高知県の地域区分（気温・降水・気候）



b)

- Ⅰa1　6～8 月の降水量が多く、1 月は少ない。
- Ⅰa2　6～9 月の降水量が特に多い。
- Ⅰb　夏には南側の約半分の降水量、1 月には 75mm 以上。
- Ⅰc　最大日量はやや多い。その他は山地特性が弱い。
- Ⅰd　Ⅰb と同じ。しかし、1 月は約 50mm。
- Ⅰf　6～9 月の月平均降水量は 400mm 以上、最大日量は約 500m、降水日数は 140 日以上、中国・四国地方の中では最も特徴ある山地降水地域。
- Ⅱa1　降水日数は少なく、降水最大日量も少なく、降水現象は太平洋側としては弱い。
- Ⅱa2　Ⅱa1 と同じだが、最大日量は多く 400mm を越し、9 月の降水量は多い点が異なる。
- Ⅱb1　降水量は背後の山地Ⅰa2 の約 3 分の 2。
- Ⅱb2　Ⅱb2 よりやや少ない。多雨地域に接しているため、海岸の地域としては絶対値は大きい。
- Ⅱc1　降水日数や降水量は少ない。
- Ⅱc2　太平洋岸としてはⅡa1 と同様に最も降水量が少ない地域。
- Ⅱd　降水量はⅠf の約半分と少ない。
- Ⅲa　気温の様な岬気候の特徴はあまり明らかでない。降水量は少ないが、微雨日数は多い。
- Ⅲb　Ⅲa と同じ特性。



c)

- Ⅰa　夏の降水量が多い。冬は低温。
- Ⅰb　四国では最も低温。降水量多く、山地の特徴が強い。
- Ⅰc1　降水減少は比較的弱い。
- Ⅰc3　Ⅰb より山地の特性が弱い。
- Ⅰd　Ⅰb やⅠf に次いで山地の特性強い。
- Ⅰe1　山地だが降水雨量は少ない。
- Ⅰf　低温、多雨、西南日本において最も山地気候の特性が強い。
- Ⅱa1　太平洋側としては降水弱い。
- Ⅱa2　降水はやや強く、量も多い。冬は温暖。
- Ⅱb1　降水量は背後の山地より少なく、冬は温暖。
- Ⅱb2　降水量はⅡb1 より少なく、冬は暖かい。
- Ⅱc　降水量は少なく、冬に最も温暖。
- Ⅱd　降水量は一般的に少ない。しかし台風の経路によっては影響が強い。
- Ⅲa　降水量は少なく、冬の最低気温が高く、年霜日数は 2.2 日である。風が強い。
- Ⅲb　降水量はやや少ないが、微雨日数は多く、風が強い。

出典：「日本地誌　第 18 巻　香川県・愛媛県・徳島県・高知県」（昭和 44 年 3 月　日本地誌研究所）
「中国・四国地方の気候区分」（昭和 43 年　吉原正敏）

図 3.1.3(2)　高知県の地域区分（気温・降水・気候）

(2) 大気質

対象地域には、大気汚染防止法に基づき実施される大気汚染常時監視局はないが、周辺には一般環境大気測定局（以下、「一般局」という）として須崎市の須崎高等学校局と押岡公園局、いの町の伊野合同庁舎局が設置されている（表 3.1.3 参照）。

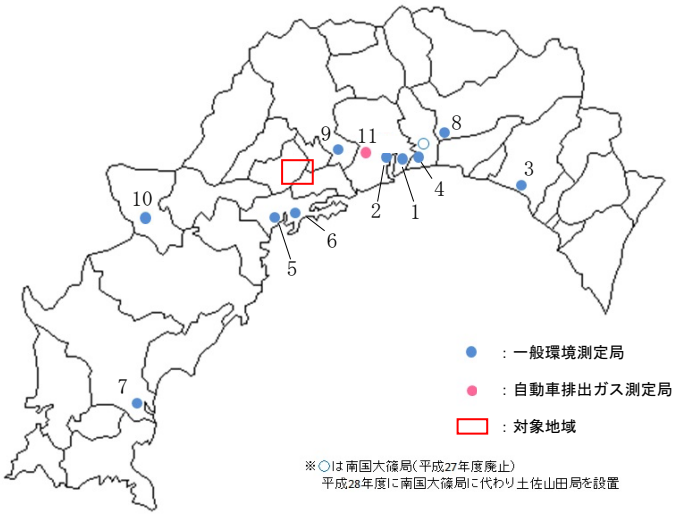
また、高知県全域においては、一般局、自動車排出ガス測定局（以下、「自排局」という）併せて 11 カ所が設置されており、二酸化硫黄や窒素酸化物、光化学オキシダント等 5 項目の観測を行っている。

以下では、対象地域に監視局がないことを踏まえ、上記の測定局全ての結果を用いて高知県全域の大気汚染物質の状況を整理し、対象地域の概況を把握した。

表 3.1.3　一般環境大気測定局における測定項目

測定局名称			所在地	測定項目					
				二酸化硫黄	窒素酸化物	光化学ｵｷｼﾀﾞﾝﾄ	浮遊粒子状物質	微小粒子状物質	一酸化炭素
一般環境大気測定局	1	介良	高知市	○	○	○	○	○	—
	2	南新田町	高知市	○	○	○	○	—	—
	3	安芸	安芸市	○	○	○	○	○	—
	4	稲生	南国市	—	—	—	○	—	—
	5	須崎高等学校	須崎市	○	—	○	○	○	—
	6	押岡公園	須崎市	○	○	—	○	—	—
	7	中村	四万十市	○	○	○	○	○	—
	8	土佐山田	香美市	—	○	○	○	○	—
	9	伊野合同庁舎	いの町	○	—	○	○	○	—
	10	国設檮原酸性雨	檮原町	○	○	○	—	○	—
自動車排出ガス測定局	11	朝倉	高知市	—	○	—	○	—	○

出典：「平成 30 年度　大気環境調査報告書」（令和 2 年 3 月　高知県）
「環境省大気汚染物質広域監視システム」（令和 2 年 10 月現在　環境省）



（高知県 HP より引用、加筆）

図 3.1.4　大気汚染常時監視局位置図

A) 一般局における測定結果

a) 二酸化硫黄（SO_2）

対象地域周辺における平成 30 年度の二酸化硫黄の測定結果は以下のとおりである。

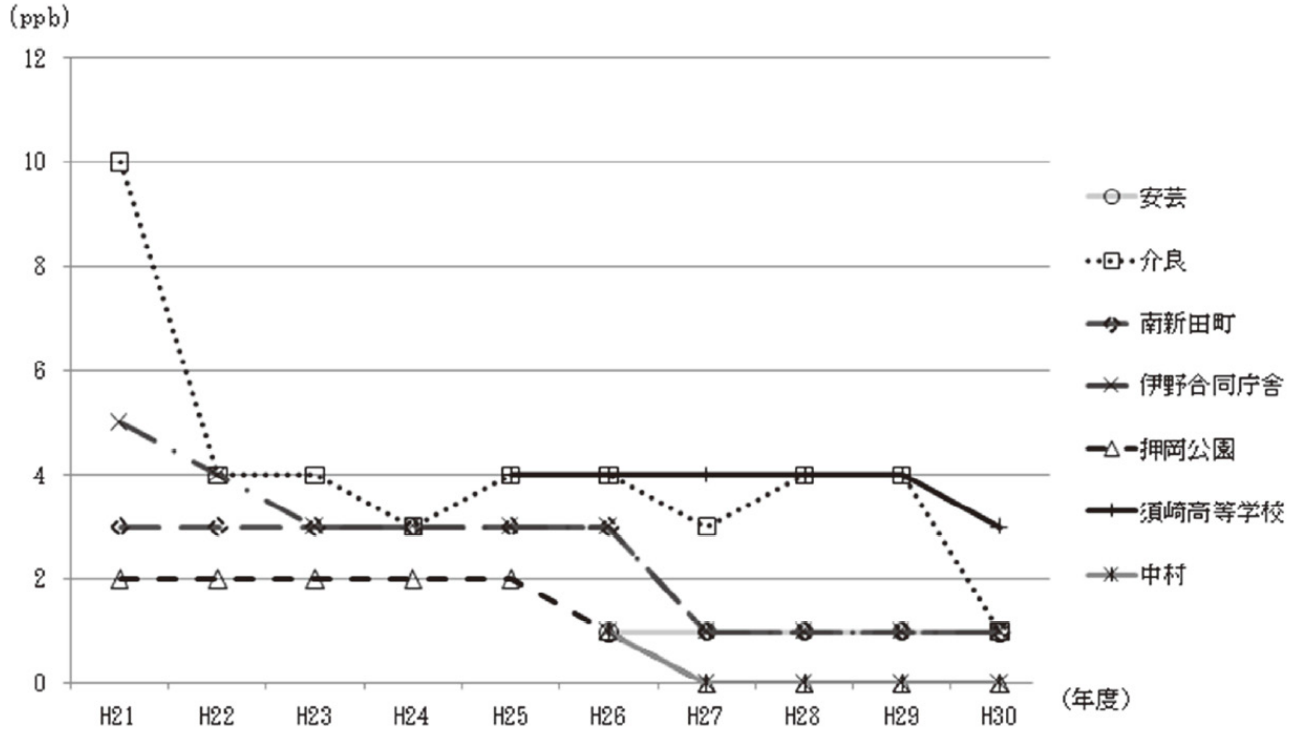
下表によると、全ての測定局において環境基準（1 時間値の 1 日平均値：0.04ppm 以下）を達成している。

また、平成 21 年度から平成 30 年度の経年変化（年平均値）を見ると、全ての測定局において概ね減少傾向を示している（図 3.1.5 参照）。

表 3.1.4　二酸化硫黄測定結果及び環境基準の達成状況（平成 30 年度）

測定局	年平均値	1 時間値の最高値	1 時間値の 1 日平均値の 2%除外値	1 時間値が 0.1ppm を超えた時間数とその割合		1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm を超えた日数とその割合	
	(ppm)	(ppm)	(ppm)	(時間)	(%)	(日)	(%)
安芸	0.001	0.013	0.003	0	0.0	0	0.0
介良	0.001	0.008	0.001	0	0.0	0	0.0
南新田町	0.001	0.015	0.002	0	0.0	0	0.0
伊野合同庁舎	0.001	0.006	0.001	0	0.0	0	0.0
押岡公園	0.000	0.016	0.001	0	0.0	0	0.0
須崎高等学校	0.003	0.017	0.005	0	0.0	0	0.0
中村	0.000	0.017	0.002	0	0.0	0	0.0

出典：「平成 30 年度　大気環境調査報告書」（令和 2 年 3 月　高知県）



注）須崎高等学校局は平成 25 年度から、安芸局及び中村局は平成 26 年度から測定を開始している。
出典：「平成 30 年度　大気環境調査報告書」（令和 2 年 3 月　高知県）

図 3.1.5　二酸化硫黄（年平均値）の経年変化

b) 二酸化窒素（NO_2）

対象地域周辺における平成 30 年度の二酸化窒素の測定結果は以下のとおりである。

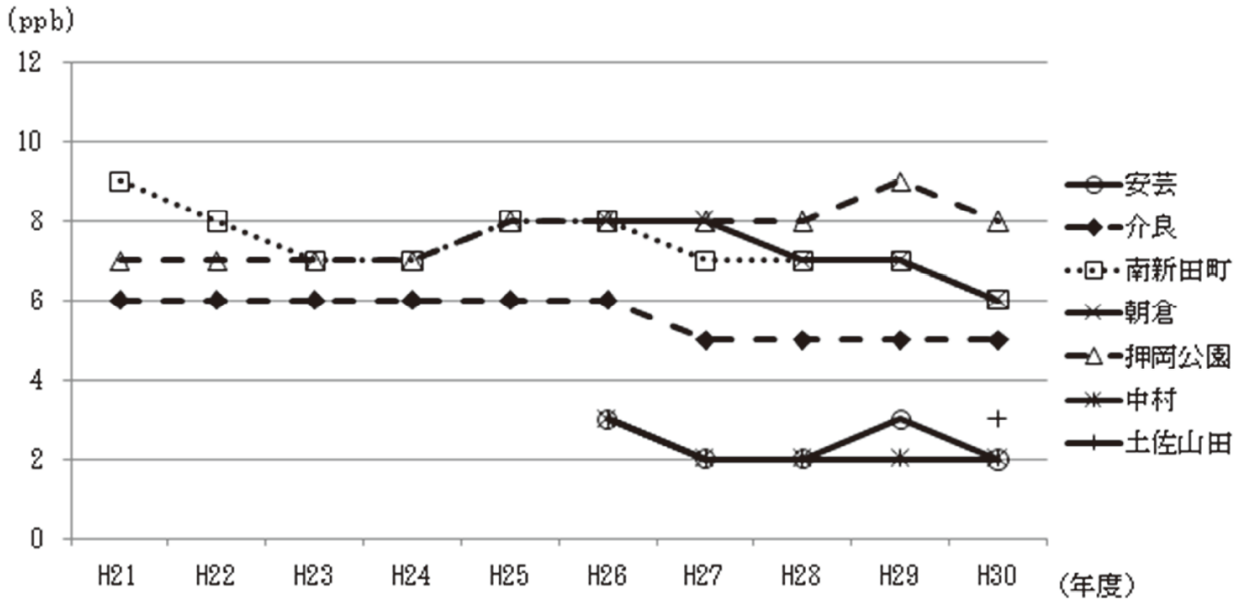
下表によると、全ての測定局において環境基準（1 時間値の 1 日平均値が 0.04 から 0.06ppm までのゾーン内またはそれ以下）を達成している。

また、平成 21 年度から平成 30 年度にかけての経年変化（年平均値）を見ると、全ての測定局において概ね横ばい傾向で推移している（図 3.1.6 参照）。

表 3.1.5　二酸化窒素測定結果及び環境基準の達成状況（平成 30 年度）

測定局	年平均値	1 時間値の最高値	日平均値の年間 98%値	日平均値が 0.06ppm を超えた日数とその割合		日平均値が 0.04ppm 以上 0.06ppm 以下の日数とその割合	
	(ppm)	(ppm)	(ppm)	(日)	(%)	(日)	(%)
安芸	0.002	0.022	0.007	0	0.0	0	0.0
土佐山田	0.003	0.028	0.006	0	0.0	0	0.0
介良	0.005	0.068	0.011	0	0.0	0	0.0
南新田町	0.006	0.046	0.013	0	0.0	0	0.0
朝倉	0.006	0.035	0.011	0	0.0	0	0.0
押岡公園	0.008	0.069	0.019	0	0.0	0	0.0
中村	0.002	0.045	0.004	0	0.0	0	0.0

出典：「平成 30 年度　大気環境調査報告書」（令和 2 年 3 月　高知県）



注）朝倉局、中村局及び安芸局は平成 26 年度から、土佐山田局は平成 30 年度から測定を開始している。
出典：「平成 30 年度　大気環境調査報告書」（令和 2 年 3 月　高知県）

図 3.1.6　二酸化窒素（年平均値）の経年変化

c） 光化学オキシダント（Ox）

対象地域周辺における平成 30 年度の光化学オキシダントの測定結果は以下のとおりである。

下表によると、全ての測定局で環境基準（昼間の 1 時間値が 0.06ppm 以下）を達成しておらず、環境基準を超えた日数が、安芸で 42 日・213 時間、土佐山田で 52 日・269 時間、介良で 23 日・125 時間、南新田町で 38 日・187 時間、伊野合同庁舎で 4 日・15 時間、須崎高等学校で 41 日・181 時間、中村で 38 日・186 時間であった（表 3.1.6 参照）。

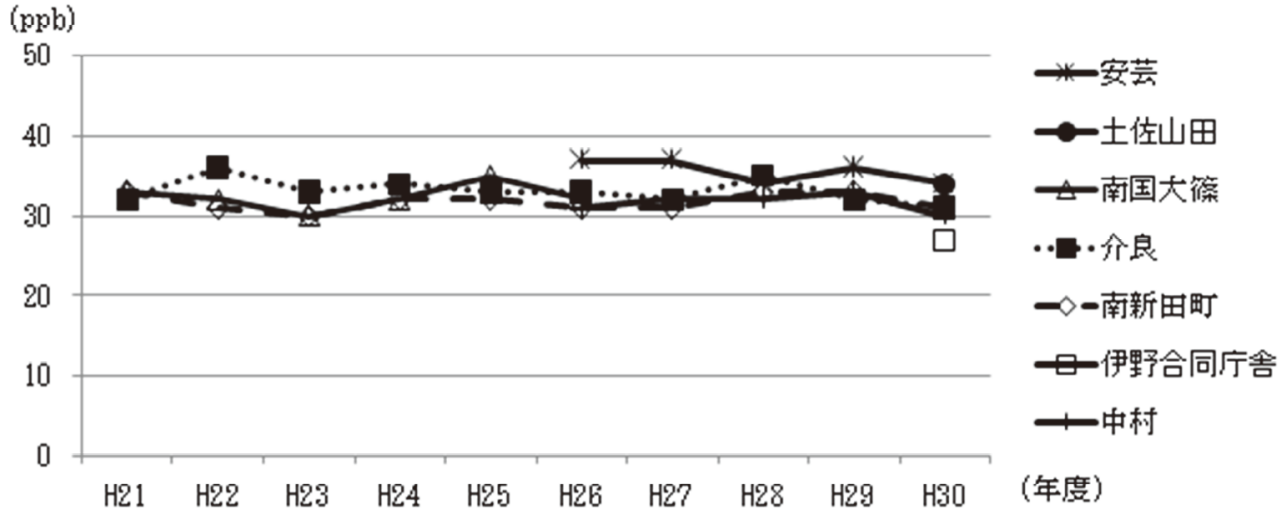
また、いずれの測定局も光化学スモッグ注意報の発令基準（0.12ppm）を超えた時間はなかった。

平成 21 年度から平成 30 年度の経年変化（昼間の 1 時間値の年平均値）を見ると、概ね横ばいで推移している（図 3.1.7 参照）。

表 3.1.6　光化学オキシダント測定結果及び環境基準の達成状況（平成 30 年度）

測定局	昼間の 1 時間値の年平均値	昼間の 1 時間値の最高値	昼間の日最高 1 時間値の年平均値	昼間の 1 時間値が 0.06ppm を超えた日数と時間数		昼間の 1 時間値が 0.12ppm 以上の日数と時間数	
	(ppm)	(ppm)	(ppm)	(日)	(時間)	(日)	(時間)
安芸	0.034	0.088	0.045	42	213	0	0
土佐山田	0.034	0.083	0.046	52	269	0	0
介良	0.031	0.082	0.043	23	125	0	0
南新田町	0.031	0.081	0.043	38	187	0	0
伊野合同庁舎	0.027	0.070	0.040	4	15	0	0
須崎高等学校	0.031	0.085	0.044	41	181	0	0
中村	0.030	0.081	0.042	38	186	0	0

注 1）昼間とは、5 時～20 時を示す。
出典：「平成 30 年度　大気環境調査報告書」（令和 2 年 3 月　高知県）



注 1）中村局及び安芸局は平成 26 年度から、土佐山田局は平成 28 年度から測定を開始している。
注 2）南国大篠局は平成 27 年度に廃止している。
出典：「平成 30 年度　大気環境調査報告書」（令和 2 年 3 月　高知県）

図 3.1.7　光化学オキシダント年平均値（昼間の 1 時間値）の経年変化

d) 浮遊粒子状物質（SPM）

対象地域周辺における平成 30 年度の浮遊粒子状物質の測定結果は以下のとおりである。

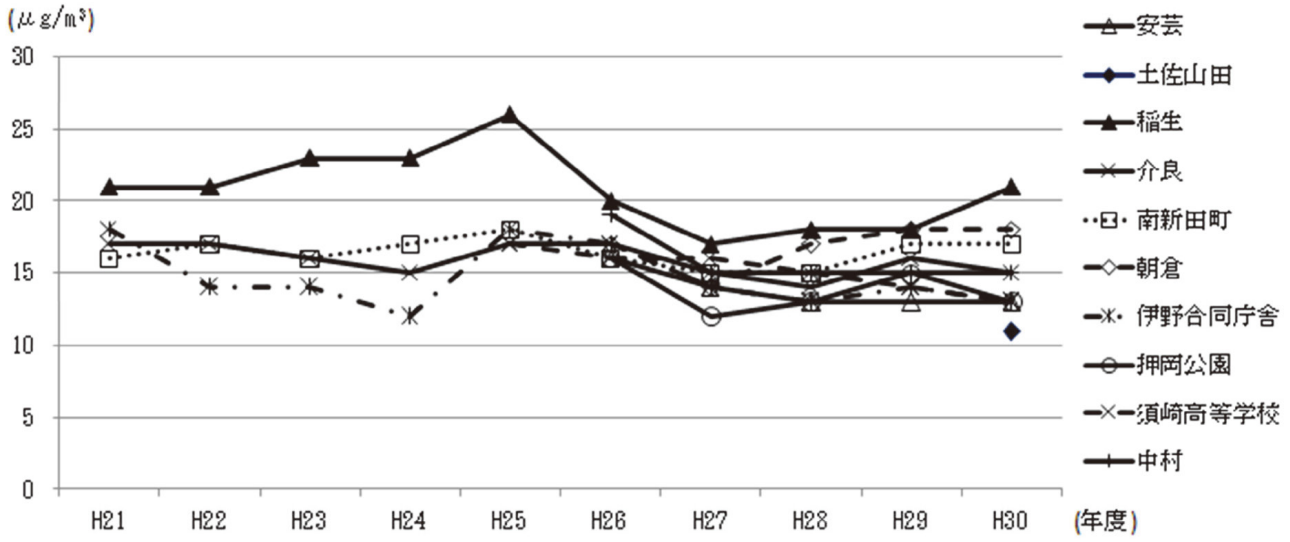
下表によると、全ての測定局において環境基準（日平均値が 0.10mg/m³ 以下）を達成している。

また、平成 21 年度から平成 30 年度の経年変化（年平均値）を見ると、全ての測定局で概ね横ばい傾向を示している（図 3.1.8 参照）。

表 3.1.7　浮遊粒子状物質測定結果及び環境基準の達成状況（平成 30 年度）

測定局	年平均値	1 時間値の最高値	日平均値の 2%除外値	1 時間値が 0.20mg/m³ を超えた時間数とその割合		日平均値が 0.10mg/m³ を超えた日数とその割合	
	(mg/m³)	(mg/m³)	(mg/m³)	(時間)	(%)	(日)	(%)
安芸	0.013	0.122	0.043	0	0.0	0	0.0
土佐山田	0.011	0.060	0.029	0	0.0	0	0.0
稲生	0.021	0.143	0.047	0	0.0	0	0.0
介良	0.015	0.093	0.036	0	0.0	0	0.0
南新田町	0.017	0.141	0.047	0	0.0	0	0.0
朝倉	0.018	0.119	0.052	0	0.0	0	0.0
伊野合同庁舎	0.013	0.093	0.039	0	0.0	0	0.0
押岡公園	0.013	0.100	0.039	0	0.0	0	0.0
須崎高等学校	0.013	0.118	0.033	0	0.0	0	0.0
中村	0.015	0.168	0.042	0	0.0	0	0.0

出典：「平成 30 年度　大気環境調査報告書」（令和 2 年 3 月　高知県）



注）朝倉局は平成 27 年度から、土佐山田局は平成 30 年度から測定を開始している。

出典：「平成 30 年度　大気環境調査報告書」（令和 2 年 3 月　高知県）

図 3.1.8　浮遊粒子状物質（年平均値）の経年変化

e） 微小粒子状物質

対象地域周辺における、平成 30 年度の微小粒子状物質の測定結果は以下のとおりである。

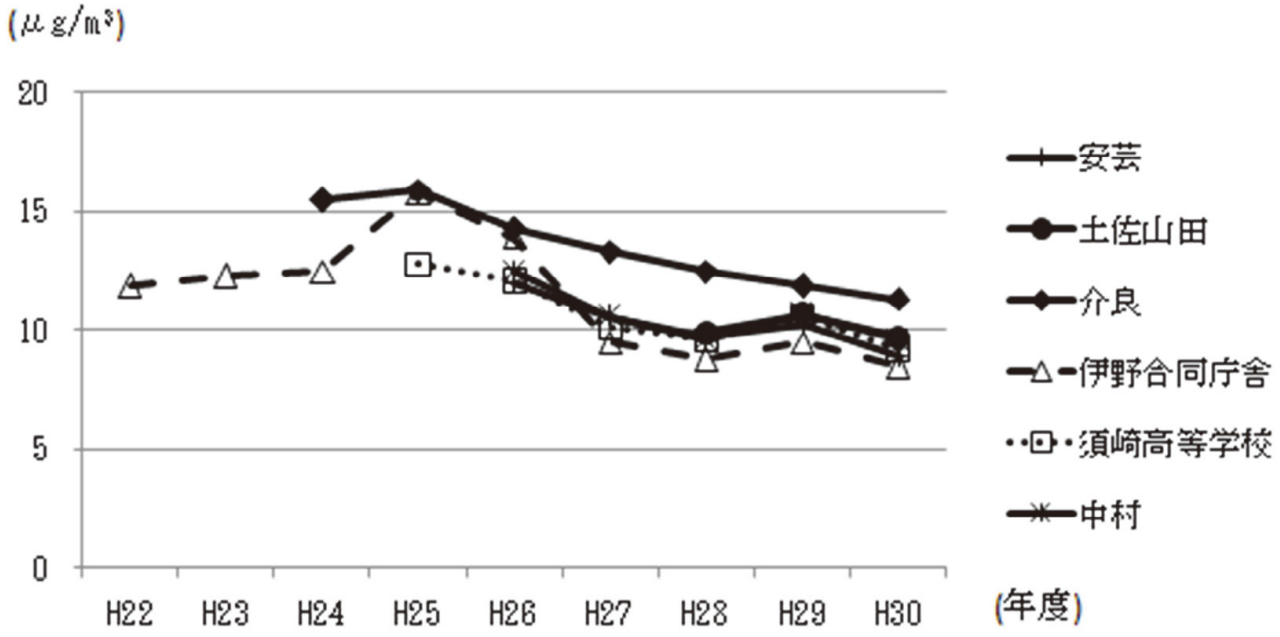
下表によると、介良において環境基準（日平均値が 35μg/m³ 以下）を超えており、日数は 1 日であった。また、介良を除く全ての測定局では環境基準を達成している。

また、平成 22 年度から平成 30 年度の経年変化（年平均値）を見ると、伊野合同庁舎では平成 25 年度まで緩やかな増加傾向を示しているが、平成 25 年度以降は全ての測定局で緩やかな減少傾向を示している（図 3.1.9 参照）。

表 3.1.8　微小粒子状物質測定結果及び環境基準の達成状況（平成 30 年度）

測定局	年平均値	日平均値の年間 98%値	日平均値が 35μg/m³ を超えた日数とその割合	
	(μg/m³)	(μg/m³)	(日)	(%)
安芸	8.9	22.8	0	0.0
土佐山田	9.7	22.3	0	0.0
介良	11.3	28.3	1	0.3
伊野合同庁舎	8.5	23.1	0	0.0
須崎高等学校	9.2	23.7	0	0.0
中村	9.6	23.9	0	0.0

出典：「平成 30 年度　大気環境調査報告書」（令和 2 年 3 月　高知県）



注）介良局は平成 24 年度から、須崎高等学校局は平成 25 年度から、安芸局及び中村局は平成 26 年度から測定を開始している。

出典：「平成 30 年度　大気環境調査報告書」（令和 2 年 3 月　高知県）

図 3.1.9　微小粒子状物質（年平均値）の経年変化

f） 一酸化炭素

対象地域周辺における、平成 30 年度の一酸化炭素の測定結果は以下のとおりである。

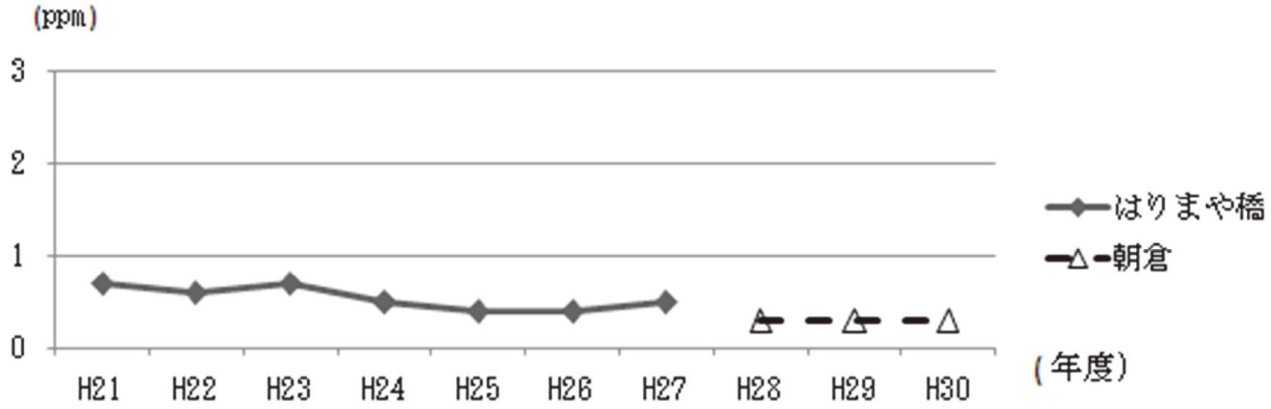
下表によると、朝倉において環境基準（1 時間値の 1 日平均値が 10ppm かつ 1 時間値の 8 時間平均値が 20ppm 以下）を達成している。

また、平成 21 年度から平成 30 年度の経年変化（年平均値）を見ると、概ね横ばいで推移している（図 3.1.10 参照）。

表 3.1.9　一酸化炭素測定結果及び環境基準の達成状況（平成 30 年度）

測定局	年平均値	1 時間値の最高値	日平均値の2%除外値	8 時間値が20ppm を超えた日数とその割合		日平均値が10ppm を超えた日数とその割合		1 時間値が 30ppm 以上となったことがある日数とその割合	
	(ppm)	(ppm)	(ppm)	(日)	(%)	(日)	(%)	(日)	(%)
朝倉	0.3	1.4	0.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0

出典：「平成 30 年度　大気環境調査報告書」（令和 2 年 3 月　高知県）



注 1）はりやま橋局は、平成 28 年 3 月に廃止している。
注 2）朝倉局は、平成 28 年度から測定を開始している。
出典：「平成 30 年度　大気環境調査報告書」（令和 2 年 3 月　高知県）

図 3.1.10　一酸化炭素（年平均値）の経年変化

g） ダイオキシン類

対象地域周辺となる伊野合同庁舎及び須崎福祉保健所ではダイオキシン調査を行っている。調査結果は以下のとおりである。

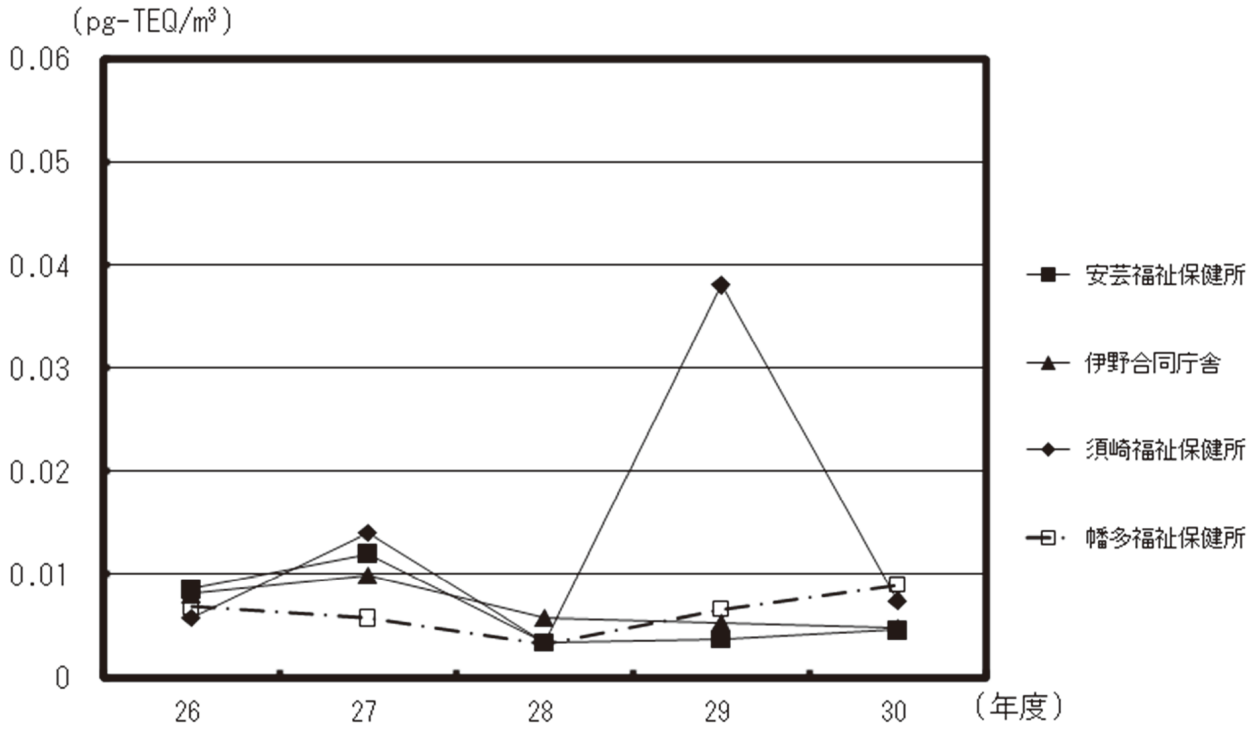
下表によると、ダイオキシン類調査地点では、環境基準を達成している状況である。

また、平成 26 年から平成 30 年までのダイオキシン類の年平均値の経年変化をみると、須崎福祉保健所において平成 29 年度に一時的に増加しているが、概ね横ばい傾向を示している（図 3.1.11 参照）。

表 3.1.10　ダイオキシン類調査結果（平成 30 年度）

調査地点	調査日	調査結果（pg-TEQ/m³）		環境基準 (pg-TEQ/m³)
		測定値	年平均値	
伊野合同庁舎	2018.9.20～9.27	0.0035	0.0048	0.6 以下
	2019.1.21～1.28	0.0060		
須崎福祉保健所	2018.9.20～9.27	0.0074	0.0074	

出典：「平成 30 年度　大気環境調査報告書」（令和 2 年 3 月　高知県）



出典：「平成 30 年度　大気環境調査報告書」（令和 2 年 3 月　高知県）

図 3.1.11　ダイオキシン類（年平均値）の経年変化

h) 降下ばいじん

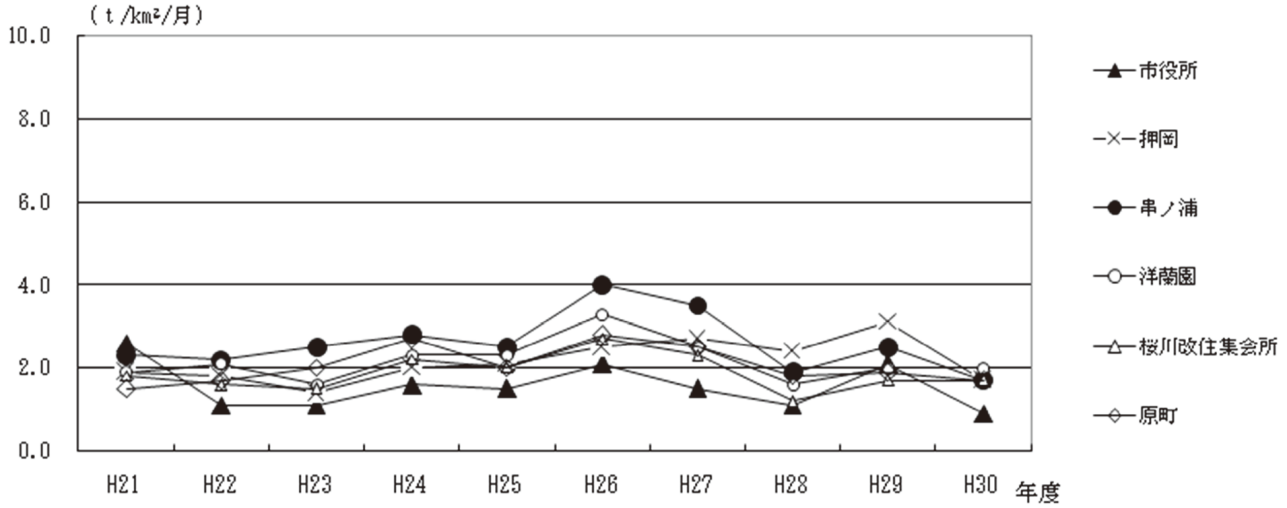
その他大気物質のうち、対象地域周辺となる須崎市では 6 地点で降下ばいじん調査を行っている。調査地点及び調査結果は以下のとおりである。

また、平成 21 年から平成 30 年までの降下ばいじんの年平均値の経年変化をみると、概ね横ばい傾向を示している（図 3.1.12 参照）。

表 3.1.11　降下ばいじん調査結果（平成 30 年度）

市町村	調査地点	所在地	調査結果（t/km²/月）						年平均（t/km²/月）
			平成 30 年				平成 31 年		
			4 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	
須崎市	市役所	山手町 1 番 7 号	2.1	0.9	0.8	0.2	0.4	1.3	0.9
	押岡	是藤 710	4.9	1.4	1.5	0.5	0.9	1.0	1.7
	串ノ浦	多ノ郷 169	2.8	1.6	1.4	0.6	2.1	1.5	1.7
	洋蘭園	押岡 123	4.4	1.3	2.2	0.8	2.1	1.5	2.0
	桜川改住集会所	押岡 2695	4.1	1.1	1.0	0.9	1.3	1.6	1.7
	原町	原町 2 丁目 7 番街区	3.5	0.8	1.8	0.5	1.7	2.0	1.7

出典：「平成 30 年度　大気環境調査報告書」（令和 2 年 3 月　高知県）



出典：「平成 30 年度　大気環境調査報告書」（令和 2 年 3 月　高知県）

図 3.1.12　降下ばいじんの経年変化

B) 対象地域の大気質測定結果

対象地域では近年、現地測定は行われていない。

(3) 騒　音

対象地域では近年、現地測定は行われていない。

(4) 振　動

対象地域では近年、現地測定は行われていない。

(5) 低周波

対象地域では近年、現地測定は行われていない。

(6) 悪臭

対象地域では近年、現地測定は行われていない。

3.1.2. 水象、水質その他の水に係る環境の状況

(1) 河　川

対象地域に流れる河川（国土交通省及び高知県が管理する河川に限る）を表 3.1.12 及び図 3.1.13 に示す。

対象地域における主要な河川（二級河川以上）の水系は、一級河川の仁淀川水系である。建設予定地及び進入道路付近には、これら河川のうち、長竹川が存在する。

表 3.1.12　主要河川一覧

種　別	河川名	河川延長(m)	流域面積(km²)	流路延長(km)
一級河川	仁淀川（面河川を含む）	74,365.5	989.8	—
	日下川	9,890	36.77	13.3
	戸梶川	3,500	12.29	4.8
	猿田川	920	1.06	1.1
	長竹川	2,450	5.72	2.5
	宇治谷川	600	0.90	1.0
	柳瀬川	18,619	78.05	1.78
	立野川	3,742	3.53	3.9
	春日川	5,870	1.49	6.3
	古用地川	1,800	1.58	1.5
	隠里川	150	0.45	0.6
	桂川	1,200	1.6	1.0
	斗賀野川	3,411	11.90	4.1
	伏尾川	2,008	4.18	2.3
	幸田川	1,600	1.82	1.8
	安岡川	1,200	1.51	1.4
	波介川	18,022	72.58	18.4
	甲原川	5,419	8.76	6.0
	神谷川	1,614	2.18	1.5
	唐谷川	55	0.05	0.12
	カタギバエ川	232	0.46	0.55

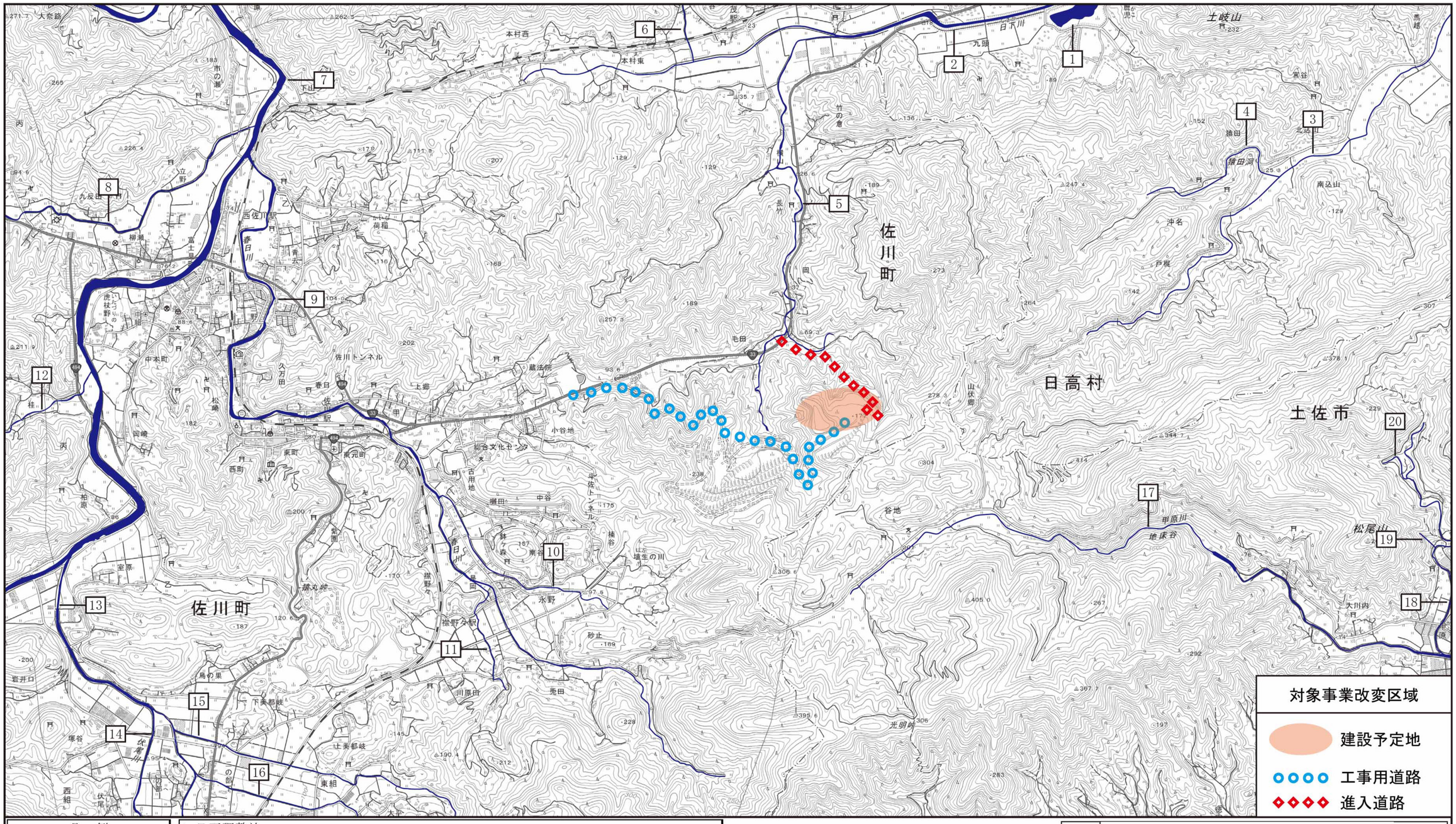
出典：「河川調書」（平成 13 年 3 月　高知県河川課）
「仁淀川河川整備計画 HP」（令和 2 年 10 月現在　国土交通省）

(2) 湖　沼

対象地域には、主要な湖沼として日下川近傍に日下川調整池がある。

(3) 海　域

対象地域には、海域は存在しない。



凡　例

	河川又は湖沼

1. 日下調整池
- 仁淀川
  - 2. 日下川
    - 3. 戸梶川
      - 4. 猿田川
    - 5. 長竹川
    - 6. 宇治谷川
  - 7. 柳瀬川
    - 8. 立野川
    - 9. 春日川
      - 10. 古用地川
      - 11. 隠里川
    - 12. 桂川
    - 13. 斗賀野川
      - 14. 伏尾川
      - 15. 幸田川
      - 16. 安岡川
  - 波介川
    - 17. 甲原川
      - 18. 神谷川
        - 19. 唐谷川
        - 20. カタギバエ川

出典：河川調書（平成 13 年 高知県）

図名　図 3.1.13　河川、湖沼位置図

N　W　E　S

S = 1:25,000

0　0.5　1.0　1.5km

(4) 水　質

対象地域では、仁淀川水系の日下川及び柳瀬川が環境基準類型「A」に指定されている（表 3.1.13 参照）。なお、対象地域では河川の水質調査は行われていないが、対象地域周辺では、日下川下流方向の 2 地点（戸梶川合流前、国岡橋）と柳瀬川下流方向の 1 地点（黒岩橋）で水質調査を実施している。調査結果を表 3.1.13 に示す。

河川の水質調査結果によると、日下川の国岡橋及び柳瀬川の黒岩橋で大腸菌群数が環境基準を超過している。

また、日下川（国岡橋）及び柳瀬川（黒岩橋）では、健康項目に係る水質調査も実施している。分析結果によると、全ての項目で環境基準を満たしている（表 3.1.14 参照）。

表 3.1.13　河川の水質調査結果（生活環境項目）（平成 30 年度）

区　分	日下川		柳瀬川	環境基準
	戸梶川合流前	国岡橋	（黒岩橋）	
環境基準類型	A	A	A	A
水素イオン濃度（pH）	7.2～8.1	7.3～7.5	7.6～7.8	6.5 以上 8.5 以下
溶存酸素量（DO）　mg/l	8.7	7.9	9.9	7.5 以上
生物化学的酸素要求量 （BOD）　mg/l	1.2	0.9	＜ 0.5	2 以下
浮遊物質量（SS）　mg/l	7	15	2	25 以下
大腸菌群数 MPN/100ml	―	7700	12000	1000 以下

注）表中の値のうち、pH は「最小値～最大値」、BOD は「日平均値の 75%値」、その他の項目は、「平均値」を示した。

出典：「平成 30 年度公共用水域及び地下水の水質測定結果」（令和 2 年 4 月　高知県）

表 3.1.14　水質調査結果（健康項目）

河川名	項目	単位	測定年度					環境基準値
			H26	H27	H28	H29	H30	
日下川（国岡橋）	カドミウム	mg/ℓ	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003mg/ℓ以下
	全シアン	mg/ℓ	－	－	－	－	－	検出されないこと。
	鉛	mg/ℓ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.01mg/ℓ以下
	六価クロム	mg/ℓ	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.05mg/ℓ以下
	砒素	mg/ℓ	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01mg/ℓ以下
	純水銀	mg/ℓ	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005mg/ℓ以下
	アルキル水銀	mg/ℓ	－	－	－	－	－	検出されないこと。
	ポリ塩化ビフェニル(PCB)	mg/ℓ	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと。
	ジクロロメタン	mg/ℓ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02mg/ℓ以下
	四塩化炭素	mg/ℓ	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002mg/ℓ以下
	1,2-ジクロロエタン	mg/ℓ	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004mg/ℓ以下
	1,1-ジクロロエチレン	mg/ℓ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.1mg/ℓ以下
	シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/ℓ	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.04mg/ℓ以下
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/ℓ	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	1 mg/ℓ以下
	1,1,2-トリクロロエタン	mg/ℓ	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006mg/ℓ以下
	トリクロロエチレン	mg/ℓ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.01mg/ℓ以下
	テトラクロロエチレン	mg/ℓ	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.01mg/ℓ以下
	1,3-ジクロロプロペン	mg/ℓ	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002mg/ℓ以下
	チウラム	mg/ℓ	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006mg/ℓ以下
	シマジン	mg/ℓ	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003mg/ℓ以下
	チオベンカルブ	mg/ℓ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02mg/ℓ以下
	ベンゼン	mg/ℓ	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01mg/ℓ以下
	セレン	mg/ℓ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.001	<0.001	0.01mg/ℓ以下
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/ℓ	0.25	0.23	0.14	0.23	0.26	10mg/ℓ以下
	ふ っ 素	mg/ℓ	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	0.8mg/ℓ以下
	ほ う 素	mg/ℓ	0.04	0.05	<0.02	0.04	0.04	1mg/ℓ以下
	1,4-ジオキサン	mg/ℓ	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05mg/ℓ以下
柳瀬川（黒岩橋）	カドミウム	mg/ℓ	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003mg/ℓ以下
	全シアン	mg/ℓ	－	－	－	－	－	検出されないこと。
	鉛	mg/ℓ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.01mg/ℓ以下
	六価クロム	mg/ℓ	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.05mg/ℓ以下
	砒素	mg/ℓ	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01mg/ℓ以下
	純水銀	mg/ℓ	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005mg/ℓ以下
	アルキル水銀	mg/ℓ	－	－	－	－	－	検出されないこと。
	ポリ塩化ビフェニル(PCB)	mg/ℓ	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと。
	ジクロロメタン	mg/ℓ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02mg/ℓ以下
	四塩化炭素	mg/ℓ	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002mg/ℓ以下
	1,2-ジクロロエタン	mg/ℓ	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004mg/ℓ以下
	1,1-ジクロロエチレン	mg/ℓ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.1mg/ℓ以下
	シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/ℓ	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.04mg/ℓ以下
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/ℓ	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	1 mg/ℓ以下
	1,1,2-トリクロロエタン	mg/ℓ	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006mg/ℓ以下
	トリクロロエチレン	mg/ℓ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.01mg/ℓ以下
	テトラクロロエチレン	mg/ℓ	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.01mg/ℓ以下
	1,3-ジクロロプロペン	mg/ℓ	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002mg/ℓ以下
	チウラム	mg/ℓ	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006mg/ℓ以下
	シマジン	mg/ℓ	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003mg/ℓ以下
	チオベンカルブ	mg/ℓ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02mg/ℓ以下
	ベンゼン	mg/ℓ	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01mg/ℓ以下
	セレン	mg/ℓ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.001	<0.001	0.01mg/ℓ以下
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/ℓ	0.45	0.36	0.17	0.37	0.45	10mg/ℓ以下
	ふ っ 素	mg/ℓ	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	0.8mg/ℓ以下
	ほ う 素	mg/ℓ	<0.02	0.02	<0.02	0.03	0.02	1mg/ℓ以下
	1,4-ジオキサン	mg/ℓ	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05mg/ℓ以下

注）“－”は、分析を実施していないことを示す。

出典：「公共用水域及び地下水の水質測定結果（平成 25～30 年）」（高知県環境対策課）

(5) 地下水

高知県では地下水質の概況を把握するために、市町村単位の概況調査を順次実施している。対象地域においても佐川町乙（3 地点）、佐川町加茂（2 地点）、佐川町甲（1 地点）の計 6 地点で、年度によって地下水の概況調査が実施されている。調査結果を表 3.1.15 に示す。

また、高知県では地下水質の変化を把握するため、県内の各地点において継続監視調査を実施している。対象地域では佐川町甲（1 地点）において継続監視調査が実施されている。調査結果を表 3.1.16 に示す。

地下水の水質調査結果によると、概況調査及び継続観測調査ともに環境基準値を満たしている。

表 3.1.15　地下水質概況調査結果

調査地区			佐川町乙		佐川町乙				佐川町乙		佐川町加茂		佐川町加茂		佐川町甲		環境基準値
観測井戸番号			402-0020-000800		402-0020-000900				402-0020-000700		402-0030-000200		402-0030-000300		402-0060-000800		
調査年度			H20		H20		H30		H25		H30		H20		H22		
調査日			H20.10.28	H21.1.23	H20.10.28	H21.1.23	H30.7.30	H31.1.29	H25.6.25	H26.1.21	H30.7.30	H31.1.29	H20.10.28	H21.1.23	H22.11.9	H23.2.15	
調査項目	カドミウム	mg/ℓ	< 0.001	—	< 0.001	—	< 0.0003	—	< 0.0003	—	<0.0003	—	< 0.001	—	< 0.001	—	0.003mg/ℓ以下
	全シアン	mg/ℓ	< 0.1	—	< 0.1	—	< 0.1	—	< 0.1	—	<0.1	—	< 0.1	—	< 0.1	—	検出されないこと。
	鉛	mg/ℓ	< 0.002	—	< 0.002	—	< 0.001	—	< 0.002	—	<0.001	—	< 0.002	—	< 0.002	—	0.01mg/ℓ以下
	六価クロム	mg/ℓ	< 0.02	—	< 0.02	—	< 0.01	—	< 0.02	—	<0.01	—	< 0.02	—	< 0.02	—	0.05mg/ℓ以下
	砒素	mg/ℓ	< 0.005	—	< 0.005	—	< 0.001	—	< 0.005	—	<0.001	—	< 0.005	—	< 0.005	—	0.01mg/ℓ以下
	純水銀	mg/ℓ	< 0.0005	—	< 0.0005	—	< 0.00005	—	< 0.0005	—	<0.00005	—	< 0.0005	—	< 0.0005	—	0.0005mg/ℓ以下
	アルキル水銀	mg/ℓ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	検出されないこと。
	ポリ塩化ビフェニル(PCB)	mg/ℓ	< 0.0005	—	< 0.0005	—	< 0.0005	—	< 0.0005	—	<0.0005	—	< 0.0005	—	< 0.0005	—	検出されないこと。
	ジクロロメタン	mg/ℓ	< 0.002	—	< 0.002	—	< 0.002	—	< 0.002	—	<0.002	—	< 0.002	—	< 0.002	—	0.02mg/ℓ以下
	四塩化炭素	mg/ℓ	< 0.0002	—	< 0.0002	—	< 0.0002	—	< 0.0002	—	<0.0002	—	< 0.0002	—	< 0.0002	—	0.002mg/ℓ以下
	クロロエチレン	mg/ℓ	—	—	—	—	< 0.0002	—	< 0.0002	—	<0.0002	—	—	—	< 0.0002	—	0.002mg/ℓ以下
	1,2-ジクロロエタン	mg/ℓ	< 0.0004	—	< 0.0004	—	< 0.0004	—	< 0.0004	—	<0.0004	—	< 0.0004	—	< 0.0004	—	0.004mg/ℓ以下
	1,1-ジクロロエチレン	mg/ℓ	< 0.002	—	< 0.002	—	< 0.002	—	< 0.002	—	<0.002	—	< 0.002	—	< 0.002	—	0.1mg/ℓ以下
	1,2-ジクロロエチレン	mg/ℓ	—	—	—	—	< 0.0008	—	< 0.0008	—	<0.0008	—	—	—	< 0.0008	—	0.04mg/ℓ以下
	シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/ℓ	<0.004	—	<0.004	—	< 0.0004	—	< 0.0004	—	<0.0004	—	<0.004	—	< 0.0004	—	0.04mg/ℓ以下
	トランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/ℓ	—	—	—	—	< 0.0004	—	< 0.0004	—	<0.0004	—	—	—	< 0.0004	—	0.04mg/ℓ以下
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/ℓ	<0.0005	—	<0.0005	—	< 0.0005	—	< 0.0005	—	<0.0005	—	<0.0005	—	< 0.0005	—	1mg/ℓ以下
	1,1,2-トリクロロエタン	mg/ℓ	<0.0006	—	<0.0006	—	< 0.0006	—	< 0.0006	—	<0.0006	—	<0.0006	—	< 0.0006	—	0.006mg/ℓ以下
	トリクロロエチレン	mg/ℓ	<0.002	—	<0.002	—	< 0.002	—	< 0.002	—	<0.002	—	<0.002	—	< 0.002	—	0.01mg/ℓ以下
	テトラクロロエチレン	mg/ℓ	<0.0005	—	<0.0005	—	< 0.0005	—	< 0.0005	—	<0.0005	—	<0.0005	—	< 0.0005	—	0.01mg/ℓ以下
	1,3-ジクロロプロペン	mg/ℓ	<0.0002	—	<0.0002	—	< 0.0002	—	< 0.0002	—	<0.0002	—	<0.0002	—	< 0.0002	—	0.002mg/ℓ以下
	チウラム	mg/ℓ	<0.0006	—	<0.0006	—	< 0.0006	—	< 0.0006	—	<0.0006	—	<0.0006	—	< 0.0006	—	0.006mg/ℓ以下
	シマジン	mg/ℓ	<0.0003	—	<0.0003	—	< 0.0003	—	< 0.0003	—	<0.0003	—	<0.0003	—	< 0.0003	—	0.003mg/ℓ以下
	チオベンカルブ	mg/ℓ	<0.002	—	<0.002	—	< 0.002	—	< 0.002	—	<0.002	—	<0.002	—	< 0.002	—	0.02mg/ℓ以下
	ベンゼン	mg/ℓ	<0.001	—	<0.001	—	< 0.001	—	< 0.001	—	<0.001	—	<0.001	—	< 0.001	—	0.01mg/ℓ以下
	セレン	mg/ℓ	<0.005	—	<0.005	—	< 0.001	—	< 0.002	—	<0.001	—	< 0.005	—	< 0.002	—	0.01mg/ℓ以下
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/ℓ	1.7	1.3	1.3	0.98	0.95	1	1.3	0.86	0.14	0.19	0.79	1.3	3.2	1.7	10mg/ℓ以下
	硝酸性窒素	mg/ℓ	1.7	1.3	1.3	0.98	0.95	1	1.3	0.86	0.14	0.18	0.79	1.3	3.2	1.7	10mg/ℓ以下
	亜硝酸性窒素	mg/ℓ	<0.005	<0.005	<0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	<0.005	<0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	10mg/ℓ以下
	ふっ素	mg/ℓ	<0.08	-	<0.08	-	< 0.08	-	< 0.08	-	<0.08	-	< 0.08	—	< 0.08	-	0.8mg/ℓ以下
	ほう素	mg/ℓ	0.03	-	0.02	-	0.02	-	< 0.02	-	<0.02	-	< 0.02	—	0.03	-	1mg/ℓ以下
	1,4-ジオキサン	mg/ℓ	—	-	—	-	< 0.005	-	< 0.005	-	<0.005	-	—	—	< 0.005	-	0.05mg/ℓ以下

注）調査位置は、個人情報保護の観点から図示しない。

出典：「公共用水域及び地下水の水質測定結果（平成 20、22、25、30 年）」（高知県環境対策課）

表 3.1.16　地下水質継続監視調査結果

調査地区	観測井戸番号	項目	単位	測定年度										環境基準値
				H26		H27		H28		H29		H30		
				H26.7.8	H27.1.22	H27.8.3	H28.1.18	H28.7.11	H28.12.1	H29.7.27	H30.1.23	H30.7.30	H31.1.29	
佐川町甲	402-0060-000100	カドミウム	mg/ℓ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.003mg/ℓ以下
		全シアン	mg/ℓ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	検出されないこと。
		鉛	mg/ℓ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.01mg/ℓ以下
		六価クロム	mg/ℓ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.05mg/ℓ以下
		砒素	mg/ℓ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.01mg/ℓ以下
		純水銀	mg/ℓ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.0005mg/ℓ以下
		アルキル水銀	mg/ℓ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	検出されないこと。
		ポリ塩化ビフェニル(PCB)	mg/ℓ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	検出されないこと。
		ジクロロメタン	mg/ℓ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02mg/ℓ以下
		四塩化炭素	mg/ℓ	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002mg/ℓ以下
		クロロエチレン	mg/ℓ	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002mg/ℓ以下
		1,2-ジクロロエタン	mg/ℓ	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004mg/ℓ以下
		1,1-ジクロロエチレン	mg/ℓ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.1mg/ℓ以下
		1,2-ジクロロエチレン	mg/ℓ	0.026	0.027	0.036	0.030	0.019	0.025	0.032	0.024	0.031	0.024	0.04mg/ℓ以下
		シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/ℓ	0.026	0.027	0.035	0.029	0.019	0.025	0.032	0.023	0.031	0.023	0.04mg/ℓ以下
		トランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/ℓ	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.04mg/ℓ以下
		1,1,1-トリクロロエタン	mg/ℓ	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	1 mg/ℓ以下
		1,1,2-トリクロロエタン	mg/ℓ	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006mg/ℓ以下
		トリクロロエチレン	mg/ℓ	0.003	0.003	0.002	0.003	0.002	0.003	0.003	0.002	0.003	0.003	0.01mg/ℓ以下
		テトラクロロエチレン	mg/ℓ	0.0040	0.0030	0.0019	0.0034	0.0031	0.0035	0.0037	0.0027	0.0039	0.0033	0.01mg/ℓ以下
		1,3-ジクロロプロペン	mg/ℓ	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002mg/ℓ以下
		チウラム	mg/ℓ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.006mg/ℓ以下
		シマジン	mg/ℓ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.003mg/ℓ以下
		チオベンカルブ	mg/ℓ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.02mg/ℓ以下
		ベンゼン	mg/ℓ	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01mg/ℓ以下
		セレン	mg/ℓ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.01mg/ℓ以下
		硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/ℓ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	10mg/ℓ以下
		ふ っ 素	mg/ℓ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.8mg/ℓ以下
		ほ う 素	mg/ℓ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1mg/ℓ以下
		1,4-ジオキサン	mg/ℓ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.05mg/ℓ以下

注）調査位置は、個人情報保護の観点から図示しない。
出典：「公共用水域及び地下水の水質測定結果（平成 26～30 年）」（高知県環境対策課）

(6) 底　質

対象地域では河川の底質調査は行われていないが、対象地域周辺では、日下川下流方向の 1 地点（国岡橋）で底質調査が実施されている。調査結果を以下に示す。

表 3.1.17　水底調査結果

河川名	項目	単位	測定年度			
			H21	H24	H27	H30
日下川（国岡橋）	pH		7.1	6.7	6.8	6.9
	COD	mg/g	4.7	2.4	48	17.6
	硫化物	mg/g	0.06	<0.01	0.09	0.03
	含水率	%	21.5	19.2	42.8	28.5
	強熱減量	%	3.9	3.4	13	6.6
	銅	mg/kg	18.6	33.2	47.2	35.8
	亜鉛	mg/kg	94.3	137	192	162
	鉄	mg/kg	46600	44300	37500	41400
	マンガン	mg/kg	1120	786	1050	1150
	総クロム	mg/kg	268	129	201	136
	カドミウム	mg/kg	0.12	0.14	0.36	0.20
	鉛	mg/kg	23.4	13.5	18.2	17
	ヒ素	mg/kg	4.18	6.7	4.8	4.6
	総水銀	mg/kg	0.06	0.06	0.18	0.12
	アルキル水銀	mg/kg	<0.01	<0.01	< 0.01	<0.01
	PCB	mg/kg	<0.01	<0.01	< 0.01	<0.01

出典：「公共用水域及び地下水の水質測定結果（平成 21、24、27、30 年）」（高知県環境対策課）

(7) ダイオキシン類

対象地域内では河川のダイオキシン類調査は行われていないが、対象地域外では、日下川下流方向の 1 地点（国岡橋）で水質及び底質のダイオキシン類調査が実施されている。調査結果を以下に示す。

調査結果によると、日下川（国岡橋）におけるダイオキシン類濃度は、水質、底質共に環境基準を満たしている。

表 3.1.18　ダイオキシン類濃度調査結果

日下川（国岡橋）	ダイオキシン類濃度					環境基準
	H26	H27	H28	H29	H30	
水　質（pg-TEQ/L）	0.13	0.16	0.28	0.15	0.19	1 以下
底　質（pg-TEQ/g）	13	38	8.8	23	4.1	150 以下

出典：「公共用水域及び地下水の水質測定結果（平成 26～30 年）」（高知県環境対策課）

3.1.3. 土壌及び地盤の状況

(1) 土壌の状況

図 3.1.14 によれば、対象地域内において建設予定地付近では、褐色森林土壌（乾性を含む）が大部分を占めているが、昭和 53 年及び昭和 57 年に作成された資料であり、現在は石灰岩の採掘後に実施された客土が大部分を占めている。また進入道路では同様に褐色森林土が大部分を占めているが、一部で黄色土壌が見られる。

なお、対象地域には、「土壌汚染対策法」（平成 14 年 5 月 29 日法律第 53 号）第六条第 1 項及び第十一条 1 項の規定に基づく指定区域、「ダイオキシン類対策特別措置法」（平成 11 年 7 月 16 日法律第 105 号）第二十九条第 1 項の規定に基づくダイオキシン類土壌汚染対策地域、及び「農用地の土壌の汚染防止等に関する法律」（昭和 45 年 12 月 25 日法律第 139 号）第三条第 1 項の規定に基づく農用地土壌汚染対策地域はない。

(2) 地盤の状況

高知県における「公害苦情件数等調査結果報告書」（平成 14 年～28 年　高知県環境対策課）によると、対象地域において、広域的な地盤沈下に係る問題は発生していない。

なお、対象地域には、「工業用水法」（昭和 31 年 6 月 2 日法律第 146 号）第三条第 1 項の規定に基づく指定地域、「建築物用地下水の採取の規制に関する法律」（昭和 37 年 5 月 1 日法律第 100 号）第三条第 1 項の規定に基づく建築物用地下水の採取を規制する地域、「地盤沈下防止等対策の推進について」（昭和 56 年 11 月 18 日関係閣僚会議決定）に基づき策定された地盤沈下防止等対策要綱の対象地域はない。



凡　例　（伊　野）

記号	名称		備考	記号	名称		備考
Ns-3	中筋3統	乾性褐色森林土壌（黄褐系）	山地および丘陵地の土壌	Ytk	四倉統	細粒灰色低地土壌	台地および低地の土壌
Ns-4	中筋4統	褐色森林土壌（黄褐系）		Sag	佐賀統		
Hz	筆山統	乾性褐色森林土壌（赤褐系）		Kmj	鴨島統		
Tkb	岳辺田統（徳王寺統－Ⅰ、栗ノ木統－Ⅰ）	細粒褐色森林土壌	台地および低地の土壌	Okk	追子野木統	礫質灰色低地土壌	
Kit	北多久統	黄色土壌		Kok	国領統		
Jom	常万統			Tgw	田川統	細粒グライ統	

凡　例　（須　崎）

記号	名称		備考	記号	名称		備考
Ns-1	中筋1統	乾性褐色森林土壌	山地および丘陵地の土壌	Kmj	鴨島統	黄色土壌	台地および低地の土壌
Ns-2	中筋2統	褐色森林土壌		Km	加茂統	灰色低地土壌	
Ns-3	中筋3統	褐色森林土壌（黄褐系）		Kus	久世田統	粗粒灰色低地土壌	
Ns-4	中筋4統			Kok	国領統	粗粒灰色低地土壌	
Hz	筆山統	褐色森林土壌（赤褐系）		Nol	野市統	灰色低地土・下層黒ボク	
Tkb	岳辺田統（徳王寺統－Ⅰ、栗ノ木統－Ⅰ）	細粒褐色森林土壌	台地および低地の土壌	Hkr	保倉統	細粒グライ土壌	
Sag	佐賀統	黄色土壌					

出典：土地分類基本調査図 土じょう図 伊野（昭和57年6月 高知県）
土地分類基本調査図 土じょう図 須崎（昭和53年6月 高知県）

図名　図 3.1.14　土壌図

N　W　E　S

S = 1:25,000
0　0.5　1.0　1.5km

3.1.4. 地形及び地質の状況

(1) 地形の状況

図 3.1.15 によれば、対象地域の建設予定地付近では、上起状山地及び小起伏山地といった、山地地形が大部分を占めているが、昭和 53 年及び昭和 57 年に作成された資料であり、現在は石灰岩の採掘後に実施された客土が大部分を占めている。また、進入道路でも同様に、山地地形が大部分を占めているが、国道付近の河川等低地部では、一部で谷底平野・氾濫原性低地が見られる。

(2) 地質の状況

対象地域の建設予定地付近では、泥岩および泥岩がち砂岩との互層（古生紀）からなる固結堆積物が広く分布している。また、進入道路でも同様に、主に泥岩および泥岩がち砂岩との互層が占めるが、一部で石灰岩や砂岩といった固結堆積物、河川部付近では砂・礫・泥といった未固結堆積物が分布している（図 3.1.16 参照）。

(3) 重要な地形・地質

対象地域において以下の重要な地形・地質が確認された（表 3.1.19 参照）。また、確認された地形・地質の位置を図 3.1.17 に示す。

対象地域にはすぐれた自然地域（地形・地質・自然現象）（第一回自然環境保全基礎調査　高知県すぐれた自然図（環境庁、昭和 48 年））としては、「三畳紀の化石産地」、「二畳紀新世の含化石石灰岩」、「三畳紀化石産地・蔵法院統の模式地」、「ジュラ紀化石産地」、「神原谷衝上線の露頭」が確認された。

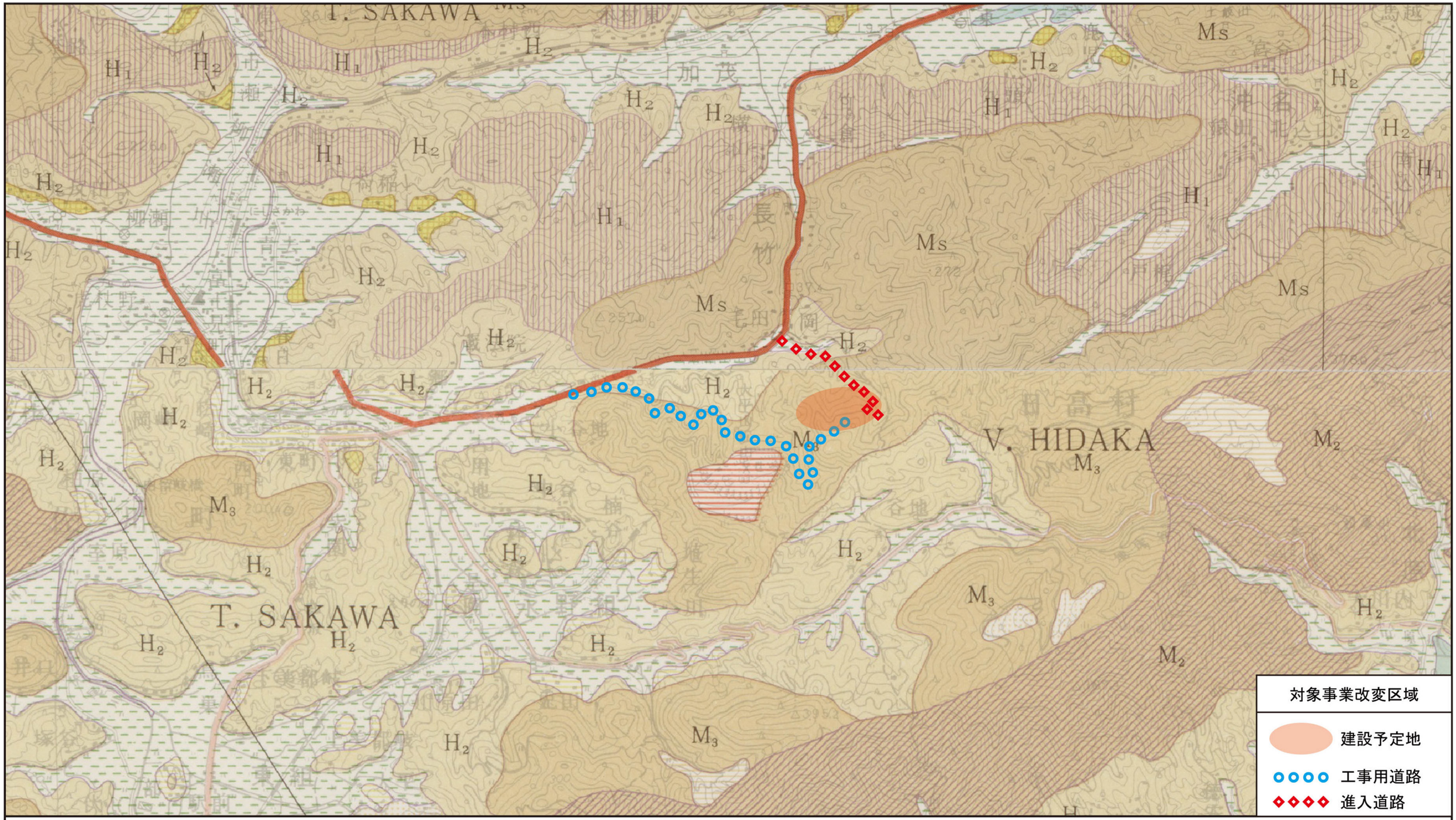
また、自然景観資源（第三回自然環境保全基礎調査　高知県自然環境情報図（環境庁、平成元年））としては、「猿田洞」が確認された。

町指定の文化財（天然記念物）としては、「介石山化石産地」、「川内ヶ谷化石産地」、「蔵法院化石産地」、「小谷地化石産地」、「吉田屋敷化石産地」、「鳥の巣石灰岩」が確認された。

表 3.1.19　文献調査にて確認された重要な地形・地質

No.	名称	文献	No.	名称	文献
1	三畳紀の化石産地	1	7	介石山化石産地	3
2	二畳紀新世の含化石石灰岩	1	8	川内ヶ谷化石産地	3
3	三畳紀化石産地 蔵法院統の模式地	1	9	蔵法院化石産地	3
4	ジュラ紀化石産地	1	10	小谷地化石産地	3
5	神原谷衝上線の露頭	1	11	吉田屋敷化石産地	3
6	猿田洞	2	12	鳥の巣石灰岩	3

出典：1.「第一回自然環境保全基礎調査　高知県すぐれた自然図」（昭和 48 年　環境省）
2.「第三回自然環境保全基礎調査　高知県自然環境情報図」（平成元年　環境省）
3.「佐川町の文化財」（平成 30 年 3 月 佐川町教育委員会）



凡 例

記号	名称	備考	記号	名称	備考	記号	名称	備考
M_2	上起状山地（起状量400～200m）	山地	H_2	小起状丘陵（起状量100m以下）	丘陵地		三角州性低地	低地
Ms M_1	小起状山地（起状量200m以下）			上位段丘	台地		河川・溜池（水面）	その他
	山頂山腹緩斜地（一部の準平原遺構を含む）			中位砂礫台地			人工平坦地（埋立地）	
	山麓緩斜面（土石流・崖錐地形などを含む）			下位砂礫台地			国道	
H_1	大起状丘陵（起状量200～100m）	丘陵地		谷底平野・氾濫原性低地	低地		地方道	

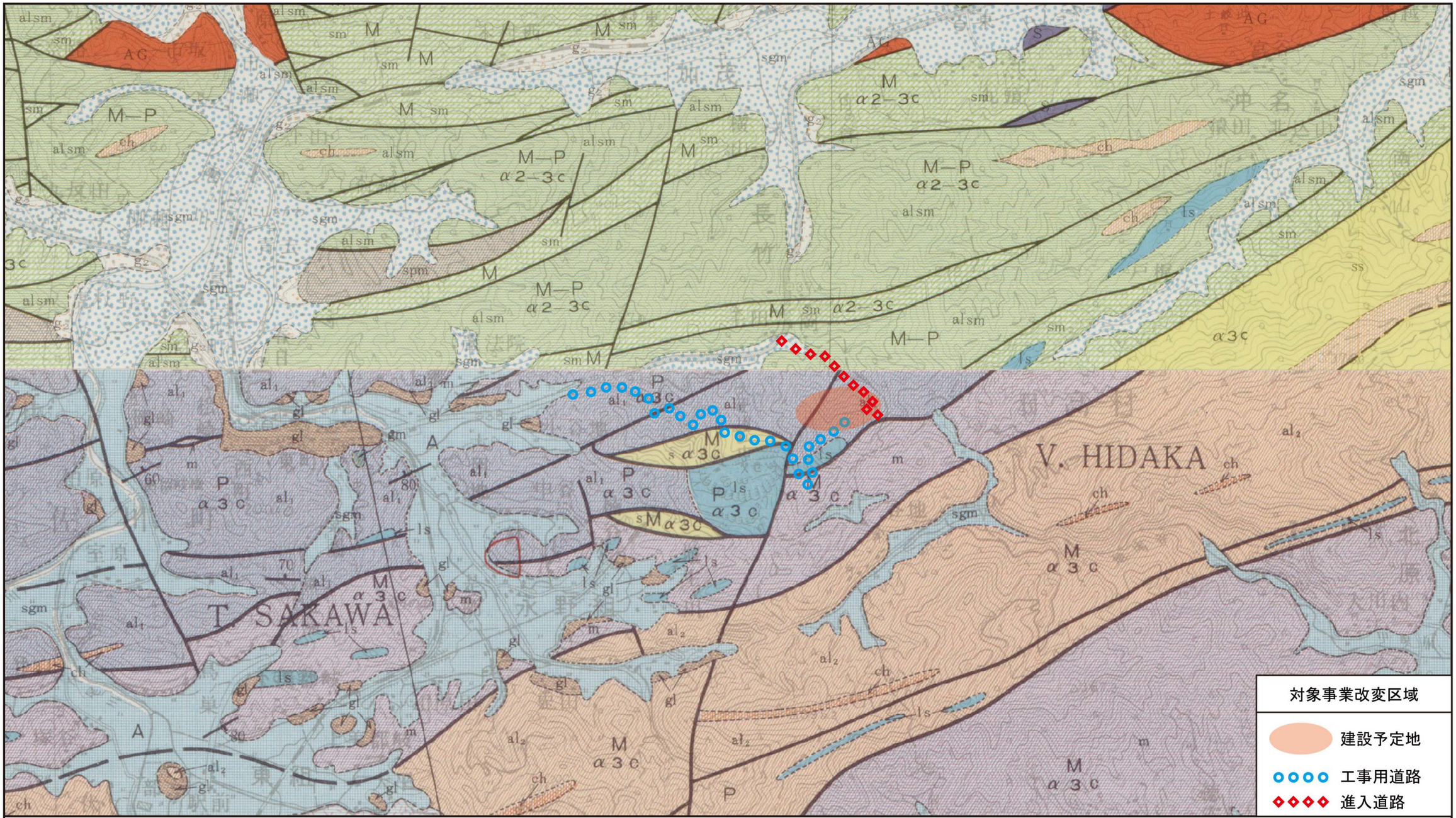
出典：土地分類基本調査図 地形分類図 伊野（昭和57年6月 高知県）
土地分類基本調査図 地形分類図 須崎（昭和53年6月 高知県）

図名	図 3.1.15 地形分類図

N W E S

S = 1:25,000

0 0.5 1.0 1.5km



伊野

凡例

記号	名称	備考	記号	名称	備考
ss	砂岩・砂岩泥質岩互層	未固結堆積物	al sm	砂岩泥岩互層・混在岩層	固結堆積物
sm	砂岩泥質岩互層（中生界）		ch	チャート	
gl	礫・砂・泥（段丘堆積物）		ls	石灰岩・結晶質石灰岩	
gsm	砂・礫・泥（沖積低地堆積物）		apan	片岩状の泥岩・混合岩層（伊野層）	
S	蛇紋岩		AG	寺野変成岩類・三滝花崗岩類	変成岩

須崎

凡例

記号	名称	備考	記号	名称	備考
sgm	砂・礫・泥	未固結～半固結堆積物	al$_2$	砂岩および砂岩がち泥岩との互層	固結堆積物
gl	礫・砂（低位段丘堆積物）		s	主として砂岩	
gm	礫・砂（中位段丘堆積物）		ls	石灰岩	
m	主として泥岩	固結堆積物	ch	チャート	
al$_1$	泥岩および泥岩がち砂岩との互層				

凡例

記号	名称	備考	記号	名称	備考
50	走向・傾斜	その他	M-P	中～古生紀	時代
	断層		P	古生紀	
T.L	構造線		c	硬（耐圧強度100kg/cm^{2}以上）	岩片のかたさ
	地層境界		2	中（弾性波速度1.5～3.0km/sec）	岩体のかたさ
	地すべり防止区域		3	硬（弾性波速度3.0km/sec以上）	
A	沖積紀	時代	α	浅い（約3m以浅）	風化殻の深度
M	中生紀				

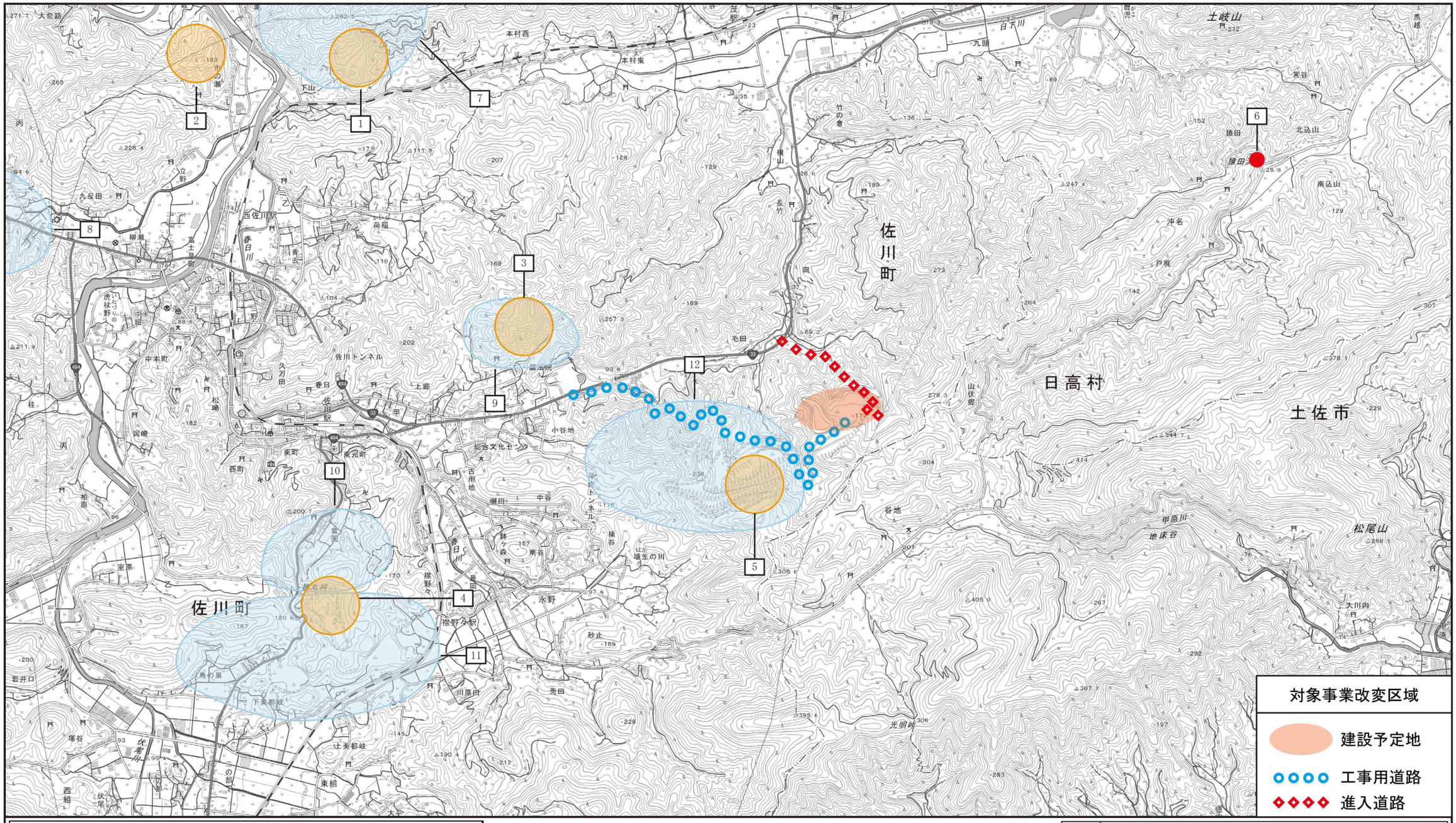
出典：土地分類基本調査図 表層地質図 伊野（昭和57年6月 高知県）
土地分類基本調査図 表層地質図 須崎（昭和53年6月 高知県）

図名　図 3.1.16　表層地質図

N　W　E　S

S = 1:25,000

0　0.5　1.0　1.5km



凡　例

記　号	番　号	名　称	記　号	番　号	名　称
	1	三畳紀の化石産地		7	介石山化石産地　※
	2	二畳紀新世の含化石石灰岩		8	川内ヶ谷化石産地　※
	3	三畳紀化石産地 蔵法院統の模式地		9	蔵法院化石産地　※
	4	ジュラ紀化石産地		10	小谷地化石産地　※
	5	神原谷衝上線の露頭		11	吉田屋敷化石産地　※
	6	猿田洞		12	鳥の巣石灰岩　※

※佐川町指定文化財の化石産出地については詳細な位置が不明なため、
化石が産出する地域を概略的に示している。

出典：第1回自然環境保全基礎調査　高知県すぐれた自然図（昭和48年　環境庁）
第3回自然環境保全基礎調査　高知県自然環境情報図（平成元年　環境庁）
佐川町教育委員会調べ（令和2年10月現在）

図名	図 3.1.17　重要な地形・地質位置図

N　W　E　S

S = 1:25,000

0　0.5　1.0　1.5km

(4) 化石産出地の状況

対象地域となる佐川町は多くの地層が存在し、多数の化石産出地から様々な種類の化石が産出する。以下に、佐川町における化石産出地及び産出化石の概要（参考資料：佐川町史 佐川町地質図（昭和 57 年 佐川町）、20 万分の 1 地質図幅 高知（第 2 版）（平成 30 年 産業技術総合研究所））を示す。

A) 佐川町史 佐川町地質図（昭和 57 年、佐川町）

佐川町史 佐川町地質図によると、佐川町の地質分布は北側から 1 ゾーン（北帯）、2 ゾーン（中帯）、3 ゾーン（南帯）の大きく 3 つのゾーン（地帯）に分けられる（図 3.1.18 参照）。また、各帯における地帯区分を表 3.1.20 に、それぞれの地帯に分布する地層・岩類を表 3.1.21 に示し、各地層の概要及び産出化石等を表 3.1.22 に示す。なお、白亜系の地層である黒原層に関しては、文献調査にて詳細な記述が確認できなかった。

対象地域の建設予定地及び進入道路周辺は、2-D～2-E に位置し、高岡層・下部白亜系（山ノ神層）・石灰岩・チャート・鳥ノ巣群層が分布する。

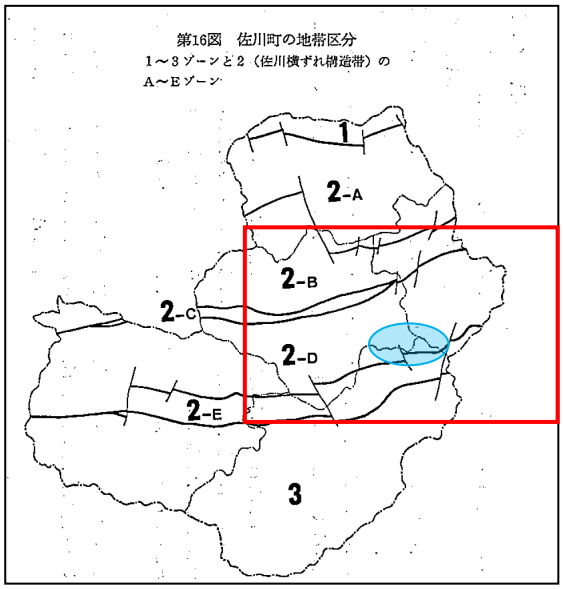


図 3.1.18 佐川町の地形区分

（赤枠は図郭を、青枠は建設予定地付近を示す）

表 3.1.20 佐川町の地帯区分

第17表 佐川町の地帯区分
（1～3及び2のA～Eゾーン）

1……白木谷層群の分布する帯

2…（佐川横ずれ構造帯）
- A 白亜系堆積岩（介石山層及び黒原層・四ツ白層・文城層・宮ノ原層）の分布する帯
- B 高岡層（市ノ瀬層群を含む）～川内ヶ谷層群～三滝火成岩類など からなる構造帯
- C 伊野層～三滝火成岩類～蛇紋岩などからなる構造帯
- D 高岡層～蔵法院層群～鳥ノ巣層群～白亜系（山ノ神層）など からなる構造帯
- E 鳥ノ巣層群の主として分布する帯

3……虚空蔵山層群の分布する帯

表 3.1.21 佐川町に分布する地層・岩類

第四系	沖積統	（谷底平野堆積物）
	洪積統	（河岸段丘の一部に残存）
白亜系	上部白亜系	ギリヤーク統（宮ノ原層）
	下部白亜系	宮古統（四ツ白層・文城層・介石山層・黒原層）
		領石統（山ノ神層?）
ジュラ系	鳥ノ巣層群	
	七良谷層	
三畳系	川内ヶ谷層群	
	蔵法院層群	
ジュラ系～石炭系複合層（プレート付加体）	市ノ瀬層群	
	高岡層	
	虚空蔵山層群	
	白木谷層群	
黒瀬川構造帯の諸岩類	三滝火成岩類	
	寺野変成岩類	
	伊野層（準片岩）	

表 3.1.22（1）　佐川町に分布する地層・岩類の概要及び産出化石（1/5）

年代	地層名	概要	産出化石
ジュラ系～石灰系複合層 （プレート付加体）	高岡層	二畳紀から三畳紀のチャート及び二畳紀の石灰岩が、砂岩及び頁岩層（ジュラ紀と推定）と複雑にまじりあった岩相を示す。	石灰岩から二畳紀のネオシュワゲリナ、シュワゲリナ等のフズリナ化石が産出する。
	市ノ瀬群層	佐川町川内ヶ谷北方（赤土トンネル北側）より、市ノ瀬・下山にかけて分布する。 主に塊状頁岩・粗粒砂岩・礫岩からなり、凝灰質頁岩や石灰岩の小レンズを含む。	○山姥地区の石灰岩 *Schizophoria indica*、*Schzophoria* sp.、*Orthotichia derbyi*、*Camarophoria mutabilis*、*Streptorhynchus pseudopelargonarus*、*Aulosteges polyangensis*、*Martinia orbicularis*、*Spiriferina* sp.、*Omphalophyllia yamannbaensis*、*Lonsdaleiastraea yamanbaensis*、*Parafusulina* sp. ○下山地区の石灰岩から三葉虫の化石を産出 *Waagenophyllum indicum*、*Amblysiphonella shikokuensis*、*Amblysiphonella mabuchii*、*Rhabdactina columnaria* ○下山地区の礫岩のマトリックスからフズリナやサンゴの化石を産出 *Codonofusiella* cfr. *cuniculata*、*Shwagerina* sp. cfr. *S.* aff. *acris*、*Schwagerina* sp.、*Verbeekina* sp.、*Yabeina* cfr. *columbiana*、*Yabeina yasubaensis*、*Yabeina* sp.、*Waagenophyllum indicum* ○中帯の桂～柏原間砂岩より二枚貝その他化石を産出 *Palaeoneilo* sp. *Nucula* sp. *Nuculopsis orientalis*、*Nuculopsis* sp.、*Neoschizobus kobayashii*、*Actinodontophora katsuraensis*、*Dentalium* (*Laevidentalium*) sp. aff. *D.*(*L.*) *priscum*、*Warthica lata*、*Mogulina* cfr. *regularis*

表 3.1.22（2）　**佐川町に分布する地層・岩類の概要及び産出化石（2/5）**

年代	地層名		概要	産出化石
ジュラ系～石灰系 複合層 （プレート付加体）	白木谷層群		砂岩・頁岩・石灰岩・ドロマイト・チャート・赤色頁岩及び緑色岩類からなる。石灰岩の年代は石炭紀から二畳紀、チャートや赤色頁岩は石炭紀からジュラ紀、マトリックスの頁岩はジュラ紀とされている。佐川の北方に分布する。	産出化石等は不明。
	虚空蔵山層群		下部部層（石灰岩・チャート・緑色岩類等）、中部部層（砂岩・頁岩を含むチャート）、上部部層（チャートを狭在する砂岩・頁岩）に分けられる。	勝森鉱山では、チャートから三畳紀の放散虫が産出する。
三畳系	蔵法院層群		中帯の南部一帯にレンズ状に分布し、主として黒色砂質頁岩よりなる。	砂質頁岩中より、ダオネラ（二枚貝）その他の化石を産出する。
	川内ヶ谷層群	上部川内ヶ谷亜層群	断層に切られ断片的に分布する。礫質の部分を含む砂質頁岩・塊状泥質砂岩が多い。	モノチス（二枚貝；*Monotis*（*Entomonotis*）*ochotica*、*Monotis*（*Entomonotis*）*zabaikalica*、*Monotis*（*Entomonotis*）*tenuicostata*）その他の化石を産出する。
		下部川内ヶ谷亜層群	下部層（オキシトマ-ミチルス層）と上部層（ミオコンカ-ハロビア・トサペクテン層）に分かれる。 下部層は主として淡緑色塊状の粗粒砂岩及び粒径不揃いの粗粒砂岩よりなる。 上部層は砂岩頁岩・細粒砂岩。砂岩勝ち互層よりなる。	下部層では*Sakawanella triadica*や*Mytilus*（*Falcimytilus*）*nasai nagaides*といった貝化石を産出。 上部層では*Halodia kawadai*、*Tosapecten suzukii*、*Triaphorus trapezoidalis*、*Oxytoma mojsisovicus*といった貝化石を産出。

表 3.1.22（3）　**佐川町に分布する地層・岩類の概要及び産出化石（3/5）**

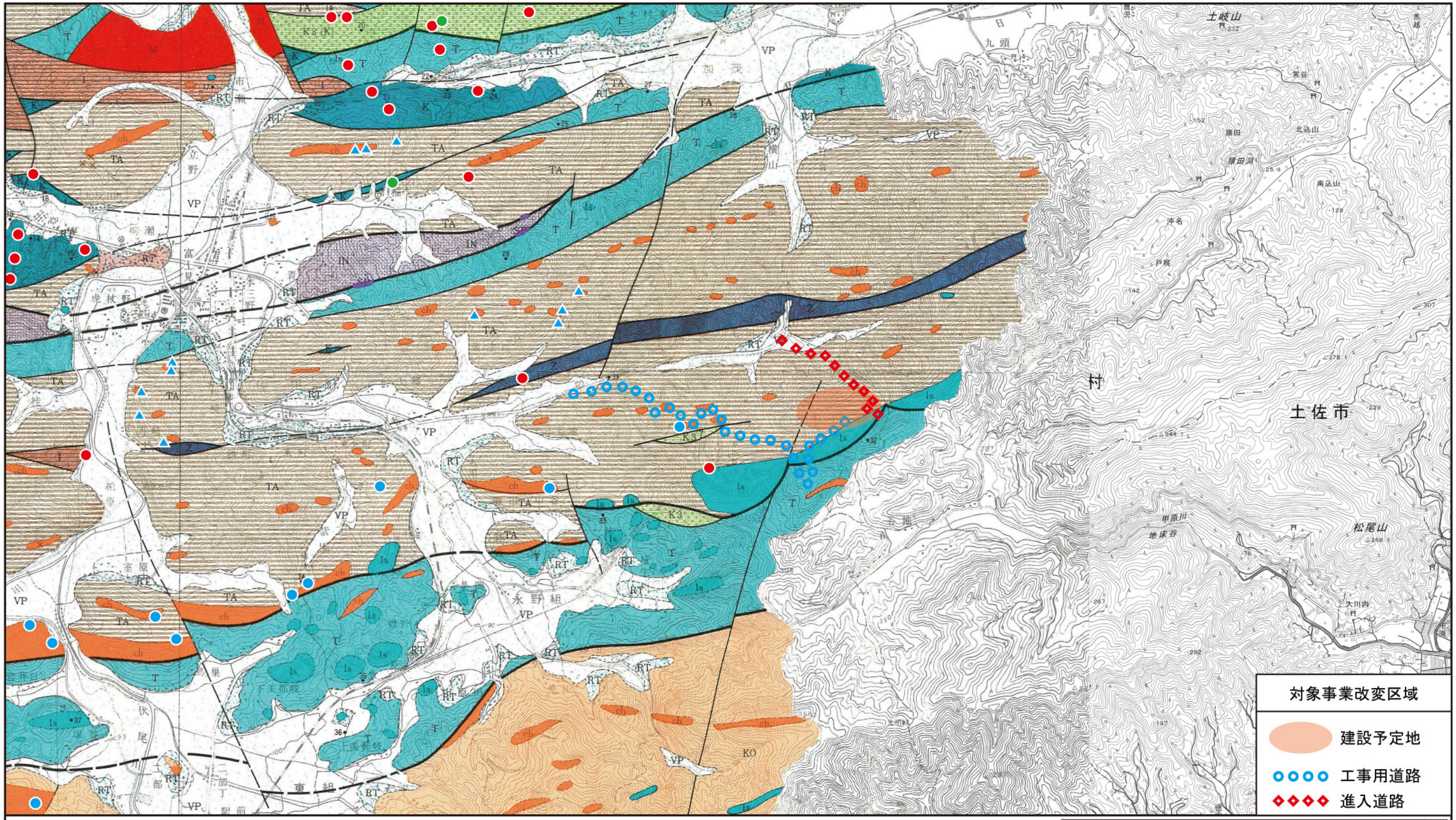
年代	地層名	概要	産出化石
ジュラ系	鳥ノ巣群層	佐川盆地付近で最もよく発達し、帯状あるいはレンズ状に断続して分布する。 頁岩ないし頁岩勝ち互層を主とし、塊状砂岩を伴う。また、鳥ノ巣石灰岩が各所でみられる。	鳥ノ巣石灰岩からは石灰藻・ヒドロムシ・サンゴ等が多産し、その他ウニ類・巻貝・腕足貝等も産出する。 石灰岩以外の岩石からは、鳥ノ巣二枚貝化石群（*Grammatodon takiensis*、*Entolium yatsujiensis*、*Linotrigonia toyamai*、*Opis* (*Trigonopsis*) *torinosuensis*）や巻貝・アンモナイトが知られる。
	七良谷層 ※佐川町地質図上では鳥ノ巣群層に含めて着色してある	南帯北縁部の鳥ノ巣群に伴って幅狭く分布している。主に砂質頁岩ないし頁岩勝ち互層・細粒砂岩などであり、泥質ないし砂質石灰岩のレンズをはさんでいる。	石灰岩からウニ・サンゴ・腕足貝が産出する。
白亜系	介石山層	白亜系分布地域の南側に分布する。 主に灰色の中～粗粒砂岩と頁岩の砂岩勝ち互層によりなる。 バレミアンからアプチアン下部の範囲に当たる、前期白亜系の化石を産出する。	○加茂字治谷 *Pterotrigonia* (*Pterotrigonia*) *pocilliformis*、*Amphidonte* sp. aff. *A. subhariotoides*、*Portlandia* sp., cf. *P. sanchunsis*、*Eriphyla* sp. cf. *E. minima*、*Astarte* sp. cf. *subsenecta*、*Laevicardium* sp.、*Caestcorbula minima*、*Nucula* (*Pectinucula*) sp.、*Nuculopsis* (*Palaeonucula*) *ishidoensis*、*Amphidonte* sp.、*Portlandia* sp. cf. *P. sanchuensis*、*Eriphyla* sp. cf. *E. minima*、植物化石 ○黒瀬 *Nuculopsis* (*Palaeonucula*) *ishidoensis*、*Portlandia* sp. cf. *P. sanchuensis*、*Glycymeris* sp.、*Pterotrigonia* (*Pterotrigonia*) *pocilliformis*、*Goshoraia*(?) sp.、*Caestcorbula minima* ○西内ヶナロ *Astarte subsenecta*、*Laevicardium*(?) *ishidoensis* ○柴尾北々東 *Nipponitrigonia convexa*、*N.* aff. *kikuchiana*、*Plerotrigonia* (*Pterotrigonia*) *pocilloformis*

表 3.1.22（4）　**佐川町に分布する地層・岩類の概要及び産出化石（4/5）**

年代	地層名	概要	産出化石
白亜系	四ツ白層	佐川町の北側に位置する。 地層の南側の分布地域では、下部に著しい礫岩から始まり、粗粒砂岩・砂岩頁岩互層の順に重なっている。北側の分布地域では、主に暗色の頁岩と砂岩頁岩の細互層からなる。	○二ツ野南方 所属不明のアンモナイト ○黒瀬北方 *Parvamussium* sp. ○黒瀬西方 *Parvamussium hinagensis*、*Cosmetodon tomochiensis*、*Mesosaccella* cf. *insignis*、植物破片 ○柴尾東方 *Nucula* (*Pectinucula*) sp.、*Mesosaccella* cf. *insignis*、*Parvamussium* sp.、*Inoceramus* cf. *anglicus*、*Mirtea* sp. ○柴尾東北東 *Nucula* (*Pectinucula*) sp.、*Mesosaccella* cf. *insignis*、*Parvamussium* sp.、*Mirtea* sp. ○文城西方 *Parvamussium* sp.、*Desmoceras*(?) sp.
	文城層	佐川町北方に位置する。 下部層と上部層に分けられ、下部層は砂岩優勢な砂岩と頁岩の大まかな互層の岩相を示し、二枚貝を産出する。 上部層は頁岩を主とする砂岩頁岩互層である。上部層では化石の産出が知られていない。	文城層下部 ○山本南東 *Mirtea* sp. ○文城東方 *Trigonoarca obliquata*、*Eonavicula prolata*、*Modiolus falcatus*、*Gervillaria* aff. *haradae*、*Plicatula* sp.、*Pinna* sp. cf. *robinaldina*、*Neithea* (*Neithea*) *amanoi*、*Isognomon* sp.、*Nemodon* sp.、*Pterotrigonia* (*Acanthotrigonia*) *moriana*、*P.* (*Scabrotrigonia*?) sp.、*Crassatellites* (*Pachysaellas*) sp. cf. *C.*(*P.*) *kagaharensis*、*Pseudocardia* sp.、*Eriphyla* (*Miyakoella*) sp. cf. *E.*(*M.*) *miyakoensis*、*Laevicardium corpulentum*、*Scittila* sp. cf. *S. japonica*、*Panopea* (*Myopsis*) sp.

表 3.1.22（5）　**佐川町に分布する地層・岩類の概要及び産出化石（5/5）**

年代	地層名	概要	産出化石
白亜系	宮ノ原層	柳瀬川左岸の大田川～宮ノ原間に分布し、北側の下部層と南側の上部層に分けられる。 下部層は砂岩勝ち互層、上部層は泥質岩が主となる岩相を示す。	下部層 ○宮ノ原西北西 *Inoceramus*(?) sp.、*Pterotrigonia* (*Acanthotrigonia*) cf. *ogawai* 上部層 ○宮ノ原 *Nucula* (*Pectinucula*) cf. *sanbonsugii*、*Glycymeris* (*Hanaia*) *hokkaidoensis*、*Cuculla* (*Idonearca*) *ezoensis amaxensis*、*Pterotrigonia* (*Acanthotrigonia*) *pustulosa*、*P.*(*P.*) *brevicula*、*P.*(*A.*) *mifunensis*、*P.*(*A.*) *n.* sp.、*Mirtea* sp.、*Anthonya* cf. *mifunensis*、*Eonavicula* sp.、*Crassatellites* (*Pachysaellas*) *japonica*、*Goshoraia crenulatus*、*Pholadomya japonica*、*Goniomya* sp.、*Ostrea* sp.、*Mesosaccella*(？) sp.、*Eucalycoceras* sp.
	山ノ神層	大平山南部に分布し、粗粒石英質砂岩及び砂岩頁岩互層よりなる。	三角貝その他化石を産出する。 *Nipponitrigonia kikuchiana*、*Nipponitrigonia convexa*、*Nipponitrigonia sakamotoensis*、*Rutitrigonia yeharai*、*Plerotrigonia pocilliformis*、*Cyrena* sp.
黒瀬川構造帯の諸岩類	三滝火成岩類	主に馬ノ原のレンズ状体に分布するが、奥畑、青去でも小規模に見られる。 緑灰色ないし暗緑色の黒雲母―角閃石花崗閃緑岩を主とする。	産出化石等は不明。
	寺野変成岩類	馬ノ原のレンズ状体に分布する。 角閃石、雲母片岩、片麻状ざくろ石角閃岩等の高変成度の変成岩類が占める。	産出化石等は不明。
	伊野層（準片岩）	青去～虎杖野の南側にレンズ状に分布する。 主に緑色準片岩ないし準片岩質凝灰岩・準片岩質砂岩頁岩互層よりなる。	上部石炭系～下部ペルム系のコノドントが産出する。



凡例					
VP	谷底平野	TA	高岡層	KO	虚空蔵山層群
RT	河川段丘	T	市ノ瀬層群	ls	石灰岩
K-3 (BU・BL・Y・K)	下部白亜系	IN	伊野層	ch	チャート
T	鳥ノ巣群層（七良谷層を含む）	S	シルル系		地層界線
K	川内ヶ谷層群	M	三滝火成岩類		断層
Z	蔵法院層群	SP	蛇紋岩		構造線

凡例		
記号	名称	備考
●	主要貝化石産地	公表されている地点
●	主要植物化石産地	
●	主要コノドント化石検出地（三畳紀）	小池・岸本，1979：佐藤・松田，1981より
▲	主要コノドント化石検出地（二畳紀 一部石炭紀）	

出典：佐川町地質図（その1）（昭和57年 佐川町）

図名　図 3.1.19　佐川町周辺の地質、化石産出地位置図

N　W　E　S

S = 1:25,000

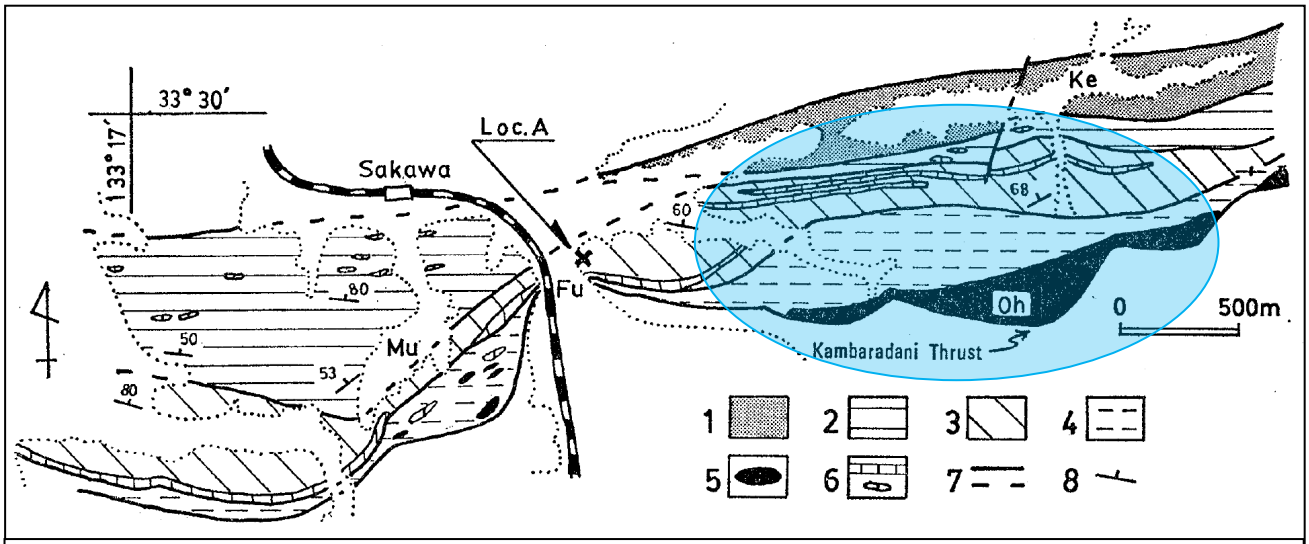
0　0.5　1.0　1.5km

B) 20 万分の 1 地質図幅 高知（第 2 版）（平成 30 年、産業技術総合研究所）

「20 万分の 1 地質図幅 高知（第 2 版）」によると、建設予定地及び進入道路（対象地域）付近の概要を図 3.1.21 に示す。なお、「20 万分の 1 地質図幅 高知（第 2 版）」では建設予定地付近を十分に表示できないため、「5 万分の 1 地質図幅 伊野」を併せて示す。

建設予定地及び進入道路（対象地域）付近では、毛田層、大平山ユニット、山ノ神層、鳥ノ巣群が分布する。次頁に各地層の概要及び産出化石等を示す。

また、上記の大平山ユニットについて、松岡, 1985 に示されている、大平山ユニット付近の概略図を以下に示す。

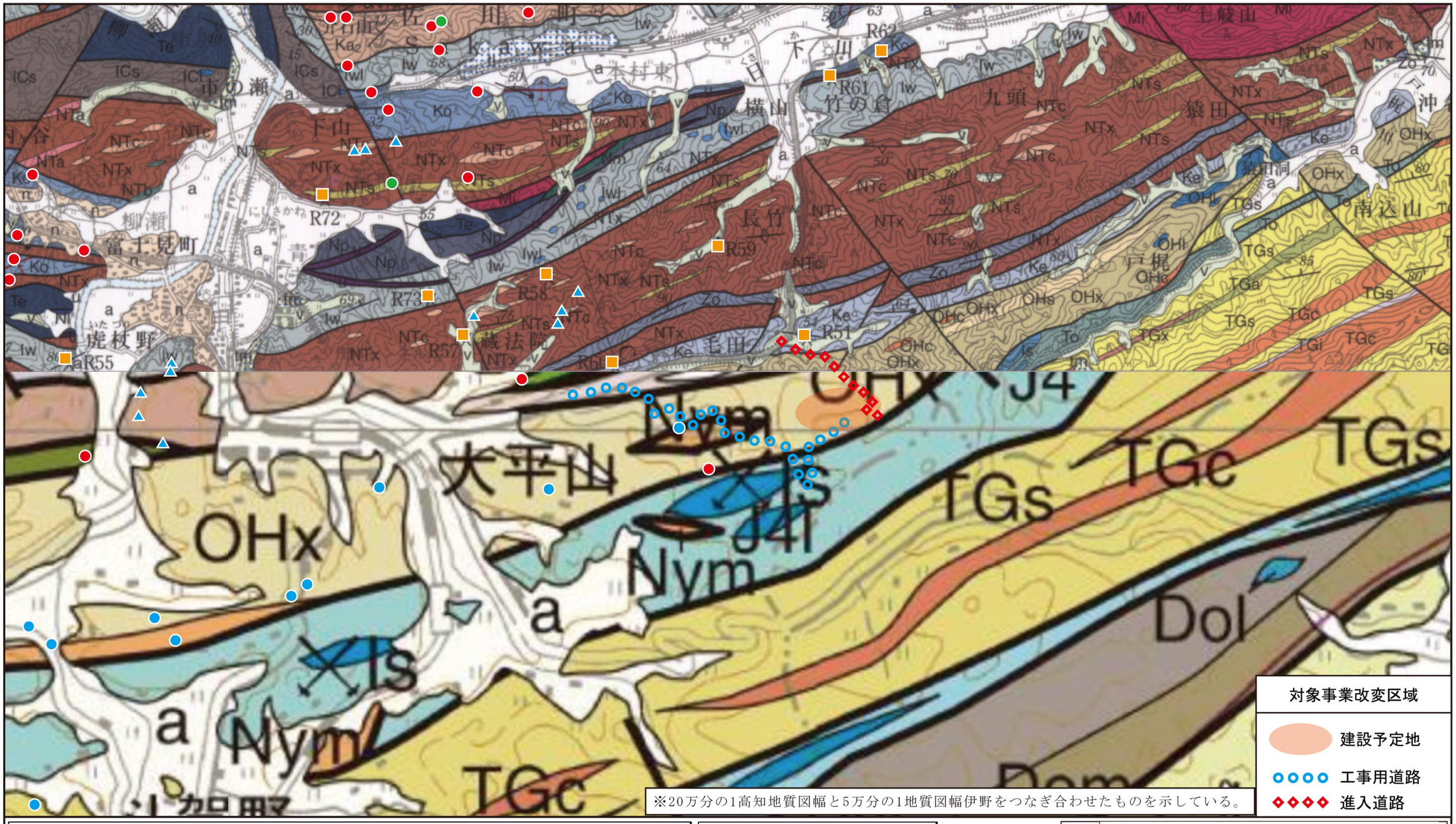


1：毛田層　2：紫園層　3：古用地層　4：大平山層　5：石灰岩　6：チャート　7：断層
8：走向傾斜　Ke：毛田　Oh：大平山　Fu：古用地　Mu：紫園
青枠の箇所は概ねの対象地域及び周辺を示す。

図 3.1.20　大平山ユニット付近の地質・岩類の概略図（松岡, 1985 より）

表 3.1.23　対象地域に分布する地層・岩類の概要及び産出化石

年代	地層名		概要	産出化石
中期ジュラ紀	毛田層		毛田を中心に南北 200～300m の幅で東西に帯状に分布。 泥岩・砂岩を主とし、ごく少量の酸性凝灰岩を伴う。 砂岩層が卓越する下部層と、泥岩層が卓越する上部層に分かれる。	上部層ではジュラ紀中世頃の放散虫化石を産出する。 *Tricolocapsa plicarum* 、 *T.*(?) *fusiformis* 、 *T.*(?) sp. aff. *T.*(?) *fusiformis*、*T.* sp. cf. *T. ruesti*、*Williriedellum* sp. A、*Stichocapsa japonica*、*S. convexa*、*Eucyrtidium*(?) *unumaense*、*Protunuma fusiformis*、*Hsum* sp. cf. *H. maxwelli*
前期ジュラ紀 ～ 後期ジュラ紀	大平山ユニット	大平山層	石灰岩、チャート、砂岩の礫を含む礫質泥岩から成る。	石灰岩から、ペルム紀中世を示す紡錘虫化石を産出する。
		古用地層	チャートと砂岩及び砂岩・泥岩互層を主俊、泥岩を伴う。	チャートから、トリアス紀コノドント、トリアス紀放散虫を産出する。 泥質岩からはジュラ紀古世を示す放散虫（*Archicapsa pachyderma*、*Minocapsa cylindrica*、*Saitoum* sp.等）を産出。
		紫園層	砂岩、チャートの礫を含む礫質泥岩から成る。	本層からは化石は未発見。
前期白亜紀	山ノ神層		大平山南部に分布し、粗粒石英質砂岩及び砂岩頁岩互層よりなる。	三角貝その他化石を産出する。 *Nipponitrigonia kikuchiana*、*Nipponitrigonia convexa*、*Nipponitrigonia sakamotoensis*、*Rutitrigonia yeharai*、*Plerotrigonia pocilliformis*、*Cyrena* sp.
後期ジュラ紀 ～ 後期白亜紀	鳥ノ巣群		佐川盆地付近で最もよく発達し、帯状あるいはレンズ状に断続して分布する。 頁岩ないし頁岩勝ち互層を主とし、塊状砂岩を伴う。また、鳥ノ巣石灰岩が各所でみられる。	鳥ノ巣石灰岩からは石灰藻・ヒドロムシ・サンゴ等が多産し、その他ウニ類・巻貝・腕足貝等も産出する。 石灰岩以外の岩石からは、鳥ノ巣二枚貝化石群（*Grammatodon takiensis*、*Entolium yatsujiensis*、*Linotrigonia toyamai*、*Opis*（*Trigonopsis*）*torinosuensis*）や巻貝・アンモナイトが知られる。



凡例

記号	名称	内容	年代
a	沖積層	礫及び砂	完新世
HYa	半山ユニット	砂岩泥岩互層	前期白亜紀の後半～後期白亜紀
Doa	堂ヶ奈路層	砂岩泥岩互層	前期白亜紀の後半～後期白亜紀
Dol		石灰岩	
Dom		泥岩	
Nym	砂岩	山ノ神層	前期白亜紀
J4	鳥ノ巣群層	砂岩及び泥岩	後期白亜紀
J4l		石灰岩	後期ジュラ紀～前期白亜紀の前半

記号	名称	内容	年代
SMx	三宝山ユニット	混在岩	後期ジュラ紀～前期白亜紀の前半
SMc		チャート	
SMl		石灰岩	
TGs	斗賀野ユニット	砂岩及び砂岩泥岩互層	後期ジュラ紀～前期白亜紀の前半
TGc		チャート及び珪質泥岩	中期～後期ジュラ紀
OHl	大平山ユニット	石灰岩	前期ジュラ紀
OHx		混在岩及び砂岩泥岩互層	中期～後期ジュラ紀
STx	新改－土佐山ユニット	混在岩	後期ペルム紀

記号	名称	内容	年代
lAp	伊野－上倉ユニット	泥質千枚岩	中期ペルム紀
J3	岩目地層	砂岩、泥岩及び石灰岩	中期～後期ジュラ紀
J2	毛田層	砂岩及び泥岩	中期ジュラ紀
Ko	川内ヶ谷層群	礫岩、砂岩及び泥岩	後期三畳紀
Zo	蔵法院層	泥岩及び砂質泥岩	中期三畳紀
P2	市ノ瀬層	砂岩、泥岩及び礫岩	後期ペルム紀
Mi	三滝火成岩類	花崗岩、花崗閃緑岩及びトーナル岩	オルドビス紀～シルル紀
Te	寺野変性岩類	角閃岩及び黒雲母片麻岩	オルドビス紀～シルル紀

凡例

記号	名称	備考
●	主要貝化石産地	公表されている地点（佐川町地質図より）
●	主要植物化石産地	
●	主要コノドント化石検出地（三畳紀）	佐川町地質図より（小池・岸本，1979；佐藤・松田，1981）
▲	主要コノドント化石検出地（二畳紀－一部石炭紀）	
■	放散虫化石産地（ペルム紀－ジュラ紀）	5万分の1地質図幅「伊野」より

出典：20万分の1 高知地質図幅（第2版）
（平成30年 産業技術総合研究所 地質調査総合センター）
佐川町地質図（その1）（昭和57年 佐川町）
5万分の1地質図幅「伊野」
（平成19年 産業技術総合研究所 地質調査総合センター）

図名　図 3.1.21(1)　佐川町周辺の地質、化石産出地位置図

新生代 Cenozoic
第四紀 Quaternary
完新世 Holocene
現河床堆積物 r 礫，砂及び泥 Gravel, sand and mud
後背湿地 a 礫，砂及び泥 Gravel, sand and mud
自然堤防堆積物 n 砂 Sand
谷底平野堆積物 v 礫，砂及び泥 Gravel, sand and mud
扇状地堆積物 礫，砂及び岩屑 Gravel, sand and debris
更新世 Pleistocene
低位段丘堆積物 L 礫，砂及び泥 Gravel, sand and mud
中位段丘堆積物 M 礫，砂及び泥 Gravel, sand and mud
高位段丘堆積物 H 礫，砂及び泥 Gravel, sand and mud
後期更新世 Late Pleistocene
中期更新世 Middle Pleistocene
前期更新世 Early Pleistocene
鳴山層 Jo 礫，砂及び泥 Gravel, sand and mud
新第三紀 Neogene
鮮新世 Pliocene
中新世 Miocene
岩脈 Dy 黒雲母流紋岩，黒雲母デイサイト及び細粒斑状黒雲母花崗閃緑岩 Biotite rhyolite, biotite dacite and fine-grained prophyritic biotite granodiorite
中生代 Mesozoic
ジュラ紀 Jurassic
白亜紀 Cretaceous
後期白亜紀 Late Cretaceous
前期白亜紀-後期白亜紀（変成した秩父帯北帯ジュラ紀-前期白亜紀（変成岩を含む）） Jurassic-Cretaceous metamorphic complex (Chichibu terrane, Jurassic-Early Cretaceous (Protolith age is Late Jurassic-early Early Cretaceous))
三波川変成コンプレックス（変成した秩父帯北帯ジュラ紀付加コンプレックスを含む） Sanbagawa Metamorphic Complex (Including metamorphosed Jurassic accretionary complex of the Northern Chichibu terrane)
蕨ヶ内ユニット Dōgauchi unit
泥質片岩 Dp Pelitic schist
苦鉄質片岩 Dm Mafic schist
砂質片岩 Ks Psammitic schist
泥質片岩 Kp Pelitic schist
川又ユニット Kawanata unit
珪質片岩 Kq Siliceous schist
結晶質石灰岩 Kl Crystalline limestone
苦鉄質片岩 Km Mafic schist
変成砂岩 Os Metasandstone
泥質千枚岩 Op Pelitic phyllite
思地ユニット Omoiji unit
変成チャート Oq Metachert
結晶質石灰岩 Ol Crystaline limestone
変成玄武岩凝灰岩及び溶岩 Om Metamorphosed basalt tuff and lava
外和泉層群 Sotoizumi Group
宮ノ原層 Miyanohara Formation
上部 Upper part 泥岩及び砂岩 My4 Mudstone and sandstone
中部 Middle part 砂岩 My3 Sandstone
下部 Lower part 泥岩 My2 Mudstone
最下部 Lowest part 砕岩及び泥岩優勢砂岩泥岩互層 My1 Mudstone and mudstone-predominant interbeds of sandstone and mudstone
セノマニアン期 Cenomanian
アルビアン期 Albian
四ツ白層 Yotsushiro Formation 泥岩及び泥岩優勢砂岩泥岩互層 Yt Mudstone and mudstone-predominant interbeds of sandstone and mudstone
"前期白亜紀正系統" "Early Cretaceous sediments"
黒原層 Kurohara Formation
上部 Upper part 砂岩（泥岩を伴う） Ku3 Sandstone with mudstone
中部 Middle part 泥岩（砂岩を伴う） Ku2 Mudstone with sandstone
下部 Lower part 砂岩優勢砂岩泥岩互層（下部に礫岩を伴う） Ku1 Sandstone-predominant interbeds of sandstone and mudstone, with conglomerate in the lower part
土佐加茂層 Tosakamo Formation
上部 Upper part 泥岩（砂岩を伴う） Tk3 Mudstone, with sandstone
下部 Lower part 砂岩及び泥岩（礫岩を伴う） Tk1 Sandstone and mudstone, with conglomerate
介石山層 Kaisekiyama Formation
上部 Upper part 砂岩及び泥岩（礫岩を伴う） Ka2 Sandstone and mudstone, with conglomerate
下部 Lower part 砂岩及び泥岩（礫岩を伴う） Ka1 Sandstone and mudstone, with conglomerate
四万十累帯 白亜紀付加体 Shimanto Supergroup Cretaceous Accretionary Complex
半山ユニット Han-yama unit
塊状砂岩及び砂岩泥岩互層 HYs Massive sandstone and interbeds of sandstone and mudstone
砂岩優勢砂岩泥岩互層 HYa Sandstone-predominant interbeds of sandstone and mudstone
泥岩優勢砂岩泥岩互層 HYm Mudstone-predominant interbeds of sandstone and mudstone
ジュラ紀-前期白亜紀付加コンプレックス（秩父累帯南帯） Jurassic-Early Cretaceous accretionary complex of the Southern Chichibu terrain
三宝山ユニット Sambōsan unit
泥質混在岩 SBx Muddy mixed rock
チャート角礫岩及び砂岩 SBcb Chert breccia and sandstone
塊状砂岩及び砂岩泥岩互層 SBs Massive sandstone and interbeds of sandstone and mudstone
泥岩及び泥岩優勢砂岩泥岩互層 SBm Mudstone and mudstone-predominant interbeds of sandstone and mudstone
珪質泥岩 SBi Siliceous mudstone
チャート SBc Chert
石灰岩 SBl Limestone
玄武岩溶岩及び玄武岩火山砕屑岩 SBb Basalt lava and basalt volcaniclastic rock
後期ジュラ紀 Late Jurassic
島泉層群 Torinosu Group
泥岩及び砂岩泥岩互層（礫岩を伴う） To Mudstone and interbeds of sandstone and mudstone, with conglomerate
石灰岩 ls Limestone
中期-後期ジュラ紀 Middle-Late Jurassic
岩目地層 Iwameji Formation
砂岩及び砂岩泥岩互層（礫岩を伴う） Iw Mudstone and interbeds of sandstone and mudstone, with conglomerate
石灰岩 Iwl Limestone
中期ジュラ紀 Middle Jurassic
毛田層 Keta Formation
泥岩（砂岩を伴う） Ka Mudstone, with sandstone
ジュラ紀付加コンプレックス（秩父累帯南帯） Jurassic accretionary complex of the Southern Chichibu terrane
斗賀野ユニット Togano unit
泥質混在岩 TGx Muddy mixed rock
塊状砂岩及び砂岩泥岩互層 TGs Massive sandstone and interbeds of sandstone and mudstone
砂岩優勢砂岩泥岩互層 TGa Sandstone-predominant interbeds of sandstone and mudstone
泥岩及び泥岩優勢砂岩泥岩互層 TGm Mudstone and mudstone-predominant interbeds of sandstone and mudstone
珪質泥岩 TGi Siliceous mudstone
チャート TGc Chert
大平山ユニット Ōhirayama unit
頭石型珪質粘土岩 TGti Toishi-type siliceous claystone
泥質混在岩 OHx Muddy mixed rock
塊状砂岩及び砂岩泥岩互層 OHs Massive sandstone and interbeds of sandstone and mudstone
砂岩泥岩互層 OHa Interbeds of sandstone and mudstone
チャート OHc Chert
石灰岩 OHl Limestone
土佐山ユニット Tosayama unit
泥質混在岩 TSx Muddy mixed rock
塊状砂岩及び砂岩泥岩互層 TSs Massive sandstone and interbeds of sandstone and mudstone
泥岩及び泥岩優勢砂岩泥岩互層 TSm Mudstone and mudstone-predominant interbeds of sandstone and mudstone
チャート TSc Chert
石灰岩 TSl Limestone
玄武岩溶岩及び玄武岩火山砕屑岩 TSb Basalt lava and basalt volcaniclastic rock
ジュラ紀付加コンプレックス（秩父累帯北帯） Jurassic accretionary complex of the Northern Chichibu terrane
国見山ユニット Kunimiyama unit
泥質混在岩 KMx Muddy mixed rock
礫岩（砂岩を伴う） KMg Conglomerate, with sandstone
塊状砂岩（砂岩泥岩互層及び泥岩を伴う） KMs Massive sandstone, with interbeds of sandstone and mudstone, and mudstone
砂岩優勢砂岩泥岩互層 KMa Sandstone-predominant interbeds of sandstone and mudstone
泥岩及び泥岩優勢砂岩泥岩互層 KMm Mudstone and mudstone-predominant interbeds of sandstone and mudstone
珪質泥岩 KMi Siliceous mudstone
チャート KMc Chert
頭石型珪質粘土岩 KMt Toishi-type siliceous claystone
石灰岩 KMl Limestone
玄武岩溶岩（玄武岩火山砕屑岩を伴う） KMb Basalt lava, with basalt volcaniclastic rock
玄武岩火山砕屑岩 KMbt Basalt volcaniclastic rock
ジュラ紀付加コンプレックス（秩父累帯北帯） Jurassic accretionary complex of the Northern Chichibu terrane
国見山ユニット Kunimiyama unit
泥質混在岩 NAx Muddy mixed rock
礫岩（砂岩を伴う） NAg Conglomerate, with sandstone
塊状砂岩及び砂岩泥岩互層 NAs Massive sandstone and interbeds of sandstone and mudstone
砂岩優勢砂岩泥岩互層 NAa Sandstone-predominant interbeds of sandstone and mudstone
中道ユニット Nakaoi unit
泥岩及び泥岩優勢砂岩泥岩互層 NAm Mudstone and mudstone-predominant interbeds of sandstone and mudstone
珪質泥岩 NAi Siliceous mudstone
チャート NAc Chert
頭石型珪質粘土岩 NAt Toishi-type siliceous claystone
玄武岩溶岩（玄武岩火山砕屑岩を伴う） NAb Basalt lava, with basalt volcaniclastic rock
玄武岩火山砕屑岩 NAbt Basalt volcaniclastic rock
ジュラ紀付加コンプレックス（秩父累帯北帯） Jurassic accretionary complex of the Northern Chichibu terrane
勝賀瀬ユニット Shōgase unit
泥質混在岩 SGx Muddy mixed rock
塊状砂岩及び砂岩泥岩互層 SGs Massive sandstone and interbeds of sandstone and mudstone
砂岩優勢砂岩泥岩互層 SGa Sandstone-predominant interbeds of sandstone and mudstone
泥岩及び泥岩優勢砂岩泥岩互層 SGm Mudstone and mudstone-predominant interbeds of sandstone and mudstone
珪質泥岩 SGi Siliceous mudstone
チャート SGc Chert
石灰岩 SGl Limestone
玄武岩溶岩（玄武岩火山砕屑岩を伴う） SGb Basalt lava, with basalt volcaniclastic rock
玄武岩火山砕屑岩 SGbt Basalt volcaniclastic rock
新期伊野変成コンプレックス Younger Ino Metamorphic Complex
砂質片岩 Ns Psammitic schist
泥質片岩 Np Pelitic schist
結晶質石灰岩 Nl Crystalline limestone
変成珪質岩 Nq Metasiliceous rock
苦鉄質片岩 Nm Maifc schist
後期三畳紀-前期ジュラ紀 Late Triassic-Early Jurassic
三畳紀 Triassic
中期-後期三畳紀 Middle-Late Triassic
川内ヶ谷層群 Kōchigatani Group
泥岩及び砂岩（礫岩を伴う） Ko Mudstone and sandstone, with conglomerate
蔵法院層 Zōhōin Formation
泥岩及び砂質泥岩（砂岩を伴う） Zo Mudstone and sandy mudstone, with sandstone
ジュラ紀付加コンプレックス Jurassic accretionary complexes
長竹ユニット Nagatake unit
泥質混在岩 NTx Muddy mixed rock
塊状砂岩及び砂岩泥岩互層 NTs Massive sandstone and interbeds of sandstone and mudstone
泥岩及び泥岩優勢砂岩泥岩互層 NTm Mudstone and mudstone-predominant interbeds of sandstone and mudstone
珪長質火山砕屑岩 NTa Felsic volcaniclastic rock
チャート NTc Chert
玄武岩溶岩及び玄武岩火山砕屑岩 NTb Basalt lava and basalt volcaniclastic rock
ペルム紀付加コンプレックス Permian accretionary complexes
市ノ瀬ユニット Ichinose unit
塊状砂岩及び砂岩泥岩互層（泥質混在岩を伴う） ICs Massive sandstone and interbeds of sandstone and mudstone, with muddy mixed rock
石灰岩及び石灰岩礫岩 ICl Limestone and limestone conglomerate
新改ユニット Shingai unit
泥質混在岩 SIx Muddy mixed rock
塊状砂岩及び砂岩泥岩互層 SIs Massive sandstone and interbeds of sandstone and mudstone
泥岩及び泥岩優勢砂岩泥岩互層 SIm Mudstone and mudstone-predominant interbeds of sandstone and mudstone
チャート SIc Chert
玄武岩溶岩及び玄武岩火山砕屑岩 SIb Basalt lava and basalt volcaniclastic rock
古生代 Paleozoic
ペルム紀 Permian
古期伊野変成コンプレックス Older Ino Metamorphic Complex
苦鉄質片岩 Om Mafic schist
石炭紀 Carboniferous
横倉山層群 Yokokurayama Group
珪長質火山砕屑岩，凝灰質砂岩・泥岩及び礫岩（石灰岩を伴う） Ye Felsic volcaniclastic rock, tuffaceous sandstone, mudstone and conglomerate with limestone
シルル紀-デボン紀 Silurian-Devonian
寺野変成コンプレックス Terano Metamorphic Complex
角閃岩及び黒雲母片麻岩（少量の花崗閃緑岩及びトーナル岩を伴う） Tr Amphibolite and biotite gneiss with small amount of granodiorite and tonalite
オルドビス紀-シルル紀 Ordovician-Silurian
三滝深成コンプレックス Mitaki Plutonic Complex
黒雲母角閃石花崗閃緑岩，黒雲母角閃石トーナル岩及び黒雲母花崗岩（少量の黒雲母片麻岩及び角閃岩を伴う） Mi Granodiorite and tonalite with small amount of biotite gneiss and amphibolite
時代未詳 Age unknown
超苦鉄質岩類 Ultramafic rocks
蛇紋岩 u Serpentinite

地層の走向及び傾斜（正常層） 45 Strike and dip of bedding (normal bedding)
地層の走向及び傾斜（上下未確認） 60 Strike and dip of bedding (tops unknown)
地層の走向及び傾斜（逆転層） 70 Strike and dip of bedding (overturned bedding)
直立層の層理面の走向（上下確認） 90 Strike of vertical bedding(tops known)
直立層の層理面の走向（上下未確認） Strike of vertical bedding(tops unknown)
片理及び鱗片状劈開の走向及び傾斜 50 Strike and dip of schistosity and scaly cleavage
直立した片理及び鱗片状劈開の走向 Strike of vertical schistsity and scaly cleavage
断面図におけるみかけの傾斜 Apparent dip of bedding, scaly cleavage, gneissosity or schistosity on cross sections
実在断層 Confirmed fault
実在背斜 Confirmed anticline
実在向斜 Confirmed syncline
転倒背斜 Overturned anticline
転倒向斜 Overturned syncline
アンチフォーム Antiform
シンフォーム Synform
アンチフォーム状向斜（逆転層のアンチフォーム） Antiformal syncline (Antiform of overturned strata)
シンフォーム状背斜（逆転層のシンフォーム） Synformal anticline (Synform of overturned strata)
温泉 Hot spring
鉱泉 Mineral spring
稼行鉱山 Working mine
休廃止鉱山 Closed mine
ls 石灰石 Limestone
FeMn 鉄マンガン鉱 Iron-manganese ore
稼行採石場 Working quarry
休廃止採石場 Closed quarry
地すべり地形 Landslide landform
線状凹地 Linear depression
化石産出地点 Locality of fossil
R1 ペルム紀-ジュラ紀放散虫化石（R1-R73） Permian to Jurassic radiolarian fossils (R1-R73)
⊗1 K-Ar年代測定試料の採集地点と試料番号（1-5） Sample point of K-Ar dating with sample number (1-5)
鍾乳洞 Limestone cave

図 3.1.21（2）佐川町周辺の地質、化石産出地位置図
（20 万分の 1 高知地質図幅、5 万分の 1 地質図幅 伊野）（凡例）

3.1.5. 動植物の生息・生育及び植生の状況

(1) 動　物

対象地域における土地利用及び自然環境の状況を考慮して、対象地域に生息する可能性のある重要な動物について既存文献から整理した。

重要な種の選定基準を表 3.1.24 に示し、収集・整理した文献を表 3.1.25 に示す。

自然環境保全基礎調査報告書（環境省）に記載されている種については、対象地域周辺に生息する可能性のある種について抽出した。

重要な種の分布情報については、「高知県レッドデータブック 2018 動物編」（高知県林業振興・環境部 環境共生課、2018：以下、「高知県 RDB 2018 動物編」とする）及び「高知県注目種ガイド 2018 動物編」（同上、2018：以下、「高知県注目種」とする）を用い、記載されている内容のうち、分布域が佐川町、土佐市、日高村、仁淀川水域、県内西部から中央部及び県内全域とされている種について整理した。

上記の文献より抽出された重要な種のうち、生息確認位置が明確な種については、以降の図面に整理した。

表 3.1.24　重要な種の選定基準（動物）

文献名等	省略名
Ⅰ.「文化財保護法」（昭和 25 年法律第 214 号、最終改正：平成 26 年法律第 69 号）	文化財保護法
Ⅱ.「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成 4 年法律第 75 号、最終改正：平成 29 年法律第 51 号）	種の保存法
Ⅲ.「環境省_環境省レッドリスト 2020 の公表について」（令和 2 年 3 月 27 日 環境省 報道発表資料）	環境省 RL
Ⅳ.「高知県レッドデータブック 2018　動物編」（平成 30 年 10 月　高知県）	高知県 RDB 2018 動物編
Ⅴ.「高知県注目種ガイド 2018　動物編」（平成 30 年 10 月　高知県）	高知県注目種

◆各選定基準の重要種カテゴリー

＜文化財保護法＞

特天：国指定特別天然記念物
国天：国指定天然記念物
県天：県指定天然記念物
町天・村天：町又は村指定天然記念物

＜種の保存法＞

国内：国内希少野生動植物種
国際：国際希少野生動植物種
緊急：緊急指定種

＜高知県注目種＞

注目：高知県注目種

＜環境省 RL＞

EX：絶滅
CR：絶滅危惧 IA 類
EN：絶滅危惧 IB 類
VU：絶滅危惧 II 類
NT：準絶滅危惧種
DD：情報不足
LP：絶滅のおそれのある地域個体群

＜高知県 RDB2018 動物編＞

EX：絶滅
CR+EN：絶滅危惧 I 類
VU：絶滅危惧 II 類
NT：準絶滅危惧種
DD：情報不足
LP：絶滅のおそれのある地域個体群

表 3.1.25(1)　収集・整理した文献（1/2）

No.	文 献 名 等	発行所名等	制定・発行年 閲覧年
1	「文化財保護法」 （昭和 25 年法律第 214 号、最終改正：平成 26 年法律第 69 号）	法律	1950
2	「植生図・主要動植物地図 天然記念物緊急調査」	文化庁	1973
3	「国指定文化財データベース」	文化庁	2020.10 現在
4	「田んぼの生き物調査」	農林水産省・ 環境省	2020.10 現在
5	「モニタリングサイト 1000」	環境省	2020.10 現在
6	「ガンカモ科鳥類の生息調査報告書」	環境省	1995～2018
7	「第 1 回自然環境保全基礎調査 すぐれた自然図」	環境庁 （現；環境省）	1973
8	「第 2 回自然環境保全基礎調査 動植物分布図」	環境庁 （現；環境省）	1981
9	「第 3 回自然環境保全基礎調査　動植物分布調査報告書 哺乳類」	環境庁 （現；環境省）	1988
10	「第 3 回自然環境保全基礎調査　動植物分布調査報告書 鳥類」	環境庁 （現；環境省）	1988
11	「第 3 回自然環境保全基礎調査　動植物分布調査報告書 両生類・爬虫類」	環境庁 （現；環境省）	1988
12	「第 3 回自然環境保全基礎調査　動植物分布調査報告書 淡水魚類」	環境庁 （現；環境省）	1988
13	「第 3 回自然環境保全基礎調査　動植物分布調査報告書 陸産及び淡水産貝類」	環境庁 （現；環境省）	1988
14	「第 3 回自然環境保全基礎調査　動植物分布調査報告書 昆虫（トンボ）類」	環境庁 （現；環境省）	1988
15	「第 3 回自然環境保全基礎調査　動植物分布調査報告書 昆虫（チョウ）類」	環境庁 （現；環境省）	1988
16	「第 3 回自然環境保全基礎調査　動植物分布調査報告書 昆虫（セミ及び甲虫）類」	環境庁 （現；環境省）	1988
17	「第 3 回自然環境保全基礎調査　動植物分布調査報告書 昆虫（ガ）類」	環境庁 （現；環境省）	1988
18	「第 4 回自然環境保全基礎調査　動植物分布調査報告書 哺乳類」	環境庁 （現；環境省）	1993
19	「第 4 回自然環境保全基礎調査　動植物分布調査報告書 鳥類の集団繁殖地及び集団ねぐら」	環境庁 （現；環境省）	1994
20	「第 4 回自然環境保全基礎調査　動植物分布調査報告書 両生類・爬虫類」	環境庁 （現；環境省）	1993
21	「第 4 回自然環境保全基礎調査　動植物分布調査報告書 淡水魚類」	環境庁 （現；環境省）	1993
22	「第 4 回自然環境保全基礎調査　動植物分布調査報告書 陸産及び淡水産貝類」	環境庁 （現；環境省）	1993
23	「第 4 回自然環境保全基礎調査　動植物分布調査報告書 別冊・分布図　陸産及び淡水産貝類」	環境庁 （現；環境省）	1993
24	「第 4 回自然環境保全基礎調査　動植物分布調査報告書 昆虫（トンボ）類」	環境庁 （現；環境省）	1993
25	「第 4 回自然環境保全基礎調査　動植物分布調査報告書 昆虫（チョウ）類」	環境庁 （現；環境省）	1993

表 3.1.25(2)　収集・整理した文献（2/2）

No.	文 献 名 等	発行所名等	制定・発行年 閲覧年
26	「第 4 回自然環境保全基礎調査　動植物分布調査報告書 昆虫（セミ及び甲虫）類」	環境庁 （現；環境省）	1993
27	「第 4 回自然環境保全基礎調査　動植物分布調査報告書 昆虫（ガ）類」	環境庁 （現；環境省）	1993
28	「自然環境保全基礎調査　生物多様性調査 動物分布調査報告書（哺乳類）」	環境省生物多様性センター	2002
29	「自然環境保全基礎調査　生物多様性調査 動物分布調査報告書（両生類・爬虫類）」	環境省生物多様性センター	2001
30	「自然環境保全基礎調査　生物多様性調査 動物分布調査報告書（淡水魚類）」	環境省生物多様性センター	2002
31	「自然環境保全基礎調査　生物多様性調査 動物分布調査報告書（上）（陸産及び淡水産貝類）」	環境省生物多様性センター	2002
32	「自然環境保全基礎調査　生物多様性調査 動物分布調査報告書（下）（陸産及び淡水産貝類）」	環境省生物多様性センター	2002
33	「自然環境保全基礎調査　生物多様性調査 動物分布調査報告書（昆虫（ガ）類）」	環境省生物多様性センター	2002
34	「自然環境保全基礎調査　生物多様性調査 動物分布調査報告書（昆虫（チョウ）類）」	環境省生物多様性センター	2002
35	「自然環境保全基礎調査　生物多様性調査 動物分布調査報告書（昆虫（トンボ）類）」	環境省生物多様性センター	2002
36	「自然環境保全基礎調査　生物多様性調査 動物分布調査報告書（昆虫（甲虫）類）」	環境省生物多様性センター	2002
37	「自然環境保全基礎調査　生物多様性調査 動物分布調査報告書（昆虫（セミ・水生半翅）類）」	環境省生物多様性センター	2002
38	「第 6 回自然環境保全基礎調査　種の多様性調査 鳥類繁殖分布調査報告書」	環境省生物多様性センター	2004
39	「第 6 回自然環境保全基礎調査　種の多様性調査 哺乳類分布調査報告書」	環境省生物多様性センター	2004
40	「第 7 回自然環境保全基礎調査　種の多様性調査 特定哺乳類生息状況」	環境省生物多様性センター	2011
41	「河川水辺の国勢調査」	国土交通省	2020.10 現在
42	「高知県レッドデータブック 2018 動物編」	高知県	2018
43	「高知県注目種ガイド 2018 動物編」	高知県	2018
44	「高知県自然環境保全指針」	高知県	1996

A) 哺乳類

文献調査の結果、対象地域周辺に生息する哺乳類として 9 科 16 種があげられている（表 3.1.26 参照）。

そのうち重要種は、「ニホンリス」及び「ニホンカワウソ」の 2 科 2 種が確認された。

「自然環境保全基礎調査」では、高知県注目種の「ニホンリス」の生息が記録されている。

「高知県 RDB 2018」では、対象地域に生息する可能性がある哺乳類として、特別天然記念物に指定され絶滅種である「ニホンカワウソ」があげられている。

なお、文献調査では重要な哺乳類の詳細な分布図が示されていないため、図面には記載していない。

表 3.1.26　文献調査で確認された哺乳類

No.	科名	種名	文献資料	カテゴリー					生息情報
				文化財保護法	種の保存法	環境省 RL	高知RDB 2018 動物編	高知県注目種 2018	
1	キクガシラコウモリ	コキクガシラコウモリ	28						自然環境保全基礎調査において対象地域周辺で確認された種。
2	キクガシラコウモリ	キクガシラコウモリ	18,28						自然環境保全基礎調査において対象地域周辺で確認された種。
3	ヒナコウモリ	モモジロコウモリ	28						自然環境保全基礎調査において対象地域周辺で確認された種。
4	ヒナコウモリ	ニホンユビナガコウモリ	18						自然環境保全基礎調査において対象地域周辺で確認された種。
5	オナガザル	ニホンザル	18,28,38						自然環境保全基礎調査において対象地域周辺で確認された種。
6	ウサギ	ノウサギ	18,28						自然環境保全基礎調査において対象地域周辺で確認された種。
7	リス	ニホンリス	18,28					注目種	自然環境保全基礎調査において対象地域周辺で確認された種。
8	リス	ムササビ	18,28						自然環境保全基礎調査において対象地域周辺で確認された種。
9	イヌ	タヌキ	18,28,38						自然環境保全基礎調査において対象地域周辺で確認された種。
10	イヌ	キツネ	18,28,38						自然環境保全基礎調査において対象地域周辺で確認された種。
11	イタチ	テン	18,28						自然環境保全基礎調査において対象地域周辺で確認された種。
12	イタチ	ニホンイタチ	18,28						自然環境保全基礎調査において対象地域周辺で確認された種。
13	イタチ	ニホンアナグマ	18,28,38						自然環境保全基礎調査において対象地域周辺で確認された種。
14	イタチ	ニホンカワウソ（高知・愛媛県個体群）	42	特天	国際	EX（絶滅）	CR+EN		河川の中下流域から沿岸部の水辺環境で生活する。
15	ジャコウネコ	ハクビシン	18,28						自然環境保全基礎調査において対象地域周辺で確認された種。
16	イノシシ	ニホンイノシシ	18,28,38						自然環境保全基礎調査において対象地域周辺で確認された種。

注）各選定基準の重要種のカテゴリーは以下のとおり。

＜文化財保護法＞
- 特天：国指定特別天然記念物
- 国天：国指定天然記念物
- 県天：県指定天然記念物
- 町天・村天：町又は村指定天然記念物

＜種の保存法＞
- 国内：国内希少野生動植物種
- 国際：国際希少野生動植物種
- 緊急：緊急指定種

＜高知県注目種＞
- 注目：高知県注目種

＜環境省 RL＞
- EX：絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

＜高知県 RDB2018 動物編＞
- EX：絶滅
- CR+EN：絶滅危惧 I 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

B) 鳥　類

文献調査の結果、対象地域周辺に生息する鳥類として、24 科 61 種があげられている（表 3.1.27 参照）。

そのうち重要種は、「オシドリ」や「サシバ」等の 23 科 53 種が確認された。

「ガンカモ科鳥類の生息調査」では、「オシドリ」が確認されている。

「高知県 RDB 2018」では、対象地域に生息する可能性がある鳥類として、県天然記念物に指定されている「ヤイロチョウ」、国内希少種に指定されている「クマタカ」、「ハヤブサ」、その他の種として「ヒクイナ」、「シコクヤマドリ」、「サンショウクイ」、「ヤマシギ」、「キュウシュウフクロウ」、「サシバ」等の 51 種があげられている。

「高知県注目種」では対象地域に生息する可能性がある種として、「アオジ」があげられている。

対象地域周辺においては、日下調整池で「オシドリ」の生息が確認されている。

表 3.1.27(1)　文献調査で確認された鳥類（1/3）

No.	科名	種名	文献資料	カテゴリー					生息情報
				文化財保護法	種の保存法	環境省 RL	高知RDB 2018 動物編	高知県注目種 2018	
1	ヨコバイ	コミミズク	42				CR+EN		冬に飛来し、広大な農耕地及び草原、湿地、河川敷、中州に生息。
2	キジ	シコクヤマドリ	42				NT		低山地から亜高山帯のよく茂った樹林に生息する。
3	カモ	オシドリ	6			DD			ガンカモ科鳥類の生息調査において対象地域周辺で確認された種。
4	カモ	ヒドリガモ	6						ガンカモ科鳥類の生息調査において対象地域周辺で確認された種。
5	カモ	マガモ	6						ガンカモ科鳥類の生息調査において対象地域周辺で確認された種。
6	カモ	カルガモ	6						ガンカモ科鳥類の生息調査において対象地域周辺で確認された種。
7	カモ	オナガガモ	6						ガンカモ科鳥類の生息調査において対象地域周辺で確認された種。
8	カモ	トモエガモ	6			VU	VU		県内各地の河川、湖沼、内湾で越冬する。
9	カモ	コガモ	6						ガンカモ科鳥類の生息調査において対象地域周辺で確認された種。
10	カモ	ホシハジロ	6						ガンカモ科鳥類の生息調査において対象地域周辺で確認された種。
11	カモ	キンクロハジロ	6						ガンカモ科鳥類の生息調査において対象地域周辺で確認された種。
12	カモ	スズガモ	6						ガンカモ科鳥類の生息調査において対象地域周辺で確認された種。
13	サギ	サンカノゴイ	42			EN	CR+EN		冬鳥として、平地の農耕地に隣接する池沼、遊水地、河川敷の湿地に飛来。
14	サギ	ミゾゴイ	42			VU	VU		標高1000m以下の平地から山地の成熟した広葉樹林で繁殖する夏鳥。
15	サギ	ササゴイ	42				VU		夏鳥として飛来し、河川や湖沼、水田で採餌し、大木及び林や森林で繁殖する。

注）各選定基準の重要種のカテゴリーは以下のとおり。

＜文化財保護法＞
- 特天：国指定特別天然記念物
- 国天：国指定天然記念物
- 県天：県指定天然記念物
- 町天・村天：町又は村指定天然記念物

＜種の保存法＞
- 国内：国内希少野生動植物種
- 国際：国際希少野生動植物種
- 緊急：緊急指定種

＜高知県注目種＞
- 注目：高知県注目種

＜環境省 RL＞
- EX：絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

＜高知県 RDB2018 動物編＞
- EX：絶滅
- CR+EN：絶滅危惧 I 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

表 3.1.27(2)　文献調査で確認された鳥類（2/3）

No.	科名	種名	文献資料	カテゴリー					生息情報
				文化財保護法	種の保存法	環境省RL	高知RDB2018動物編	高知県注目種2018	
16	サギ	チュウサギ	42			NT	NT		平野部の草地及び湿地、水田に多く、時に川や干潟で見かけることもある。
17	ツル	ナベヅル	42		国際	VU	VU		水田及び畑が広がる農耕地、河川敷及び干潟のある水辺で越冬する。
18	クイナ	クイナ	42				CR+EN		平野部の湿地、水田、河川敷、草地に飛来して越冬する。
19	クイナ	ヒクイナ	42			NT	NT		夏鳥として湿地、水田、河川に飛来、水田の畔や休耕地の草むら等で繁殖。
20	チドリ	タゲリ	42				NT		冬季に平野部の湛水した水田、休耕田、河川敷、河口干潟で小群で越冬する。
21	チドリ	ケリ	42			DD	CR+EN		内陸の耕作地、休耕地、放棄水田、水田、河川敷、草地に飛来して繁殖する。
22	チドリ	ダイゼン	42				VU		旅鳥又は冬鳥として海岸や河川干潟に飛来し、水田や休耕地も利用する。
23	チドリ	イカルチドリ	42				NT		大きな河川の中流や上流域の河川敷や水田、海岸、干潟に生息する。
24	チドリ	コチドリ	42				NT		埋立地、休耕地、河川敷及び砂浜海岸で繁殖する。
25	チドリ	シロチドリ	42			VU	NT		海岸に近い砂地や砂礫地で繁殖し、砂浜海岸や河川の砂州に生息する。
26	シギ	ヤマシギ	42				VU		冬鳥として飛来、里山や公園の雑木林、海岸の防風林や河川敷の河畔林に生息。
27	シギ	タシギ	42				VU		主に水田や湿地、河川に冬鳥として飛来する。
28	シギ	タカブシギ	42			VU	NT		湿地をはじめ、湖沼、河川、水田、蓮田を利用する。
29	シギ	サルハマシギ	42		国際		VU		旅鳥として河口干潟や農耕地に飛来、湿地、湖沼、河川、水田及び蓮田を利用。
30	シギ	ハマシギ	42			NT	NT		冬鳥又は旅鳥として、河口や干潟、湿潤な耕作地に多数飛来する。
31	タマシギ	タマシギ	42			VU	VU		農地と湿地及び湛水された休耕田を利用して繁殖する。
32	カモメ	コアジサシ	42			VU	CR+EN		海岸の砂浜、埋立地、河川の中州にコロニーを形成して繁殖する。
33	ミサゴ	ミサゴ	42			NT	CR+EN		県内の海岸一帯、大きな河川の下流域から中流域、内陸部の湖沼等に生息。
34	タカ	ハチクマ	42			NT	CR+EN		夏鳥として5月中旬ごろに飛来。低山地のスギやヒノキの植林で営巣する。
35	タカ	ツミ	42				DD		里山から山地にかけてのスギやヒノキの植林及び常緑樹林に生息。
36	タカ	ハイタカ	42			NT	VU		山林や平野部の農耕地に飛来し、越冬する。
37	タカ	オオタカ	42			NT	CR+EN		平地から低山地の農耕地や草地の開けた環境と森林が混在する森林に生息する。
38	タカ	サシバ	42			VU	VU		夏鳥として低山に飛来、低地から山地の里山や谷津田の周辺の林で繁殖。
39	タカ	ノスリ	42				VU		主に冬鳥として分布。亜高山帯の森林、農耕地、河川、湿地等を利用する。
40	タカ	クマタカ	42		国内	EN	CR+EN		標高200m程度の低山帯から2000mを超える亜高山帯の森林まで広く生息。
41	フクロウ	キュウシュウフクロウ	42				NT		県内全域の市街地周辺の林を含む平地から、山地の林に生息する。
42	フクロウ	アオバズク	42				VU		低山の落葉広葉樹林や照葉樹林で観察され、ケヤキやカシ等の大木に営巣。

注）各選定基準の重要種のカテゴリーは以下のとおり。

＜文化財保護法＞
- 特天：国指定特別天然記念物
- 国天：国指定天然記念物
- 県天：県指定天然記念物
- 町天・村天：町又は村指定天然記念物

＜種の保存法＞
- 国内：国内希少野生動植物種
- 国際：国際希少野生動植物種
- 緊急：緊急指定種

＜高知県注目種＞
- 注目：高知県注目種

＜環境省 RL＞
- EX：絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

＜高知県 RDB2018 動物編＞
- EX：絶滅
- CR+EN：絶滅危惧 I 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

表 3.1.27(3)　文献調査で確認された鳥類 (3/3)

No.	科名	種名	文献資料	カテゴリー					生息情報
				文化財保護法	種の保存法	環境省RL	高知RDB2018動物編	高知県注目種2018	
43	カワセミ	アカショウビン	42				NT		山間の渓流沿いの良く茂った広葉樹林に夏鳥として飛来する。
44	カワセミ	ヤマセミ	42				NT		魚類や甲殻類が豊富な中規模以上の河川を生息域とする。
45	ハヤブサ	チゴハヤブサ	42				NT		旅鳥として秋の渡りの時期に、山地から農耕地等の平野部を通過する。
46	ハヤブサ	ハヤブサ	42		国内	VU	CR+EN		海岸を中心に内陸部まで生息。海上、河川、農地、山地や市街地まで利用する。
47	ヤイロチョウ	ヤイロチョウ	42	県天	国内	EN	CR+EN		標高200～600mのシイやカシが鬱蒼と茂る下生えの少ない常緑広葉樹林に生息。
48	サンショウクイ	サンショウクイ	42			VU	CR+EN		平地から山地の高木の落葉樹のある林に生息。
49	カササギヒタキ	サンコウチョウ	42				NT		低山地から山地の谷沿いにあるよく茂った常緑広葉樹林や植林地に生息する。
50	ツバメ	コシアカツバメ	42				VU		県内全域の河川、湖沼、海岸沿いに生息する。
51	ヨシキリ	オオヨシキリ	42				VU		河川敷や低湿地が広がる河川並びに内陸部の遊水地に飛来して繁殖する夏鳥。
52	ヒタキ	トラツグミ	42				NT		夏は低地から山地のよく茂った森林で繁殖する。冬は平地にも分布。
53	ヒタキ	クロツグミ	42				NT		低山から亜高山帯のよく茂った森林に飛来し、繁殖する夏鳥。
54	ヒタキ	ルリビタキ	42				NT		繁殖期は亜高山帯の針葉樹林に、冬季は低山地から平地の雑木林に生息する。
55	ヒタキ	オオルリ	42				NT		低山地の雑木林から亜高山帯のブナ林に生息し、渓流沿いの茂った林に多い。
56	イワヒバリ	カヤクグリ	42				NT		夏季は亜高山帯の低木林、冬季は低山地の雑木林の林床や林縁に生息。
57	セキレイ	ビンズイ	42				NT		亜高山帯の明るい森林や灌木のある草原で繁殖する、
58	ホオジロ	カシラダカ	42				VU		平地から山地の農耕地、低木林、林縁、河原に冬鳥として飛来する。
59	ホオジロ	ノジコ	42			NT	NT		平野部から山地の高茎装置及び低地の林縁や低木林の藪に夏鳥として飛来。
60	ホオジロ	アオジ	43					注目種	明るい森林や疎林、非繁殖期には草地や低山林に生息。
61	ホオジロ	オオジュリン	42				VU		冬季に低地の農耕地及び河川下流域、遊水地に生育する高茎の草地に飛来する。

注）各選定基準の重要種のカテゴリーは以下のとおり。

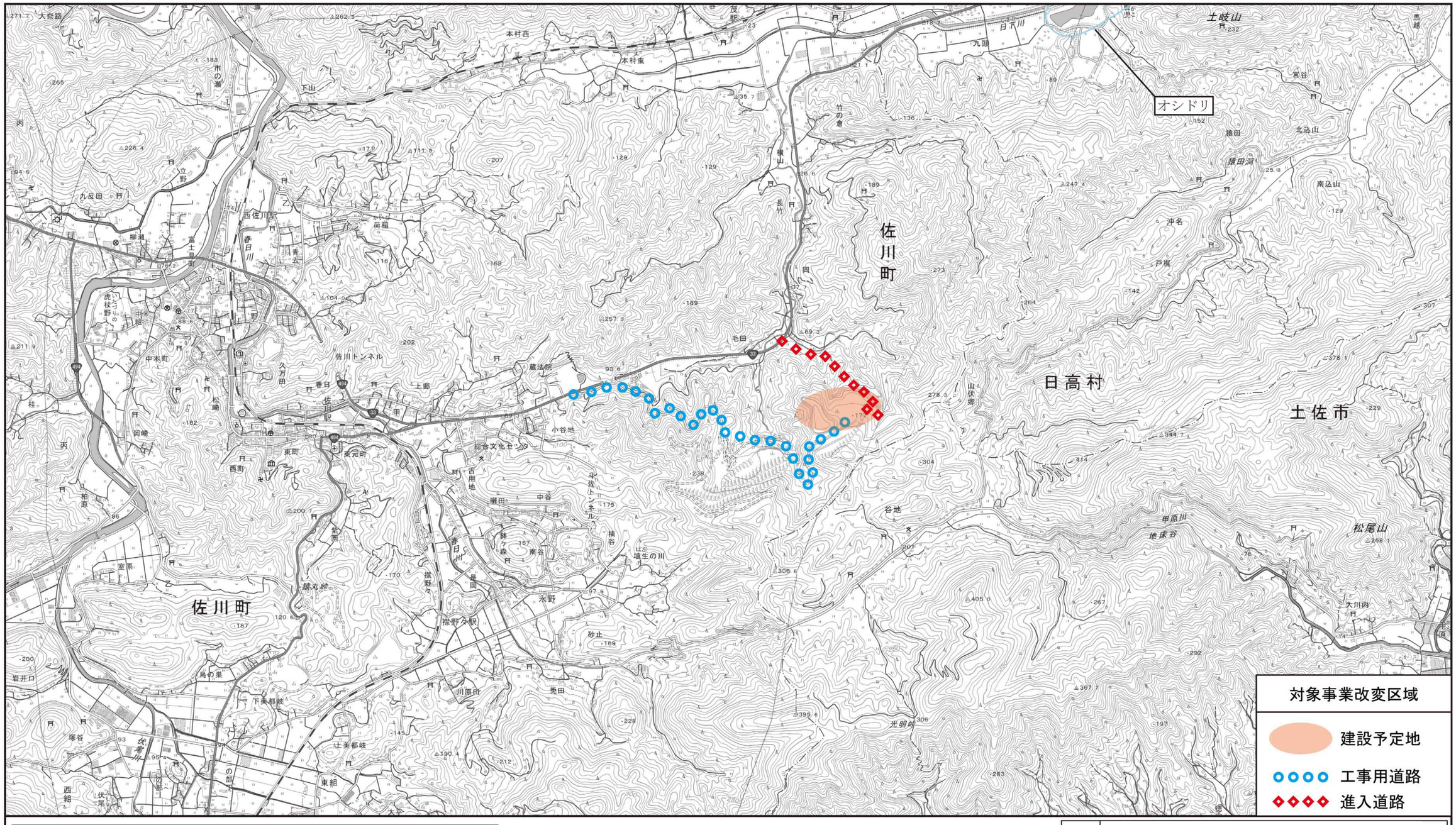
＜文化財保護法＞
- 特天：国指定特別天然記念物
- 国天：国指定天然記念物
- 県天：県指定天然記念物
- 町天・村天：町又は村指定天然記念物

＜種の保存法＞
- 国内：国内希少野生動植物種
- 国際：国際希少野生動植物種
- 緊急：緊急指定種

＜高知県注目種＞
- 注目：高知県注目種

＜環境省 RL＞
- EX：絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

＜高知県 RDB2018 動物編＞
- EX：絶滅
- CR+EN：絶滅危惧 I 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群



凡　例		
記　号	名　称	備　考
	動物分布域	ガンカモ科鳥類の生息調査

出典：平成17年度ガンカモ科鳥類の生息調査報告書
（環境省　2006年4月）

※高知県レッドデータブック（動物編）では、
詳細な分布範囲が示されていないため、図示しない。

図名	図 3.1.22　重要な動物分布図（鳥類）

N
W　E
S

S = 1:25,000
0　0.5　1.0　1.5km

C) 両生類

文献調査の結果、対象地域周辺に生息する両生類として、4 科 4 種があげられている（表 3.1.28 参照）。

そのうち、重要種は「オオサンショウウオ」、「アカハライモリ」の 2 科 2 種が確認されている。

「自然環境保全基礎調査」では、重要種は確認されていない。

「高知県 RDB 2018」では、対象地域に生息の可能性がある種として、特別天然記念物である「オオサンショウウオ」があげられている。

「高知県注目種」では、対象地域に生息する可能性がある種として、「アカハライモリ」があげられている。

なお、文献調査では重要な両生類の詳細な分布図が確認されなかったため、図面には記載していない。

表 3.1.28　文献調査で確認された両生類

No.	科名	種名	文献資料	カテゴリー					生息情報
				文化財保護法	種の保存法	環境省 RL	高知RDB 2018 動物編	高知県注目種 2018	
1	オオサンショウウオ	オオサンショウウオ	42	特天		VU	DD		安芸川、吉野川、物部川、国分川、仁淀川、渡川水系に生息。
2	イモリ	アカハライモリ	43			NT		注目種	低地から山地の池や沼、水田、湿地や水溜り、河川のよどみ等に生息する。
3	ヒキガエル	ニホンヒキガエル	29						自然環境保全基礎調査において対象地域周辺で確認された種。
4	アカガエル	ツチガエル	29						自然環境保全基礎調査において対象地域周辺で確認された種。

注）各選定基準の重要種のカテゴリーは以下のとおり。

＜文化財保護法＞
- 特天：国指定特別天然記念物
- 国天：国指定天然記念物
- 県天：県指定天然記念物
- 町天・村天：町又は村指定天然記念物

＜種の保存法＞
- 国内：国内希少野生動植物種
- 国際：国際希少野生動植物種
- 緊急：緊急指定種

＜高知県注目種＞
- 注目：高知県注目種

＜環境省 RL＞
- EX：絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

＜高知県 RDB2018 動物編＞
- EX：絶滅
- CR+EN：絶滅危惧 I 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

D) 爬虫類

文献調査の結果、対象地域周辺に生息する爬虫類として、2 科 2 種があげられている（表 3.1.29 参照）。

そのうち、重要種として「ニホンイシガメ」の 1 科 1 種が確認されている。

「自然環境保全基礎調査」では、重要な爬虫類は記録されていない。

「高知県注目種」では、対象地域に生息する可能性がある種として、「ニホンイシガメ」があげられている。

なお、文献調査では重要な爬虫類の詳細な分布図が確認されなかったため、図面には記載していない。

表 3.1.29　文献調査で確認された爬虫類

No.	科名	種名	文献資料	カテゴリー					生息情報
				文化財保護法	種の保存法	環境省 RL	高知RDB 2018 動物編	高知県注目種 2018	
1	イシガメ	ニホンイシガメ	43			NT		注目種	河川の中流から下流域、池、湿原、水田、水路に生息。
2	ナミヘビ	ヤマカガシ	29						自然環境保全基礎調査において対象地域周辺で確認された種。

注）各選定基準の重要種のカテゴリーは以下のとおり。

＜文化財保護法＞
- 特天：国指定特別天然記念物
- 国天：国指定天然記念物
- 県天：県指定天然記念物
- 町天・村天：町又は村指定天然記念物

＜種の保存法＞
- 国内：国内希少野生動植物種
- 国際：国際希少野生動植物種
- 緊急：緊急指定種

＜高知県注目種＞
- 注目：高知県注目種

＜環境省 RL＞
- EX：絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

＜高知県 RDB2018 動物編＞
- EX：絶滅
- CR+EN：絶滅危惧 I 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

E) 魚　類

文献調査の結果、対象地域周辺に生息する魚類として 13 科 38 種があげられている（表 3.1.30 参照）。

そのうち重要種は、「ニホンウナギ」、「ドジョウ」等の 9 科 20 種が確認された。

「自然環境保全基礎調査」では、「ゲンゴロウブナ」、「ヤリタナゴ」、「ミナミメダカ」等の 9 種の生息が記録されている。

「高知県 RDB 2018」では、対象地域に生息の可能性がある種として、「アカザ」、「カマキリ（アユカケ）」、「ドジョウ」等の 14 種があげられている。

「高知県注目種」では、対象地域に生息する可能性がある種として、「ボウズハゼ」があげられている。

なお、文献調査では重要な魚類の詳細な分布図が確認されなかったため、図面には記載していない。

表 3.1.30(1)　文献調査で確認された魚類(1/2)

No.	科名	種名	文献資料	カテゴリー					生息情報
				文化財保護法	種の保存法	環境省 RL	高知RDB 2018 動物編	高知県注目種 2018	
1	ウナギ	ニホンウナギ	42			EN	NT		沿岸域から河川上流域、周辺水路や池沼に生息する。
2	ウナギ	オオウナギ	42				VU		河川の中・下流域や湖底の石礫の間隙に生息。
3	コイ	コイ	30						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
4	コイ	ゲンゴロウブナ	30			EN			自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
5	コイ	オオキンブナ	30						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
6	コイ	フナ（在来個体群）	30,42				NT		流れが緩やかで、抽水・沈水植物の豊富な河川や湖沼、水路に生息する。
7	コイ	ギンブナ	30						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
8	コイ	ヤリタナゴ	30			NT	CR+EN		自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
9	コイ	タイリクバラタナゴ	30						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
10	コイ	オイカワ	30						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
11	コイ	カワムツ類	30						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
12	コイ	カワムツB型	30						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
13	コイ	タカハヤ	30						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。

注）各選定基準の重要種のカテゴリーは以下のとおり。

＜文化財保護法＞
- 特天：国指定特別天然記念物
- 国天：国指定天然記念物
- 県天：県指定天然記念物
- 町天・村天：町又は村指定天然記念物

＜種の保存法＞
- 国内：国内希少野生動植物種
- 国際：国際希少野生動植物種
- 緊急：緊急指定種

＜高知県注目種＞
- 注目：高知県注目種

＜環境省 RL＞
- EX：絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

＜高知県 RDB2018 動物編＞
- EX：絶滅
- CR+EN：絶滅危惧 I 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

表 3.1.30(2)　文献調査で確認された魚類（2/2）

No.	科名	種名	文献資料	カテゴリー					生息情報
				文化財保護法	種の保存法	環境省RL	高知RDB2018動物編	高知県注目種2018	
14	コイ	ウグイ	30						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
15	コイ	モツゴ	30,42				CR+EN		自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
16	コイ	カマツカ	30						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
17	ドジョウ	ドジョウ	30,42			NT	CR+EN		自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
18	ドジョウ	トサシマドジョウ	42			VU	CR+EN		河川の中流域や、底に繋がる周辺水路の砂礫底に生息。
19	ドジョウ	シマドジョウ	30						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
20	ドジョウ	ヒナイシドジョウ	42			EN	CR+EN		清冽な河川の中・上流域の砂礫に生息するが、下流域で確認されることもある。
21	ギギ	ギギ	42				DD		河川の中流域の、大きな礫や流木、抽水植物群落等の間隙の多い環境に生息。
22	ナマズ	ナマズ	30						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
23	アカザ	アカザ	42			VU	DD		清冽な河川の中・上流域の砂礫に生息し、礫が積み重る浮石状の川床を好む。
24	アカザ	アカザ属の一種	42				DD		清冽な河川の中・上流域の砂礫に生息し、礫が積み重る浮石状の川床を好む。
25	アユ	アユ	30						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
26	メダカ	ミナミメダカ	30,42			VU	CR+EN		自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
27	カジカ	カマキリ（アユカケ）	42			VU	VU		県内各地の河川の主に中・下流域の岩や巨礫がある場所に生息。
28	ドンコ	ドンコ	42				VU		河川の流れの遅い部分から用水路、池沼、水田に生息する。
29	カワアナゴ	カワアナゴ	30						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
30	ハゼ	アシシロハゼ	30				NT		自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
31	ハゼ	ボウズハゼ	42					注目種	中・上流域に生息し、まれに渓流や河口域でも確認される。
32	ハゼ	ヌマチチブ	30,42				NT		自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
33	ハゼ	カワヨシノボリ	30						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
34	ハゼ	クロヨシノボリ	42				LP		河川の中・上流域に生息し、特に河口近くから急流となる極小河川を好む。
35	ハゼ	ウロハゼ	30						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
36	ハゼ	ビリンゴ	30						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
37	ハゼ	クボハゼ	30			EN		注目種	自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
38	タイワンドジョウ	カムルチー	30						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。

注）各選定基準の重要種のカテゴリーは以下のとおり。

＜文化財保護法＞
- 特天：国指定特別天然記念物
- 国天：国指定天然記念物
- 県天：県指定天然記念物
- 町天・村天：町又は村指定天然記念物

＜種の保存法＞
- 国内：国内希少野生動植物種
- 国際：国際希少野生動植物種
- 緊急：緊急指定種

＜高知県注目種＞
- 注目：高知県注目種

＜環境省 RL＞
- EX：絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

＜高知県 RDB2018 動物編＞
- EX：絶滅
- CR+EN：絶滅危惧 I 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

F） 昆虫類

文献調査の結果、対象地域周辺又は高知県内に生息の記録がある昆虫類として、114 科 565 種があげられている（表 3.1.31 参照）。

そのうち、重要種として「ムカシトンボ」、「ゲンゴロウ」等の 112 科 440 種が確認された。

「自然環境保全基礎調査」では、「モートンイトトンボ」、「タイコウチ」、「オオムラサキ」等の 14 科 25 種の生息が記録されている。

「高知県 RDB 2018」では、対象地域に生息の可能性がある種として、国内希少種に指定されている「ベッコウトンボ」や、「タガメ」、「ヘイケボタル」等の 108 科 414 種があげられている。

「高知県注目種」では、「イシカワカマドウマ」、「ウスバシロチョウ」があげられている。

対象地域周辺には、猿田洞において「ツヤメクラチビゴミムシ」が確認されている。

表 3.1.31(1)　文献調査で確認された昆虫類（1/17）

No.	科名	種名	文献資料	カテゴリー					生息情報
				文化財保護法	種の保存法	環境省 RL	高知RDB 2018 動物編	高知県注目種 2018	
1	アオイトトンボ	アオイトトンボ	42				VU		平地及び低山地の抽水植物が繁茂する池沼や湿原に生息。
2	アオイトトンボ	オオアオイトトンボ	26,35						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
3	アオイトトンボ	オツネントンボ	42				CR+EN		平地及び低山地の抽水植物が繁茂する池沼や湿地に生息。
4	イトトンボ	コフキヒメイトトンボ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
5	イトトンボ	キイトトンボ	26,35						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
6	イトトンボ	ベニイトトンボ	42			NT	VU		抽水植物又は浮草の繁茂した池沼に生息。
7	イトトンボ	アジアイトトンボ	35						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
8	イトトンボ	アオモンイトトンボ	35						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
9	イトトンボ	モートンイトトンボ	26, 35,42			NT	CR+EN		主に低湿地の草丈の低い草本が繁茂した水域に生息する。
10	イトトンボ	クロイトトンボ	26,35						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
11	イトトンボ	セスジイトトンボ	35,42				NT		自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
12	イトトンボ	ムスジイトトンボ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
13	イトトンボ	オオイトトンボ	26, 35,42				CR+EN		平地及び丘陵地の抽水植物の繁茂した池沼や湿地、水田に生息する。
14	ヤマトイトトンボ	シコクトゲオトンボ	26,35						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
15	モノサシトンボ	モノサシトンボ	26, 35,42				NT		自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
16	モノサシトンボ	グンバイトンボ	42			NT	NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
17	モノサシトンボ	ハグロトンボ	26,35						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
18	カワトンボ	ミヤマカワトンボ	26,35						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
19	カワトンボ	ニシカワトンボ	26,35						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
20	ムカシトンボ	ムカシトンボ	26				NT		自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。

注）各選定基準の重要種のカテゴリーは以下のとおり。

＜文化財保護法＞
- 特天：国指定特別天然記念物
- 国天：国指定天然記念物
- 県天：県指定天然記念物
- 町天・村天：町又は村指定天然記念物

＜種の保存法＞
- 国内：国内希少野生動植物種
- 国際：国際希少野生動植物種
- 緊急：緊急指定種

＜高知県注目種＞
- 注目：高知県注目種

＜環境省 RL＞
- EX：絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

＜高知県 RDB2018 動物編＞
- EX：絶滅
- CR+EN：絶滅危惧 I 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

表 3.1.31(2)　文献調査で確認された昆虫類（2/17）

No.	科名	種名	文献資料	カテゴリー					生息情報
				文化財保護法	種の保存法	環境省RL	高知RDB2018動物編	高知県注目種2018	
21	ヤンマ	ネアカヨシヤンマ	7,26,35,42			NT	VU		平地又は丘陵地のヨシが繁茂する池沼に生息し、山林近くの池沼に多い。
22	ヤンマ	アオヤンマ	14,26,35,42			NT	NT		自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
23	ヤンマ	ルリボシヤンマ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
24	ヤンマ	マルタンヤンマ	26,35,42				NT		自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
25	ヤンマ	オオギンヤンマ	35						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
26	ヤンマ	クロスジギンヤンマ	26,35						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
27	ヤンマ	ギンヤンマ	35						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
28	ヤンマ	カトリヤンマ	26,35,42				NT		自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
29	ヤンマ	ミルンヤンマ	26,35						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
30	ヤンマ	ヤブヤンマ	26						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
31	ヤンマ	サラサヤンマ	26,35						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
32	サナエトンボ	ミヤマサナエ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
33	サナエトンボ	ヤマサナエ	26,35						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
34	サナエトンボ	キイロサナエ	26,35,42			NT	NT		自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
35	サナエトンボ	ダビドサナエ	14,26,35						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
36	サナエトンボ	オナガサナエ	14,26,35						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
37	サナエトンボ	アオサナエ	26						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
38	サナエトンボ	コオニヤンマ	35						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
39	サナエトンボ	ウチワヤンマ	35						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
40	サナエトンボ	ヒメサナエ	26						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
41	サナエトンボ	オジロサナエ	26						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
42	サナエトンボ	タベサナエ	42			NT	NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
43	サナエトンボ	フタスジサナエ	35,42			NT	VU		平地又は丘陵地の抽水植物の繁茂する水域に生息。
44	オニヤンマ	オニヤンマ	26,35						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
45	オニヤンマ	ミナミヤンマ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
46	エゾトンボ	トラフトンボ	35,42				NT		自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
47	エゾトンボ	オオヤマトンボ	35						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
48	エゾトンボ	コヤマトンボ	35						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
49	エゾトンボ	ハネビロエゾトンボ	26,42			VU	VU		主に丘陵地及び低山地の湿地に繋がる細い清流に生息する。
50	エゾトンボ	タカネトンボ	26,35			VU			自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
51	エゾトンボ	エゾトンボ	42				NT		山間の湿地や抽水植物が繁茂する池沼に生息する。
52	エゾトンボ	オオエゾトンボ	26,35						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
53	トンボ	ショウジョウトンボ	35						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
54	トンボ	コフキトンボ	7,26,35						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。

注）各選定基準の重要種のカテゴリーは以下のとおり。

＜文化財保護法＞
- 特天：国指定特別天然記念物
- 国天：国指定天然記念物
- 県天：県指定天然記念物
- 町天・村天：町又は村指定天然記念物

＜種の保存法＞
- 国内：国内希少野生動植物種
- 国際：国際希少野生動植物種
- 緊急：緊急指定種

＜高知県注目種＞
- 注目：高知県注目種

＜環境省 RL＞
- EX：絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

＜高知県 RDB2018 動物編＞
- EX：絶滅
- CR+EN：絶滅危惧 I 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

表 3.1.31(3)　文献調査で確認された昆虫類（3/17）

No.	科名	種名	文献資料	カテゴリー					生息情報
				文化財保護法	種の保存法	環境省RL	高知RDB2018動物編	高知県注目種2018	
55	トンボ	ベッコウトンボ	42		国内	CR	EX		県RDBに示されている種。詳細は不明。
56	トンボ	ヨツボシトンボ	26,35						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
57	トンボ	ハラビロトンボ	26,35						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
58	トンボ	ハッチョウトンボ	42				VU		背丈の低い抽水植物が繁茂する湿地に生息する。
59	トンボ	シオカラトンボ	35						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
60	トンボ	シオヤトンボ	14,26,35						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
61	トンボ	オオシオカラトンボ	26,35						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
62	トンボ	ウスバキトンボ	35						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
63	トンボ	コシアキトンボ	35						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
64	トンボ	チョウトンボ	14,26,35						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
65	トンボ	キトンボ	42				VU		岸辺に木立があり、抽水植物が繁茂した丘陵地及び低山地の池沼に生息する。
66	トンボ	ナツアカネ	35						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
67	トンボ	マユタテアカネ	26,35						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
68	トンボ	アキアカネ	35						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
69	トンボ	ノシメトンボ	26						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
70	トンボ	マイコアカネ	42				VU		平地及び丘陵地の抽水植物が繁茂する池沼に生息する。
71	トンボ	ヒメアカネ	35						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
72	トンボ	ミヤマアカネ	14,26,35						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
73	トンボ	リスアカネ	26,35						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
74	トンボ	ネキトンボ	26						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
75	トンボ	タイリクアカネ	42				CR+EN		平地や丘陵地の抽水植物が繁茂する池沼に生息する。
76	トンボ	オオキトンボ	42			EN	DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
77	ゴキブリ	ウルシゴキブリ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
78	チャバネゴキブリ	ヒメチャバネゴキブリ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
79	チャバネゴキブリ	サツマツチゴキブリ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
80	カマキリ	ウスバカマキリ	42			DD	DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
81	カワゲラ	ヒメオオヤマカワゲラ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
82	コロギス	コバネコロギス	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
83	カマドウマ	イシカワカマドウマ	43					注目種	森林内の洞穴に生息する。
84	クツワムシ	クツワムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
85	ツユムシ	エゾツユムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
86	ツユムシ	タイワンクダマキモドキ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
87	キリギリス	カヤキリ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
88	キリギリス	イシヅチササキリモドキ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。

注）各選定基準の重要種のカテゴリーは以下のとおり。

＜文化財保護法＞
- 特天：国指定特別天然記念物
- 国天：国指定天然記念物
- 県天：県指定天然記念物
- 町天・村天：町又は村指定天然記念物

＜種の保存法＞
- 国内：国内希少野生動植物種
- 国際：国際希少野生動植物種
- 緊急：緊急指定種

＜高知県注目種＞
- 注目：高知県注目種

＜環境省 RL＞
- EX：絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

＜高知県 RDB2018 動物編＞
- EX：絶滅
- CR+EN：絶滅危惧 I 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

表 3.1.31(4)　文献調査で確認された昆虫類（4/17）

No.	科名	種名	文献資料	カテゴリー					生息情報
				文化財保護法	種の保存法	環境省RL	高知RDB2018動物編	高知県注目種2018	
89	キリギリス	オニササキリモドキ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
90	キリギリス	テングササキリモドキ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
91	キリギリス	ウワササキリモドキ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
92	コオロギ	ハネナシコオロギ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
93	コオロギ	カマドコオロギ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
94	コオロギ	クチナガコオロギ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
95	バッタ	カワラバッタ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
96	バッタ	イナゴモドキ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
97	ガロアムシ	ガロアムシ属全種	42			DD	DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
98	ナナフシ	タイワントビナナフシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
99	ヒシウンカ	ヤナギカワウンカモドキ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
100	ヒシウンカ	ネグロカワウンカ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
101	アリヅカウンカ	シコクアリヅカウンカ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
102	グンバイウンカ	オヌキグンバイウンカ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
103	セミ	コエゾゼミ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
104	セミ	アカエゾゼミ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
105	セミ	エゾゼミ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
106	セミ	クマゼミ	37						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
107	セミ	アブラゼミ	37						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
108	セミ	ミンミンゼミ	37						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
109	セミ	ツクツクボウシ	37						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
110	セミ	ニイニイゼミ	37						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
111	セミ	ヒグラシ	37						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
112	セミ	エゾハルゼミ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
113	サシガメ	フタオビマダラカモドキサシガメ	42			DD	NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
114	グンバイムシ	ツルギマルグンバイ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
115	カスミカメムシ	コケカスミカメ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
116	カスミカメムシ	ヒメケブカカスミカメ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
117	マキバサシガメ	ホソマキバサシガメ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
118	ツノカメムシ	トゲツノカメムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
119	ツチカメムシ	シロヘリツチカメムシ	42			NT	DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
120	カメムシ	イシハラカメムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
121	カメムシ	シコククチブトカメムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
122	カメムシ	タマカメムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。

注）各選定基準の重要種のカテゴリーは以下のとおり。

＜文化財保護法＞
- 特天：国指定特別天然記念物
- 国天：国指定天然記念物
- 県天：県指定天然記念物
- 町天・村天：町又は村指定天然記念物

＜種の保存法＞
- 国内：国内希少野生動植物種
- 国際：国際希少野生動植物種
- 緊急：緊急指定種

＜高知県注目種＞
- 注目：高知県注目種

＜環境省 RL＞
- EX：絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

＜高知県 RDB2018 動物編＞
- EX：絶滅
- CR+EN：絶滅危惧 I 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

表 3.1.31(5)　文献調査で確認された昆虫類（5/17）

No.	科名	種名	文献資料	カテゴリー					生息情報
				文化財保護法	種の保存法	環境省RL	高知RDB2018動物編	高知県注目種2018	
123	キンカメムシ	ニシキキンカメムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
124	アメンボ	エサキアメンボ	42			NT	CR+EN		ヨシを初めとする抽水植物が豊富な池沼に生息。
125	イトアメンボ	イトアメンボ	42			VU	NT		水棲昆虫で、池沼及び水田に生息する。
126	イトアメンボ	ヒメイトアメンボ	42				NT		水面生活者で、池沼等の明るく開放的な環境に生息。
127	ミズムシ	ホッケミズムシ	42			NT	DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
128	ミズムシ	ナガミズムシ	42			NT	DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
129	コオイムシ	コオイムシ	42			NT	NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
130	コオイムシ	タガメ	42			VU	EX		平地および山間部の沼、池、水田に生息。
131	タイコウチ	タイコウチ	37,42				NT		水棲昆虫で、池沼及び水田、水田脇の水路に生息する。
132	タイコウチ	ミズカマキリ	37						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
133	タイコウチ	ヒメミズカマキリ	42				CR+EN		平地の、周りが自然林に囲まれ、水生植物の多い池又は沼に生息している。
134	ヒロバカゲロウ	オガタヒロバカゲロウ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
135	ヒロバカゲロウ	プライヤーヒロバカゲロウ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
136	ケカゲロウ	ケカゲロウ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
137	クシヒゲカゲロウ	クシヒゲカゲロウ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
138	カマキリモドキ	ツマグロカマキリモドキ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
139	クサカゲロウ	ムモンクサカゲロウ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
140	クサカゲロウ	キントキクサカゲロウ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
141	ウスバカゲロウ	ヒメウスバカゲロウ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
142	ウスバカゲロウ	オオウスバカゲロウ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
143	ガガンボモドキ	ツマグロヒメガガンボモドキ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
144	ガガンボモドキ	クロヒメガガンボモドキ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
145	シリアゲムシ	ニセミスジシリアゲ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
146	ナガレトビケラ	オオナガレトビケラ	42			NT	NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
147	カタツムリトビケラ	カタツムリトビケラ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
148	エグリトビケラ	ホタルトビケラ	42				NT		幼虫は傾斜の少ない小河川及び用水路に生息する。
149	ホソバトビケラ	ホソバトビケラ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
150	フトヒゲトビケラ	ヨツメトビケラ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
151	トビケラ	ベフミヤマトビケラ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
152	クロツツトビケラ	クロツツトビケラ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
153	コウモリガ	シロテンコウモリ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
154	マルハキバガ	ヤシャブシキホリマルハキバガ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
155	スカシバガ	ハチマガイスカシバ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
156	スカシバガ	キクビスカシバ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。

注）各選定基準の重要種のカテゴリーは以下のとおり。

＜文化財保護法＞
- 特天：国指定特別天然記念物
- 国天：国指定天然記念物
- 県天：県指定天然記念物
- 町天・村天：町又は村指定天然記念物

＜種の保存法＞
- 国内：国内希少野生動植物種
- 国際：国際希少野生動植物種
- 緊急：緊急指定種

＜高知県注目種＞
- 注目：高知県注目種

＜環境省 RL＞
- EX：絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

＜高知県 RDB2018 動物編＞
- EX：絶滅
- CR+EN：絶滅危惧 I 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

表 3.1.31(6)　文献調査で確認された昆虫類（6/17）

No.	科名	種名	文献資料	カテゴリー					生息情報
				文化財保護法	種の保存法	環境省RL	高知RDB2018動物編	高知県注目種2018	
157	スカシバガ	ムラサキスカシバ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
158	スカシバガ	オキナワスカシバ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
159	スカシバガ	キタスカシバ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
160	イラガ	ウスムラサキイラガ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
161	マダラガ	ウスバツバメガ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
162	マダラガ	ミノウスバ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
163	セセリチョウ	アオバセセリ	15,25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
164	セセリチョウ	ダイミョウセセリ	15,25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
165	セセリチョウ	ミヤマセセリ	25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
166	セセリチョウ	ホソバセセリ	25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
167	セセリチョウ	イチモンジセセリ	15,25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
168	セセリチョウ	チャバネセセリ	25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
169	セセリチョウ	オオチャバネセセリ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
170	セセリチョウ	キマダラセセリ	34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
171	セセリチョウ	チャマダラセセリ	15,25,34,42			EN	EX		草刈が行われた後に食草が自生してくる放牧地及び土手に主に生息する。
172	セセリチョウ	コチャバネセセリ	15,25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
173	セセリチョウ	ヘリグロチャバネセセリ	42				NT		草原又は明るい樹林帯に生息する。
174	シジミチョウ	ウラゴマダラシジミ	25						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
175	シジミチョウ	ムラサキツバメ	25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
176	シジミチョウ	ムラサキシジミ	25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
177	シジミチョウ	コツバメ	15,25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
178	シジミチョウ	ルリシジミ	15,25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
179	シジミチョウ	キリシマミドリシジミ	42				VU		中山間地のアカガシが繁茂する照葉樹賃貸に生息。
180	シジミチョウ	アイノミドリシジミ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
181	シジミチョウ	ヒサマツミドリシジミ	42				VU		中山間地の照葉樹林帯のウラジロガシが発生源で、山頂や山中に生息する。
182	シジミチョウ	メスアカミドリシジミ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
183	シジミチョウ	ウラギンシジミ	15,25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
184	シジミチョウ	ツバメシジミ	15,25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
185	シジミチョウ	ウラクロシジミ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
186	シジミチョウ	ウラナミシジミ	15,25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
187	シジミチョウ	ベニシジミ	15,25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
188	シジミチョウ	ミドリシジミ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
189	シジミチョウ	クロシジミ	42			EN	EX		県RDBに示されている種。詳細は不明。
190	シジミチョウ	トラフシジミ	15,25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。

注）各選定基準の重要種のカテゴリーは以下のとおり。

＜文化財保護法＞
- 特天：国指定特別天然記念物
- 国天：国指定天然記念物
- 県天：県指定天然記念物
- 町天・村天：町又は村指定天然記念物

＜種の保存法＞
- 国内：国内希少野生動植物種
- 国際：国際希少野生動植物種
- 緊急：緊急指定種

＜高知県注目種＞
- 注目：高知県注目種

＜環境省 RL＞
- EX：絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

＜高知県 RDB2018 動物編＞
- EX：絶滅
- CR+EN：絶滅危惧 I 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

表 3.1.31(7)　文献調査で確認された昆虫類（7/17）

No.	科名	種名	文献資料	カテゴリー					生息情報
				文化財保護法	種の保存法	環境省RL	高知RDB2018動物編	高知県注目種2018	
191	シジミチョウ	フジミドリシジミ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
192	シジミチョウ	サツマシジミ	25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
193	シジミチョウ	ウラキンシジミ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
194	シジミチョウ	ヤマトシジミ本土亜種	15,25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
195	シジミチョウ	シルビアシジミ	42			EN	EX		県RDBに示されている種。詳細は不明。
196	タテハチョウ	コムラサキ	25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
197	タテハチョウ	サカハチチョウ	15,25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
198	タテハチョウ	ミドリヒョウモン	25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
199	タテハチョウ	ツマグロヒョウモン	15,25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
200	タテハチョウ	ウラギンスジヒョウモン	25,34,42			VU	CR+EN		幼虫の食草であるタチツボスミレを初めとするスミレ類が生育する草地に生息。
201	タテハチョウ	オオウラギンスジヒョウモン	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
202	タテハチョウ	イシガケチョウ	15,25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
203	タテハチョウ	メスグロヒョウモン	15,25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
204	タテハチョウ	スミナガシ	15,25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
205	タテハチョウ	ウラギンヒョウモン	25						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
206	タテハチョウ	オオウラギンヒョウモン	42			CR	EX		県RDBに示されている種。詳細は不明。
207	タテハチョウ	ゴマダラチョウ	15,25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
208	タテハチョウ	ルリタテハ	25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
209	タテハチョウ	ツマジロウラジャノメ	42			VU	NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
210	タテハチョウ	ヒカゲチョウ	25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
211	タテハチョウ	テングチョウ	25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
212	タテハチョウ	イチモンジチョウ	15,25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
213	タテハチョウ	ウスイロコノマチョウ	15,25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
214	タテハチョウ	クロコノマチョウ	25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
215	タテハチョウ	ジャノメチョウ	25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
216	タテハチョウ	ナミジャノメ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
217	タテハチョウ	コジャノメ	15,25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
218	タテハチョウ	ヒメジャノメ	25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
219	タテハチョウ	サトキマダラヒカゲ	15,25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
220	タテハチョウ	ヤマキマダラヒカゲ	25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
221	タテハチョウ	クモガタヒョウモン	34,42				NT		自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
222	タテハチョウ	ホシミスジ	25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
223	タテハチョウ	コミスジ	15,25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
224	タテハチョウ	ヒオドシチョウ	25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。

注）各選定基準の重要種のカテゴリーは以下のとおり。

＜文化財保護法＞
- 特天：国指定特別天然記念物
- 国天：国指定天然記念物
- 県天：県指定天然記念物
- 町天・村天：町又は村指定天然記念物

＜種の保存法＞
- 国内：国内希少野生動植物種
- 国際：国際希少野生動植物種
- 緊急：緊急指定種

＜高知県注目種＞
- 注目：高知県注目種

＜環境省 RL＞
- EX：絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

＜高知県 RDB2018 動物編＞
- EX：絶滅
- CR+EN：絶滅危惧 I 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

表 3.1.31(8)　文献調査で確認された昆虫類 (8/17)

No.	科名	種名	文献資料	カテゴリー					生息情報
				文化財保護法	種の保存法	環境省RL	高知RDB2018動物編	高知県注目種2018	
225	タテハチョウ	アサギマダラ	15,25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
226	タテハチョウ	キタテハ	25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
227	タテハチョウ	オオムラサキ	25			NT	NT		自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
228	タテハチョウ	ヒメアカタテハ	25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
229	タテハチョウ	アカタテハ	15,25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
230	タテハチョウ	ヒメウラナミジャノメ	15,25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
231	タテハチョウ	ウラナミジャノメ	15,42				CR+EN		平地から山地にかけての林縁部の草地に生息する。
232	アゲハチョウ	ジャコウアゲハ	25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
233	アゲハチョウ	ミカドアゲハ	25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
234	アゲハチョウ	アオスジアゲハ	15,25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
235	アゲハチョウ	カラスアゲハ	25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
236	アゲハチョウ	モンキアゲハ	15,25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
237	アゲハチョウ	ミヤマカラスアゲハ	25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
238	アゲハチョウ	キアゲハ	15,25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
239	アゲハチョウ	オナガアゲハ	15,25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
240	アゲハチョウ	ナガサキアゲハ	15,25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
241	アゲハチョウ	クロアゲハ	15,25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
242	アゲハチョウ	アゲハ	15,25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
243	アゲハチョウ	ウスバシロチョウ	25,34,43					注目種	幼虫の食草のムラサキケマンが生育する明るい樹林帯に生息。
244	シロチョウ	ツマキチョウ	15,25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
245	シロチョウ	モンキチョウ	15,25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
246	シロチョウ	キチョウ	15,25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
247	シロチョウ	ツマグロキチョウ	25,34			EN			自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
248	シロチョウ	エゾスジグロシロチョウ	25						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
249	シロチョウ	スジグロシロチョウ	15,25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
250	シロチョウ	モンシロチョウ	15,25,34						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
251	カギバガ	オオギンモンカギバ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
252	アゲハモドキガ	フジキオビ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
253	シャクガ	マダラチズモンアオシャク	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
254	シャクガ	スモモエダシャク	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
255	シャクガ	キイロトゲエダシャク	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
256	シャクガ	シロシモフリエダシャク	42				VU		県内の中山間地に生息。
257	メバエ	ヤマトクチブトメバエ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
258	シャクガ	フチグロトゲエダシャク	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。

注）各選定基準の重要種のカテゴリーは以下のとおり。

＜文化財保護法＞
- 特天：国指定特別天然記念物
- 国天：国指定天然記念物
- 県天：県指定天然記念物
- 町天・村天：町又は村指定天然記念物

＜種の保存法＞
- 国内：国内希少野生動植物種
- 国際：国際希少野生動植物種
- 緊急：緊急指定種

＜高知県注目種＞
- 注目：高知県注目種

＜環境省 RL＞
- EX：絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

＜高知県 RDB2018 動物編＞
- EX：絶滅
- CR+EN：絶滅危惧 I 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

表 3.1.31(9)　文献調査で確認された昆虫類（9/17）

No.	科名	種名	文献資料	カテゴリー					生息情報
				文化財保護法	種の保存法	環境省RL	高知RDB2018動物編	高知県注目種2018	
259	シャクガ	ノコバアオシャク	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
260	ヤママユガ	オナガミズアオ	33			NT			自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
261	ヤママユガ	クスサン	33						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
262	ヤママユガ	クロウスタビガ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
263	スズメガ	リュウキュウオオスカシバ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
264	スズメガ	クロスキバホウジャク	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
265	スズメガ	スキバホウジャク	42			VU	DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
266	スズメガ	ミスジビロードスズメ	33						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
267	シャチホコガ	アカシャチホコ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
268	シャチホコガ	アカネシャチホコ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
269	シャチホコガ	ハネブサシャチホコ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
270	シャチホコガ	エゾクシヒゲシャチホコ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
271	ドクガ	コシロオビドクガ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
272	ヤガ	キシタケンモン	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
273	ヤガ	ミミモンクチバ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
274	ヤガ	キタエグリバ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
275	ヤガ	ナマリキシタバ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
276	ヤガ	オニベニシタバ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
277	ヤガ	ムラサキシタバ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
278	ヤガ	シロシタバ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
279	ヤガ	コゴマヨトウ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
280	ヤガ	ホソバミツモンケンモン	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
281	ヤガ	サヌキキリガ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
282	ヤガ	ニセタバコガ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
283	ヤガ	ヒマラヤハガタヨトウ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
284	ヤガ	キモンクチバ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
285	カ	トワダオオカ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
286	ムシヒキアブ	コーカサスイシアブ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
287	ムシヒキアブ	オオイシアブ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
288	オサムシ	ヨツボシツヤナガゴミムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
289	オサムシ	オオヨツボシゴミムシ	42				NT		河川敷及び草地、荒地に生息。冬季には丘陵地の伐採跡でみられる。
290	オサムシ	トゲアトキリゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
291	オサムシ	オグラヒラタゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
292	オサムシ	ヨツボシヒラタゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。

注）各選定基準の重要種のカテゴリーは以下のとおり。

＜文化財保護法＞
- 特天：国指定特別天然記念物
- 国天：国指定天然記念物
- 県天：県指定天然記念物
- 町天・村天：町又は村指定天然記念物

＜種の保存法＞
- 国内：国内希少野生動植物種
- 国際：国際希少野生動植物種
- 緊急：緊急指定種

＜高知県注目種＞
- 注目：高知県注目種

＜環境省 RL＞
- EX：絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

＜高知県 RDB2018 動物編＞
- EX：絶滅
- CR+EN：絶滅危惧 I 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

表 3.1.31(10)　文献調査で確認された昆虫類（10/17）

No.	科名	種名	文献資料	カテゴリー					生息情報
				文化財保護法	種の保存法	環境省RL	高知RDB2018動物編	高知県注目種2018	
293	オサムシ	ヒメセボシヒラタゴミムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
294	オサムシ	キアシマルガタゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
295	オサムシ	ケンザンミヤママルガタゴミムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
296	オサムシ	カワツブアトキリゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
297	オサムシ	トサヌレチゴミムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
298	オサムシ	イシハラヌレチゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
299	オサムシ	イシヅチヌレチゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
300	オサムシ	チビミズアトキリゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
301	オサムシ	クロズカタキバゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
302	オサムシ	コホソトビミズギワゴミムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
303	オサムシ	アオミズギワゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
304	オサムシ	シコクアオマルガタミズギワゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
305	オサムシ	ウミミズギワゴミムシ	42			NT	NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
306	オサムシ	フタボシチビゴミムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
307	オサムシ	ルイスヒメゴモクムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
308	オサムシ	イシヅチオサムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
309	オサムシ	セアカオサムシ	42			NT	VU		山地の草原のような開放的な環境に生息する。
310	オサムシ	コキベリアオゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
311	オサムシ	ヒトツメアオゴミムシ	42			NT	NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
312	オサムシ	コアトワアオゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
313	オサムシ	アオヘリアオゴミムシ	42			CR	EX		県RDBに示されている種。詳細は不明。
314	オサムシ	シコクフトゴモクムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
315	オサムシ	エサキクロヒラタゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
316	オサムシ	クロソンモリヒラタゴミムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
317	オサムシ	サドモリヒラタゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
318	オサムシ	アオヘリホソゴミムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
319	オサムシ	ムラサキスジアシゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
320	オサムシ	オオキベリアオゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
321	オサムシ	ベーツヒラタゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
322	オサムシ	タナカツヤハネゴミムシ	42			DD	DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
323	オサムシ	ニセムナビロモリヒラタゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
324	オサムシ	ヒサゴチビゴミムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
325	オサムシ	イラズメクラチビゴミムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
326	オサムシ	ハヤシメクラチビゴミムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。

注）各選定基準の重要種のカテゴリーは以下のとおり。

＜文化財保護法＞
- 特天：国指定特別天然記念物
- 国天：国指定天然記念物
- 県天：県指定天然記念物
- 町天・村天：町又は村指定天然記念物

＜種の保存法＞
- 国内：国内希少野生動植物種
- 国際：国際希少野生動植物種
- 緊急：緊急指定種

＜高知県注目種＞
- 注目：高知県注目種

＜環境省 RL＞
- EX：絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

＜高知県 RDB2018 動物編＞
- EX：絶滅
- CR+EN：絶滅危惧 I 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

表 3.1.31(11)　文献調査で確認された昆虫類（11/17）

No.	科名	種名	文献資料	カテゴリー					生息情報
				文化財保護法	種の保存法	環境省RL	高知RDB2018動物編	高知県注目種2018	
327	オサムシ	ヒメツヤメクラチビゴミムシ	42				VU		石灰洞の奥の暗黒部の洞床に湿潤な粘土層のある場所に生息。
328	オサムシ	ヤマモトメクラチビゴミムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
329	オサムシ	テングメクラチビゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
330	オサムシ	ツヤメクラチビゴミムシ	8,42				VU		石灰洞の奥の暗黒部の洞床に湿潤な粘土層のある場所(猿田洞等)に生息。
331	オサムシ	メイドウモンメクラチビゴミムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
332	オサムシ	リョウゾウメクラチビゴミムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
333	オサムシ	ササメクラチビゴミムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
334	オサムシ	ウオズミメクラチビゴミムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
335	オサムシ	ハズマメクラチビゴミムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
336	オサムシ	ホラアナヒラタゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
337	オサムシ	トックリゴミムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
338	オサムシ	ジュウジアトキリゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
339	オサムシ	ミヤマジュウジアトキリゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
340	オサムシ	フタツメゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
341	オサムシ	マルクビゴミムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
342	オサムシ	フタモンマルクビゴミムシ	42			EN	DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
343	オサムシ	チャバネクビナガゴミムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
344	オサムシ	エチゴトックリゴミムシ	42			NT	CR+EN		平地の池沼に生息する。
345	オサムシ	メダカアトキリゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
346	オサムシ	ヨツボシゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
347	オサムシ	ヒラタアトキリゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
348	オサムシ	オオヒラタアトキリゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
349	オサムシ	クロヘリアトキリゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
350	オサムシ	オオヨツアナアトキリゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
351	オサムシ	カドツブゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
352	オサムシ	ダイミョウツツブゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
353	オサムシ	クロツブゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
354	オサムシ	カタボシホナシゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
355	オサムシ	クロズホナシゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
356	オサムシ	キイロアトキリゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
357	オサムシ	カラカネゴモクムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
358	オサムシ	テングナガゴミムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
359	オサムシ	チュウジョウナガゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
360	オサムシ	モモブトナガゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。

注）各選定基準の重要種のカテゴリーは以下のとおり。

＜文化財保護法＞
- 特天：国指定特別天然記念物
- 国天：国指定天然記念物
- 県天：県指定天然記念物
- 町天・村天：町又は村指定天然記念物

＜種の保存法＞
- 国内：国内希少野生動植物種
- 国際：国際希少野生動植物種
- 緊急：緊急指定種

＜高知県注目種＞
- 注目：高知県注目種

＜環境省 RL＞
- EX：絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

＜高知県 RDB2018 動物編＞
- EX：絶滅
- CR+EN：絶滅危惧 I 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

表 3.1.31(12)　文献調査で確認された昆虫類（12/17）

No.	科名	種名	文献資料	カテゴリー					生息情報
				文化財保護法	種の保存法	環境省RL	高知RDB2018動物編	高知県注目種2018	
361	オサムシ	ホソアシオオズナガゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
362	オサムシ	トックリナガゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
363	オサムシ	ヒコサンナガゴミムシ四国亜種	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
364	オサムシ	ヒサマツナガゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
365	オサムシ	イシハラヒメナガゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
366	オサムシ	イシヅチナガゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
367	オサムシ	カワノナガゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
368	オサムシ	コホソナガゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
369	オサムシ	シコクヒラタナガゴミムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
370	オサムシ	キンナガゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
371	オサムシ	ヒメホソナガゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
372	オサムシ	サトウナガゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
373	オサムシ	カジガモリオオズナガゴミムシ（仮称）	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
374	オサムシ	ツルギヤマナガゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
375	オサムシ	リュウガドウメクラチビゴミムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
376	オサムシ	ワカミヤメクラチビゴミムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
377	オサムシ	ガニゴエメクラチビゴミムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
378	オサムシ	イシカワメクラチビゴミムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
379	オサムシ	カジモトメクラチビゴミムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
380	オサムシ	ミズイデメクラチビゴミムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
381	オサムシ	タイショウメクラチビゴミムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
382	オサムシ	トリノスメクラチビゴミムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
383	オサムシ	リュウジンメクラチビゴミムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
384	オサムシ	ヒラタメクラチビゴミムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
385	オサムシ	ヒョウタンゴミムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
386	オサムシ	イツホシマメゴモクムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
387	オサムシ	コアオアトキリゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
388	オサムシ	ケンザンメクラチビゴミムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
389	オサムシ	カミゼキメクラチビゴミムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
390	オサムシ	ノネメクラチビゴミムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
391	オサムシ	キノヅメクラチビゴミムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
392	オサムシ	ムロトメクラチビゴミムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
393	オサムシ	クロサホソヒラタゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
394	オサムシ	オオクロツヤゴモクムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。

注）各選定基準の重要種のカテゴリーは以下のとおり。

＜文化財保護法＞
- 特天：国指定特別天然記念物
- 国天：国指定天然記念物
- 県天：県指定天然記念物
- 町天・村天：町又は村指定天然記念物

＜種の保存法＞
- 国内：国内希少野生動植物種
- 国際：国際希少野生動植物種
- 緊急：緊急指定種

＜高知県注目種＞
- 注目：高知県注目種

＜環境省 RL＞
- EX：絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

＜高知県 RDB2018 動物編＞
- EX：絶滅
- CR+EN：絶滅危惧 I 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

表 3.1.31(13)　文献調査で確認された昆虫類（13/17）

No.	科名	種名	文献資料	カテゴリー					生息情報
				文化財保護法	種の保存法	環境省RL	高知RDB2018動物編	高知県注目種2018	
395	オサムシ	ハネグロツヤゴモクムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
396	オサムシ	ツルギヤマツヤゴモクムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
397	オサムシ	キュウシュウツヤゴモクムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
398	オサムシ	ムラサキオオゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
399	オサムシ	クロソンメクラチビゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
400	オサムシ	ヨコクラメクラチビゴミムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
401	オサムシ	クルマバメクラチビゴミムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
402	オサムシ	オオドウメクラチビゴミムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
403	オサムシ	ジャノアナメクラチビゴミムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
404	オサムシ	フルミヤメクラチビゴミムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
405	オサムシ	スクモメクラチビゴミムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
406	オサムシ	ナガサワメクラチビゴミムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
407	オサムシ	アリノキメクラチビゴミムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
408	ハンミョウ	カワラハンミョウ	42			EN	EX		県RDBに示されている種。詳細は不明。
409	ハンミョウ	アイヌハンミョウ	42			NT	NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
410	ハンミョウ	ルイスハンミョウ	42			EN	EX		県RDBに示されている種。詳細は不明。
411	ハンミョウ	ホソハンミョウ	42			VU	DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
412	ハンミョウ	コハンミョウ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
413	ゲンゴロウ	マメゲンゴロウ	36						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
414	ゲンゴロウ	クロゲンゴロウ	42			NT	VU		平地から低山地にかけての水生植物の豊富な池沼と溜池、放棄水田に生息する。
415	ゲンゴロウ	ゲンゴロウ	42			VU	CR+EN		丘陵地の池沼に生息し、カヤツリグサ科の一種が密生する池や水田でみられる。
416	ゲンゴロウ	コガタノゲンゴロウ	42			VU	NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
417	ゲンゴロウ	ハイイロゲンゴロウ	36						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
418	ゲンゴロウ	マルガタゲンゴロウ	42			VU	CR+EN		丘陵地の池沼に生息し、カヤツリグサ科の一種が密生する池や水田でみられる。
419	ゲンゴロウ	コシマゲンゴロウ	36						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
420	ゲンゴロウ	ウスイロシマゲンゴロウ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
421	ゲンゴロウ	チビゲンゴロウ	36						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
422	ゲンゴロウ	オオマルケシゲンゴロウ	42			NT	NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
423	ゲンゴロウ	キボシツブゲンゴロウ	42			NT	NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
424	ゲンゴロウ	コウベツブゲンゴロウ	42			NT	NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
425	ゲンゴロウ	ルイスツブゲンゴロウ	42			VU	NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
426	ゲンゴロウ	シャープツブゲンゴロウ	36			NT			自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
427	ゲンゴロウ	マルチビゲンゴロウ	42			NT	DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
428	ゲンゴロウ	ヒメゲンゴロウ	36						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。

注）各選定基準の重要種のカテゴリーは以下のとおり。

＜文化財保護法＞
- 特天：国指定特別天然記念物
- 国天：国指定天然記念物
- 県天：県指定天然記念物
- 町天・村天：町又は村指定天然記念物

＜種の保存法＞
- 国内：国内希少野生動植物種
- 国際：国際希少野生動植物種
- 緊急：緊急指定種

＜高知県注目種＞
- 注目：高知県注目種

＜環境省 RL＞
- EX：絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

＜高知県 RDB2018 動物編＞
- EX：絶滅
- CR+EN：絶滅危惧 I 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

表 3.1.31(14)　文献調査で確認された昆虫類（14/17）

No.	科名	種名	文献資料	カテゴリー					生息情報
				文化財保護法	種の保存法	環境省RL	高知RDB2018動物編	高知県注目種2018	
429	コツブゲンゴロウ	ムツボシツヤコツブゲンゴロウ	42			VU	NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
430	セスジムシ	チャイロヒラタセスジムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
431	セスジムシ	ヤマトセスジムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
432	ガムシ	コガタガムシ	42			VU	VU		平地から丘陵地の水田又は池沼に生息する。
433	エンマムシモドキ	エンマムシモドキ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
434	ツヤシデムシ	ムナグロホソツヤシデムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
435	タマキノコムシ	シコクチビシデムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
436	シデムシ	ヤマトモンシデムシ	42			NT	DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
437	ハネカクシ	ラカンツヤムネハネカクシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
438	ハネカクシ	トサヤマツヤムネハネカクシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
439	ハネカクシ	ツルギヤマツヤムネハネカクシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
440	クシヒゲムシ	クチキクシヒゲムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
441	アツバコガネ	フチトリアツバコガネ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
442	クワガタムシ	ネブトクワガタ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
443	クワガタムシ	ミナミツヤハダクワガタ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
444	クワガタムシ	ヒメオオクワガタ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
445	クワガタムシ	コクワガタ	36						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
446	クワガタムシ	マメクワガタ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
447	クワガタムシ	ルイスツノヒョウタンクワガタ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
448	クロツヤムシ	ツノクロツヤムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
449	コガネムシ	イシハラカンショコガネ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
450	コガネムシ	キンスジコガネ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
451	コガネムシ	チドリムネミゾマグソコガネ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
452	コガネムシ	ヨツバコガネ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
453	コガネムシ	ヒゲコガネ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
454	コガネムシ	シラホシハナムグリ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
455	コガネムシ	ムラサキツヤハナムグリ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
456	コガネムシ	キョウトアオハナムグリ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
457	コガネムシ	クロカナブン	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
458	コブスジコガネ	アイヌコブスジコガネ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
459	タマムシ	アヤムネスジタマムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
460	タマムシ	アオタマムシ	42				VU		山地の暖温帯林上部から冷温帯林にかけての自然林に生息。
461	タマムシ	アオマダラタマムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
462	コメツキムシ	トサヒメサビキコリ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。

注）各選定基準の重要種のカテゴリーは以下のとおり。

＜文化財保護法＞
- 特天：国指定特別天然記念物
- 国天：国指定天然記念物
- 県天：県指定天然記念物
- 町天・村天：町又は村指定天然記念物

＜種の保存法＞
- 国内：国内希少野生動植物種
- 国際：国際希少野生動植物種
- 緊急：緊急指定種

＜高知県注目種＞
- 注目：高知県注目種

＜環境省 RL＞
- EX：絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

＜高知県 RDB2018 動物編＞
- EX：絶滅
- CR+EN：絶滅危惧 I 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

表 3.1.31(15)　文献調査で確認された昆虫類（15/17）

No.	科名	種名	文献資料	カテゴリー					生息情報
				文化財保護法	種の保存法	環境省RL	高知RDB2018動物編	高知県注目種2018	
463	コメツキムシ	ニホンムネスジダンダラコメツキ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
464	コメツキムシ	アカアシコハナコメツキ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
465	コメツキムシ	チビマメコメツキ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
466	コメツキムシ	オキチビマメコメツキ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
467	コメツキムシ	ウグリチビマメコメツキ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
468	ホタル	ヘイケボタル	42				NT		海岸から低山地の水田及び用水路に生息する。
469	オオキノコムシ	オオキノコムシ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
470	ツチハンミョウ	トサヒラズゲンセイ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
471	ゴミムシダマシ	ヤマトオサムシダマシ	42			NT	EX		納屋又は古い木造民家の床下に放置された藁くずから発生する。
472	ゴミムシダマシ	ゴモクムシダマシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
473	ゴミムシダマシ	クロソンマグソコガネダマシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
474	アトコブゴミムシダマシ	アトコブゴミムシダマシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
475	カミキリムシ	マツシタトラカミキリ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
476	カミキリムシ	カノコサビカミキリ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
477	カミキリムシ	タテジマカミキリ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
478	カミキリムシ	ルリカミキリ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
479	カミキリムシ	アカネトラカミキリ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
480	カミキリムシ	オオアオカミキリ	42				VU		林と道路との境目、開けた空間にある倒木又は伐採木の上、花上で観察される。
481	カミキリムシ	タキグチモモブトホソカミキリ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
482	カミキリムシ	オガサワラチャイロカミキリ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
483	カミキリムシ	ハイイロツツクビカミキリ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
484	カミキリムシ	ヨコヤマヒゲナガカミキリ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
485	カミキリムシ	ツチイロフトヒゲカミキリ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
486	カミキリムシ	クロサワヒメコバネカミキリ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
487	カミキリムシ	リョウブモモブトヒメコバネカミキリ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
488	カミキリムシ	ヨコヤマトラカミキリ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
489	カミキリムシ	ベーツヒラタカミキリ	42				CR+EN		海岸近くのシイやカシ類を主とする林家、低山地の自然林に生息。
490	カミキリムシ	クロサワヘリグロハナカミキリ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
491	カミキリムシ	シナカミキリ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
492	カミキリムシ	オダヒゲナガコバネカミキリ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
493	カミキリムシ	ホソツヤヒゲナガコバネカミキリ	42				VU		エノキの混じる暖温帯林中部の低山地で、イロハカエデの花上で発見される。
494	カミキリムシ	イッシキキモンカミキリ	42				VU		中山間地のヤマグワの生葉上で発見される。
495	カミキリムシ	リュウキュウルリボシカミキリ	42				CR+EN		スダジイ、アラカシ、タブを主体とする混交林周辺に生息する。
496	カミキリムシ	エゾナガヒゲカミキリ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。

注）各選定基準の重要種のカテゴリーは以下のとおり。

＜文化財保護法＞
- 特天：国指定特別天然記念物
- 国天：国指定天然記念物
- 県天：県指定天然記念物
- 町天・村天：町又は村指定天然記念物

＜種の保存法＞
- 国内：国内希少野生動植物種
- 国際：国際希少野生動植物種
- 緊急：緊急指定種

＜高知県注目種＞
- 注目：高知県注目種

＜環境省 RL＞
- EX：絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

＜高知県 RDB2018 動物編＞
- EX：絶滅
- CR+EN：絶滅危惧 I 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

表 3.1.31(16)　文献調査で確認された昆虫類（16/17）

No.	科名	種名	文献資料	カテゴリー					生息情報
				文化財保護法	種の保存法	環境省RL	高知RDB2018動物編	高知県注目種2018	
497	カミキリムシ	ヤマトシロオビトラカミキリ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
498	カミキリムシ	クビアカモモブトホソカミキリ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
499	カミキリムシ	ナカバヤシモモブトカミキリ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
500	カミキリムシ	ミヤマモモブトカミキリ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
501	カミキリムシ	アカイロニセハムシハナカミキリ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
502	カミキリムシ	ヤマトチビコバネカミキリ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
503	カミキリムシ	ベーツヤサカミキリ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
504	カミキリムシ	ニッポンモモブトコバネカミキリ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
505	カミキリムシ	フタスジゴマフカミキリ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
506	カミキリムシ	ヨツボシシロオビゴマフカミキリ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
507	カミキリムシ	マダラゴマフカミキリ	42				VU		暖温帯林から冷温帯林に生息する。
508	カミキリムシ	ケナガカミキリ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
509	カミキリムシ	ツヤケシヒゲナガコバネカミキリ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
510	カミキリムシ	トガリバホソコバネカミキリ	42				VU		ハイノキ及びタンナサワフタギの衰弱木または枯れ木で発見される。
511	カミキリムシ	ヒゲジロホソコバネカミキリ	42				VU		暖温帯林上部から冷温帯林に生息し、ミズナラの立ち枯れ木を好む。
512	カミキリムシ	ケブカヒラタカミキリ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
513	カミキリムシ	ホソツツリンゴカミキリ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
514	カミキリムシ	ナカネアメイロカミキリ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
515	カミキリムシ	エゾトラカミキリ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
516	カミキリムシ	ヒゲブトハナカミキリ	42				VU		原生的な暖温帯林上部から冷温帯林のブナ等の大木の樹洞に生息。
517	カミキリムシ	ベニバハナカミキリ	42				VU		自然度が高い林に生息する。
518	カミキリムシ	セダカコブヤハズカミキリ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
519	カミキリムシ	カタキハナカミキリ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
520	カミキリムシ	キュウシュウチビトラカミキリ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
521	カミキリムシ	アワヒメハナカミキリ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
522	カミキリムシ	マホロバヒメハナカミキリ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
523	カミキリムシ	ブロイニングヒメハナカミキリ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
524	カミキリムシ	シコクヒメコブハナカミキリ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
525	カミキリムシ	クリサビカミキリ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
526	カミキリムシ	ホンドニセハイイロハナカミキリ	42				VU		低山地から山地の、主にアカマツ又はクロマツ、モミの自然林に生息。
527	カミキリムシ	キュウシュウトゲバカミキリ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
528	カミキリムシ	アオカミキリ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
529	カミキリムシ	クロオビトゲムネカミキリ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
530	カミキリムシ	トゲウスバカミキリ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。

注）各選定基準の重要種のカテゴリーは以下のとおり。

＜文化財保護法＞
- 特天：国指定特別天然記念物
- 国天：国指定天然記念物
- 県天：県指定天然記念物
- 町天・村天：町又は村指定天然記念物

＜種の保存法＞
- 国内：国内希少野生動植物種
- 国際：国際希少野生動植物種
- 緊急：緊急指定種

＜高知県注目種＞
- 注目：高知県注目種

＜環境省 RL＞
- EX：絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

＜高知県 RDB2018 動物編＞
- EX：絶滅
- CR+EN：絶滅危惧 I 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

表 3.1.31(17)　文献調査で確認された昆虫類（17/17）

No.	科名	種名	文献資料	カテゴリー					生息情報
				文化財保護法	種の保存法	環境省RL	高知RDB2018動物編	高知県注目種2018	
531	カミキリムシ	カッコウメダカカミキリ	42				VU		平地又は海岸、小高い丘陵地にある雑木林のアケビの枯れ蔓で観察される。
532	カミキリムシ	トワダムモンメダカカミキリ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
533	カミキリムシ	タカオメダカカミキリ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
534	カミキリムシ	フタコブルリハナカミキリ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
535	カミキリムシ	ヨツボシカミキリ	42			EN	CR+EN		平地から低山地の比較的明るい雑木林及びその周辺に生息する。
536	カミキリムシ	イガブチヒゲハナカミキリ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
537	カミキリムシ	タケウチホソハナカミキリ	42				VU		暖温帯林上部から冷温帯林の自然林に生息する。
538	カミキリムシ	キボシチビカミキリ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
539	カミキリムシ	アヤモンチビカミキリ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
540	カミキリムシ	ヒトオビチビカミキリ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
541	カミキリムシ	オオクボカミキリ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
542	カミキリムシ	アサカミキリ	42			VU	EX		県RDBに示されている種。詳細は不明。
543	カミキリムシ	トラフカミキリ	42				VU		平地から低山地のクワ又はヤマグワの葉上にいることが多い。
544	カミキリムシ	オオトラカミキリ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
545	ハムシ	ヒゴトゲハムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
546	ゾウムシ	タカハシトゲゾウムシ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
547	キバチ	クロヒラアシキバチ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
548	キバチ	ナカネヒラアシキバチ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
549	セイボウ	オオセイボウ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
550	アリ	トカラウロコアリ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
551	アリ	アシジロヒラフシアリ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
552	スズメバチ	ジュウジドロバチ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
553	スズメバチ	モンスズメバチ	42			DD	NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
554	クモバチ	フタモンクモバチ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
555	クモバチ	ツマアカクモバチ	42				NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
556	ドロバチモドキ	ニッポンハナダカバチ	42			VU	NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。
557	フシダカバチ	アカアシツチスガリ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
558	フシダカバチ	キスジツチスガリ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
559	アナバチ	フジジガバチ	42			NT	DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
560	アナバチ	キバネアナバチ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
561	アナバチ	キゴシジガバチ	42				CR+EN		建物の軒又は壁に泥を練って営巣する。
562	ミツバチ	シロスジフトハナバチ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
563	ミツバチ	シロスジヒゲナガハナバチ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
564	ミツバチ	ミツクリヒゲナガハナバチ	42				DD		県RDBに示されている種。詳細は不明。
565	ハキリバチ	キバラハキリバチ	42			NT	NT		県RDBに示されている種。詳細は不明。

注）各選定基準の重要種のカテゴリーは以下のとおり。

＜文化財保護法＞
- 特天：国指定特別天然記念物
- 国天：国指定天然記念物
- 県天：県指定天然記念物
- 町天・村天：町又は村指定天然記念物

＜種の保存法＞
- 国内：国内希少野生動植物種
- 国際：国際希少野生動植物種
- 緊急：緊急指定種

＜高知県注目種＞
- 注目：高知県注目種

＜環境省 RL＞
- EX：絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

＜高知県 RDB2018 動物編＞
- EX：絶滅
- CR+EN：絶滅危惧 I 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群



凡　例		
記　号	名　称	備　考
	動物分布域	自然環境保全基礎調査

出典：第1回自然環境保全基礎調査 高知県すぐれた自然図（環境庁 1973年）
第2回自然環境保全基礎調査 動植物分布図（環境庁 1981年）

※第3、4、5回自然環境保全基礎調査及び高知県レッドデータブック（動物編）では、詳細な分布範囲が示されていないため、図示しない。

図名	図 3.1.23　重要な動物分布図（昆虫類）

N
W　E
S

S = 1:25,000
0　0.5　1.0　1.5km

G) 底生動物

文献調査の結果、対象地域周辺に生息する底生動物として、14 科 21 種があげられている（表 3.1.32 参照）。

そのうち重要種は「ヒメマルマメタニシ」、「ミナミテナガエビ」等の 8 科 14 種が確認された。

「自然環境保全基礎調査」では、「ホラアナミジンニナ」、「ヒラマキミズマイマイ」、「ヒラマキガイモドキ」、「マシジミ」の 4 種が記録されている。

「高知県 RDB 2018」では、対象地域に生息の可能性がある種として、「ホラアナゴマオカチグサ」、「ミナミテナガエビ」、「アカテガニ」等の 11 種があげられている。

なお、文献調査では重要な底生動物の詳細な分布図が確認されなかったため、図面には記載していない。

表 3.1.32(1)　文献調査で確認された底生動物（1/2）

No.	科名	種名	文献資料	カテゴリー					生息情報
				文化財保護法	種の保存法	環境省 RL	高知RDB 2018 動物編	高知県注目種 2018	
1	リンゴガイ	スクミリンゴガイ	31						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
2	タニシ	ヒメタニシ	13,31						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
3	カワニナ	カワニナ	31						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
4	ミズツボ	ホラアナミジンニナ	31			VU			自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
5	カワザンショウガイ	ホラアナゴマオカチグサ	42			CR+EN	DD		石灰道内の真っ暗な場所の湿った壁面で生活している。
6	エゾマメタニシ	ヒメマルマメタニシ	42			VU	DD		水田内及び水田に隣接する水路に生息する。
7	モノアラガイ	ヒメモノアラガイ	31						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
8	モノアラガイ	ハブタエモノアラガイ	31						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
9	サカマキガイ	サカマキガイ	31						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
10	ヒラマキガイ	ヒラマキミズマイマイ	31			DD			自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
11	ヒラマキガイ	クルマヒラマキガイ	42				NT		水田及びその周囲の水路に生息する。
12	ヒラマキガイ	ヒラマキガイモドキ	31,42			NT	NT		自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
13	カワコザラガイ	カワコザラガイ	31						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
14	イシガイ	ニセマツカサガイ	42			VU	VU		河川及び水路の砂礫底、砂泥底内に生息する。
15	イシガイ	タガイ	42				NT		水路の泥底ないし砂礫底内に生息する。

注）各選定基準の重要種のカテゴリーは以下のとおり。

＜文化財保護法＞
特天：国指定特別天然記念物
国天：国指定天然記念物
県天：県指定天然記念物
町天・村天：町又は村指定天然記念物

＜種の保存法＞
国内：国内希少野生動植物種
国際：国際希少野生動植物種
緊急：緊急指定種

＜高知県注目種＞
注目：高知県注目種

＜環境省 RL＞
EX：絶滅
CR：絶滅危惧 IA 類
EN：絶滅危惧 IB 類
VU：絶滅危惧 II 類
NT：準絶滅危惧種
DD：情報不足
LP：絶滅のおそれのある地域個体群

＜高知県 RDB2018 動物編＞
EX：絶滅
CR+EN：絶滅危惧 I 類
VU：絶滅危惧 II 類
NT：準絶滅危惧種
DD：情報不足
LP：絶滅のおそれのある地域個体群

表 3.1.32(2)　文献調査で確認された底生動物（2/2）

No.	科名	種名	文献資料	カテゴリー					生息情報
				文化財保護法	種の保存法	環境省RL	高知RDB2018動物編	高知県注目種2018	
16	イシガイ	ヌマガイ	42				NT		溜池及び水路の砂底ないし泥底内に生息する。
17	シジミ	マシジミ	32			VU			自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
18	テナガエビ	ミナミテナガエビ	42				NT		河川の河口域から上流域に生息。
19	テナガエビ	ヒラテテナガエビ	42				NT		河川の下流域から上流域に生息。
20	ベンケイガニ	アカテガニ	42				NT		河川河口域から中流域までの土手や山林内等に生息。
21	ベンケイガニ	ベンケイガニ	42				NT		河川河口域から中流域までの土手や山林内等に生息。

注）各選定基準の重要種のカテゴリーは以下のとおり。

＜文化財保護法＞
特天：国指定特別天然記念物
国天：国指定天然記念物
県天：県指定天然記念物
町天・村天：町又は村指定天然記念物

＜種の保存法＞
国内：国内希少野生動植物種
国際：国際希少野生動植物種
緊急：緊急指定種

＜高知県注目種＞
注目：高知県注目種

＜環境省 RL＞
EX：絶滅
CR：絶滅危惧 IA 類
EN：絶滅危惧 IB 類
VU：絶滅危惧 II 類
NT：準絶滅危惧種
DD：情報不足
LP：絶滅のおそれのある地域個体群

＜高知県 RDB2018 動物編＞
EX：絶滅
CR+EN：絶滅危惧 I 類
VU：絶滅危惧 II 類
NT：準絶滅危惧種
DD：情報不足
LP：絶滅のおそれのある地域個体群

H) 陸産貝類

文献調査の結果、対象地域周辺に生息する陸産貝類として、19 科 70 種があげられている（表 3.1.33 参照）。

そのうち重要種は、「オオギセル」や「タビトギセル」等の 9 科 27 種が確認された。

「自然環境保全基礎調査」では、「アズママルクチコ」、「トサギセル」、「ヒラベッコウガイ」等の 22 種の生息が記録されている。

「高知県 RDB 2018」では、対象地域に生息の可能性がある種として、「オオギセル」、「トサビロウドマイマイ」、「カドバリオトメマイマイ」等の 9 種があげられている。

なお、文献調査では重要な陸産貝類の詳細な分布図が確認されなかったため、図面には記載していない。

表 3.1.33(1)　文献調査で確認された陸産貝類（1/3）

No.	科名	種名	文献資料	カテゴリー					生息情報
				文化財保護法	種の保存法	環境省 RL	高知RDB 2018 動物編	高知県注目種 2018	
1	ゴマオカタニシ	ベニゴマオカタニシ	22,32			VU			自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
2	ヤマキサゴ	ヤマキサゴ	31						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
3	ヤマタニシ	ヤマタニシ	22,31						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
4	ヤマタニシ	アツブタガイ	31						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
5	ヤマグルマガイ	ヤマクルマガイ	22,31						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
6	ムシオイガイ	サルダアツブタムシオイ	42			EN	CR+EN		石灰岩地のガレ場の石の下に生息する。
7	ムシオイガイ	サツマムシオイガイ	31						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
8	ムシオイガイ	アワムシオイガイ	31						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
9	ゴマガイ	シコクゴマガイ	31						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
10	ゴマガイ	トサゴマガイ	31						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
11	ゴマガイ	オオノゴマガイ	31						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
12	ゴマガイ	ヒダリマキゴマガイ	31						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
13	ケシガイ	ケシガイ	31			NT			自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
14	キバサナギガイ	クチマガリスナガイ	22,31			VU			自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
15	マキゾメガイ	マルナタネガイ	22						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
16	マキゾメガイ	ヒラドマルナタネ	22,31						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
17	キセルガイモドキ	キセルガイモドキ	13, 22,31						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。

注）各選定基準の重要種のカテゴリーは以下のとおり。

＜文化財保護法＞
- 特天：国指定特別天然記念物
- 国天：国指定天然記念物
- 県天：県指定天然記念物
- 町天・村天：町又は村指定天然記念物

＜種の保存法＞
- 国内：国内希少野生動植物種
- 国際：国際希少野生動植物種
- 緊急：緊急指定種

＜高知県注目種＞
- 注目：高知県注目種

＜環境省 RL＞
- EX：絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

＜高知県 RDB2018 動物編＞
- EX：絶滅
- CR+EN：絶滅危惧 I 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

表 3.1.33(2)　文献調査で確認された陸産貝類（2/3）

No.	科名	種名	文献資料	カテゴリー					生息情報
				文化財保護法	種の保存法	環境省RL	高知RDB2018動物編	高知県注目種2018	
18	キセルガイ	オオギセル	42			NT	VU		自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
19	キセルガイ	ニセコスジギセル	42				NT		うっそうと茂る社寺林の広葉樹の巨木付近に生息する。
20	キセルガイ	フルトンギセル	31						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
21	キセルガイ	コンボウギセル	13,31						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
22	キセルガイ	アズママルクチコギセル	22,31			CR+EN	CR+EN		自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
23	キセルガイ	アワジギセル	22,31						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
24	キセルガイ	チビギセル	22						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
25	キセルガイ	シマケルギセル	13,22,31			NT			自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
26	キセルガイ	トサギセル	22,31			NT			自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
27	キセルガイ	シリオレギセル	13,22,31						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
28	キセルガイ	ホソヒメギセル	22,42			VU	NT		自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
29	キセルガイ	シタヅキギセル	22				VU		自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
30	キセルガイ	トサシリボソギセル	13,22,31			NT			自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
31	キセルガイ	シンチュウギセル	13,42				CR+EN		広葉樹の古木の樹幹、樹洞及び根元に生息する。
32	キセルガイ	タビトギセル	13,22,42				CR+EN		自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
33	オカチョウジガイ	オカチョウジガイ	22						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
34	ナタネガイ	ミジンナタネ	22,32						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
35	ナタネガイ	ハリマナタネ	22,32						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
36	コハクガイ	コハクガイ	22						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
37	オオコウラナメクジ	オオコウラナメクジ	32			NT			自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
38	ベッコウマイマイ	ヒラベッコウガイ	32						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
39	ベッコウマイマイ	ツノイロヒメベッコウ	22,32						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
40	ベッコウマイマイ	ヒメベッコウガイ	32						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
41	ベッコウマイマイ	ヤクシマヒメベッコウ	22,32						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
42	ベッコウマイマイ	キビガイ	22,32						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
43	ベッコウマイマイ	キヌツヤベッコウ	22,32			DD			自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
44	ベッコウマイマイ	ヒゼンキビ	22,32			NT			自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
45	ベッコウマイマイ	マルシタラガイ	22,32						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
46	ベッコウマイマイ	ウメムラシタラガイ	22,32						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。

注）各選定基準の重要種のカテゴリーは以下のとおり。

＜文化財保護法＞
- 特天：国指定特別天然記念物
- 国天：国指定天然記念物
- 県天：県指定天然記念物
- 町天・村天：町又は村指定天然記念物

＜種の保存法＞
- 国内：国内希少野生動植物種
- 国際：国際希少野生動植物種
- 緊急：緊急指定種

＜高知県注目種＞
- 注目：高知県注目種

＜環境省 RL＞
- EX：絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

＜高知県 RDB2018 動物編＞
- EX：絶滅
- CR+EN：絶滅危惧 I 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

表 3.1.33(3)　文献調査で確認された陸産貝類（3/3）

No.	科名	種名	文献資料	カテゴリー					生息情報
				文化財保護法	種の保存法	環境省RL	高知RDB2018動物編	高知県注目種2018	
47	ベッコウマイマイ	カサキビ	22,32						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
48	ベッコウマイマイ	オオウエキビ	22,32			DD			自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
49	ベッコウマイマイ	トサキビ	22,32			DD			自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
50	ベッコウマイマイ	サドタカキビ	22,32			DD			自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
51	ベッコウマイマイ	ウラジロベッコウ	22,32						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
52	ナンバンマイマイ	ヒメビロウドマイマイ	13			VU			自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
53	ナンバンマイマイ	トサビロウドマイマイ	42			VU	CR+EN		主にブナ林に生息し、樹洞や倒木の下、腐葉土に覆われた場所やガレ場に生息。
54	ナンバンマイマイ	シメクチマイマイ	13,22,32						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
55	ナンバンマイマイ	ニッポンマイマイ	22						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
56	ナンバンマイマイ	コベソマイマイ	13,22,32						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
57	ナンバンマイマイ	オオツヤマイマイ	42			VU	VU		石灰岩地に多く、岩の表面や隙間、森林内の倒木の下や枝葉の下にも生息する。
58	オナジマイマイ	オキナワウスカワマイマイ	32						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
59	オナジマイマイ	ウスカワマイマイ	22,32						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
60	オナジマイマイ	チクヤケマイマイ	32						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
61	オナジマイマイ	コケマイマイ	32				NT		自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
62	オナジマイマイ	コウベマイマイ	32						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
63	オナジマイマイ	ヒラコウベマイマイ	22			NT	VU		自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
64	オナジマイマイ	トサマイマイ	32						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
65	オナジマイマイ	アワマイマイ	13,22,32						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
66	オナジマイマイ	セトウチマイマイ	13,22,32						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
67	オナジマイマイ	カドバリオトメマイマイ	32,42			NT	VU		自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
68	オナジマイマイ	シロマイマイ	13,22,32			NT			自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
69	オナジマイマイ	シコクオトメマイマイ	32						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。
70	タワラガイ	タワラガイ	22,32						自然環境保全基礎調査で対象地域周辺において確認された種。

注）各選定基準の重要種のカテゴリーは以下のとおり。

＜文化財保護法＞
- 特天：国指定特別天然記念物
- 国天：国指定天然記念物
- 県天：県指定天然記念物
- 町天・村天：町又は村指定天然記念物

＜種の保存法＞
- 国内：国内希少野生動植物種
- 国際：国際希少野生動植物種
- 緊急：緊急指定種

＜高知県注目種＞
- 注目：高知県注目種

＜環境省 RL＞
- EX：絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

＜高知県 RDB2018 動物編＞
- EX：絶滅
- CR+EN：絶滅危惧 I 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

(2) 植生及び植物の状況

対象地域における土地利用及び自然環境の状況を考慮して、対象地域に生育する可能性のある重要な植物について既存文献等から整理した。

重要な種及び群落の選定基準を表 3.1.34 に示し、収集・整理した文献を表 3.1.35 に示す。

植物の重要な種及び群落の抽出は、動物の重要種と同様に行い、重要な種の分布情報については、「～高知県の絶滅のおそれのある野生植物～　高知県レッドリスト（植物編） 2020 年改訂版」（高知県林業振興・環境部 環境共生課、2020：以下、「高知県 RL 2020 植物編」とする）に記載されている内容のうち、佐川町、日高村、土佐市の沿岸部を除く地域、県内西部から中央部及び県内全域に生息する種について整理した。

上記の文献より抽出された重要な種のうち、生育確認位置が明確な種については図に整理した。

表 3.1.34　重要な種の選定基準（植物）

文献名等	省略名
Ⅰ.「天然記念物保護法」（昭和 25 年法律第 214 号、最終改正：平成 26 年法律第 69 号）	文化財保護法
Ⅱ.「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成 4 年法律第 75 号、最終改正：令和元年法律第 37 号	種の保存法
Ⅲ.「環境省_環境省レッドリスト 2020 の公表について」（令和 2 年 3 月 環境省 報道発表資料）	環境省 RL
Ⅳ.「高知県レッドリスト（植物編）2020 年改訂版」（令和 2 年 3 月　高知県）	高知県 RL 2020

表 3.1.35　収集・整理した文献

No.	文 献 名 等	発行所名等	制定・発行年
1	「文化財保護法」 (昭和 25 年法律第 214 号、最終改正：平成 26 年法律第 69 号)	法律	1950
2	「植生図・主要動植物地図　天然記念物緊急調査」	文化庁	1973
3	「第 2 回自然環境保全基礎調査　動植物分布図」	環境庁(現；環境省)	1981
4	「第 2 回自然環境保全基礎調査　現存植生図」	環境庁(現；環境省)	1982
5	「第 3 回自然環境保全基礎調査　高知県自然環境情報図」	環境庁(現；環境省)	1989
6	「第 3 回自然環境保全基礎調査　現存植生図」	環境庁(現；環境省)	1985
7	「第 4 回自然環境保全基礎調査　日本の巨樹・巨木林」	環境庁(現；環境省)	1991
8	「第 4 回自然環境保全基礎調査　現存植生図」	環境庁(現；環境省)	1994
9	「第 5 回自然環境保全基礎調査　現存植生図」	環境庁(現；環境省)	1999
10	「第 6 回自然環境保全基礎調査　巨樹・巨木林フォローアップ調査報告書」	環境省生物多様性センター	2001
11	「高知県レッドデータブック（植物編） －高知県の絶滅のおそれのある野生植物－」	高知県	2000
12	「高知県レッドリスト（植物編）2020 年改訂版」	高知県	2020

A) 植　生

「第 2-5 回自然環境保全基礎調査」（環境省、昭和 56 年-平成 11 年）によると、対象地域周辺においては、植林地・耕作地植生及びヤブツバキクラス域代償植生の割合が高く、一部で造成地が見られる（図 3.1.24 参照）。

建設予定地周辺では、主にシイ・カシ萌芽林、スギ・ヒノキ植林が多く、進入道路付近ではスギ・ヒノキ植林、伐跡群落、造成地、水田雑草群落が確認された。

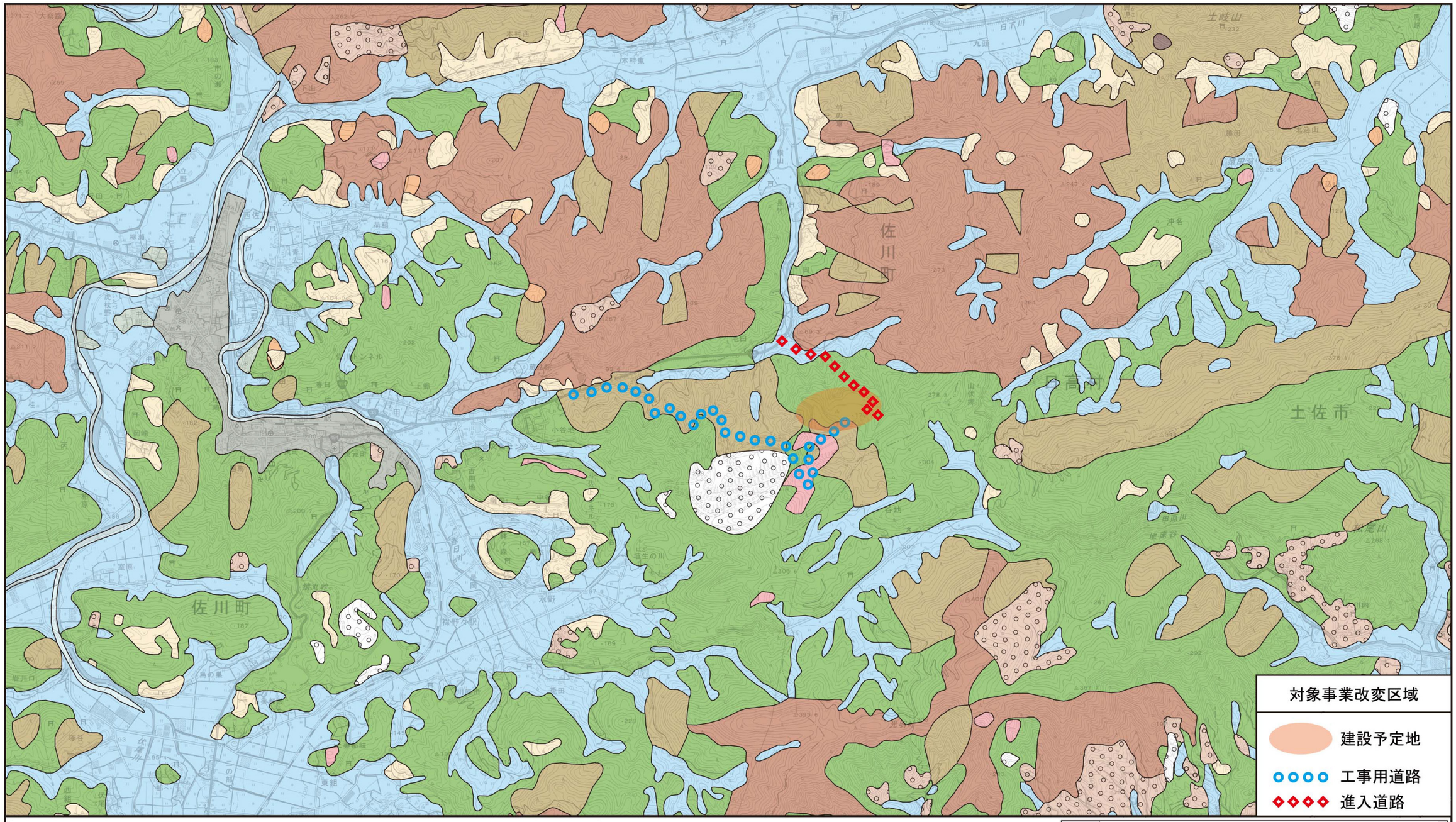
B) 群　落

「第 4 回自然環境保全基礎調査　日本の巨樹・巨木林」（環境庁、1991 年）による巨樹・巨木等の調査において表 3.1.36 及び図 3.1.25 に示す巨樹・巨木林が確認された。

なお、対象地域において特定植物群落は存在しない。

表 3.1.36　文献調査にて確認された巨樹・巨木林

No.	区分	所在地	推定樹齢	樹種名	幹周(cm)	樹高(m)
1	単木	日高村　九頭	300 以上	ムクノキ	320	23
2	単木	土佐市　観音堂	200～299	カヤ	360	18
3	単木	土佐市　仁王門	300 以上	スギ	550 450 400	21 36 20
4	単木	土佐市　闇篭神社	300 以上	クスノキ	700	25
5	単木	佐川町　兎田	300 以上	クスノキ	600	25
6	単木	佐川町　荷稲	300 以上	クスノキ	750	36



凡例

記号	名称	植生区分
	シイ・カシ萌芽林	ヤブツバキクラス域代償植生
	アカマツ群落	
	伐跡群落	
	スギ・ヒノキ植林	植林地・耕作地植生
	クロマツ植林	
	水田雑草群落	
	畑地雑草群落	

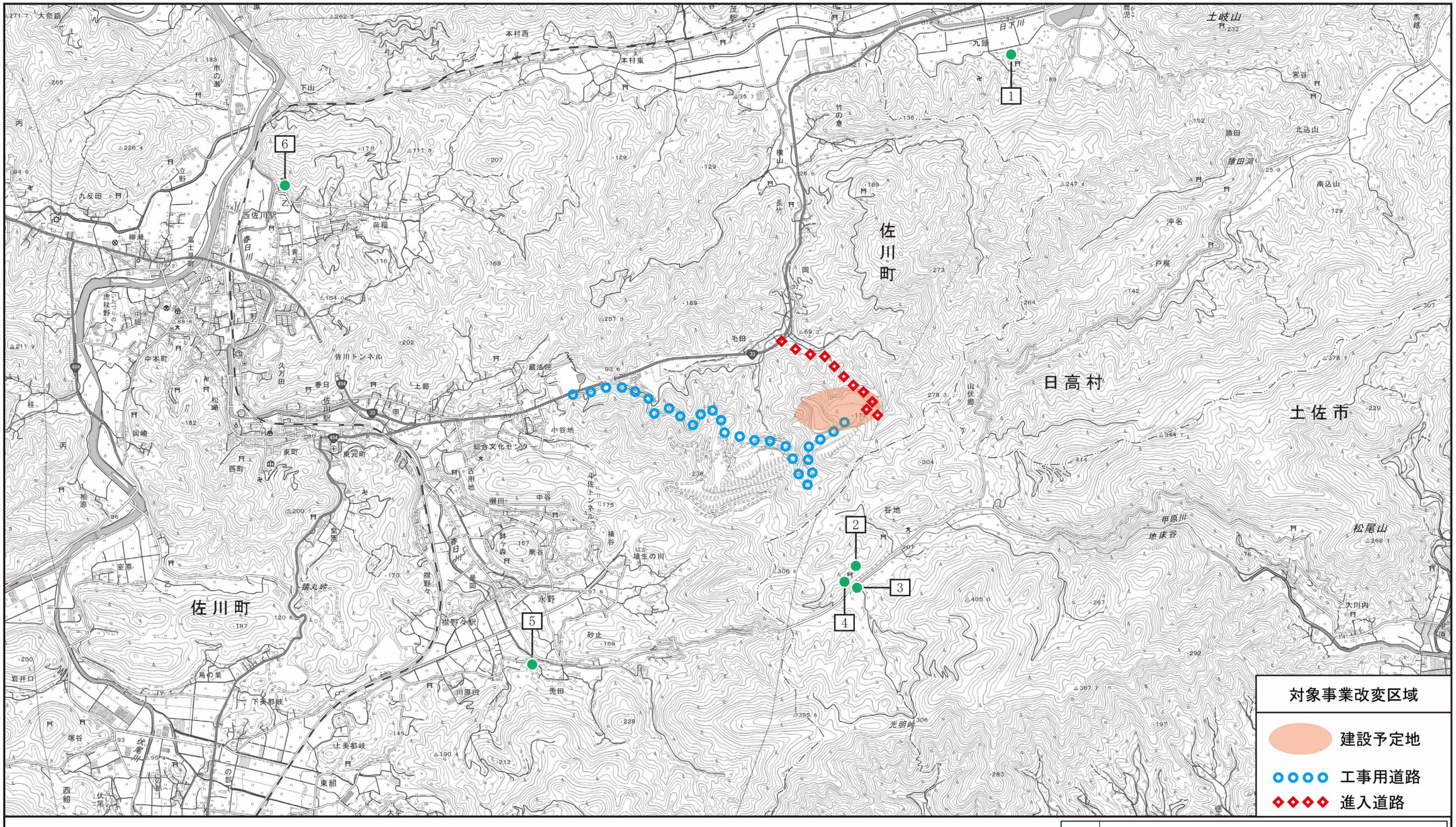
記号	名称	植生区分
	竹林	植林地・耕作地植生
	常緑果樹園	
	桑園	
	市街地	その他
	緑の多い住宅地	
	造成地	
	開放水域	

出典：第 2-5 回自然環境保全基礎調査（昭和 48 年－平成 10 年度） 植生調査（1/50,000 縮尺）
（環境省自然環境局生物多様性センター HP、令和 2 年 10 月現在）

図名　図 3.1.24　現存植生図

N
W　E
S

S = 1:25,000
0　0.5　1.0　1.5km



凡　例

記号			所在地・通称名	区分	樹種名	備考
●	日高村	1	九頭	単木	ムクノキ	
	土佐市	2	観音堂	単木	カヤ	
		3	仁王門	単木	スギ	
		4	闇篭神社	単木	クスノキ	
	佐川町	5	兎田	単木	クスノキ	天然記念物（町）
		6	佐川の大樟	単木	クスノキ	天然記念物（県）

出典：第4回自然環境保全基礎調査 日本の巨樹・巨木林（平成3年 環境庁）
第6回自然環境保全基礎調査 日本の巨樹・巨木林（平成13年 環境省）

図名	図 3.1.25　巨樹巨木位置図

N
W　E
S

S = 1:25,000
0　0.5　1.0　1.5km

C) 植物相

文献調査の結果、対象地域周辺に生息する可能性がある植物として 100 科 468 種があげられている（表 3.1.37 参照）。

そのうち重要種は、「エビネ」、「サカワサイシン」等の 100 科 451 種が確認された。

「文化財保護法」では、重要種である「タチバナ」が「甲原松尾山のタチバナ群落」として国指定文化財に指定されている。

「自然環境保全基礎調査」では、重要な種はあげられていない。

「高知県 RDB 2000」では、対象地域に生息の可能性がある重要種として、「スギラン」、「ヒメミゾシダ」、「トサノチャルメルソウ」等が 180 種あげられている。

対象地域周辺において、甲原松尾山において「タチバナ」の生息が確認されている。

表 3.1.37(1) 文献調査で抽出された植物（1/15）

No.	科名	種名	文献資料	カテゴリー				生息情報
				文化財保護法	種の保存法	環境省RL	高知RL2020植物編	
1	ヒカゲノカズラ	スギラン	11,12			VU	EN	山地の林内の樹上又は岩上に着生する草本。県内各地に点在する。
2	ヒカゲノカズラ	ヒモラン	11,12			EN	CR	山地林下の樹上又は岩上に着生する。佐川町で記録がある。
3	イワヒバ	ヤマクラマゴケ	12				CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
4	ミズニラ	ミズニラ	12			NT	CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
5	ミズニラ	シナミズニラ	11			VU		浅井池や沼等の底に生える水草。佐川町等で現存が確認されている。
6	ミズニラ	オオバシナミズニラ	12			EN	EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
7	ハナヤスリ	シチトウハナワラビ	12				NT	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
8	ハナヤスリ	エゾフユノハナワラビ	12				CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
9	ハナヤスリ	アカハナワラビ	12				DD	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
10	ハナヤスリ	ヒロハハナヤスリ	12				NT	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
11	マツバラン	マツバラン	11			NT		暖温帯林、シイ林域の樹上や岩上、地上に生育する。土佐市で記録がある。
12	サンショウモ	アカウキクサ	11,12			EN	NT	池や沼の水面に浮かぶ小型の浮遊シダ植物。土佐市等で現存する。
13	ホングウシダ	ホングウシダ	12				CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
14	ホングウシダ	アイノコホラシノブ	12				DD	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
15	コバノイシカグマ	ユノミネシダ	12				CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
16	コバノイシカグマ	セイタカイワヒメワラビ	12				DD	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
17	イノモトソウ	ヤワラハチジョウシダ	11,12			EN	VU	暖地の山林の林床に生える草本。土佐市等で現存が確認されている。
18	イノモトソウ	ハチジョウシダモドキ	12				NT	RL2020に記載されている種。詳細は不明。

注）各選定基準の重要種のカテゴリーは以下のとおり。

＜文化財保護法＞
- 特天：国指定特別天然記念物
- 国天：国指定天然記念物
- 県天：県指定天然記念物
- 町天・村天：町又は村指定天然記念物

＜種の保存法＞
- 国内：国内希少野生動植物種
- 国際：国際希少野生動植物種
- 緊急：緊急指定種

＜高知県注目種＞
- 注目：高知県注目種

＜環境省 RL＞
- EX：絶滅
- EW：野生絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

＜高知県 RL2020 植物編＞
- EX：絶滅
- EW：野生絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足

表 3.1.37(2)　文献調査で抽出された重要な植物（2/15）

No.	科名	種名	文献資料	カテゴリー				生息情報
				文化財保護法	種の保存法	環境省RL	高知RL2020植物編	
19	イノモトソウ	ヒカゲアマクサシダ	12			EN	CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
20	ナヨシダ	ウスヒメワラビモドキ	12				CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
21	チャセンシダ	アオチャセンシダ	11,12				DD	主に石灰岩地の岩隙に生える夏緑性の草本。高岡郡で記録がある。
22	チャセンシダ	ナンゴクホウビシダ	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
23	ヒメシダ	ヒメミゾシダ	12			NT	EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
24	ヒメシダ	ヨコグラヒメワラビ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
25	ヒメシダ	イワハリガネワラビ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
26	ヒメシダ	オオバショリマ	12				EX	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
27	イワデンダ	コガネシダ	12				NT	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
28	イワデンダ	イワデンダ	12				NT	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
29	メシダ	テバコワラビ	12			VU	VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
30	メシダ	ハコネシケチシダ	12				NT	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
31	メシダ	サトメシダ	12				NT	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
32	メシダ	ツクシイヌワラビ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
33	メシダ	シイバサトメシダ	12			CR	CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
34	メシダ	サキモリイヌワラビ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
35	メシダ	キリシマヘビノネゴザ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
36	メシダ	ヒメシケシダ	12				DD	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
37	メシダ	ニセヒロハノコギリシダ	12				CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
38	メシダ	オオバミヤマノコギリシダ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
39	メシダ	オキナワコクモウクジャク	11,12			NT	EN	革質で常緑のシダ植物。土佐市で記録がある。
40	メシダ	ヒュウガシダ	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
41	キンモウワラビ	キンモウワラビ	11,12			VU	CR	暖温帯、特に石灰岩地の割れ目などに生えている。佐川町で記録がある。
42	オシダ	ハガクレカナワラビ	12			VU	VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
43	オシダ	サツマシダ	12			EN	CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
44	オシダ	イズヤブソテツ	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
45	オシダ	ハチジョウベニシダ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
46	オシダ	ギフベニシダ	12				NT	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
47	オシダ	ワカナシダ	11,12				VU	山地の林床や渓流沿いの湿った場所に生える。日高村等に記録がある。
48	オシダ	クロミノイタチシダ	12				DD	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
49	オシダ	ミヤマベニシダ	12				CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
50	オシダ	アツギノヌカイタチシダマガイ	12				CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
51	オシダ	ムラサキベニシダ	11,12			CR	CR	照葉樹林の林床で湿ったところに生える。日高村で記録がある。

注）各選定基準の重要種のカテゴリーは以下のとおり。

＜文化財保護法＞
- 特天：国指定特別天然記念物
- 国天：国指定天然記念物
- 県天：県指定天然記念物
- 町天・村天：町又は村指定天然記念物

＜種の保存法＞
- 国内：国内希少野生動植物種
- 国際：国際希少野生動植物種
- 緊急：緊急指定種

＜高知県注目種＞
- 注目：高知県注目種

＜環境省 RL＞
- EX：絶滅
- EW：野生絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

＜高知県 RL2020 植物編＞
- EX：絶滅
- EW：野生絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足

表 3.1.37(3)　文献調査で抽出された重要な植物（3/15）

No.	科名	種名	文献資料	カテゴリー				生息情報
				文化財保護法	種の保存法	環境省RL	高知RL2020植物編	
52	オシダ	オワセベニシダ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
53	オシダ	マルバヌカイタチシダモドキ	11,12			CR	CR	低山地の林床に稀に生える常緑性の草本。佐川町で記録がある。
54	オシダ	ナガサキシダ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
55	オシダ	ヌカイタチシダマガイ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
56	オシダ	タチデンダ	11,12				EN	暖温帯の石灰岩地にやや稀に生じる草本。佐川町等で見られる。
57	オシダ	オリヅルシダ	12				NT	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
58	ウラボシ	ミョウギシダ	12			EN	CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
59	ウラボシ	ホテイシダ	12				NT	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
60	ウラボシ	カラクサシダ	12				NT	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
61	ウラボシ	イワオモダカ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
62	スイレン	コウホネ	11,12				VU	浅井池や沼地、小さい流れに生える水草。土佐市等で現存する。
63	スイレン	オグラコウホネ	12			VU	CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
64	スイレン	ベニオグラコウホネ	12				CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
65	スイレン	サイコクヒメコウホネ	12				CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
66	スイレン	ヒツジグサ	12				DD	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
67	コショウ	サダソウ	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
68	ウマノスズクサ	サカワサイシン	11,12			VU	注目種	低地の林床に生ずる常緑多年草本。高岡郡等に自生する。
69	ウマノスズクサ	ウスバサイシン	11					多年草の草本。高知県で自生地が確認されている。詳細は不明。
70	クスノキ	スナヅル	12				CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
71	クスノキ	クロモジ	12				DD	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
72	サトイモ	オモゴウテンナンショウ	12			EN	EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
73	サトイモ	ミミガタテンナンショウ	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
74	サトイモ	ユキモチソウ	11,12			VU	注目種	低山の林床に生育する。県内では東部から西部の各地で見られる。
75	サトイモ	コウキクサ	12				NT	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
76	チシマゼキショウ	ハコネハナゼキショウ	12				CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
77	トチカガミ	スブタ	11,12			VU	EN	水田や溝などの湿地に生える多年草。佐川町で記録がある。
78	トチカガミ	ヤナギスブタ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
79	トチカガミ	ムサシモ	12			EN	CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
80	トチカガミ	ヒロハトリゲモ	11					水田や溜池等に生える沈水植物。日高村に記録、佐川町から報告がある。
81	トチカガミ	サガミトリゲモ	12			VU	CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
82	トチカガミ	イトトリゲモ	11,12			NT	CR	池や水田などに生える多年生の沈水植物。佐川町で記録がある。
83	トチカガミ	ホッスモ	11,12				EN	池や水田・溝等水中に生える多年草。土佐市で現存、佐川町で記録がある。
84	トチカガミ	トリゲモ	12			VU	EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。

注）各選定基準の重要種のカテゴリーは以下のとおり。

＜文化財保護法＞
- 特天：国指定特別天然記念物
- 国天：国指定天然記念物
- 県天：県指定天然記念物
- 町天・村天：町又は村指定天然記念物

＜種の保存法＞
- 国内：国内希少野生動植物種
- 国際：国際希少野生動植物種
- 緊急：緊急指定種

＜高知県注目種＞
- 注目：高知県注目種

＜環境省 RL＞
- EX：絶滅
- EW：野生絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

＜高知県 RL2020 植物編＞
- EX：絶滅
- EW：野生絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足

表 3.1.37(4)　文献調査で抽出された重要な植物（4/15）

No.	科名	種名	文献資料	カテゴリー				生息情報
				文化財保護法	種の保存法	環境省RL	高知RL2020植物編	
85	トチカガミ	ミズオオバコ	11,12			VU	VU	池や水田の中等に生える1年草。土佐市、佐川町等に現存する。
86	アマモ	アマモ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
87	ヒルムシロ	センニンモ	11,12				EN	池や沼・水路等に生える多年草。日高村で現存、佐川町で記録がある。
88	ヒルムシロ	オヒルムシロ	12				CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
89	ヒルムシロ	ツツイトモ	12			VU	DD	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
90	ヒナノシャクジョウ	ヒナノシャクジョウ	11					常緑広葉樹等の暗い林床に生える多年草。佐川町等で記録がある。
91	ホンゴウソウ	タカクマソウ	12			EN	CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
92	サルトリイバラ	マルバサンキライ	12				NT	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
93	ユリ	ヒメユリ	11,12			EN	CR	暖温帯から低温帯の石灰岩地に生息する。日高村、土佐市で記録がある。
94	ユリ	ササユリ	11,12				EN	暖温帯から冷温帯の草原や疎林内に生える。佐川町で現存する。
95	ユリ	タキユリ	11,12			VU	注目種	丘陵地の草原、主に崖地に生える多年草。日高村等で見られる。
96	ユリ	ジョウロウホトトギス	11,12			VU	EN	山地の主に石灰岩の崖に生える多年草。高岡郡に数か所の自生が見られる。
97	ラン	ヒナラン	11,12			EN	EN	山地のやや湿度のある岩場に生える。県内では東部から西部に点在する。
98	ラン	イワチドリ	11,12			EN	CR	渓流の岩壁に生える多年草。県内では東部から中西部にかけて分布する。
99	ラン	シラン	11			NT		川岸や湿原又は岸上等に生える。県内では東部、中西部、西部に点在する。
100	ラン	ムギラン	11			NT		暖帯の常緑林内の樹幹や岩面に着生する。県下に広く自生が見られる。
101	ラン	ミヤマムギラン	11,12			NT	EN	暖地の常緑広葉樹林の樹幹や岩面に着生する。分布の詳細は不明。
102	ラン	キソエビネ	11			CR		冷温帯の深山に極稀に見いだされる。県内では東部・中部・中西部に自生が見られる。
103	ラン	キエビネ	11,12			EN	EN	暖地の低山林下や竹藪に生える。県内では東部・中西部・西部に自生が見られる。
104	ラン	エビネ	11,12			NT	VU	雑木林や杉植林の林床に生える。県内の各地に分布する。
105	ラン	キンセイラン	11,12			VU	CR	山地の落葉広葉樹林内や林縁に生える多年草。県内では東部から中西部に見られる。
106	ラン	ナツエビネ	11,12			VU	VU	やや湿った落葉樹林や植林等の林床に生える。県内では各地で見られる。
107	ラン	サルメンエビネ	11,12			VU	CR	主にブナ帯の落葉樹林のやや暗い林床に生える。県内では東部や中西部で稀に見られる。
108	ラン	キンラン	11,12			VU	VU	雑木林や落葉樹林の疎林内や林縁に散発的に見られる。県内に広く分布する。
109	ラン	ササバギンラン	11,12				CR	山地の林の中や縁に生える多年草。県内では極稀で東部・中部・西部で記録がある。
110	ラン	モイワラン	12			CR	CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
111	ラン	トケンラン	11,12			VU	CR	冷温帯の落葉広葉樹林の林床に生える多年草。県内では中部で記録がある。
112	ラン	マヤラン	11,12			VU	EN	常緑樹林や古い二次林の林床等に生える。県内では東部・中部・中西部に記録がある。
113	ラン	クマガイソウ	11,12			VU	VU	山地の林下、ときに竹林に生える多年草。県内では暖温帯から冷温帯に生える。
114	ラン	イチヨウラン	11,12				CR	山地から亜高山の針葉樹林等に生える。県内では東部から中西部の深山に点在する。
115	ラン	キバナノセッコク	11,12			EN	EN	山地の樹幹、時に岩上に生える多年草。県内では東部と中部を中心に各地で見られる。
116	ラン	コイチヨウラン	11,12				CR	山地から亜高山の針葉樹林下の苔の中などに生える。県内では中部の1箇所のみで確認。
117	ラン	アオスズラン	11					山地から亜高山の林の中や草原に生える多年草。県内では東部と中西部で確認がある。

注）各選定基準の重要種のカテゴリーは以下のとおり。

＜文化財保護法＞
- 特天：国指定特別天然記念物
- 国天：国指定天然記念物
- 県天：県指定天然記念物
- 町天・村天：町又は村指定天然記念物

＜種の保存法＞
- 国内：国内希少野生動植物種
- 国際：国際希少野生動植物種
- 緊急：緊急指定種

＜高知県注目種＞
- 注目：高知県注目種

＜環境省 RL＞
- EX：絶滅
- EW：野生絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

＜高知県 RL2020 植物編＞
- EX：絶滅
- EW：野生絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足

表 3.1.37(5)　文献調査で抽出された重要な植物（5/15）

No.	科名	種名	文献資料	カテゴリー				生息情報
				文化財保護法	種の保存法	環境省RL	高知RL2020植物編	
118	ラン	タシロラン	11,12			NT	EN	常緑広葉樹林の林床に生える。県内では東部と中西部に稀に見られる。
119	ラン	イモネヤガラ	12			EN	CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
120	ラン	カモメラン	11,12			NT	CR	山地から亜高山の湿り気の多い林床に生える。県内で1箇所の自生地が分かっている。
121	ラン	カシノキラン	11,12			VU	EN	暖地の照葉樹林樹幹に着生する。県内では東部、中西部、西部に見られる。
122	ラン	モミラン	11,12			VU	CR	針広混淆林内のカシやカヤ等の古木に着生する。県内では東部から中西部に記録がある。
123	ラン	アキザキヤツシロラン	11,12				VU	常緑広葉樹林や竹林下に生える。県内では東部から中西部に記録がある。
124	ラン	オニノヤガラ	11,12				CR	山地の樹林化に生え、ナラタケと共生する。県内では東部・中部・中西部に記録がある。
125	ラン	シロテンマ	11,12			CR	CR	オニノヤガラを淡黄白色の色違いの個体。県内では中西部で記録がある。
126	ラン	ナヨテンマ	11,12			EN	CR	常緑広葉樹林下に生える。県内では東部と中西部に記録がある。
127	ラン	ハルザキヤツシロラン	11			VU		スダジイ等の常緑広葉樹林下に生える。県内では東部、中部、西部に点在する。
128	ラン	クロヤツシロラン	11,12				NT	常緑樹林や竹林下に生える。県内では東部と中西部で記録がある。
129	ラン	ダイサギソウ	11,12			EN	CR	湿った草原、草地に生える多年草。権威では東部と西部で確認され、中部に記録がある。
130	ラン	ムカゴトンボ	11,12			EN	EN	暖地の向陽の湿った粘土質の土地や斜面等に生える。県内では東部と中部に稀に見られる。
131	ラン	ミズトンボ	11,12			VU	EN	陽当たりの良い湿地に生える多年草。中部から西部の草地や休耕田などで見られる。
132	ラン	ムカゴソウ	11,12			EN	CR	暖地のやや湿った草地に生える。県内では東部、中部、中西部に自生地がある。
133	ラン	ハクウンラン	11					常緑広葉樹と落葉広葉樹の混淆林内に生える。県内では中部、中西部、西部に記録がある。
134	ラン	ホクリクムヨウラン	11,12				EN	常緑広葉樹林下に生える。県内では中西部で現存し、中部で記録がある。
135	ラン	ウスキムヨウラン	12				NT	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
136	ラン	ムロトムヨウラン	12				CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
137	ラン	フガクスズムシソウ	11,12			VU	EN	主としてブナ林帯の樹上に着生する多年草。県内では東部や中部に数か所の自生地がある。
138	ラン	セイタカスズムシソウ	11					山地の林内等に生える多年草。県内では何箇所かの自生地が確認されている。
139	ラン	アキタスズムシソウ	12				CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
140	ラン	スズムシソウ	11,12				CR	疎林下のやや湿度のある所に生える。県内では東部や中西部で見られる。
141	ラン	クロムヨウラン	11,12				NT	常緑広葉樹林下に生える。県内では中部や東部で記録がある。
142	ラン	ササバラン	11,12			EN	CR	暖地の草地に生える。県内では中西部及び中部で見られる。
143	ラン	シテンクモキリ	12				CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
144	ラン	ホザキイチヨウラン	11,12				CR	ブナ帯上部から針葉樹帯下部の林床に生える。県内では東北部、西北部、中西部に見られる。
145	ラン	アリドオシラン	11					針葉樹林帯と落葉樹林の林床に生える。県内で1箇所の自生地が分かっている。
146	ラン	フウラン	11,12			VU	NT	常緑広葉樹林の樹幹や岩石、古木や大木に着生する。県内に広く分布する。
147	ラン	ノビネチドリ	11,12				CR	山地から高山の樹林下に生える多年草。県内では東部と中西部の山地に見られる。
148	ラン	コフタバラン	11,12				CR	主に亜高山帯針葉樹林下に生える。県内では東部・中部・中西部に見られる。
149	ラン	ヒメフタバラン	11,12				EN	常緑樹林の林床に生える。県内では中部、中西部に自生する。
150	ラン	サギソウ	11,12			NT	EX	日当たりの良い湿地等に生える多年草。佐川町で記録がある。

注）各選定基準の重要種のカテゴリーは以下のとおり。

＜文化財保護法＞
- 特天：国指定特別天然記念物
- 国天：国指定天然記念物
- 県天：県指定天然記念物
- 町天・村天：町又は村指定天然記念物

＜種の保存法＞
- 国内：国内希少野生動植物種
- 国際：国際希少野生動植物種
- 緊急：緊急指定種

＜高知県注目種＞
- 注目：高知県注目種

＜環境省 RL＞
- EX：絶滅
- EW：野生絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

＜高知県 RL2020 植物編＞
- EX：絶滅
- EW：野生絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足

表 3.1.37(6)　文献調査で抽出された重要な植物（6/15）

No.	科名	種名	文献資料	カテゴリー				生息情報
				文化財保護法	種の保存法	環境省RL	高知RL2020植物編	
151	ラン	ムカデラン	11,12			VU	EN	陽当たりの良い河岸の岸壁や神社の古木に着生する。県内では東部、中西部に見られる。
152	ラン	ダケトンボ	12				CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
153	ラン	ジンバイソウ	11,12				CR	ブナ帯の林床に生える。県内では東部と中西部に自生する。
154	ラン	ミズチドリ	11,12				EN	山地の日当たりの良い湿地に生える多年草。県内では中西部の山間湿地に見られる。
155	ラン	イイヌマムカゴ	11,12			EN	CR	山地の林床等に生える多年草。県内では東部で確認され、中西部で記録がある。
156	ラン	ツレサギソウ	11,12				CR	明るめの林内や林縁、向陽の湿った草原に生える。県内では東部と中西部に見られる。
157	ラン	マイサギソウ	11,12				EN	陽当たりの良い草地に生える。県内では東部、中部で見られ、中西部で記録がある。
158	ラン	ヤマサギソウ	11,12				EN	陽当たりの良い乾きめの草地に生える。県内では東部、中部、西北部、中西部で自生する。
159	ラン	キソチドリ（広義）	12				CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
160	ラン	トキソウ	11,12			NT	CR	陽当たりの良い湿地に生える多年草。県内では中西部に1箇所の自生地がある。
161	ラン	ヤマトキソウ	11,12				EN	山地の日当たりの良い草地に生える。県内では中部、西北部で現存、東部、中西部で記録がある。
162	ラン	ヒナチドリ	11,12			VU	CR	深山のブナなどの樹幹や枝などに着生する。県内では東部から中西部の脊梁地に見られる。
163	ラン	ウチョウラン	11,12			VU	EN	山地の湿った岩壁の植生の根元や樹幹等に着生する。県内山間部に広く分布したが、激減している。
164	ラン	ナゴラン	11,12			EN	CR	常緑広葉樹林内の樹幹や岩上に着生する。県内では東部と中部西に知られている。
165	ラン	コオロギラン	11,12			VU	VU	山地の杉林の中等に生える。県内では複数の自生地の記録があるが、現在は中西部の一か所のみ。
166	ラン	ヒトツボクロ	11,12				VU	山地の林内に生える多年草。県内では中部、西北部、中西部に記録がある。
167	ラン	キバナノショウキラン	11,12			EN	CR	ブナ帯の落葉樹林下やササ帯に生える。県内では東部と中西部で発見されている。
168	ラン	ショウキラン	11,12				CR	山地の樹林下やササ原等に生える。県内では東部と中西部の推移帯以上の林床で見られる。
169	ラン	キヌラン	12				CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
170	キンバイザサ	キンバイザサ	11,12				VU	暖地の草地に生える多年草。佐川町等で現存し、日高村等で記録がある。
171	キンバイザサ	コキンバイザサ	11,12				EN	暖地の山地の陽の良く当たるところに生える多年草。佐川町等に記録がある。
172	ススキノキ	ユウスゲ	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
173	クサスギカズラ	カンザシギボウシ	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
174	クサスギカズラ	サイコクイワギボウシ	12				CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
175	クサスギカズラ	コバギボウシ	12				NT	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
176	ミズアオイ	ミズアオイ	12			NT	EX	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
177	ガマ	ミクリ	11,12			NT	VU	池や沼・溝の中に生える多年草。日高村、土佐市で現存が確認されている。
178	ガマ	オオミクリ	12			VU	VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
179	ガマ	ヤマトミクリ	12			NT	EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
180	ガマ	ヒメミクリ	12			VU	CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
181	ホシクサ	オオホシクサ	11,12				CR	湿地や水田に生える多年草。佐川町で記録がある。
182	ホシクサ	イトイヌノヒゲ	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
183	ホシクサ	イヌノヒゲ	11,12				EN	水田や湿地に生える1年草。佐川町等で記録がある。

注）各選定基準の重要種のカテゴリーは以下のとおり。

＜文化財保護法＞
- 特天：国指定特別天然記念物
- 国天：国指定天然記念物
- 県天：県指定天然記念物
- 町天・村天：町又は村指定天然記念物

＜種の保存法＞
- 国内：国内希少野生動植物種
- 国際：国際希少野生動植物種
- 緊急：緊急指定種

＜高知県注目種＞
- 注目：高知県注目種

＜環境省 RL＞
- EX：絶滅
- EW：野生絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

＜高知県 RL2020 植物編＞
- EX：絶滅
- EW：野生絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足

表 3.1.37(7)　文献調査で抽出された重要な植物（7/15）

No.	科名	種名	文献資料	カテゴリー				生息情報
				文化財保護法	種の保存法	環境省RL	高知RL2020植物編	
184	ホシクサ	シロイヌノヒゲ	11					イヌノヒゲによく似た1年草。佐川町等で記録がある。
185	ホシクサ	ニッポンイヌノヒゲ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
186	イグサ	アオコウガイゼキショウ	11,12				CR	暖温帯から冷温帯の湿地に生える多年草。佐川町で記録がある。
187	イグサ	ハリコウガイゼキショウ	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
188	イグサ	クロボシソウ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
189	カヤツリグサ	ウキヤガラ	12				CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
190	カヤツリグサ	アリマイトスゲ	12				DD	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
191	カヤツリグサ	ワンドスゲ	12			VU	EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
192	カヤツリグサ	コイワカンスゲ	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
193	カヤツリグサ	ミヤマジュズスゲ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
194	カヤツリグサ	タイワンスゲ	12			VU	EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
195	カヤツリグサ	クロヒナスゲ	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
196	カヤツリグサ	ミセンアオスゲ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
197	カヤツリグサ	ホシナシゴウソ	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
198	カヤツリグサ	ケヒエスゲ	12				EX	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
199	カヤツリグサ	ツルミヤマカンスゲ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
200	カヤツリグサ	シバスゲ	11					陽の良く当たる乾いた草地等に生える。佐川町等で記録がある。
201	カヤツリグサ	アワボスゲ	11,12				EX	湿った草地や疎林に生える多年草。佐川町で記録がある。
202	カヤツリグサ	ミヤマイワスゲ	12			VU	VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
203	カヤツリグサ	クサスゲ	11,12				CR	日陰地の草地などに生える小型のスゲ型植物。佐川町で記録がある。
204	カヤツリグサ	シロガヤツリ	12				DD	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
205	カヤツリグサ	スジヌマハリイ	12			VU	CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
206	カヤツリグサ	チャボイ	12			VU	NT	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
207	カヤツリグサ	マシカクイ	11,12				VU	低地の湿地に生える多年草。佐川町等に記録がある。
208	カヤツリグサ	ヒメヒラテンツキ	11					陽当たりの良い田の畔や草地等の湿地に生える。佐川町等で記録がある。
209	カヤツリグサ	ノテンツキ	11,12				EN	低地又は山地で日当たりの良い湿地に生える。超塩基性岩地帯に見られ、日高村等で記録がある。
210	カヤツリグサ	クロテンツキ	11					陽当たりの良い湿地に生える1年草。佐川町、日高村等で記録がある。
211	カヤツリグサ	ナガボテンツキ	12				NT	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
212	カヤツリグサ	ノハラテンツキ	12			VU	CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
213	カヤツリグサ	ハタケテンツキ	12			EN	CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
214	カヤツリグサ	コイヌノハナヒゲ	11,12				EN	低地や丘陵地の湿地に生える多年草。佐川町で記録がある。
215	カヤツリグサ	イヌノハナヒゲ	11,12				CR	暖地の草地や山麓の日当たりの良い湿地に生える多年草。佐川町で記録がある。
216	カヤツリグサ	イガクサ	11,12				NT	陽当たりの良い低湿地に生える多年草。佐川町等で記録がある。

注）各選定基準の重要種のカテゴリーは以下のとおり。

＜文化財保護法＞
- 特天：国指定特別天然記念物
- 国天：国指定天然記念物
- 県天：県指定天然記念物
- 町天・村天：町又は村指定天然記念物

＜種の保存法＞
- 国内：国内希少野生動植物種
- 国際：国際希少野生動植物種
- 緊急：緊急指定種

＜高知県注目種＞
- 注目：高知県注目種

＜環境省 RL＞
- EX：絶滅
- EW：野生絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

＜高知県 RL2020 植物編＞
- EX：絶滅
- EW：野生絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足

表 3.1.37(8)　文献調査で抽出された重要な植物（8/15）

No.	科名	種名	文献資料	カテゴリー				生息情報
				文化財保護法	種の保存法	環境省RL	高知RL2020植物編	
217	カヤツリグサ	ヒメカンガレイ	12			VU	EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
218	カヤツリグサ	ツクシカンガレイ	12				CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
219	カヤツリグサ	タイワンヤマイ	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
220	カヤツリグサ	コシンジュガヤ	12				NT	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
221	イネ	ミヤマヌカボ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
222	イネ	シコクノガリヤス	12				CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
223	イネ	ヒナザサ	11,12			NT	EX	山野の水辺や湿地にまれに見られる1年草。佐川町で記録がある。
224	イネ	ヒメタイヌビエ	12				DD	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
225	イネ	ウンヌケモドキ	11,12			NT	NT	低山の日当たりの良い草地や路傍等に生える多年草。土佐市等で記録がある。
226	イネ	ヒロハノオオウシノケグサ	12				DD	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
227	イネ	コバノウシノシッペイ	12				NT	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
228	イネ	カモノハシ	12				DD	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
229	イネ	アシカキ	12				NT	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
230	イネ	キタササガヤ	12				DD	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
231	イネ	トキワススキ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
232	イネ	オオネズミガヤ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
233	イネ	ウンゼンザサ	12				DD	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
234	イネ	イヌアワ	11					暖地の林内島に生える多年草。佐川町、日高村等で記録がある。
235	イネ	オニシバ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
236	イネ	コウシュンシバ	12				DD	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
237	ケシ	ホソバヤマブキソウ	12				CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
238	ツヅラフジ	イソヤマアオキ	12				CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
239	メギ	シオミイカリソウ	12			NT	CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
240	メギ	ヒメイカリソウ	12				NT	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
241	キンポウゲ	ルイヨウショウマ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
242	キンポウゲ	ニリンソウ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
243	キンポウゲ	シコクフクジュソウ	12			VU	注目種	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
244	キンポウゲ	ヤマハンショウヅル	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
245	キンポウゲ	フジセンニンソウ	12				DD	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
246	キンポウゲ	カザグルマ	11,12			NT	EN	蛇紋岩地や石灰岩地等の渓流沿いや湿地に生える。日高村等で現存が確認されている。
247	キンポウゲ	トリガタハンショウヅル	12				NT	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
248	キンポウゲ	オキナグサ	11,12			VU	CR	日当たりの良い草地、時に川岸などに生える多年草。日高村で記録がある。
249	キンポウゲ	ヒキノカサ	12			VU	EX	RL2020に記載されている種。詳細は不明。

注）各選定基準の重要種のカテゴリーは以下のとおり。

＜文化財保護法＞
- 特天：国指定特別天然記念物
- 国天：国指定天然記念物
- 県天：県指定天然記念物
- 町天・村天：町又は村指定天然記念物

＜種の保存法＞
- 国内：国内希少野生動植物種
- 国際：国際希少野生動植物種
- 緊急：緊急指定種

＜高知県注目種＞
- 注目：高知県注目種

＜環境省 RL＞
- EX：絶滅
- EW：野生絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

＜高知県 RL2020 植物編＞
- EX：絶滅
- EW：野生絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足

表 3.1.37(9)　文献調査で抽出された重要な植物（9/15）

No.	科名	種名	文献資料	カテゴリー				生息情報
				文化財保護法	種の保存法	環境省RL	高知RL2020植物編	
250	キンポウゲ	コキンポウゲ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
251	キンポウゲ	コゴメカラマツ	12			VU	CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
252	キンポウゲ	イシヅチカラマツ	12			EN	EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
253	キンポウゲ	モミジカラマツ	12				CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
254	ツゲ	コツゲ	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
255	ボタン	ベニバナヤマシャクヤク	12			VU	CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
256	マンサク	トサミズキ	11,12			NT	注目種	高知県の蛇紋岩地帯に特産する落葉低木。日高村等で見られる。
257	スグリ	ヤシャビシャク	12			NT	VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
258	スグリ	ヤブサンザシ	12				CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
259	スグリ	ザリコミ	12				CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
260	ユキノシタ	チダケサシ	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
261	ユキノシタ	シコクトリアシショウマ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
262	ユキノシタ	イワネコノメソウ	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
263	ユキノシタ	ネコノメソウ	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
264	ユキノシタ	トサノチャルメルソウ	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
265	ベンケイソウ	ショウドシマベンケイソウ	12				DD	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
266	ベンケイソウ	キリンソウ	11,12				DD	山地の日当たりの良い岩石地に生える多年草。高知県では冷湿帯の林内岩上に生じる。
267	ベンケイソウ	ヤハズマンネングサ	11,12			VU	NT	暖温帯のやや湿った岩上に生える多年草。佐川町等で確認されている。
268	マメ	フジキ	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
269	マメ	ヒメノハギ	11,12				EN	低地の日当たりの良い、乾いた草地に生える半低木の草本。佐川町、日高村で記録がある。
270	マメ	タチネコハギ	12				DD	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
271	マメ	イヌハギ	11,12			VU	CR	川原や沿岸地の砂地などに生える多年草。佐川町で記録がある。
272	マメ	マキエハギ	12				CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
273	マメ	シマエンジュ	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
274	マメ	ハカマカズラ	12				CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
275	マメ	トキリマメ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
276	マメ	クサフジ	12				DD	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
277	マメ	ヨツバハギ	11,12				EN	低山地の山麓の草地などに生える多年草。佐川町斗賀野で記録がある。
278	マメ	シコクエビラフジ	12				NT	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
279	マメ	ハマアズキ	12				CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
280	マメ	スナジマメ	12			CR	CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
281	ヒメハギ	ヒナノキンチャク	12			EN	VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
282	グミ	マルバアキグミ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。

注）各選定基準の重要種のカテゴリーは以下のとおり。

＜文化財保護法＞
- 特天：国指定特別天然記念物
- 国天：国指定天然記念物
- 県天：県指定天然記念物
- 町天・村天：町又は村指定天然記念物

＜種の保存法＞
- 国内：国内希少野生動植物種
- 国際：国際希少野生動植物種
- 緊急：緊急指定種

＜高知県注目種＞
- 注目：高知県注目種

＜環境省 RL＞
- EX：絶滅
- EW：野生絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

＜高知県 RL2020 植物編＞
- EX：絶滅
- EW：野生絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足

表 3.1.37(10)　文献調査で抽出された重要な植物（10/15）

No.	科名	種名	文献資料	カテゴリー				生息情報
				文化財保護法	種の保存法	環境省RL	高知RL2020植物編	
283	クロウメモドキ	ヨコグラノキ	11,12				NT	暖温帯から冷温帯の石灰岩地帯の林内に生える。佐川町等で見られる。
284	ニレ	ハルニレ	12				DD	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
285	ニレ	オヒョウ	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
286	アサ	コバノチョウセンエノキ	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
287	アサ	カラハナソウ	12				CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
288	クワ	ツルコウゾ	12				DD	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
289	クワ	カカツガユ	12				CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
290	イラクサ	トガリバヤブマオ	12				DD	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
291	イラクサ	アカソ	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
292	イラクサ	イワガネ	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
293	イラクサ	ヒカゲミズ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
294	イラクサ	コミヤマミズ	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
295	イラクサ	コバノイラクサ	12				CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
296	バラ	チョウセンキンミズヒキ	12			VU	VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
297	バラ	ザイフリボク	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
298	バラ	ツクシヤマザクラ	12				DD	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
299	バラ	カスミザクラ	12				DD	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
300	バラ	オオヤマザクラ	12				CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
301	バラ	ハクロバイ	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
302	バラ	オオウラジロノキ	12				CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
303	バラ	カワラサイコ	12				EX	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
304	バラ	ミツモトソウ	12				CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
305	バラ	テリハキンバイ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
306	バラ	ツルキンバイ	12				NT	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
307	バラ	タカネバラ	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
308	バラ	ゴショイチゴ	12			EN	CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
309	バラ	ビロードイチゴ	12				CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
310	バラ	ハスノハイチゴ	12			NT	EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
311	バラ	サナギイチゴ	12			VU	CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
312	バラ	イヨノミツバイワガサ	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
313	ブナ	ハナガガシ	11,12			VU	EN	暖地の低残に生える常緑高木。土佐市等の神社境内に見られる。
314	カバノキ	ハンノキ	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
315	カバノキ	ツノハシバミ	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。

注）各選定基準の重要種のカテゴリーは以下のとおり。

＜文化財保護法＞
- 特天：国指定特別天然記念物
- 国天：国指定天然記念物
- 県天：県指定天然記念物
- 町天・村天：町又は村指定天然記念物

＜種の保存法＞
- 国内：国内希少野生動植物種
- 国際：国際希少野生動植物種
- 緊急：緊急指定種

＜高知県注目種＞
- 注目：高知県注目種

＜環境省 RL＞
- EX：絶滅
- EW：野生絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

＜高知県 RL2020 植物編＞
- EX：絶滅
- EW：野生絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足

表 3.1.37(11)　文献調査で抽出された重要な植物（11/15）

No.	科名	種名	文献資料	カテゴリー				生息情報
				文化財保護法	種の保存法	環境省RL	高知RL2020植物編	
316	ニシキギ	シラヒゲソウ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
317	カタバミ	ミヤマカタバミ	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
318	トウダイグサ	タカトウダイ	12				CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
319	トウダイグサ	イブキタイゲキ	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
320	トウダイグサ	ヒメナツトウダイ	12				DD	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
321	ヤナギ	カワヤナギ	11					水辺や田の畔等に生えている落葉性の小高木。土佐市等で記録がある。
322	ヤナギ	ノヤナギ	12				CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
323	ヤナギ	サイコクキツネヤナギ	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
324	スミレ	ヒゴスミレ	11,12				EN	陽当たりの良い草原や、やや乾いた林縁にみられる。佐川町で記録がある。
325	スミレ	ヒトツバエゾスミレ	12				CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
326	スミレ	ホソバシロスミレ	12			VU	EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
327	スミレ	ミヤマスミレ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
328	スミレ	ヒナスミレ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
329	オトギリソウ	アゼオトギリ	11,12			EN	EN	田の畔等湿地に生える多年草。佐川町、日高村等で記録がある。
330	オトギリソウ	トサオトギリ	12			CR	CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
331	オトギリソウ	ミズオトギリ	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
332	ミソハギ	ケナシエゾミソハギ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
333	ミソハギ	ヒメキカシグサ	11,12			CR	EX	水田などの水辺に生える多年草。日高村岩目地で記録がある。
334	ミソハギ	ミズマツバ	11,12			VU	NT	水田や湿地等に生える小型の多年草。佐川町、日高村等で記録がある。
335	ミソハギ	ヒメビシ	11,12			VU	CR	池や沼などに生える多年草。佐川町、日高村等で現存が確認されている。
336	ミソハギ	オニビシ	12				DD	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
337	アカバナ	ケミヤマタニタデ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
338	アカバナ	ウシタキソウ	12				NT	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
339	アカバナ	ミズキンバイ	11,12			VU	EN	池や沼などの水中に生える多年草。土佐市等に現存する。
340	ノボタン	ヒメノボタン	11,12			VU	VU	陽当たりの良い低地や山地に生える多年草。高岡郡等の各所で見られていた。
341	ムクロジ	メグスリノキ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
342	ミカン	タチバナ	1,11,12			NT	EN	常緑広葉樹林内又は石灰岩地帯の疎林内に見られる。佐川町で報告がある。
343	ミカン	キハダ	11					山地に生える10～15mの落葉高木。佐川町等で現存が確認されている。
344	ミカン	ミヤマシキミ	12				DD	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
345	ミカン	コカラスザンショウ	12				DD	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
346	ジンチョウゲ	オニシバリ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
347	アブラナ	ハクサンハタザオ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
348	アブラナ	タチスズシロソウ	12			EN	CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。

注）各選定基準の重要種のカテゴリーは以下のとおり。

＜文化財保護法＞
- 特天：国指定特別天然記念物
- 国天：国指定天然記念物
- 県天：県指定天然記念物
- 町天・村天：町又は村指定天然記念物

＜種の保存法＞
- 国内：国内希少野生動植物種
- 国際：国際希少野生動植物種
- 緊急：緊急指定種

＜高知県注目種＞
- 注目：高知県注目種

＜環境省 RL＞
- EX：絶滅
- EW：野生絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

＜高知県 RL2020 植物編＞
- EX：絶滅
- EW：野生絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足

表 3.1.37(12)　文献調査で抽出された重要な植物（12/15）

No.	科名	種名	文献資料	カテゴリー				生息情報
				文化財保護法	種の保存法	環境省RL	高知RL2020植物編	
349	アブラナ	スズシロソウ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
350	アブラナ	カンラン	11,12			EN	CR	常緑広葉樹林の林床に生える多年草。県内全域に広く分布する。
351	アブラナ	ミツバコンロンソウ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
352	アブラナ	イヌナズナ	11,12				EN	畑地や草地、道端などに生える越年性の小型草本。佐川町で記録がある。
353	ツチトリモチ	ミヤマツチトリモチ	12			VU	CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
354	ツチトリモチ	キイレツチトリモチ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
355	ビャクダン	ツクバネ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
356	オオバヤドリギ	オオバヤドリギ	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
357	タデ	ヒメタデ	12			VU	CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
358	タデ	ヤナギヌカボ	12			VU	EX	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
359	タデ	ナガバノウナギツカミ	12			NT	NT	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
360	タデ	ヤマミゾソバ	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
361	タデ	オオネバリタデ	11,12				NT	陽当たりの良い草地の道端に生える1年草。佐川町、日高村等で記録がある。
362	タデ	アキノミチヤナギ	11,12				VU	沿岸地などに生える一年草。土佐市で記録がある。
363	タデ	ニセコガネギシギシ	12			DD	EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
364	ナデシコ	タチハコベ	12			VU	CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
365	ナデシコ	ヒゲネワチガイソウ	12				EX	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
366	ヒユ	ハチジョウイノコヅチ	12				DD	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
367	ヒユ	ヤナギイノコヅチ	12				CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
368	ヒユ	ホソバノハマアカザ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
369	ヤマゴボウ	マルミノヤマゴボウ	11,12				NT	山地の林内の陰地に生える多年草。佐川町等で記録がある。
370	アジサイ	アオコウツギ	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
371	ツツジ	ドウダンツツジ	11,12				NT	暖地の超塩基性岩地に生える落葉低木。日高村の蛇紋岩地に産する。
372	ツツジ	ヒロハドウダンツツジ	11					主に蛇紋岩地帯に生える落葉低木。日高村等で見られる。
373	ツツジ	ツガザクラ	12				CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
374	ツツジ	マルバノイチヤクソウ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
375	ツツジ	ツリガネツツジ	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
376	ツツジ	ツクシアケボノツツジ	12			NT	VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
377	ツツジ	ニシキコバノミツバツツジ	11					高知固有品種でm岩場に生える落葉低木。日高村錦山の蛇紋岩地で見られる。
378	ツツジ	バイカツツジ	11,12				VU	山地の林縁に生える落葉低木。佐川町等で記録がある。
379	アカネ	エゾノヨツバムグラ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
380	アカネ	オオバノヨツバムグラ	12				EX	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
381	アカネ	キクムグラ	11,12				VU	山地の林縁や林床等に生える多年草。佐川町等で記録がある。

注）各選定基準の重要種のカテゴリーは以下のとおり。

＜文化財保護法＞
- 特天：国指定特別天然記念物
- 国天：国指定天然記念物
- 県天：県指定天然記念物
- 町天・村天：町又は村指定天然記念物

＜種の保存法＞
- 国内：国内希少野生動植物種
- 国際：国際希少野生動植物種
- 緊急：緊急指定種

＜高知県注目種＞
- 注目：高知県注目種

＜環境省 RL＞
- EX：絶滅
- EW：野生絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

＜高知県 RL2020 植物編＞
- EX：絶滅
- EW：野生絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足

表 3.1.37(13)　文献調査で抽出された重要な植物（13/15）

No.	科名	種名	文献資料	カテゴリー				生息情報
				文化財保護法	種の保存法	環境省RL	高知RL2020植物編	
382	アカネ	コバンムグラ	12			EN	CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
383	リンドウ	ホソバノツルリンドウ	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
384	リンドウ	イヌセンブリ	11,12			VU	VU	田の畔や草地に生える1年草。佐川町等で記録がある。
385	キョウチクトウ	イケマ	11,12				VU	山地に生える蔓性の多年草。県内では東部から中西部にかけて点在。
386	キョウチクトウ	アオカモメヅル	11,12				CR	暖温帯の草地や湿地、林縁等に生える多年草。日高村等で記録がある。
387	キョウチクトウ	フナバラソウ	11,12			VU	EN	陽当たりの良い草原に生える多年草。佐川町等に記録がある。
388	キョウチクトウ	ホウヨカモメヅル	12			VU	EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
389	キョウチクトウ	ツルガシワ	11					渓谷林等の陰地に生える多年草。佐川町等で記録がある。
390	キョウチクトウ	スズサイコ	11,12			NT	NT	陽当たりの良い草原に生える多年草。日高村等で見られる。
391	ヒルガオ	マメダオシ	11,12			CR	EX	陽当たりの良い草地や路傍、海岸等に生える。佐川町等で記録がある。
392	ヒルガオ	ハマネナシカズラ	12			VU	EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
393	オオバコ	マルバノサワトウガラシ	11,12			VU	NT	湿地や水田に生える1年草。佐川町で記録がある。
394	オオバコ	カミガモソウ	12			EN	CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
395	オオバコ	ホソバヒメトラノオ	11,12			EN	CR	山地の乾燥した草原に生える多年草。佐川町等で記録がある。
396	ゴマノハグサ	オオヒナノウスツボ	11,12				VU	林の周囲等に生える多年草。佐川町等で記録がある。
397	シソ	ヤクシマトウバナ	12				CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
398	シソ	コシロネ	12				NT	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
399	シソ	ヒメシロネ	12				EX	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
400	シソ	ラショウモンカズラ	11,12				VU	明るい林の中や周囲に生える多年草。佐川町等で記録がある。
401	シソ	ヤマジソ	11,12			NT	EN	山地の草地や日当たりの良い林縁等に生える。佐川町等で記録がある。
402	シソ	セトエゴマ	12				DD	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
403	シソ	ナツノタムラソウ	12				CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
404	シソ	ミツデコトジソウ	12				CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
405	シソ	ミゾコウジュ	11,12			NT	NT	湿地に生える2年草。日高村等に現存する。
406	シソ	ホクリクタツナミソウ	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
407	シソ	ハナタツナミソウ	12				CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
408	シソ	ヤマタツナミソウ	11,12				CR	山地の木陰に生える多年草。佐川町で記録がある。
409	シソ	ミヤマナミキ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
410	ハエドクソウ	スズメノハコベ	11,12			VU	NT	湿地や水田に生える1年草。日高村に現存。佐川町、土佐市に記録がある。
411	ハマウツボ	オオナンバンギセル	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
412	ハマウツボ	ゴマクサ	11,12			VU	VU	湿地の草地に生える1年草。佐川町で記録がある。
413	ハマウツボ	ヤマウツボ	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
414	ハマウツボ	ママコナ	12				EX	RL2020に記載されている種。詳細は不明。

注）各選定基準の重要種のカテゴリーは以下のとおり。

＜文化財保護法＞
- 特天：国指定特別天然記念物
- 国天：国指定天然記念物
- 県天：県指定天然記念物
- 町天・村天：町又は村指定天然記念物

＜種の保存法＞
- 国内：国内希少野生動植物種
- 国際：国際希少野生動植物種
- 緊急：緊急指定種

＜高知県注目種＞
- 注目：高知県注目種

＜環境省 RL＞
- EX：絶滅
- EW：野生絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

＜高知県 RL2020 植物編＞
- EX：絶滅
- EW：野生絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足

表 3.1.37(14)　文献調査で抽出された重要な植物（14/15）

No.	科名	種名	文献資料	カテゴリー				生息情報
				文化財保護法	種の保存法	環境省RL	高知RL2020植物編	
415	ハマウツボ	ヒキヨモギ	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
416	タヌキモ	ミミカキグサ	11,12				NT	水田及び湿地に生える多年草。佐川町等で記録がある。
417	タヌキモ	ホザキノミミカキグサ	11,12				EN	陽当たりの良い湿地、特に蛇紋岩地に生える。佐川町で記録がある。
418	キツネノマゴ	スズムシバナ	11,12				VU	暖温帯の林内渓側や竹林等に生える。佐川町、日高村に現存する。
419	モチノキ	ツゲモチ	11,12				VU	暖温他のシイ林等常緑広葉樹林内に生える。土佐市等で記録がある。
420	モチノキ	ツルツゲ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
421	キキョウ	ツルギキョウ	11,12			VU	EN	暖温帯林の林内や林縁にみられる蔓性の多年草。佐川町で記録がある。
422	キク	アソノコギリソウ	12			NT	DD	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
423	キク	ヒロハテイショウソウ	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
424	キク	テイショウソウ	11,12				EN	里山から深山の林内の木陰や渓流沿いの斜面等に生える。日高村等で見られる。
425	キク	カワラハハコ	12				CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
426	キク	ヤハズハハコ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
427	キク	ワタヨモギ	12			EN	CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
428	キク	シュンジュギク	11,12				NT	ミヤマヨメナの亜種で、蛇紋岩地に生える。日高村等に現存する。
429	ツツジ	シコクシロギク	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
430	キク	コバナガンクビソウ	12			VU	VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
431	キク	ミヤマヤブタバコ	12				NT	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
432	キク	ツルギカンギク	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
433	キク	ヒメアザミ	12				DD	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
434	キク	イシダテアザミ	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
435	キク	スイラン	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
436	キク	キダチハマグルマ	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
437	キク	ミヤマコウモリソウ	12			EN	VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
438	キク	ヤマタイミンガサ	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
439	キク	ヒメヒゴタイ	11,12			VU	NT	陽当たりの良い乾燥草原に生える多年草。日高村等で記録がある。
440	キク	トサトウヒレン	11,12			VU	EN	蛇紋岩帯に自生する多年草。日高村等で見られる。
441	キク	キビシロタンポポ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
442	キク	カンサイタンポポ	11,12				VU	路傍や原野に生える多年草。佐川町で現存が確認されている。
443	キク	サワオグルマ	11,12				EN	沼地に生える多年草。土佐市、佐川町で記録がある。
444	キク	オナモミ	12			VU	EX	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
445	ウコギ	ウラジロウコギ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
446	ウコギ	ヤマウコギ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
447	ウコギ	ホソバチクセツニンジン	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。

注）各選定基準の重要種のカテゴリーは以下のとおり。

＜文化財保護法＞
- 特天：国指定特別天然記念物
- 国天：国指定天然記念物
- 県天：県指定天然記念物
- 町天・村天：町又は村指定天然記念物

＜種の保存法＞
- 国内：国内希少野生動植物種
- 国際：国際希少野生動植物種
- 緊急：緊急指定種

＜高知県注目種＞
- 注目：高知県注目種

＜環境省 RL＞
- EX：絶滅
- EW：野生絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

＜高知県 RL2020 植物編＞
- EX：絶滅
- EW：野生絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足

表 3.1.37(15)　文献調査で抽出された重要な植物（15/15）

No.	科名	種名	文献資料	カテゴリー				生息情報
				文化財保護法	種の保存法	環境省RL	高知RL2020植物編	
448	セリ	ミヤマノダケ	12			CR	VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
449	セリ	ヒュウガセンキュウ	12			CR	VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
450	セリ	シャク	11,12				NT	山地の湿地に生える多年草。土佐市で記録がある。
451	セリ	ムカゴニンジン	11,12				EN	池や沼等の湿地に生える多年草。佐川町等で記録がある。
452	セリ	ヌマゼリ	11,12			VU	CR	池や沼などの縁に生える無毛の多年草。日高村で現存が確認されている。
453	セリ	ヒロハヌマゼリ	12				EX	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
454	ガマズミ	ハクサンボク	12				DD	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
455	ガマズミ	ゴマギ	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
456	スイカズラ	ミヤマウグイスカグラ	12				EN	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
457	スイカズラ	ヤマウグイスカグラ	11,12				EN	暖温帯の林内に生える落葉低木。佐川町で記録がある。
458	スイカズラ	キダチニンドウ	12				VU	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
459	スイカズラ	マツムシソウ	11,12				CR	低地の蛇紋岩地帯の草原に生える越年草。日高村で現存が確認されている。
460	スイカズラ	カノコソウ	12				CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
461	スイカズラ	ハコネウツギ	12				DD	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
462	ラン	エゾスズラン	12				CR	RL2020に記載されている種。詳細は不明。
463	ラン	オサラン	11,12			VU	CR	常緑樹林内の樹幹や岩上に着生する。県内では東部・中西部・西部に自生が見られる。
464	ラン	ツリシュスラン	11,12				CR	クリ帯やブナ帯の樹幹や岩に着生する。県内では中部から中西部の深山に自生が見られた。
465	ラン	イヨトンボ	11,12			EN	EN	暖地の湿った草地などに生える。県内では中部と西部に現存し、東部や中西部に記録がある。
466	ラン	ヒメノヤガラ	11,12			VU	EN	シイタブ帯の上部からクリ帯にかけての林床に生える。県内では中西部で発見されている。
467	ラン	ウスギムヨウラン	11			NT		常緑広葉樹林下に生える。東部、中部、中西部で記録がある。
468	ラン	ムカゴサイシン	11,12			EN	NT	低山の常緑樹林内の林床に生える多年草。県内で1箇所の自生地が分かっている。

注）各選定基準の重要種のカテゴリーは以下のとおり。

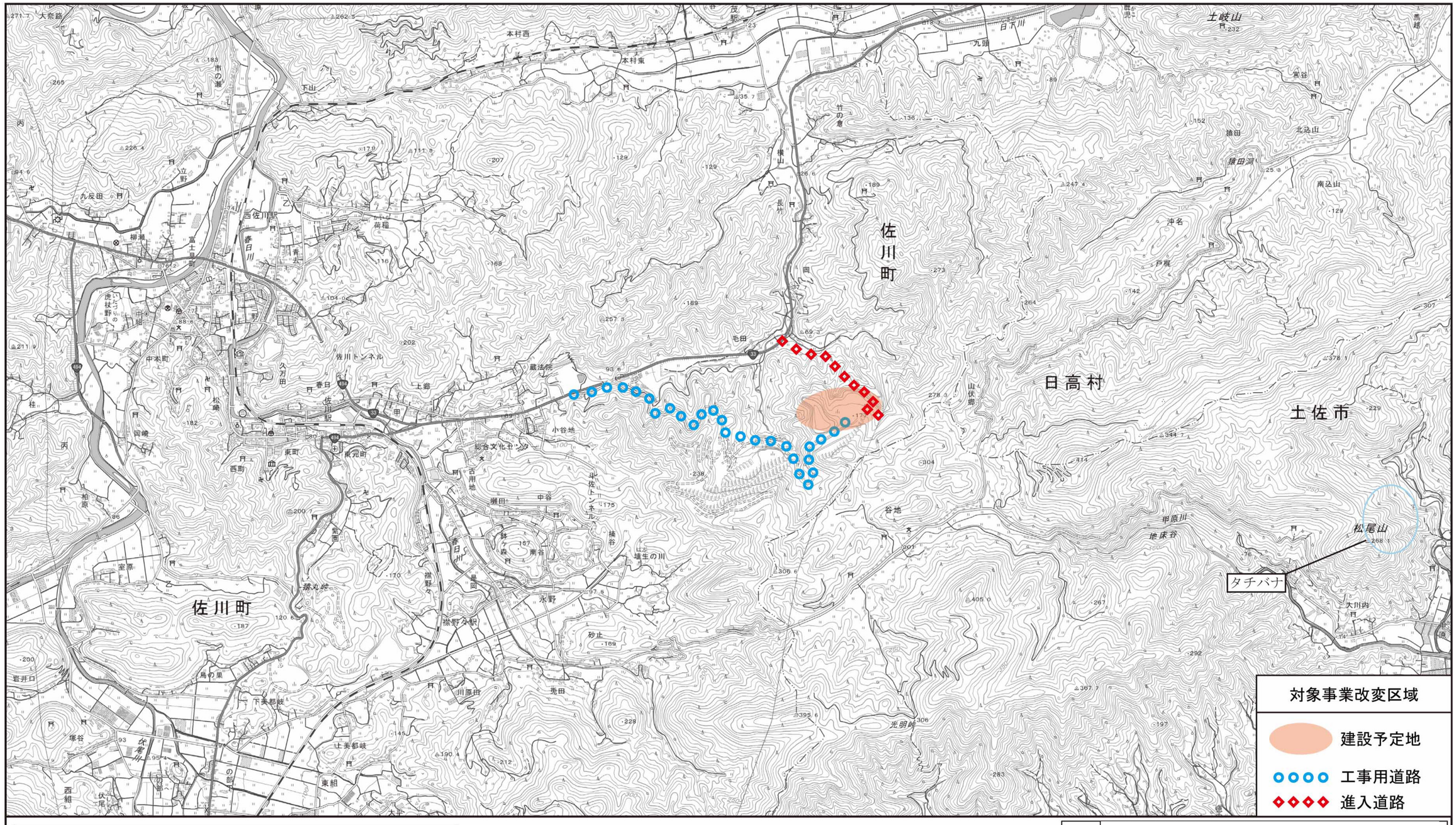
＜文化財保護法＞
- 特天：国指定特別天然記念物
- 国天：国指定天然記念物
- 県天：県指定天然記念物
- 町天・村天：町又は村指定天然記念物

＜種の保存法＞
- 国内：国内希少野生動植物種
- 国際：国際希少野生動植物種
- 緊急：緊急指定種

＜高知県注目種＞
- 注目：高知県注目種

＜環境省 RL＞
- EX：絶滅
- EW：野生絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群

＜高知県 RL2020 植物編＞
- EX：絶滅
- EW：野生絶滅
- CR：絶滅危惧 IA 類
- EN：絶滅危惧 IB 類
- VU：絶滅危惧 II 類
- NT：準絶滅危惧種
- DD：情報不足



凡　例		
記　号	名　称	備　考
	植物分布域	文化遺産データベース

出典：文化財データベース（文化庁 令和2年10月現在）

※高知県レッドデータブック（植物編）では、
詳細な分布範囲が示されていないため、図示しない。

図名	図 3.1.26　重要な植物分布図

3.1.6. 生態系

(1) 自然環境の類型区分

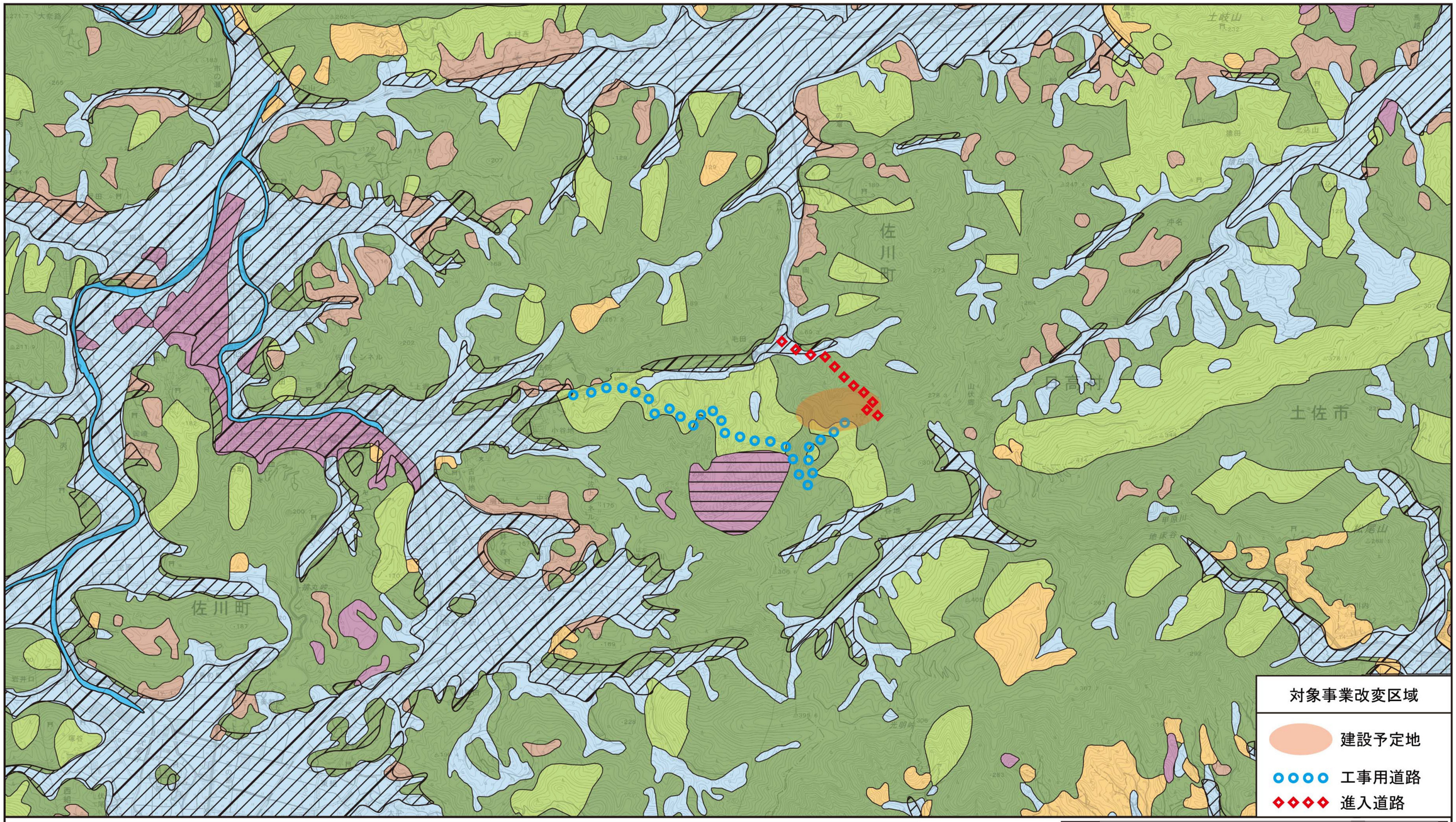
対象地域の自然環境について、地形、水系及び植生区分の関係から自然環境の類型化を行った。対象地域における自然環境類型区分の概要を表 3.1.38 に示す。

対象地域における自然環境類型区分は、山地・丘陵地（6 区分）、台地・低地（6 区分）、河川等水域（1 区分）、人工平坦地（1 区分）で構成されている。

山地・丘陵地の主体は樹林地であり、二次林であるシイ・カシ萌芽林やアカマツ群落が大部分を占めているほか、人工林であるスギ・ヒノキ植林で構成されている。また、台地・低地には水田や市街地、果樹園等が分布している。

表 3.1.38　事業実施区域及びその周辺における自然環境類型区分の概要

自然環境類型区分		主要な植生等
地形区分	植生区分等	
山地 丘陵地	二次林	シイ・カシ萌芽林、アカマツ群落、伐跡群落
	人工林	スギ・ヒノキ植林、クロマツ植林、竹林
	畑地	畑雑草群落
	果樹園	常緑果樹園、桑園
	水田	水田雑草群落
	その他	市街地、造成地
台地 低地	二次林	シイ・カシ萌芽林、アカマツ群落
	人工林	スギ・ヒノキ植林、竹林
	畑地	畑雑草群落
	果樹園	常緑果樹園、桑園
	水田	水田雑草群落
	その他	市街地、緑の多い住宅地
河川	開放水域	開放水域、造成地
人工平坦地	その他（造成地）	造成地



凡　例

記号	地形区分	植生区分等
	山地 丘陵地	二次林
		人工林
		果樹園
		畑地
		水田
		その他

記号	地形区分	植生区分等
	台地 低地	二次林
		人工林
		果樹園
		畑地
		水田
		その他

記号	地形区分	植生区分等
	河川	開放水域
	人工平坦地	その他（造成地）

出典：土地分類基本調査図　地形分類図　伊野（昭和 57 年 6 月 高知県）
土地分類基本調査図　地形分類図　須崎（昭和 53 年 6 月 高知県）
第 2-5 回自然環境保全基礎調査（昭和 48 年－平成 10 年度）　植生調査（1/50,000 縮尺）
（環境省自然環境局生物多様性センター HP 令和 2 年 10 月現在）

図名	図 3.1.27　自然環境類型区分図

N　W　E　S

S = 1:25,000

0　0.5　1.0　1.5km

3.1.7. 景観及び人と自然との触れ合いの活動の場の状況

(1) 景観資源、主要な眺望点の状況

文献により確認された対象地域の景観資源及び主要な眺望点を表 3.1.39、表 3.1.40 及び図 3.1.28 に示す。

景観資源は、鍾乳洞、鎮守の森が 9 箇所（うち 2 箇所は位置不明）ある。また、主要な眺望点は、山や神社、公園等が 4 箇所ある。

表 3.1.39 景観資源の状況

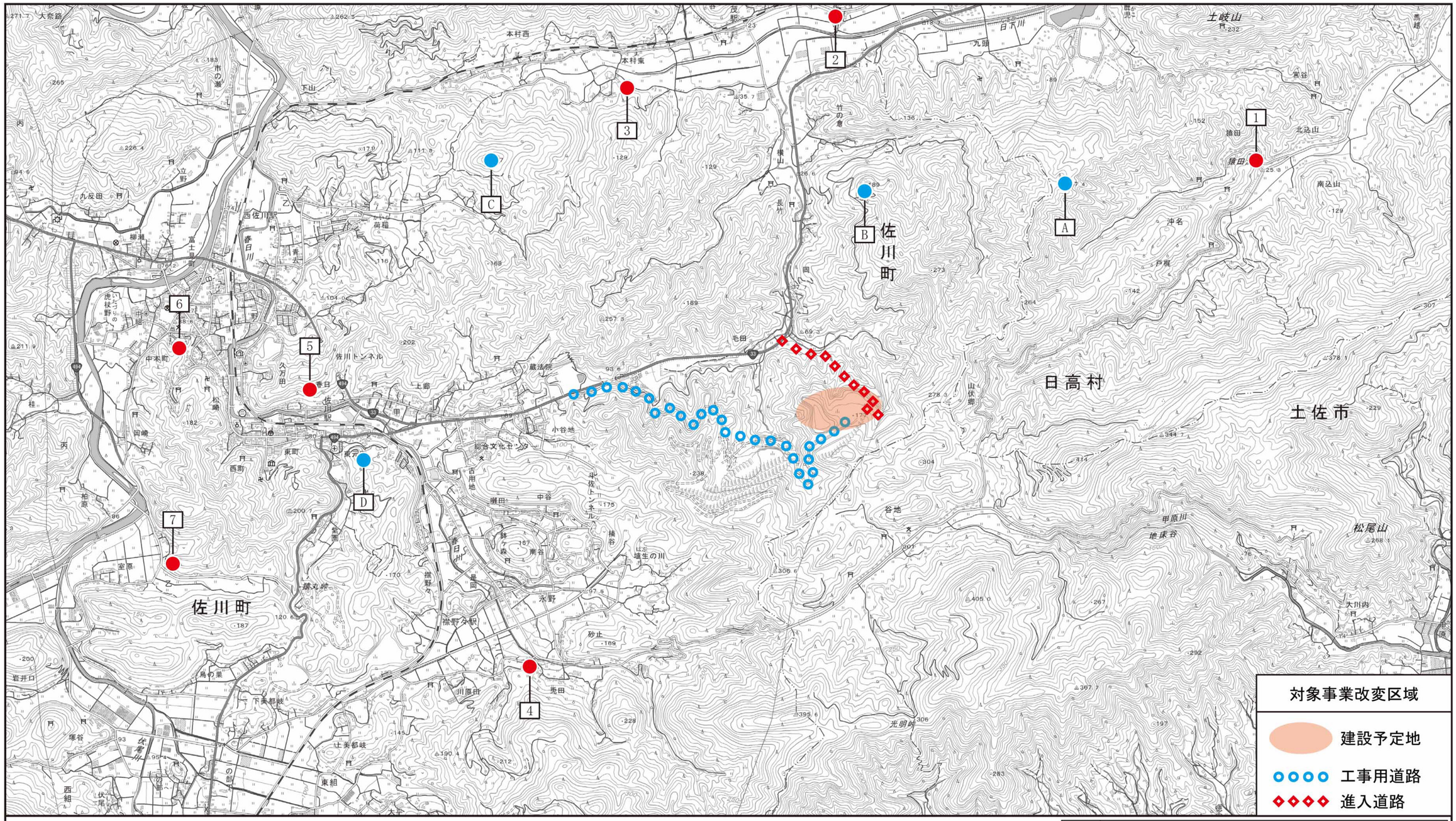
No.		名　　称	出典	備考
日高村	1	猿田洞	1	高知県自然環境保全指針ですぐれた自然地形（地形・景観）とされている鍾乳洞。
佐川町	2	六所神社	1	高知県自然環境保全指針で身近な自然地域とされている鎮守の森。
	3	加茂神社	1	高知県自然環境保全指針で身近な自然地域とされている鎮守の森。
	4	鈴神社	1	高知県自然環境保全指針で身近な自然地域とされている鎮守の森。
	5	春日神社	1	高知県自然環境保全指針で身近な自然地域とされている鎮守の森。
	6	五所神社	1	高知県自然環境保全指針で身近な自然地域とされている鎮守の森。
	7	横倉神社	1	高知県自然環境保全指針で身近な自然地域とされている鎮守の森。
	8	八幡宮	1	高知県自然環境保全指針で身近な自然地域とされている鎮守の森。詳細な位置は不明。
	9	曽我神社	1	高知県自然環境保全指針で身近な自然地域とされている鎮守の森。詳細な位置は不明。

出典：1.「高知県自然環境保全指針」（平成 8 年　高知県）

表 3.1.40 主要な眺望点の状況

No.		名　　称	出典	備考
日高村	A	大滝山	1	日下調整池の南西に位置する標高 247m の小高い山で、気楽なハイキングを行える。晴れた日には横倉山、黒森、石鎚山まで望むことができる。
佐川町	B	聖神社	2	土佐加茂駅の南西に位置する山の上にある神社。北方向（土佐加茂駅）を眺望することができる。
	C	小富士山	2	標高 207m の小高い山。山頂より西側に 50m 下りたところに展望台があり、西方向の旧佐川町の半分程度が一望できる。
	D	和楽公園	3	さくらの街佐川町のお花見スポット。街中の小高い山の山頂に展望台があり、車で目的地まで行くことも可能。

出典：1.「日高村 HP」（令和 2 年 10 月現在　日高村）
2.「佐川町 HP」（令和 2 年 10 月現在　佐川町）
3.「NIYODO BLUE!」（令和 2 年 10 月現在　（一社）仁淀ブルー観光協議会）



凡例							
記号		名称	備考	記号		名称	備考
●	1	猿田洞	景観資源	●	A	大滝山	主要な眺望点
	2	六所神社			B	聖神社	
	3	加茂神社			C	小富士山	
	4	鈴神社			D	和楽公園	
	5	春日神社					
	6	五所神社					
	7	横倉神社					

出典：高知県自然環境保全指針（平成8年 高知県）
佐川町HP（令和2年10月現在 佐川町）
日高村HP（令和2年10月現在 日高村）
NIYODO BLUE!
（令和2年10月現在 （一社）仁淀ブルー観光協議会）

図名　図 3.1.28　景観資源並びに主要な眺望点位置図

N
W
E
S
S = 1:25,000
0　0.5　1.0　1.5km

(2) 人と自然との触れ合い活動の場の状況

文献により確認された対象地域における人と自然との触れ合い活動の場を表 3.1.41 及び図 3.1.29 に示す。

人と自然との触れ合い活動の場は、池、山、公園、サイクリング・ウォーキングコース等が 17 箇所ある。

建設予定地及びその周辺には、これら人と自然との触れ合い活動の場のうち「「加茂の里」お宝発見ウォーキングコース」がある。

表 3.1.41 (1)　人と自然の触れ合い活動の場の状況 (1/3)

No.	名　　称	特　　徴	所在地	出典
1	日下川調整池 (メダカ池)	日高村の豊かな自然を身近に感じられる場所。県内最大級、約 14 ヘクタールの内陸型湿地にはたくさんのメダカが泳ぎ、周囲にはトンボをはじめサギやカワセミなどの野鳥が飛び交う姿や、湿地の珍しい植物も観察で、四季折々の自然を満喫しながらウォーキングができる。	日高村岩目地	1,2
2	猿田洞	日高村沖名にある石灰石の洞窟。大きな鍾乳石や石筍はあまりないが、自然のままの深渕があり、コウモリ等の洞窟独特の生物が生息している。入洞の際は、日高村教育委員会に連絡してから入洞すること。(許可必要)	日高村沖名 1591	3
3	大滝山	日下調整池の南西に位置する標高 247mの小高い山で、気楽なハイキングを楽しめる。修験道の開祖、役行者が開山したとも伝えられ、30 を超える小さな苔むした石仏がいたるところに点在し、ひっそりとした霊山の静けさに趣がある。	佐川町加茂	1
4	バイカオウレン 《加茂の里》	加茂の里から徒歩で約 20 分。バイカオウレンが自生する群生地を巡ることができる。群生地はスギとヒノキの、林床にコケ類の多い湿った北面の半陰地で見られる。2 月 4 日頃の立春から花が咲き始め、2 月 10 日頃から 3 月 5 日の啓蟄にかけて見頃となる。	佐川町加茂 621-1	4
5	五位山緑地公園	山の斜面をそのまま生かした公園。ターザンロープ等の遊具や展望塔などのチェーンを使った岩登り、自然の光を利用したミニプラネタリウム、ジャンボすべり台など遊具が充実。	佐川町永野	3,4
6	和楽公園	さくらの街佐川町の知る人ぞ知る隠れたお花見スポット。街中の小高い山の山頂に公園と展望台があり、車で目的地まで行くことも可能。	佐川町甲 1098-8	4

出典：1.「日高村HP」(令和2年10月現在　日高村)
2.「高知県自然環境保全指針」(平成8年　高知県)
3.「全国観るなび」(令和2年10月現在　(公社) 日本観光振興協会)
4.「NIYODO BLUE!」(令和2年10月現在　(一社) 仁淀ブルー観光協議会)
5.「四国のみち」(令和2年10月現在　高知県)
6.「輪旅高知」(令和2年10月現在　高知県)
7.「佐川町HP」(令和2年10月現在　佐川町)

表 3.1.41 (2)　人と自然との触れ合い活動の場の状況 (2/3)

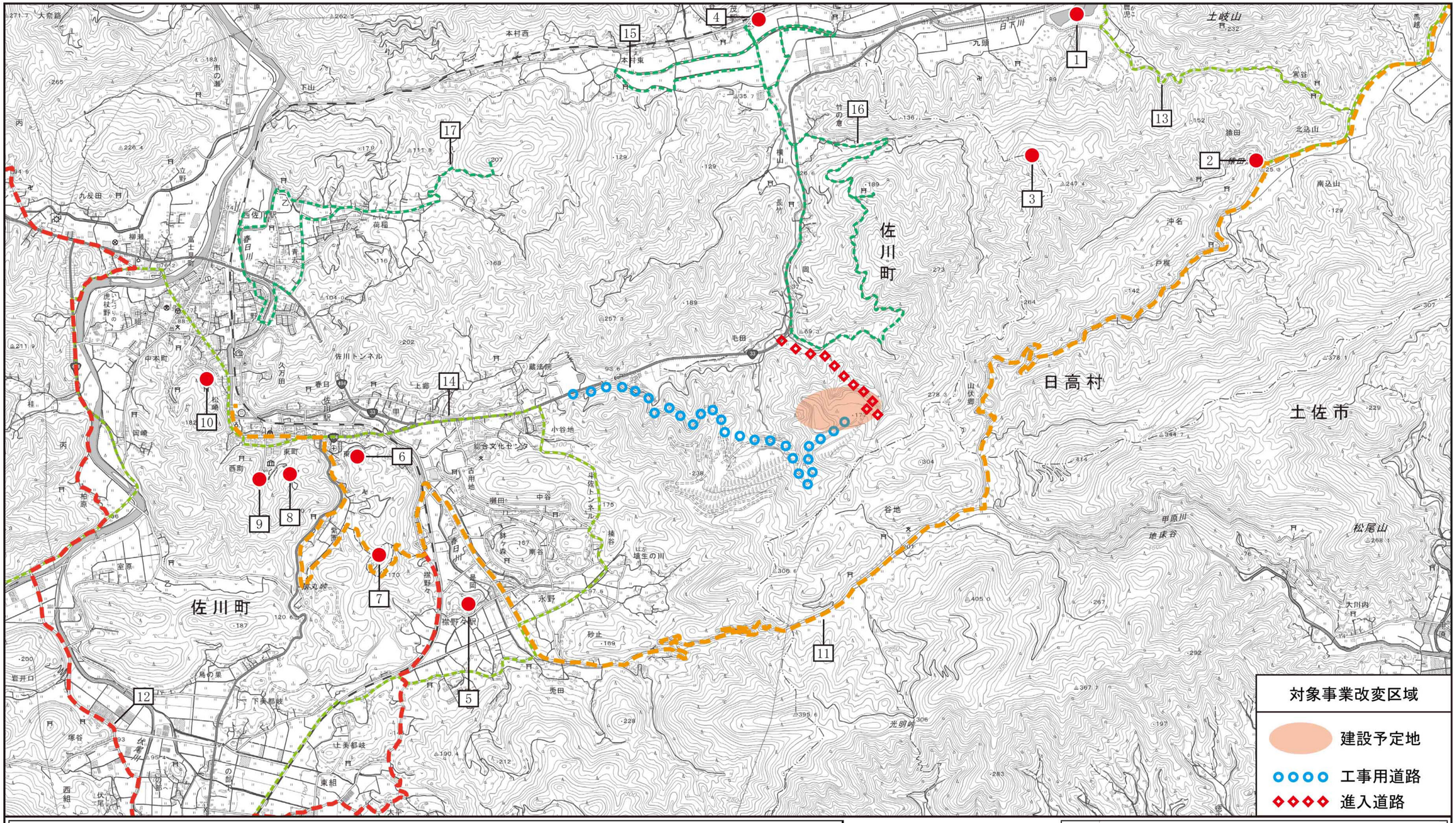
No.	名　　称	特　　徴	所在地	出典
7	佐川ナウマンカルスト	佐川町を地質のメッカとして世界に広めた地質学者エドモンド・ナウマンにちなみ設けられた公園。巨大なナウマン象のオブジェと羊の群れのような石灰岩がある。	佐川町紫園	4
8	牧野公園	世界的植物学者牧野富太郎博士がソメイヨシノを贈ったことを契機に町の人びとが整備を重ね、桜の名所になった。現在老木化した桜を植え替え中。また、バイカオウレン、シハイスミレ、ガンゼキラン、キレンゲショウマなど博士ゆかりの植物が年中楽しめる。	佐川町甲 (奥の土居)	3
9	青源寺	格式の高さを偲ばせる禅寺。山門に至る石段は樹木におおわれており、若葉、紅葉の頃はひときわ風情が感じられる。禅的風格を備えた日本式庭園は県指定文化財で、乗台寺・竹林寺と並ぶ土佐三大名園のひとつである。	佐川町甲 1460 (奥の土居)	3
10	乗台寺	佐川では最古の寺で、大きなイチョウの木を中心に据え四季折々変化に富んだ美しさを見せる。やすらぎ気分を誘う庭園は県指定文化財で、青源寺・竹林寺と並ぶ土佐三大名園のひとつである。	佐川町甲 1746 (松崎)	3
11	谷地・佐川へのみち	日下大橋から佐川町役場の全長 16.2㎞。日高村バス停から谷地越えの峠を過ぎて、佐川町に入るコース。途中【杞柳】の群落があり、のどかな田園風景も楽しめる。	佐川町佐川町・日高村(日下大橋～佐川ナウマンカルスト～佐川町役場)	5
12	赤土峠志士脱藩のみち	四国のみちとして指定されているコース。	佐川町(佐川ナウマンカルスト～中山)	5
13	ひだか 里山＆パワースポットコース	村の駅ひだかをスタート地点とする日高村の里山風景を見ながら楽しめるコース。日下川調整池、日高村運動公園、トンボ類を始めとする貴重な自然の宝庫「渋川トンボ公園」など休耕田を利用したビオトープづくり等、豊かな生態系を守っている地域をめぐる。	佐川町加茂	1,6
14	佐川町鉄道跡の道とケイトウ街道を走るコース	のどかで緑豊かな田園、畑の間を真っすぐにのびる鉄道跡(廃線。ところどころにわずかに残る)。一本道とケイトウの花が咲く沿道。	佐川町甲～斗賀野	6

出典：1.「日高村HP」(令和2年10月現在　日高村)
2.「高知県自然環境保全指針」(平成8年　高知県)
3.「全国観るなび」(令和2年10月現在　(公社) 日本観光振興協会)
4.「NIYODO BLUE!」(令和2年10月現在　(一社) 仁淀ブルー観光協議会)
5.「四国のみち」(令和2年10月現在　高知県)
6.「輪旅高知」(令和2年10月現在　高知県)
7.「佐川町HP」(令和2年10月現在　佐川町)

表 3.1.41 (3)　人と自然との触れ合い活動の場の状況 (3/3)

No.	名　　称	特　　徴	所在地	出典
15	「花の里加茂」ウォーキングコース	土佐加茂駅から南に日下川沿いの土手道を、東向き又は西向きに回る 1 周約 4km のコース。コース沿いには名前を付けてある花道に加え、桜やツツジ、ロウバイ等の数十種類の花木がベンチや東屋とともに「加茂夢の里つくり隊」により管理されており、年間を通して四季の花々を楽しめる。	佐川町加茂	7
16	「加茂の里」お宝発見ウォーキングコース	土佐加茂駅から毛田へ向かい、林道を歩いて聖神社を経由して土佐加茂駅に戻る 1 周約 7km のコース。道中にはシリブカガシやギンリョウソウの群生地があり、佐川町文化財のお留めの楊梅なども見ることができる。	佐川町加茂～長竹	7
17	小富士山ウォーキングコース	西佐川駅から諏訪神社を経由して小富士山を登る約 6km のウォーキングコース。小富士山山頂はツワブキの花など四季折々の草木が賑わいを見せ、森林の中で休憩ができる絶景ポイントである。	佐川町乙	7

出典：1.「日高村HP」（令和2年10月現在　日高村）
2.「高知県自然環境保全指針」（平成8年　高知県）
3.「全国観るなび」（令和2年10月現在　（公社）日本観光振興協会）
4.「NIYODO BLUE!」（令和2年10月現在　（一社）仁淀ブルー観光協議会）
5.「四国のみち」（令和2年10月現在　高知県）
6.「輪旅高知」（令和2年10月現在　高知県）
7.「佐川町HP」（令和2年10月現在　佐川町）



凡　例

記号		名称	備考
●	1	日下調整池	天然記念物（日高村）
	2	猿田洞	
	3	大滝山	
	4	バイカオウレン（加茂の里）	天然記念物（佐川町）
	5	五位山緑地公園	
	6	和楽公園	
	7	佐川ナウマンカルスト	
	8	牧野公園	
	9	青源寺	名勝（高知県）
	10	乗台寺	

記号		名称	備考
▬▬	11	谷地・佐川へのみち	四国のみち
▬▬	12	赤土峠志士脱藩のみち	
▬ ▬	13	ひだか里山＆パワースポットコース	サイクリングコース
▬ ▬	14	佐川町鉄道跡の道とケイトウ街道を走るコース	
▬ ▬	15	花の里加茂ウォーキングコース	ウォーキングコース
▬ ▬	16	「加茂の里」お宝発見ウォーキングコース	
▬ ▬	17	小富士山ウォーキングコース	

出典：
高知県自然環境保全指針（平成8年 高知県）
全国観るなび（(公社)日本観光振興協会）
NIYODO BLUE!（(一社)仁淀ブルー観光協議会）
日高村HP（日高村）
佐川町HP（佐川町）
輪旅高知（高知県）
※HP等は全て令和2年10月現在

N
W　E
S

S = 1:25,000
0　0.5　1.0　1.5km

図名　図 3.1.29　人と自然との触れ合い活動の場位置図

3.2. 社会的状況

3.2.1. 人口及び産業等の状況

(1) 行政区画の状況

対象地域の行政区画の状況は、令和元年度の高知県統計書によると、佐川町、日高村及び土佐市の面積はそれぞれ、100.80km^2、44.85km^{2}及び91.50km^{2}である（表 3.2.1参照）。

表 3.2.1 各町村の面積（単位：km^2）

市町村	平成22年	平成27年	平成30年
佐川町	100.84	100.80	100.80
日高村	44.88	44.85	44.85
土佐市	91.59	91.49	91.50

出典：「令和元年度版　高知県統計書」（令和元年12月　高知県）
「平成27年国勢調査」（総務省統計局）
「平成22年国勢調査」（総務省統計局）

(2) 人口等の状況

対象地域の人口等の状況は、平成27年の国勢調査によると佐川町は5,237世帯13,114人、日高村は1,968世帯5,030人、土佐市は10,255世帯27,038人である（表 3.2.2参照）。

表 3.2.2 各町村の人口等

市町村	世帯数			人口密度（人/km^2）			人口（人）		
	平成17年	平成22年	平成27年	平成17年	平成22年	平成27年	平成17年	平成22年	平成27年
佐川町	5,384	5,340	5,237	142.7	138.3	130.1	14,447	13,951	13,114
日高村	2,157	2,063	1,968	131.4	121.4	112.2	5,895	5,447	5,030
土佐市	10,611	10,544	10,255	327.7	313.2	295.5	30,011	28,686	27,038

出典：「平成27年国勢調査」（総務省統計局）
「平成22年国勢調査」（総務省統計局）
「平成17年国勢調査」（総務省統計局）

(3) 産業の状況

対象地域の産業の状況は、平成 27 年の国勢調査によると、佐川町は第 1 次産業 870 人、第 2 次産業 1,221 人、第 3 次産業 3,990 人であり、日高村は第 1 次産業 255 人、第 2 次産業 511 人、第 3 次産業 1,411 人、土佐市は第 1 次産業 2,425 人、第 2 次産業 2,321 人、第 3 次産業 7,540 人である（表 3.2.3 参照）。

表 3.2.3 各市町村の産業

市町村	就業人口（人）								
	平成 17 年			平成 22 年			平成 27 年		
	第 1 次産業	第 2 次産業	第 3 次産業	第 1 次産業	第 2 次産業	第 3 次産業	第 1 次産業	第 2 次産業	第 3 次産業
佐川町	1,115	1,624	4,168	826	1,370	3,957	870	1,221	3,990
日高村	281	773	1,652	241	641	1,529	255	511	1,411
土佐市	3,199	2,879	8,271	2,768	2,507	7,824	2,425	2,321	7,540

出典：「平成 27 年国勢調査」（総務省統計局）
「平成 22 年国勢調査」（総務省統計局）
「平成 17 年国勢調査」（総務省統計局）

3.2.2. 土地利用の状況

(1) 土地利用の現況

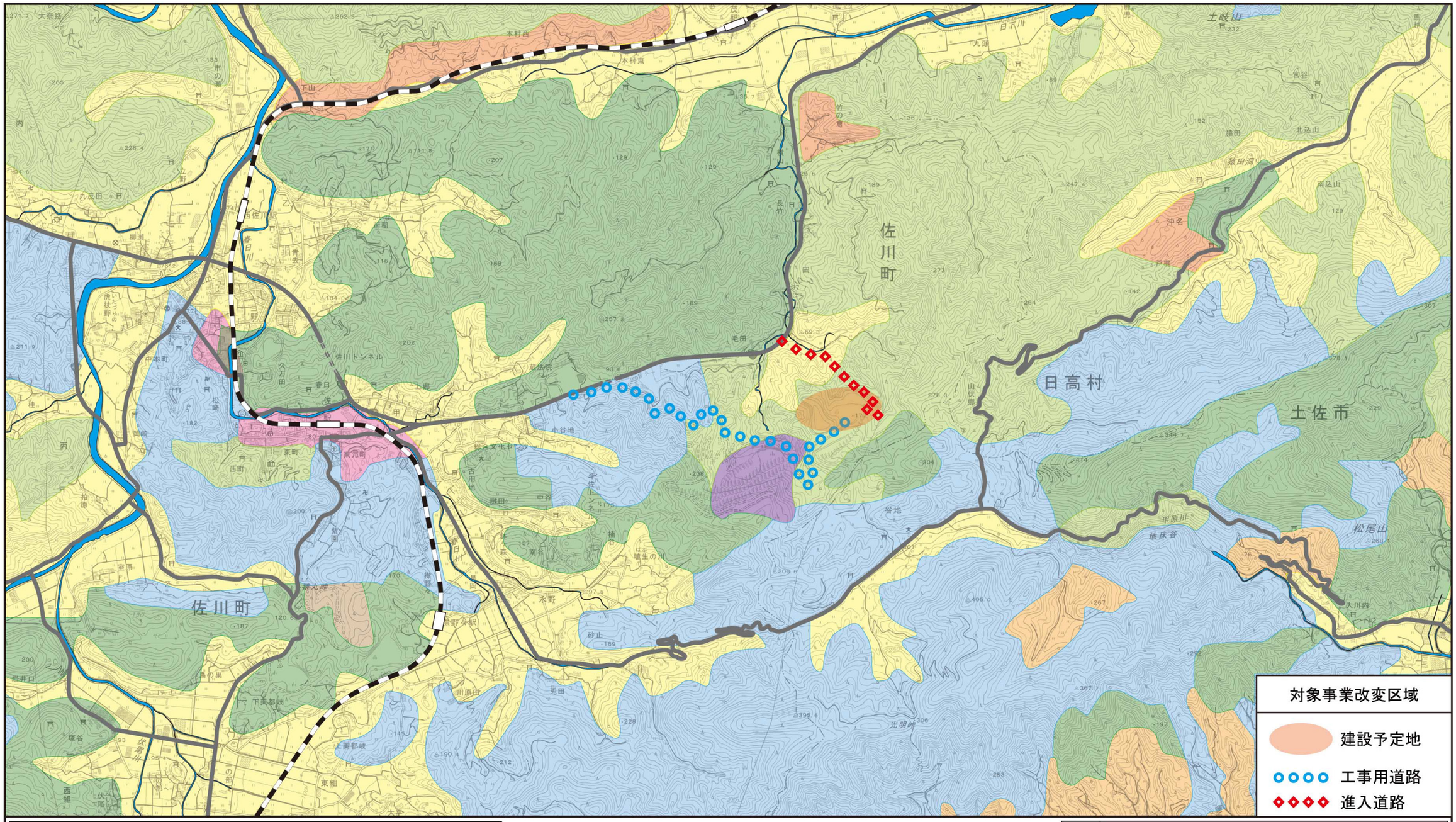
対象地域は、大部分が針葉樹・広葉樹といった林地や田畑等であり、佐川駅周辺には住宅地が存在している（図 3.2.1 参照）。

なお、建設予定地及び進入道路付近は広葉樹林等の林地や田が、進入道路付近は針葉樹や広葉樹等の林地や田、裸地となっている。

(2) 土地利用計画の状況

「国土利用計画法」（昭和 49 年法律第 92 号）に基づき策定された高知県土地利用基本計画によると、対象地域は、都市地域、農業地域、農用地区域、森林地域、地域森林計画対象民有林、保安林に指定されている（図 3.2.2 参照）。

なお、建設予定地付近は、都市地域及び地域森林計画対象民有林に、進入道路付近は都市地域、農業地域、農用地区域及び地域森林計画対象民有林に含まれる。



凡例					
記号	名称	記号	名称	記号	名称
	針葉樹林		水面・河川		主要道路
	広葉樹林		住宅地		国有鉄道
	混合林及びその他の林等		田		市・群界
	野草地		普通畑		町・村界
	裸地		果樹園		

出典：20万分の1土地利用調査 土地利用図
（令和2年10月現在 国土地理院）

図名　図 3.2.1　土地利用現況図

N
W　E
S

S = 1:25,000

0　0.5　1.0　1.5km



凡　例			
記　号	名　称	記　号	名　称
	都　市　地　域		森　林　地　域
	農　業　地　域		地域森林計画対象民有林
	農　用　地　区　域		保　安　林

出典：土地利用調整総合支援ネットワークシステム（LUCKY）（令和2年10月現在 国土交通省）

図名	図 3.2.2　土地利用基本計画図

N　W　E　S

S = 1:25,000

0　0.5　1.0　1.5km

3.2.3. 河川、湖沼及び海域の利用並びに地下水の利用状況

(1) 利水の状況

対象地域における利水の状況として、上水道施設を表 3.2.4 に、簡易水道施設を表 3.2.5 に、水源及び配水池を表 3.2.6 に示す。また、対象地域において確認された水源地、配水施設及び給水区域の位置を図 3.2.3 に示す。

対象地域では佐川町及び土佐市でそれぞれ上水道施設が 1 箇所ずつ、日高村では簡易水道施設が 1 箇所確認された。また、佐川町では、水源地及び配水池がそれぞれ 3 箇所ずつ確認されている。

表 3.2.4 上水道施設概要

番号	市町村	施設名	種別	1 日最大給水量 (m^3/日)	計画給水人口 (人)
1	佐川町	佐川上水道	地下水（浅井戸）	6,681	13,864
2	土佐市	西部上水道	地下水（浅井戸）	4,717	9,138

出典：佐川町建設課調べ（令和2年10月現在）
土佐市水道局調べ（令和2年10月現在）

表 3.2.5 簡易水道施設概要

番号	市町村	施設名	種別	1 日最大給水量 (m^3/日)
3	日高村	中央簡易水道	伏流水	4,600

出典：日高村建設課調べ（令和2年10月現在）

表 3.2.6 水源地、配水池概要

番号	水道施設	名称
4	佐川上水道	中組水源地
5		室原水源地
6		新室原水源地
7		中組配水池
8		猿丸配水池
9		苔井口配水池

出典：佐川町建設課調べ（令和2年10月現在）

水源地等の保護のため非公開

対象事業改変区域

建設予定地

工事用道路

進入道路

凡　例	
記　号	名　称
	上水道給水区域
	簡易水道給水区域
●	水　源　地
●	配　水　池

凡　例			
番　号	名　称	番　号	名　称
1	佐川上水道	6	新室原水源地
2	西部上水道	7	中組配水池
3	中央簡易水道	8	猿丸配水池
4	中組水源地	9	苔井口配水池
5	室原水源地		

出典：佐川町建設課調べ（令和2年10月現在）
土佐市水道局調べ（令和2年10月現在）
日高村建設課調べ（令和2年10月現在）

図名	図 3.2.3　水道施設位置図

N
W
E
S

S = 1:25,000

0　0.5　1.0　1.5km

(2) 漁業としての河川及び海域の利用の状況

対象地域における漁業権の設定状況を表 3.2.7 に示す。

仁淀川水系には、内水面で第 1 種共同漁業及び第 5 種共同漁業権が 1 箇所ずつ設定されている。

表 3.2.7　内水面における共同漁業権の設定状況

免許番号	漁場の位置	漁業種類	漁業名称	漁業時期
内共第 101 号	仁淀川水系	第 1 種共同漁業	すじあおのり漁業	11 月 1 日から翌年 5 月 31 日まで
内共第 513 号	仁淀川水系	第 5 種共同漁業	あゆ漁業	5 月 15 日から翌年 1 月 13 日まで
			うなぎ漁業	1 月 1 日から 12 月 31 日まで
			こい漁業	
			あまご漁業	
			もくずがに漁業	8 月 1 日から 11 月 30 日まで

出典：「高知県公報　第 9544 号」（平成 25 年 5 月 28 日　高知県）
「高知県内水面漁業調整規則」（平成 25 年 3 月 26 日　高知県）

また、これら漁場の区域は表 3.2.8 に示すとおりであり、対象地域では内共第 101 号及び内共第 513 号の区域である、仁淀川水系の日下川及びその支流、柳瀬川及びその支流が含まれる。なお、仁淀川に係る河川では表 3.2.9 に示す区域が禁漁区に設定されており、全ての水産動植物の採捕が禁止されている。対象地域には、これらの禁漁区は存在しない。

表 3.2.8　漁場の区域

免許番号	漁場の区域
内共第 101 号	基点甲　高知市春野町仁ノ仁淀川河口左岸導流堤の場所打コンクリート堤突端漁場基点
内共第 513 号	基点乙　土佐市新居仁淀川河口右岸排水用水門漁場基点 ア　甲から磁針方位 165 度の線と最大高潮時の海岸線との交点 イ　乙から磁針方位 165 度の線と最大高潮時の海岸線との交点 アとイとを結ぶ直線から上流の高知県と愛媛県との県境までの仁淀川本・支流（高知市春野町仁ノ仁淀川左岸導流堤以東の仁淀川に連接した内水面を含む。）

出典：「高知県公報　第 9544 号」（平成 25 年 5 月 28 日　高知県）
「高知県内水面漁業調整規則」（平成 25 年 3 月 26 日　高知県）

表 3.2.9　禁漁区区域

河川名	区域
仁淀川に係る河川	吾川郡仁淀川町長屋発電用えん堤上流端から上流 135 メートル、下流 184 メートルの間
	吾川郡仁淀川町大渡発電所放水路及び放水口より下流 30 メートルに至る間
	吾川郡いの町上八川下分四発電所取水えん堤上流端から上流 20 メートル、下流 100 メートルの間
	高岡郡越知町桐見治水ダムえん堤上流端から上流 60 メートル、下流 100 メートルの間
	吾川郡仁淀川町峠の越発電用えん堤上流端から上流 30 メートル、下流 190 メートルの間
	吾川郡仁淀川町加枝発電所放水路
	高岡郡越知町野老山発電用えん堤上流端から上流 60 メートル、下流左岸 140 メートルの点から 180 度の線に至る間
	吾川郡いの町仁淀川右岸八田かんがい用八田ぜき上流端から上流 20 メートル、下流 150 メートル日下川新放水路上流端と、左岸八田かんがい用八田ぜき上流端から上流 20 メートル、下流 170 メートルに建設された漁場標識を結んだ線に至る間
	高岡郡越知町遊行寺かんがい用ぜき上流端から上流 20 メートル、下流 100 メートルの間

出典：「高知県内水面漁業調整規則」（平成 25 年 3 月 26 日　高知県）

3.2.4. 交通の状況

対象地域における主要な道路は、一般国道（33 号、494 号）、主要地方道及び一般県道（53 号、291 号、296 号、297 号、298 号、302 号、307 号、308 号）である（図 3.2.4 参照）。

対象地域における平成 27 年度の道路交通センサス観測結果を表 3.2.10 に示す。

観測結果によると、国道 33 号、谷地日下停車場線、長者佐川線で混雑が見られる。

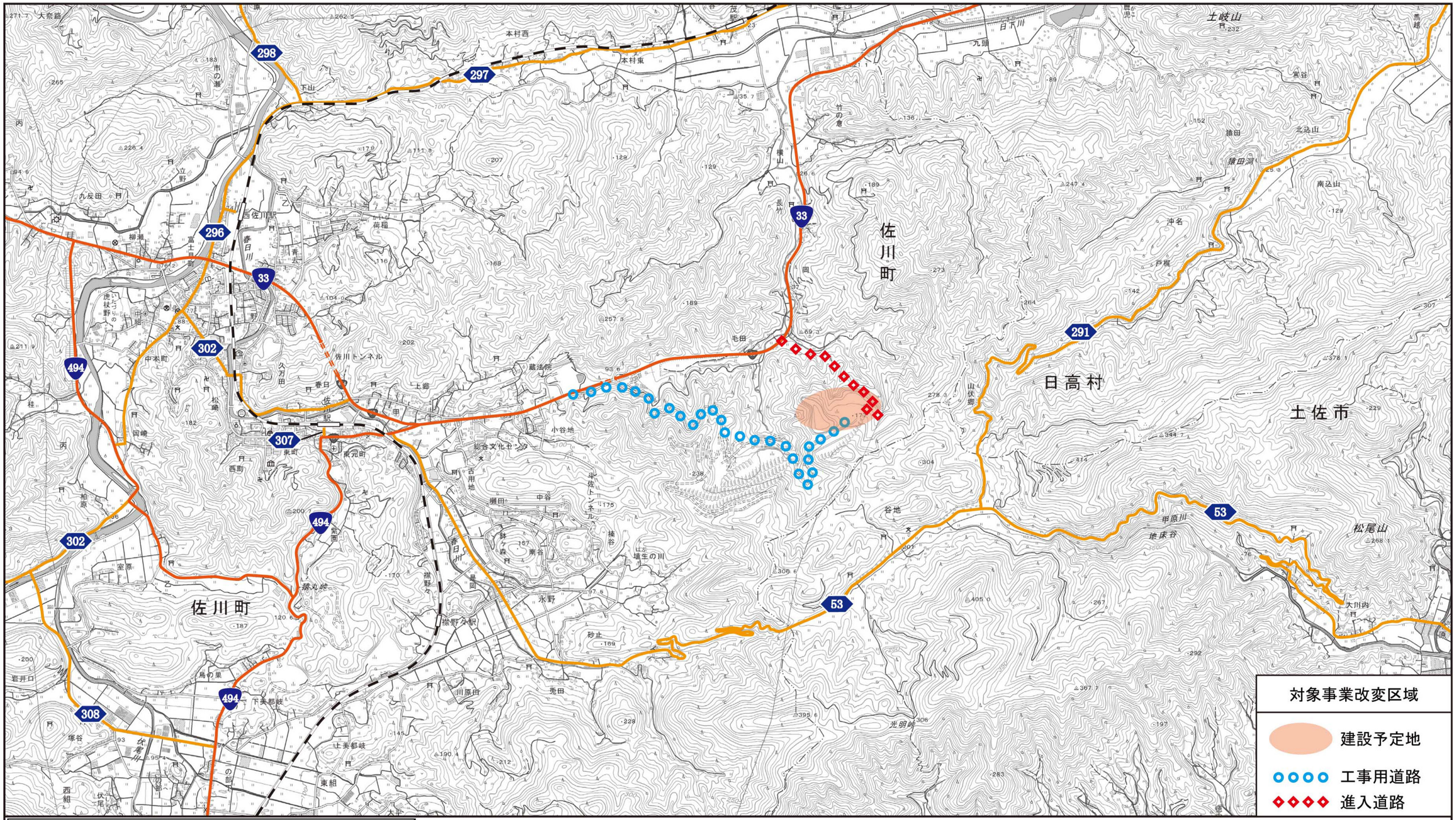
表 3.2.10　交通センサス調査結果

道路種別	路線番号	路線名称	交通量調査基本区間番号	交通量計測始点	交通量計測終点	自動車類交通量（台）		混雑度
						平成 27 年度平日		
						12 時間	24 時間	
一般国道	33	一般国道 33 号	39300330200	岩目地西佐川停車場線	日高村・佐川町境	10,495	12,898	0.92
			39300330210	日高村・佐川町境	一般国道 494 号	10,495	12,898	0.96
			39300330220	一般国道 494 号	長者佐川線	10,495	12,898	0.96
			39300330230	長者佐川線	西佐川停車場線	10,495	12,898	0.99
			39300330235	西佐川停車場線	一般国道 494 号	10,495	12,898	0.90
			39300330240	一般国道 494 号	佐川町・越知町境	10,483	12,555	1.13
	494	一般国道 494 号	39304940030	一般国道 33 号	土佐佐川線	3,431	4,186	0.54
			39304940040	土佐佐川線	佐川停車場線	3,431	4,186	0.54
			39304940050	佐川停車場線	本郷斗賀野停車場線	3,431	4,186	0.54
			39304940060	本郷斗賀野停車場線	本郷斗賀野停車場線	3,431	4,186	0.54
			39304940070	本郷斗賀野停車場線	佐川町・須崎市境	3,431	4,186	0.54
			39304940110	一般国道 33 号	長者佐川線	3,431	4,186	0.52
一般県道及び主要地方道	53	土佐佐川線	39400530010	一般国道 56 号	谷地日下停車場線	180	196	0.3
			39400530020	谷地日下停車場線	土佐市・佐川町境	180	196	0.3
			39400530030	土佐市・佐川町境	一般国道 494 号	180	196	0.3
	291	谷地日下停車場線	39602910010	土佐佐川線	土佐市・日高村境	1,466	1,701	8.52
	296	西佐川停車場線	39602960020	岩目地西佐川停車場線	一般国道 33 号	429	566	0.10
			39602960030	一般国道 33 号	長者佐川線	429	566	0.10
	297	岩目地西佐川停車場線	39602970020	日高村・佐川町境	下山越知線	2,737	3,257	0.62
	298	下山越知線	39602980010	岩目地西佐川停車場線	庄田伊野線	615	756	0.54
	302	長者佐川線	39603020015	本郷斗賀野停車場線	一般国道 494 号	2,560	3,021	0.14
			39603020020	一般国道 494 号	西佐川停車場線	2,560	3,021	1.14
			39603020030	西佐川停車場線	一般国道 33 号	2,560	3,021	1.14
	307	佐川停車場線	39603070010		一般国道 494 号	383	506	0.15
	308	本郷斗賀野停車場線	39603080010	長者佐川線	一般国道 494 号	757	916	0.12

注）下線が引いてある交通量調査基本区間番号の結果は推計値である。

出典：「平成 27 年度　全国道路・街路交通情勢調査（道路交通センサス）一般交通量調査集計表」

（平成 29 年　国土交通省）



凡例		
記号	名称	路線名
No.	一般国道	国道33号 国道494号
No.	主要地方道	土佐佐川線（53号）
No.	一般県道	谷地日下停車場線（291号） 西佐川停車場線（296号） 岩目地西佐川停車場線（297号） 下山越知線（298号） 長者佐川線（302号） 佐川停車場線（307号線） 本郷斗賀野停車場線（308号）
	鉄道	JR四国 土讃線(高知～窪川)

出典：平成27年度全国道路・街路交通情勢調査
（平成29年　国土交通省）

図名	図 3.2.4　幹線道路・鉄道位置図

N
W
E
S

S = 1:25,000
0　0.5　1.0　1.5km

3.2.5. 住宅の配置の概況、及び学校・病院その他の環境の保全についての配慮が特に必要な施設の配置の状況

対象地域における住宅の配置の概況図を図 3.2.5 に示す。また、環境保全についての配慮が特に必要な施設の一覧を表 3.2.11～表 3.2.16 に、位置を図 3.2.6 に示す。

対象地域のうち建設予定地及び進入道路周辺では、国道 33 号沿い及び県道 53 号沿いに住宅が存在している。

また、配慮が必要な施設として保育園が 5 箇所、学校が 5 箇所、病院が 1 箇所、児童福祉施設が 3 箇所、老人ホーム等の福祉施設が 5 箇所、図書館が 1 箇所確認された。

表 3.2.11　周辺地域における保育園一覧

番号	区分	施設名		所在地
1	町立	保育園	海津見保育園	佐川町加茂 673-1
2			永野保育園	佐川町永野 1721
3	社会福祉法人		花園保育園	佐川町甲 1462-4
4			若草保育園	佐川町乙 1759
5	町立		斗賀野中央保育園	佐川町東組 1245-1

出典：佐川町 HP（令和 2 年 10 月現在）

表 3.2.12　周辺地域における学校一覧

番号	区分	施設名		所在地
6	町立	小学校	佐川小学校	佐川町乙 2166
7		中学校	佐川中学校	佐川町甲 1936-1
8		高等学校	佐川高等学校	佐川町乙 1789-5
10	日高村佐川町学校組合立	小学校	加茂小学校	日高村岩目地 40
11		中学校	加茂中学校	日高村岩目地 164

出典：佐川町 HP（令和 2 年 10 月現在）
高知県 HP（令和 2 年 10 月現在）
日高村 HP（令和 2 年 10 月現在）

表 3.2.13　周辺地域における病院一覧

番号	区分	施設名	所在地
11	町立	高北国民健康保険病院	高知県高岡郡佐川町甲 1687

出典：佐川町 HP（令和 2 年 10 月現在）

表 3.2.14　周辺地域における児童福祉施設一覧

番号	区分	施設名	所在地
12	社会福祉法人	児童養護施設　さくら園	佐川町甲 1110 番地 1
13		児童家庭支援センター　ひだまり	佐川町甲 1110 番地 1
14		児童心理治療施設　さくらの森学園	佐川町甲 1115 番地 3

出典：社会福祉法人 同朋会 HP（令和 2 年 10 月現在）

表 3.2.15　周辺地域における老人ホーム等の福祉施設一覧

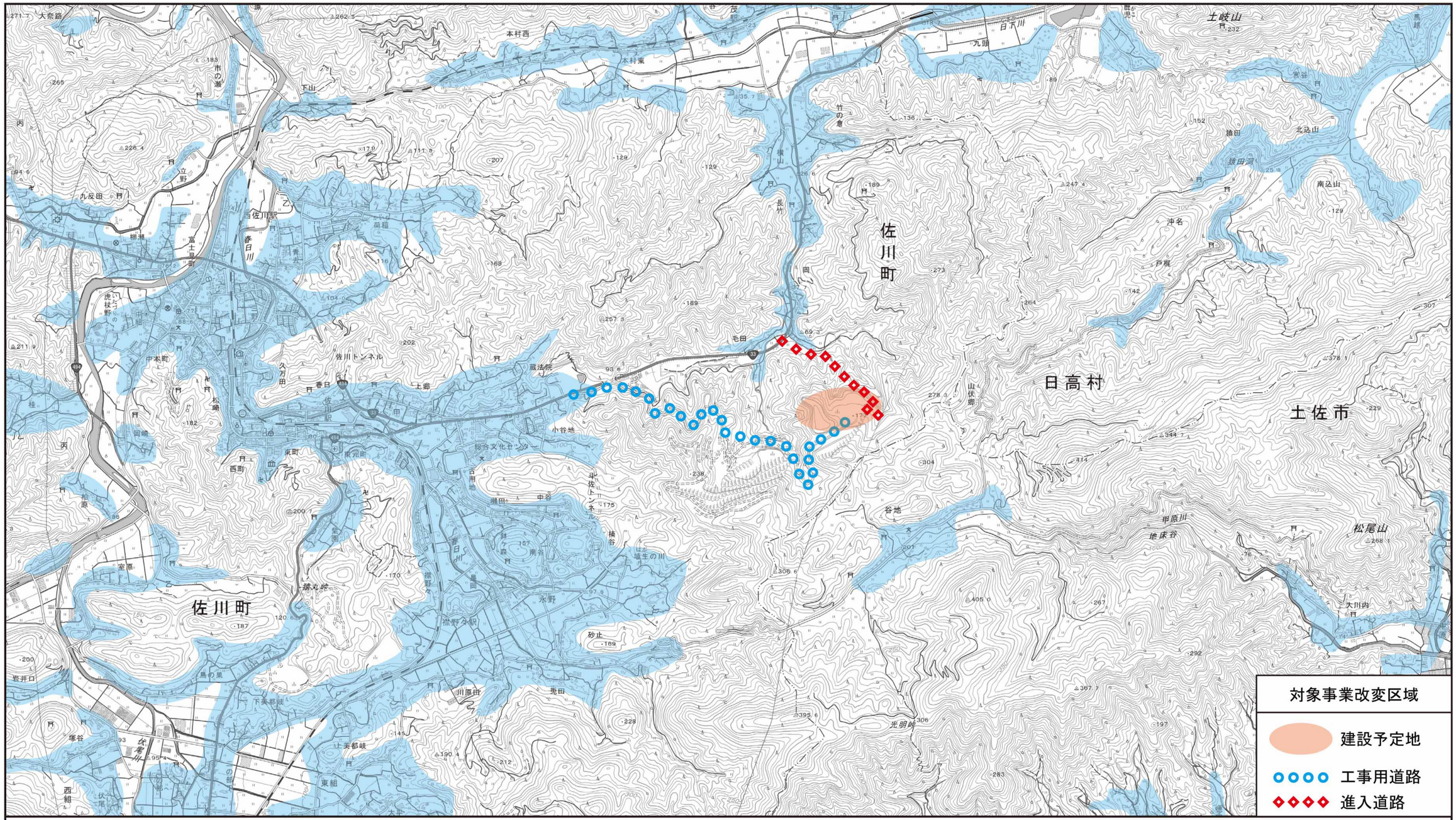
番号	区分	施設名	所在地
15	社会福祉法人	特別養護老人ホーム　わかきの桜	佐川町乙 3127 番 1
16		特別養護老人ホーム　春日荘	佐川町乙 2340
17	町立	介護老人保健施設　希望	佐川町甲 1687
18		デイケアセンター　さくら荘	佐川町甲 1681
19	社会福祉法人	有料老人ホーム　さかわ	佐川町甲 1065-33

出典：佐川町 HP
社会福祉法人　仁淀川ふくし会 HP
高吾北広域町村事務組合 HP
社会福祉法人　ふるさと自然村 HP（全て令和 2 年 10 月現在）

表 3.2.16　周辺地域における図書館一覧

番号	区分	施設名	所在地
20	町立	佐川町立図書館	佐川町乙 1862-1

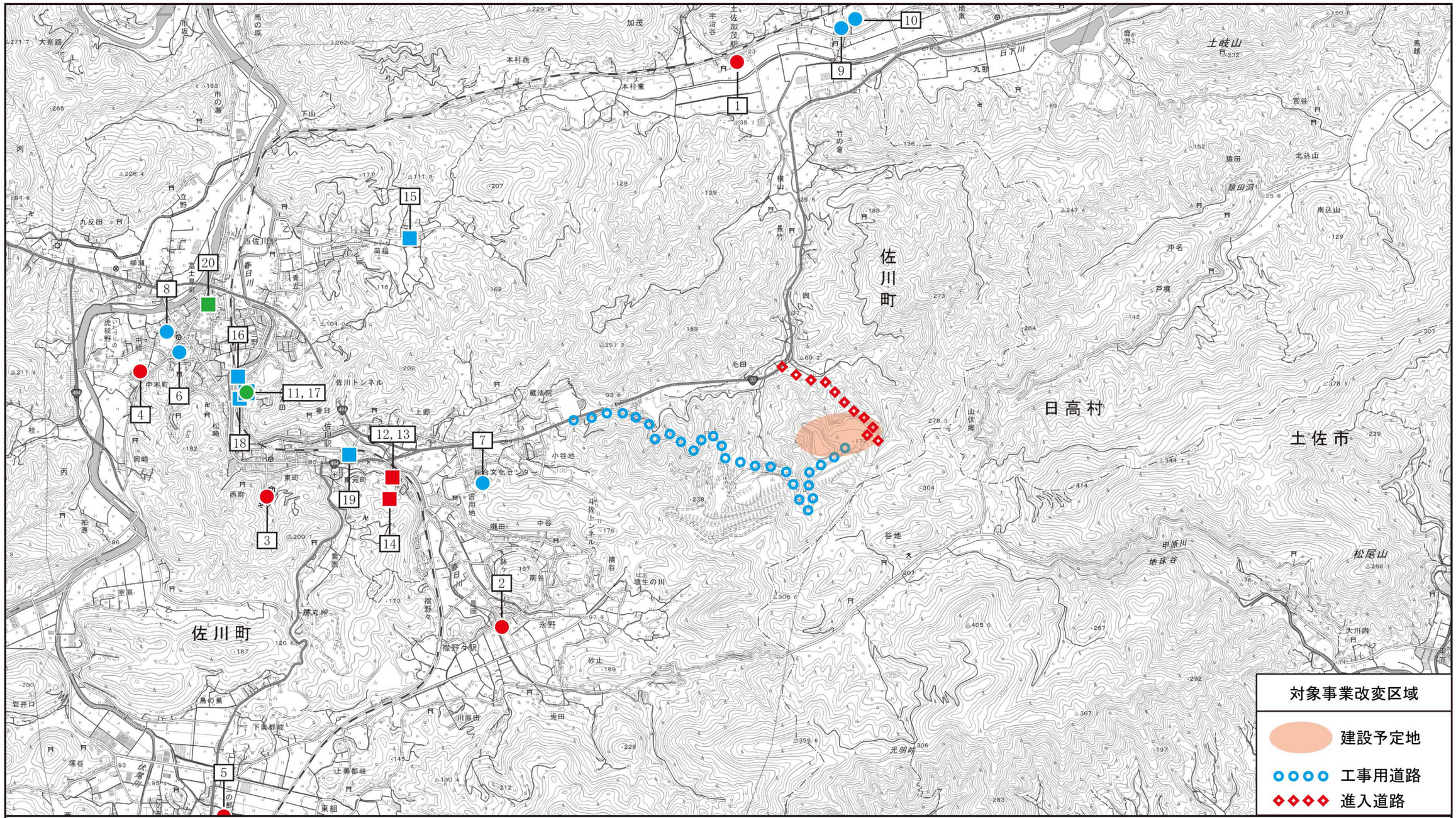
出典：佐川町 HP（令和 2 年 10 月現在）



凡　例	
記　号	名　称
	住 宅 配 置 範 囲

出典：ゼンリン住宅地図
（株式会社ゼンリン 令和2年10月現在）

図名	図 3.2.5　住宅及び近隣集落配置図



凡　例

記号		施設名	備考
●	1	海津見保育園	保育園
●	2	永野保育所	保育園
●	3	花園保育園	保育園
●	4	若草保育園	保育園
●	5	斗賀野中央保育園	保育園
●	6	佐川小学校	学校
●	7	佐川中学校	学校
●	8	佐川高等学校	学校
●	9	加茂小学校	学校
●	10	加茂中学校	学校
●	11	高北国民健康保険病院	病院
■	12	さくら園	児童福祉施設
■	13	ひだまり	児童福祉施設
■	14	さくらの森学園	児童福祉施設
■	15	特別養護老人ホーム　わかきの桜	福祉施設
■	16	特別養護老人ホーム　春日荘	福祉施設
■	17	介護老人保健施設　希望	福祉施設
■	18	デイケアセンター　さくら荘	福祉施設
■	19	有料老人ホーム　さかわ	福祉施設
●	20	佐川町立図書館	図書館

出典：高知県HP
佐川町HP
日高村HP
社会福祉法人　ふるさと自然村HP
社会福祉法人　仁淀川ふくし会HP
社会福祉法人　同朋会HP
高吾北広域町村事務組合HP
（令和2年10月現在）

図名	図 3.2.6　配慮が必要な住宅及び施設位置図

N　W　E　S

S = 1:25,000

0　0.5　1.0　1.5km

3.2.6. 下水道整備の状況

(1) 公共下水道の現状

対象地域周辺において、公共用下水道が整備されている地域は存在しない。

(2) 農業集落排水の現状

対象地域周辺において、佐川町で農業集落排水施設が整備されている。農業集落排水施設の概要及び位置を表 3.2.17 及び図 3.2.7 に示す。

表 3.2.17 農業集落排水施設の概要

処理区名	該当集落	発生汚泥量 (m^3/年)	事業区域面積(ha)	農用地面積(ha)	総人口 (農家人口)	農地還元
西組	二ノ部、上伏尾、下伏尾、塚谷、岩井口	313	17	42	515 (285)	佐川町、越知町、仁淀川町の農地へ還元

出典：佐川町建設課調べ（令和 2 年 10 月現在）

(3) 浄化槽の設置状況

佐川町、日高村、土佐市では浄化槽が設置されており、各市町村における浄化槽の設置状況は表 3.2.18 に示すとおりである。

表 3.2.18　浄化槽の設置状況

市町村名	住民基本台帳人口（人）	合併処理浄化槽								単独処理浄化槽		汲み取り
		国庫助成事業により設置 浄化槽設置整備事業（個人設置型）		地方単独事業 その他		民間設置 その他		合計				
		使用人口（人）	使用基数（基）	使用人口（人）	使用基数（基）	使用人口（人）	使用基数（基）	使用人口（人）	使用基数（基）	使用人口（人）	使用基数（基）	使用人口（人）
佐川町	12,635	5,912	1,767	605	61	721	60	7,238	1,888	—	—	—
日高村	5,002	2,519	725	153	10	138	24	2,810	759	1,240	264	952
土佐市	27,015	12,058	2,817	60	2	7,161	1,013	19,279	3,832	—	—	—

出典：佐川町建設課調べ（令和 2 年 10 月現在）
日高村産業環境課調べ（令和 2 年 10 月現在）
土佐市水道局調べ（令和 2 年 10 月現在）



凡　例	
記　号	名　称
	農業集落排水整備区域

出典：佐川町建設課調べ（令和2年10月現在）

図名	図 3.2.7　農業集落排水整備区域位置図

N
W
E
S

S = 1:25,000

0　0.5　1.0　1.5km

3.2.7. 環境の保全を目的として法令等により指定された地域その他の対象及び当該対象に係る規制の内容その他の状況

(1) 環境の保全を目的として法令等により指定された地域その他の対象及び当該対象に係る規制の内容の状況

A) 大気汚染防止法に規定する指定地域

対象地域及びその周辺には、「大気汚染防止法（昭和 43 年 法律第 97 号）」第五条の二第 1 項に規定する総量規制基準による規制地域の指定はない。

B) 自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法に規定する特定地域

対象地域及びその周辺には、「自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法（平成 4 年 法律第 70 号）」第六条第 1 項に規定する自動車排出窒素酸化物の総量の削減計画を定める特定地域はない。

C) 幹線道路の沿道の整備に関する法律の規定により指定された沿道整備道路

対象地域及びその周辺には、「幹線道路の沿道の整備に関する法律（昭和 55 年 法律第 34 号）」第五条第 1 項の規定により指定された沿道整備道路はない。

D) 自然公園法の規定により指定された国立公園、国定公園及び都道府県立自然公園の区域

対象地域及びその周辺には、「自然公園法(昭和 32 年 法律第 161 号)」第七十二条の規定により指定された自然公園はない。

E) 自然環境保全法の規定により指定された原生自然環境保全地域、自然環境保全地域及び都道府県自然環境保全地域

対象地域及びその周辺には、「自然環境保全法（昭和 47 年 法律第 85 号）」第十四条第 1 項の規定により指定された原生自然環境保全地域、同法第二十二条第 1 項の規定により指定された自然環境保全地域、同法第四十五条第 1 項の規定により指定された都道府県自然環境保全地域はない。

F) 世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約に記載された自然遺産の区域

対象地域及びその周辺には、「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」第十一条 2 の世界遺産一覧表に記載された自然遺産の区域はない。

G) 都市緑地法の規定により指定された緑地保全地域の区域

対象地域及びその周辺には、「都市緑地法（昭和 48 年 法律第 72 号）」第四条第 1 項の規定により指定された緑地保全地域はない。

H) 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律の規定により指定された生息地等保護区の区域

対象地域及びその周辺には、「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（平成 4 年 法律第 75 号）」第三十六条第 1 項の規定により指定された生息地等保護区はない。

I） 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律により設定された鳥獣保護区等の区域

対象地域及びその周辺には、「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律（平成 14 年 7 月法律第 88 号）」第 35 条第 1 項の規定により設定された特定猟具使用禁止区域があり、指定状況を表 3.2.19 に示す。また、同法律による特定猟具使用禁止区域の規制内容を表 3.2.20 及び図 3.2.8 に示す。

表 3.2.19　対象地域における鳥獣保護区等の指定状況

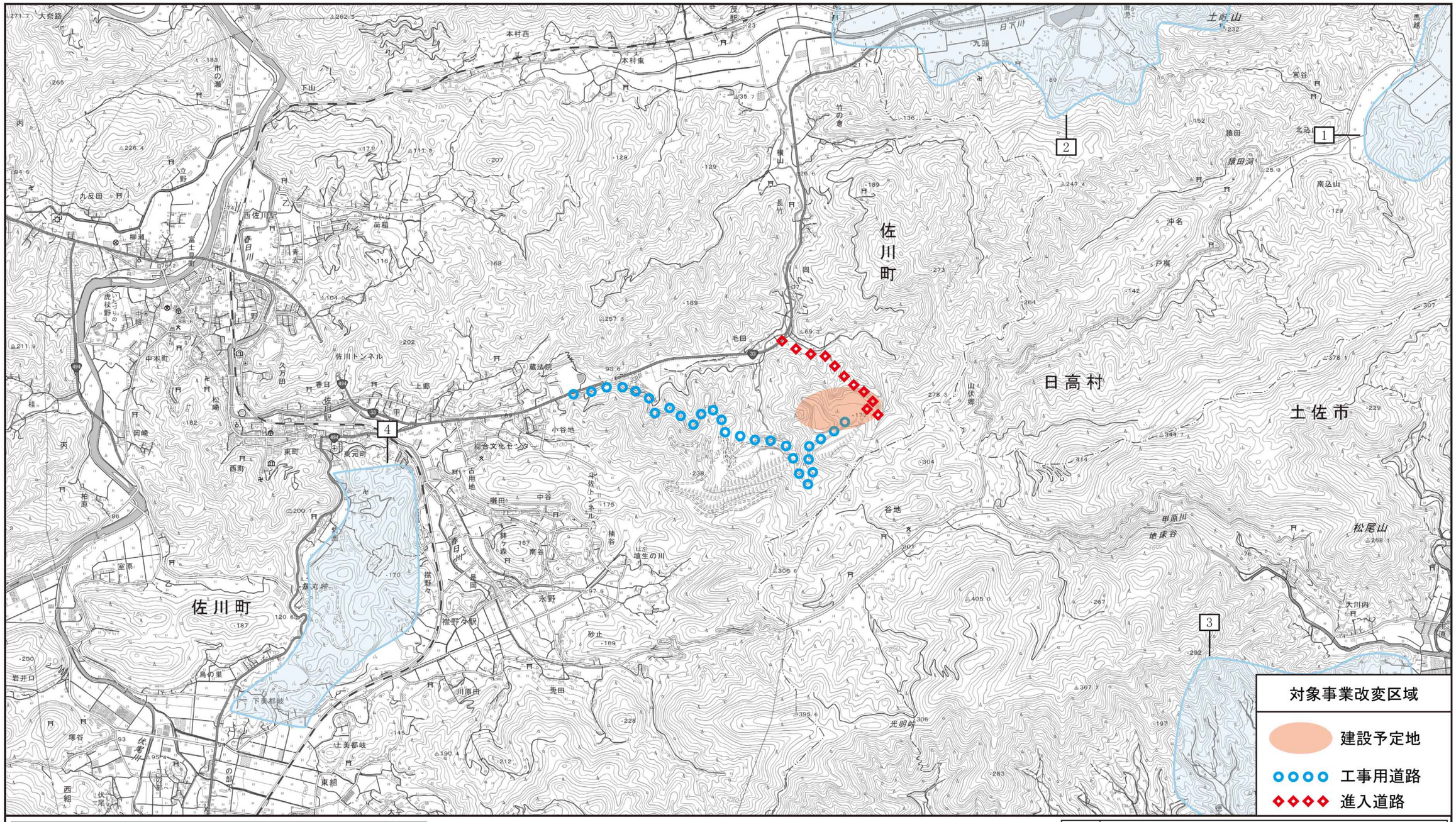
指定区分	名　　称	面積（ha）	存続期間
特定猟具使用禁止区域（銃）	沖名	61	令和 9 年 11 月 14 日
	鹿児	205	令和 10 年 11 月 14 日
	中川内	224	令和 11 年 11 月 14 日
	ナウマンカルスト	136	令和 9 年 11 月 14 日

出典：「令和2年度　鳥獣保護区等位置図（高知県）」（令和2年9月　高知県鳥獣対策課）

表 3.2.20　対象地域における鳥獣保護区等の区分と規制内容

区分	区分の内容	規制内容
特定猟具使用禁止区域	都道府県知事が、銃器又は環境省令で定めるわな（以下「特定猟具」という。）を使用した鳥獣の捕獲等に伴う危険の予防又は指定区域の静穏の保持のため、特定猟具を使用した鳥獣の捕獲等を禁止し、又は制限する必要があると認められる地域。	特定猟具の使用禁止

出典：「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」
（平成14年7月法律第88号、最終改正平成26年5月法律第46号）



凡　例		
記　号	区域名称	備　考
	1 沖　名	特定猟具使用禁止区域（銃）
	2 鹿　児	
	3 中　川　内	
	4 ナウマンカルスト	

出典：鳥獣保護区等位置図（令和2年 高知県）

図名	図 3.2.8　鳥獣保護区等位置図

J) 特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約の規定により指定された湿地の区域

対象地域及びその周辺には、「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」第二条1の規定により指定された湿地はない。

K) 文化財保護法の規定により指定された名勝又は天然記念物並びに埋蔵文化財

対象地域には、「文化財保護法」（昭和 25 年法律第 214 号）に基づき指定された史跡名勝天然記念物（表 3.2.21）及び埋蔵文化財（表 3.2.22 参照）が存在する。

表 3.2.21(1)　史跡名勝天然記念物の指定状況（1/2）

指定	区分	番号	名　　称	指定年月日	所在地	所管	出典
国指定	特別天然記念物	－	土佐のオナガドリ	S27.3.29	地域を定めず指定	南国市	1
		－	カモシカ	(S9.5.1) S30.2.15	地域を定めず指定	－	1
		－	カワウソ	(S39.6.27) S40.5.12	地域を定めず指定	－	1
	建造物	1	竹村屋住宅	H19.12.4	佐川町甲	個人	1
	天然記念物	－	東天紅鶏	S11.9.3	地域を定めず指定	高知県	1
		－	土佐犬	S12.6.15	地域を定めず指定	高知県	1
		－	鶉矮鶏	S12.6.15	地域を定めず指定	高知県	1
		－	蓑曳矮鶏	S12.6.15	地域を定めず指定	高知県	1
		－	地鶏	S16.1.27	地域を定めず指定	高知県ほか	1
		－	軍鶏	S16.8.1	地域を定めず指定	－	1
		－	ヤマネ	S50.6.26	地域を定めず指定	－	1
		2	甲原松尾山のタチバナ群落	H20.3.28	土佐市甲原	土佐市	1
県指定	天然記念物	－	土佐金魚	S44.8.8	高知県全域	－	1
		－	ヤイロチョウ	H5.4.1	高知県全域	－	1
		－	土佐闘犬	H6.5.20	高知県全域	－	1
		3	佐川の大樟	S31.2.7	佐川町荷稲諏訪神社	佐川町	1
		4	サカワヤスデゴケ	S23.4.9	佐川町岡崎 聖神社	－	1
	名勝	5	乗台寺庭園	S31.2.7	佐川町松崎 乗台寺	乗台寺	1
		6	青源寺庭園	S31.2.7	佐川町奥の土居青源寺	青源寺	1

注）表中の「－」は詳細な位置や年月日が不明又は地域等が定められていないものを示しており、「番号」列に「－」が示されている項目に関しては図面上には図示していない。

出典：1.「高知県の文化財」（令和2年10月現在　高知県HP）
2.「日高村調べ」（令和2年10月現在）
3.「土佐市の文化財」（令和2年2月 土佐市教育委員会）
4.「佐川町の文化財」（平成30年3月 佐川町教育委員会）

表 3.2.21(2)　史跡名勝天然記念物の指定状況（2/2）

指定	区分	番号	名　　称	指定年月日	所在地	所管	出典
日高村指定	史跡	7	土岐古城跡	S35	本郷	－	2
	天然記念物	8	猿田石灰洞	S35	沖名	－	2
土佐市指定	天然記念物	9	影向のスギ	H3.7.17	谷地仁王門境内	－	3
佐川町指定	建造物	10	ほてい	S62.3.6	西町	－	4
		11	名教館玄関	S59.9.18	西町	－	4
		12	佐川文庫庫舎	S48.4.20	西町	－	4
	史跡	13	宇治谷川一枚大石橋	H10.1.26	加茂本村東海津見神社	－	4
		14	蚕種貯蔵風穴跡	H30.1.7	斗賀野埴生ノ川	－	4
		15	松尾城跡	S48.4.20	上郷 松尾山	－	4
		16	伝・佐川越中守の墓	S48.4.20	上郷	－	4
		17	佐川城跡	S48.4.20	奥の土居 古城山	－	4
		18	宝篋印塔	S59.9.18	紫園 深尾神社	－	4
		19	伝・猿丸太夫の墓	S48.4.20	紫園石切坂	－	4
		20	城ノ台洞穴遺跡	S48.4.20	虎杖野	－	4
	天然記念物	21	深尾氏お留木のヤマモモ	H24.2.7	加茂長竹	－	4
		22	加茂のイチイガシ	S48.4.20	加茂本村西 賀茂神社	－	4
		23	永野の大樟	S48.4.20	斗賀野兎田 鈴神社	－	4
		24	佐川ナウマンカルスト	S61.12.22	紫園	－	4
		25	シダレヤスデゴケ(マキノヤスデゴケ)	S48.4.20	岡崎 聖神社	－	4
		26	マキノゴケ	S48.4.20	室原聴松寺山	－	4
		27	介石山化石産地	S48.4.20	下山	－	4
		28	蔵法院化石産地	S48.4.20	上郷	－	4
		29	小谷地化石産地	S48.4.20	上郷	－	4
		30	吉田屋敷化石産地	S48.4.20	紫園石切坂	－	4
		31	鳥の巣石灰岩	S48.4.20	鳥の巣周辺	－	4
		－	サカワサイシン	S48.4.20	佐川町全域	－	4
		－	カビゴケ	S48.4.20	佐川町全域	－	4
		－	佐川町のホタル	S48.4.20	佐川町全域	－	4
	名勝	32	永野の甑巌	S48.4.20	斗賀野川原田 甑巌神社	－	4

注）表中の「－」は詳細な位置や年月日が不明又は地域等が定められていないものを示しており、「番号」列に「－」が示されている項目に関しては図面上には図示していない。

出典：1.「高知県の文化財」（令和2年10月現在　高知県HP）
2.「日高村調べ」（令和2年10月現在）
3.「土佐市の文化財」（令和2年2月 土佐市教育委員会）
4.「佐川町の文化財」（平成30年3月 佐川町教育委員会）

表 3.2.22（1）　対象事業実施区域周辺の埋蔵文化財包蔵地の状況（1/2）

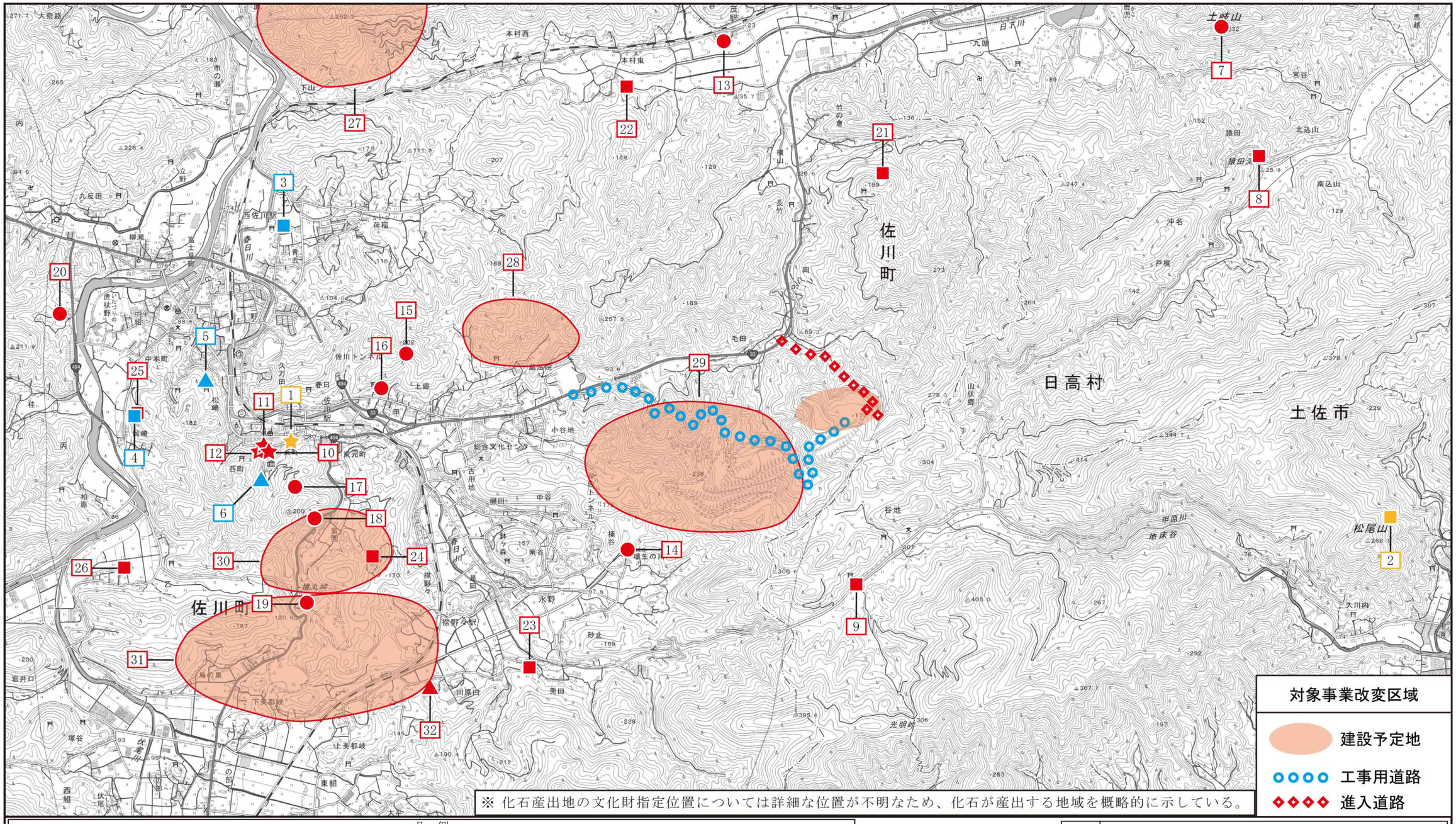
番号	遺　跡　名	所在地	現状	種別
1	宮ノ向遺跡	佐川町丙市の瀬宮ノ向 4315	畑	散布地
2	荷稲遺跡	佐川町乙荷稲	水田	
3	青去遺跡	佐川町乙青去中山田	畑・宅地	
4	上ノ川原遺跡	佐川町乙三野字上ノ川原	水田	
5	佐川高校校庭遺跡	佐川町乙富士見町字戸梶	学校	
6	岡崎遺跡	佐川町乙岡崎	畑・宅地	
7	桂遺跡	佐川町丙桂	畑	
8	柏原遺跡	佐川町丙柏原	畑	
9	室原遺跡	佐川町乙室原	畑・水田	
10	塚谷遺跡	佐川町斗賀野西組塚谷字山先	畑・山林	
11	サギノス遺跡	佐川町乙室原字サギノス	畑・水田	
12	一ツ淵遺跡	佐川町斗賀野東組下美都岐字一ツ淵	水田	
13	上郷遺跡	佐川町甲上郷	畑・宅地	
14	永野遺跡	佐川町永野古用地	水田	
15	又屋敷遺跡	佐川町斗賀野東組上美都岐字又屋敷	畑・山林	
16	甑巌遺跡	佐川町永野川原田字甑巌	神社	
17	砂止遺跡	佐川町永野砂止	畑	
18	耳飛田遺跡	佐川町加茂字耳飛田	山林	
19	長竹ボウヤシキ遺跡	佐川町加茂字ボウヤシキ	畑	
20	徳安弥生遺跡	土佐市西鴨地徳安仁井田ノ内	畑	
21	二宮神社近傍遺跡	土佐市西鴨地徳安仁井田ノ内	道跡	
22	徳安縄文遺跡	土佐市西鴨地徳安	畑	
23	大川内遺跡	土佐市甲原大川内	丘陵地	
24	城ノ台城跡	佐川町丙字城ノ台	山林	城跡
25	神明山城跡	佐川町乙中組字神明山	山林・神社	
26	佐川城跡	佐川町甲字西ノ土居・東ノ土居他	山林	
27	二ノ部城跡	佐川町斗賀野二ノ部・弓場	神社・山林	
28	伏尾城跡	佐川町斗賀野西組字伏尾山	山林	
29	松尾城跡	佐川町甲字松尾山	山林	
30	鉢ヶ森城跡	佐川町永野字鉢ヶ森	山林	
31	長竹城跡	佐川町加茂字北台麻生谷	山林	
32	三野土居跡	佐川町乙字三野土居	水田・宅地	城館跡
33	沖之古城跡	佐川町乙三野字沖之古城	水田・宅地	
34	土岐古城跡	日高村本郷	山林	
35	徳之森城跡	土佐市戸波徳安	山林（良）	

出典：「高知県文化財地図情報システム」（令和2年10月現在　高知県教委文化財課）

表 3.2.22（2）　対象事業実施区域周辺の埋蔵文化財包蔵地の状況（2/2）

番号	遺　跡　名	所在地	現状	種別
36	堂ヶ鼻窯跡	佐川町上郷字堂ヶ鼻	宅地	窯跡
37	円能ケタキ窯跡	佐川町永野囃田字円能ケタキ	水田	
38	花ノ木窯跡	佐川町永野字花ノ木	宅地	
39	襟野々窯跡	佐川町永野襟野々	水田	
40	芝ノ端窯跡	佐川町永野字芝ノ端	畑・山林	
41	假又遺跡	佐川町乙三野字假又	水田・宅地	集落跡
42	二ノ部遺跡	佐川町斗賀野西組字二ノ部・シマダ他	水田	
43	長竹横山遺跡	佐川町加茂字横山	山林	住居跡
44	長竹カネチカ屋敷遺跡	佐川町加茂字カネチカ屋敷	畑	
45	城ノ台洞穴遺跡	佐川町丙字城ノ台 286	荒蕪地	洞穴遺跡
46	岩井口遺跡	佐川町斗賀野西組岩井口	水田・道	館跡
47	佐川越中守の墓	佐川町甲上郷松尾八幡宮東隣	墓地	墓地
48	猿丸太夫伝説の墓	佐川町乙字猿丸	墓地	墓
49	深尾家の供養塔	佐川町甲紫園	山林	供養塔
50	佐川土居跡	佐川町甲字紫園	畑・宅地	居館跡
51	上美都岐遺跡	佐川町斗賀野東組上美都岐字コクガ領	水田・畑	官衙関連遺跡

出典：「高知県文化財地図情報システム」（令和2年10月現在　高知県教委文化財課）



凡 例

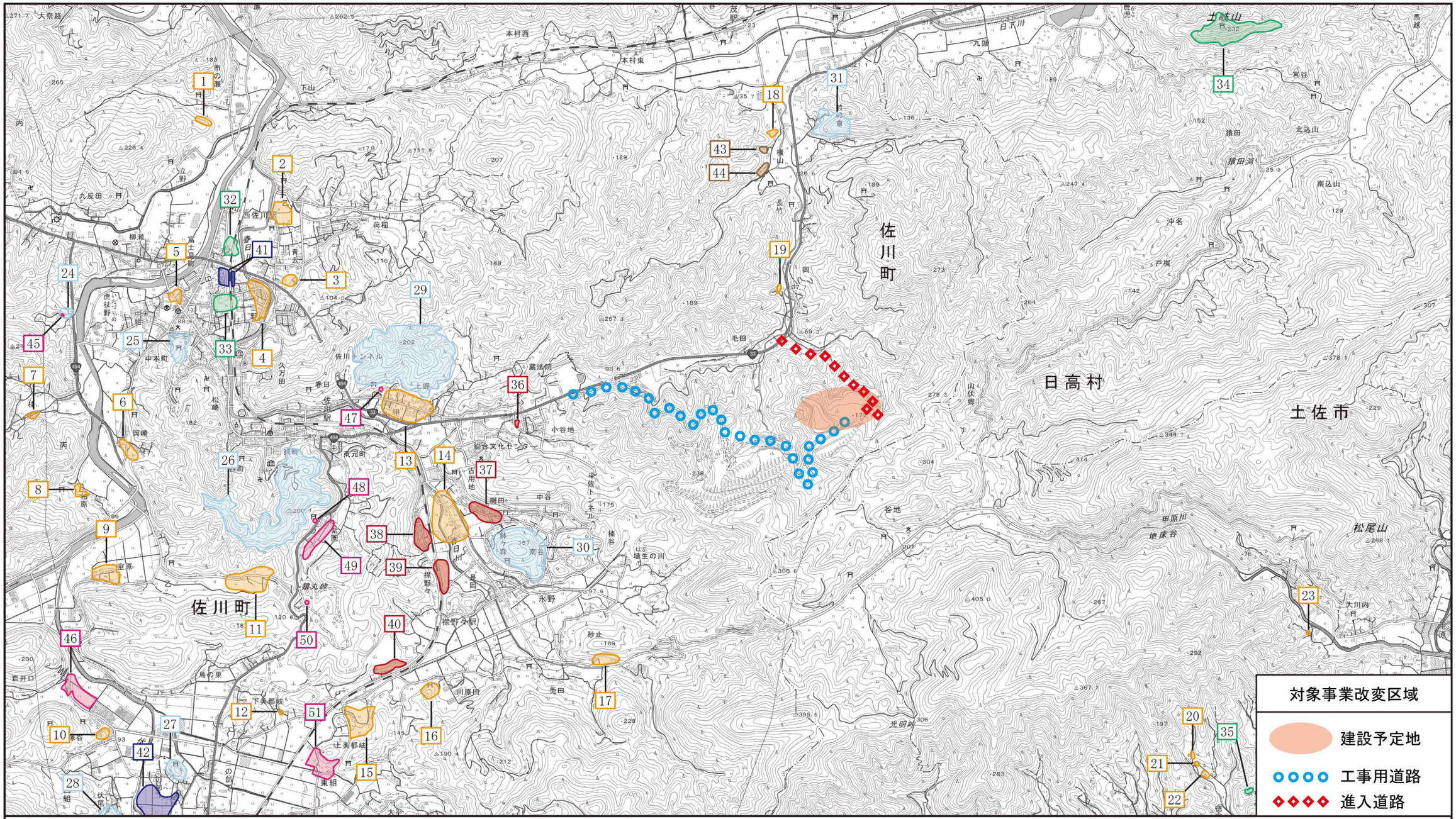
指定	分類	記号	番号	名称	指定	分類	記号	番号	名称	指定	分類	記号	番号	名称
国	建造物	★	1	竹村屋住宅	佐川町	建造物	★	12	佐川文庫庫舎	佐川町	天然記念物	■	23	永野の大樟
高知県	天然記念物	■	2	甲原松尾山のタチバナ群落		史跡	●	13	宇治谷川一枚大石橋				24	佐川ナウマンカルスト
			3	佐川の大樟				14	蚕種貯蔵風穴跡				25	シダレヤスデゴケ（マキノヤスデゴケ）
			4	サカワヤスデゴケ				15	松尾城跡				26	マキノゴケ
	名勝	▲	5	乗台寺庭園				16	伝・佐川越中守の墓		天然記念物化石産出地	⬭	27	貝石山化石産地 ※
			6	青源寺庭園				17	佐川城跡				28	蔵法院化石産地 ※
日高村	史跡	●	7	土岐古城跡				18	宝篋印塔				29	小谷地化石産地 ※
土佐市	天然記念物	■	8	猿田石灰洞				19	伝・猿丸太夫の墓				30	吉田屋敷化石産地 ※
			9	影向のスギ				20	城ノ台洞穴遺跡				31	鳥の巣石灰岩 ※
佐川町	建造物	★	10	ほてい		天然記念物	■	21	深尾氏お留木のヤマモモ		名勝	▲	32	永野の甑巌
			11	名教館玄関				22	加茂のイチイガシ					

図名　図 3.2.9　史跡名勝天然記念物位置図

出典：
高知県の文化財（令和2年10月現在 高知県）
佐川町教育委員会調べ（令和2年10月現在）
日高村調べ（令和2年10月現在）
土佐市の文化財（令和2年2月 土佐市教育委員会）
佐川町の文化財（平成30年3月 佐川町教育委員会）

N E S W

S = 1:25,000
0　0.5　1.0　1.5km



凡　例

記号	名称	備考
1	宮ノ向遺跡	散布地
2	荷稲遺跡	
3	青去遺跡	
4	上ノ川原遺跡	
5	佐川高校校庭遺跡	
6	岡崎遺跡	
7	桂遺跡	
8	柏原遺跡	
9	室原遺跡	
10	塚谷遺跡	
11	サギノス遺跡	
12	一ツ淵遺跡	
13	上郷遺跡	
14	永野遺跡	散布地
15	又屋敷遺跡	
16	甑巌遺跡	
17	砂止遺跡	
18	耳飛田遺跡	
19	長竹ボウヤシキ遺跡	
20	徳安弥生遺跡	
21	二宮神社近傍遺跡	
22	徳安縄文遺跡	
23	大川内遺跡	
24	城ノ台城跡	城跡
25	神明山城跡	
26	佐川城跡	
27	二ノ部城跡	城跡
28	伏尾城跡	
29	松尾城跡	
30	鉢ヶ森城跡	
31	長竹城跡	
32	三野土居跡	城館跡
33	沖之古城跡	
34	土岐古城跡	
35	徳之森城跡	
36	堂ヶ鼻窯跡	窯跡
37	円能ケタキ窯跡	
38	花ノ木窯跡	
39	襟野々窯跡	
40	芝ノ端窯跡	窯跡
41	假又遺跡	集落跡
42	二ノ部遺跡	
43	長竹横山遺跡	住居跡
44	長竹カネチカ屋敷遺跡	
45	城ノ台洞穴遺跡	洞穴遺跡
46	岩井口遺跡	館跡
47	佐川越中守の墓	墓地
48	深尾家の供養塔	供養塔
49	佐川土居跡	居館跡
50	猿丸太夫伝説の墓	墓
51	上美都岐遺跡	官衙関連遺跡

図名　図 3.2.10　埋蔵文化財包蔵地位置図

出典：高知県文化財地図情報システム
（令和2年10月現在 高知県教委文化財課）

N
W　E
S

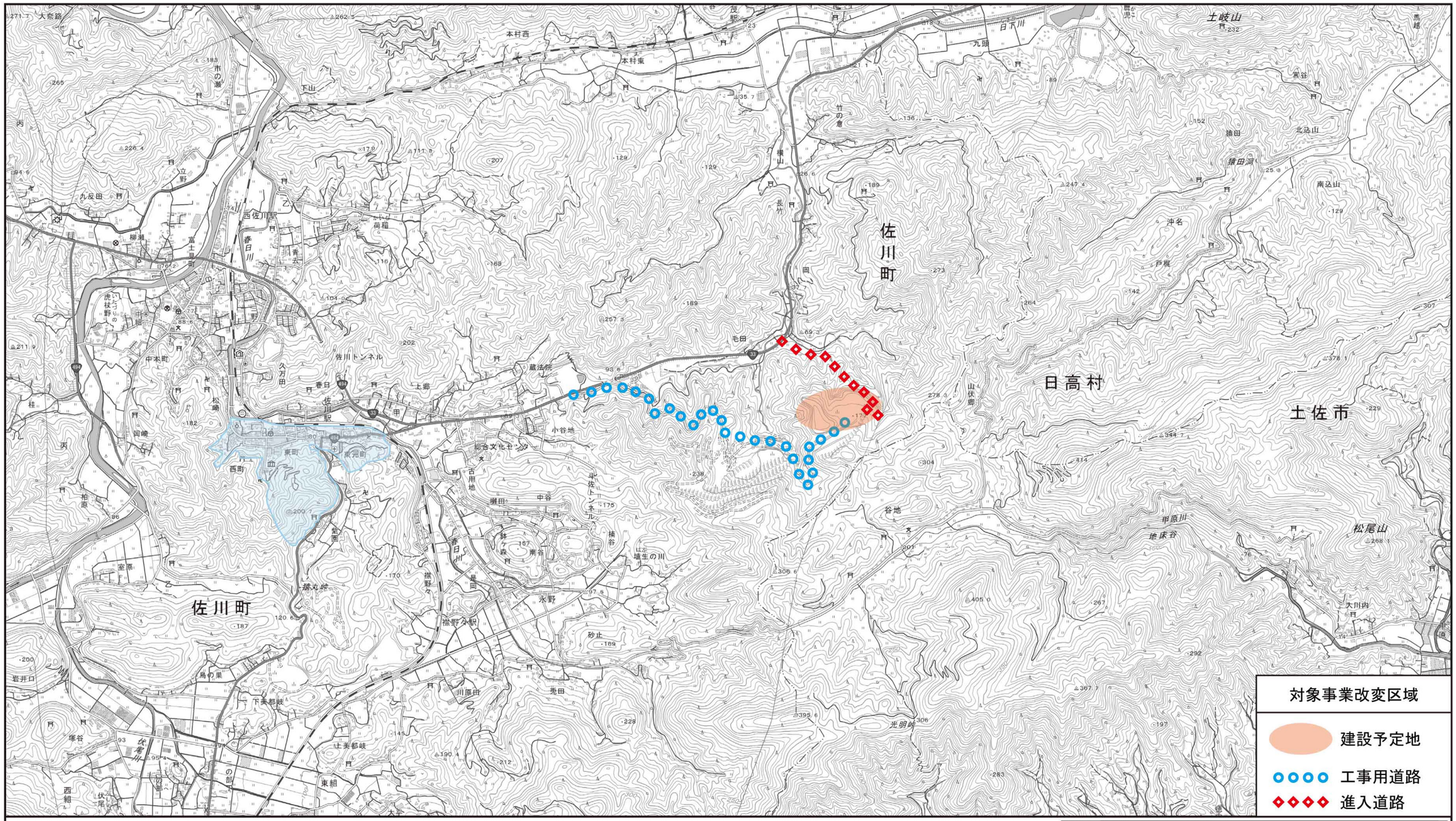
S = 1:25,000
0　0.5　1.0　1.5km

L） 都市計画法の規定により指定された風致地区の区域

対象地域及びその周辺には、「都市計画法（昭和 43 年法律第 100 号）」第八条第 1 項第七号の規定により指定された風致地区はない。

M） 歴史まちづくり法により定められた歴史的風致維持向上計画の重点区域

「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律（歴史まちづくり法）」（平成 20 年法律第 40 号）では、地域におけるその固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動と、その活動が行われる歴史上価値の高い建造物及びその周辺の市街地とが一体となって形成してきた良好な市街地の環境(歴史的風致)の維持・向上を目的とした歴史的風致維持向上計画を策定している。対象地域（佐川町）において歴史的風致維持向上計画が策定されており、歴史的風致が集中している重点区域が指定されている（図 3.2.11 参照）。



凡　例	
記　号	名　称
	重点地域

出典：佐川町歴史的風致維持向上計画（第2期）
（佐川町 2019年）

図名	図 3.2.11　歴史的風致維持向上計画の重点区域

N
W
E
S

S = 1:25,000
0　0.5　1.0　1.5km

N) 環境基本法の規定により定められた環境基準

「環境基本法（平成 5 年法律第 91 号）」第十六条第 1 項の規定により定められた大気の汚染、水質の汚濁及び騒音等の環境基準は以下のとおりである。

【大気汚染】

「環境基本法」に基づく大気の汚染に係る環境基準を表 3.2.23～表 3.2.26 に示す。

表 3.2.23　大気汚染に係る環境基準

物　　質	環境上の条件	告　示
二酸化硫黄	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、1 時間値が 0.1ppm 以下であること。	環告第 25 号
一酸化炭素	1 時間値の 1 日平均値が 10ppm 以下であり、かつ、1 時間値の 8 時間平均値が 20ppm 以下であること。	環告第 25 号
浮遊粒子状物質	1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m^3 以下であり、かつ、1 時間値が 0.20mg/m^3 以下であること。	環告第 25 号
二酸化窒素	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までのゾーン内又はそれ以下であること。	環告第 38 号
光化学オキシダント	1 時間値が 0.06ppm 以下であること。	環告第 25 号

［備考］

1. 環境基準は、工業専用地域、車道その他一般公衆が通常生活していない地域または場所については、適用しない。
2. 浮遊粒子状物質とは大気中に浮遊する粒子状物質であってその粒径が 10μｍ以下のものをいう。
3. 二酸化窒素について、1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までのゾーン内にある地域にあっては、原則としてこのゾーン内において現状程度の水準を維持し、又はこれを大きく上回ることとならないよう努めるものとする。
4. 光化学オキシダントとは、オゾン、パーオキシアセチルナイトレートその他の光化学反応により生成される酸化性物質（ヨウ化カリウム溶液からヨウ素を遊離する中性ものに限り、二酸化窒素を除く。）をいう。

出典：「大気の汚染に係る環境基準について」（昭和48年5月　環境庁告示第25号、
最終改正：平成8年10月　環境庁告示第73号）
「二酸化窒素に係る環境基準について」（昭和53年7月　環境庁告示第38号、
最終改正：平成8年10月　環境省告示第74号）

表 3.2.24　有害大気汚染物質（ベンゼン等）に係る環境基準

物　　質	環境上の条件	告　示
ベンゼン	1 年平均値が 0.003mg/m^3 以下であること。	環告第 4 号
トリクロロエチレン	1 年平均値が 0.13mg/m^3 以下であること。	環告第 100 号
テトラクロロエチレン	1 年平均値が 0.2mg/m^3 以下であること。	環告第 4 号
ジクロロメタン	1 年平均値が 0.15 mg/m^3 以下であること。	環告第 30 号

[備考]

1. 環境基準は、工業専用地域、車道その他一般公衆が通常生活していない地域または場所については、適用しない。
2. ベンゼン等による大気の汚染に係る環境基準は、継続的に摂取される場合には人の健康を損なうおそれがある物質に係るものであることにかんがみ、将来にわたって人の健康に係る被害が未然に防止されるようにすることを旨として、その維持又は早期達成に努めるものとする。

出典：「ベンゼン等による大気の汚染に係る環境基準について」
（平成9年2月　環境庁告示第4号、最終改正：平成30年11月環境省告示第100号）

表 3.2.25　ダイオキシンに係る環境基準

物　　質	環境上の条件	告　示
ダイオキシン類	1 年平均値が 0.6pg-TEQ/m^3 以下であること。	環告第 68 号

[備考]

1. 環境基準は、工業専用地域、車道その他一般公衆が通常生活していない地域または場所については、適用しない。
2. ダイオキシン類の基準値は、2,3,7,8-四塩化ジベンゾーパラージオキシンの毒性に換算した値とする。

出典：「ダイオキシン類による大気の汚染、水質の汚濁（水底の底質の汚染を含む。）及び土壌の汚染に係る環境基準」（平成11年12月　環境庁告示68号、最終改正：平成21年3月　環境省告示11号）

表 3.2.26　微小粒子状物質に係る環境基準

物　　質	環境上の条件	告　示
微小粒子状物質	1 年平均値が 15μg/m^3 以下であり、かつ、1 日平均値が 35μg/m^3 以下であること。	環告第 33 号

[備考]

1. 環境基準は、工業専用地域、車道その他一般公衆が通常生活していない地域または場所については、適用しない。
2. 微小粒子状物質とは、大気中に浮遊する粒子状物質であって、粒径が 2.5μmの粒子を 50%の割合で分離できる分粒装置を用いて、より粒径の大きい粒子を除去した後に採取される粒子をいう。

出典：「微小粒子状物質による大気の汚染に係る環境基準について」（平成21年9月　環境省告示第33号）

【水質汚濁】

対象地域の河川において、仁淀川水系の日下川及び柳瀬川で環境基準がＡ類型に指定されている（図 3.2.12 参照）。河川における水質汚濁に係る環境基準を表 3.2.27 及び表 3.2.28 に示す。

表 3.2.27　人の健康の保護に関する環境基準

項　　目	基 準 値
カドミウム	0.003mg/l 以下
全シアン	検出されないこと。
鉛	0.01mg/l 以下
六価クロム	0.05mg/l 以下
砒素	0.01mg/l 以下
総水銀	0.0005mg/l 以下
アルキル水銀	検出されないこと。
PCB	検出されないこと。
ジクロロメタン	0.02mg/l 以下
四塩化炭素	0.002mg/l 以下
1,2-ジクロロエタン	0.004mg/l 以下
1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/l 以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/l 以下
1,1,1-トリクロロエタン	1mg/l 以下
1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/l 以下
トリクロロエチレン	0.01mg/l 以下
テトラクロロエチレン	0.01mg/l 以下
1,3-ジクロロプロペン	0.002mg/l 以下
チウラム	0.006mg/l 以下
シマジン	0.003mg/l 以下
チオベンカルブ	0.02mg/l 以下
ベンゼン	0.01mg/l 以下
セレン	0.01mg/l 以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10mg/l 以下
ふっ素	0.8mg/l 以下
ほう素	1mg/l 以下
1,4-ジオキサン	0.05mg/l 以下

備考

1. 基準値は年間平均値とする。ただし、全シアンに係る基準値については 、最高値とする。
2. 「検出されないこと」とは、測定方法の欄に掲げる方法により測定した場合において、その結果が当該方法の定量限界を下回ることをいう。
3. 海域については、ふっ素及びほう素の基準値は適用しない。
4. 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の濃度は、規格 43.2.1、43.2.3、43.2.5 又は 43.2.6 により測定された硝酸イオンの濃度に換算係数 0.2259 を乗じたものと規格 43.1 により測定された亜硝酸イオンの濃度に換算係数 0.3045 を乗じたものの和とする。

出典：「水質汚濁に係る環境基準」（昭和46年12月 環境庁告示第59号、
最終改正：平成31年3月環境省告示第46号）

表 3.2.28(1)　生活環境の保全に関する環境基準（河川（湖沼を除く））

＜利用目的の適応性に対する基準＞

項目 類型	利用目的の適応性	基準値				
		水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD)	浮遊物質量 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌群数
AA	水道1級 自然環境保全及び A 以下の欄に掲げるもの	6.5 以上 8.5 以下	1mg/l 以下	25mg/l 以下	7.5mg/l 以上	50MPN /100ml 以下
A	水道2級 水産1級 水浴及び B 以下の欄に掲げるもの	6.5 以上 8.5 以下	2mg/l 以下	25mg/l 以下	7.5mg/l 以上	1,000MPN /100ml 以下
B	水道3級 水産 2 級及び C 以下の欄に掲げるもの	6.5 以上 8.5 以下	3mg/l 以下	25mg/l 以下	5mg/l 以上	5,000MPN /100ml 以下
C	水産3級 工業用水 1 級及び D 以下の欄に掲げるもの	6.5 以上 8.5 以下	5mg/l 以下	50mg/l 以下	5mg/l 以上	－
D	工業用水2級 農業用水及び E の欄に掲げるもの	6.0 以上 8.5 以下	8mg/l 以下	100mg/l 以下	2mg/l 以上	－
E	工業用水3級 環境保全	6.0 以上 8.5 以下	10mg/l 以下	ごみ等の浮遊が認められないこと。	2mg/l 以上	－

備考　1. 基準値は、日間平均値とする（湖沼、海域もこれに準ずる。）。
2. 農業用利水点については、水素イオン濃度 6.0 以上 7.5 以下、溶存酸素量 5mg/l 以上とする。（湖沼もこれに準ずる。）。

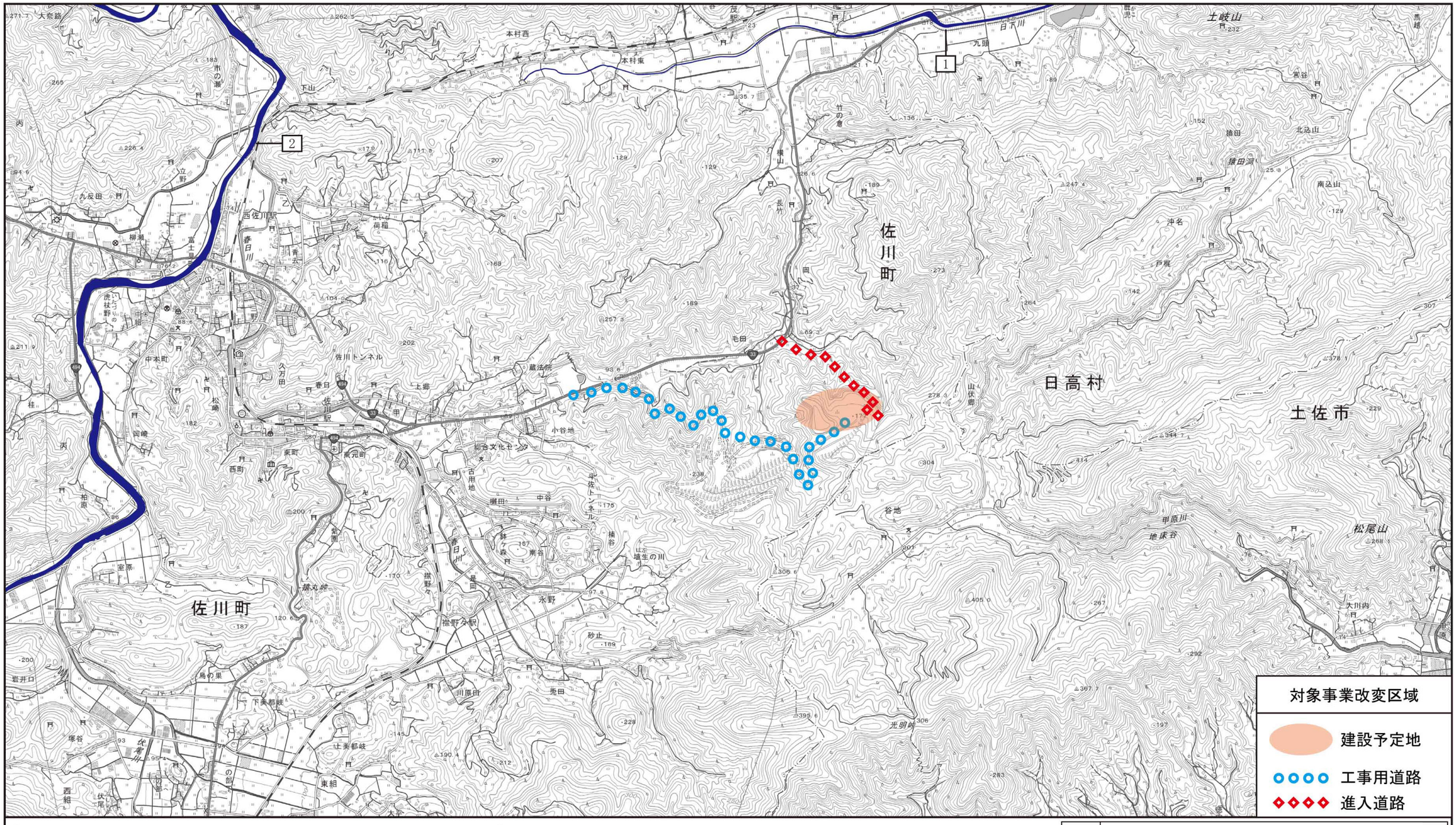
注）1.自然環境保全：自然探勝等の環境保全
2.水　道　1級：ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの
水　道　2級：沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの
水　道　3級：前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの
3.水　産　1級：ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産2級及びに水産3級の水産生物用
水　産　2級：サケ科魚類及びにアユ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産2級の水産生物用
水　産　3級：コイ、フナ等、β－中腐水性水域の水産生物用
4.工業用水1級：沈殿等による通常の浄水操作を行うもの
工業用水2級：薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの
工業用水3級：特殊の浄水操作を行うもの
5.環 境　保 全：国民の日常生活（沿岸の遊歩等を含む）において不快感を生じない限度

出典：「水質汚濁に係る環境基準」（昭和46年12月　環境庁告示第59号、
最終改正：平成31年3月環境省告示第46号）

表 3.2.28(2)　水生生物の保全に関する環境基準（河川及び湖沼）

項目／類型	水生生物の生息状況の適応性	基準値		
		全亜鉛	ノニルフェノール	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩
生物 A	イワナ、サケマス等比較的低温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03 mg/l 以下	0.001 mg/l 以下	0.03 mg/l 以下
生物特 A	生物 A の水域のうち、生物 A の欄に掲げる水生生物の産卵場（繁殖場）又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.03 mg/l 以下	0.0006 mg/l 以下	0.02 mg/l 以下
生物 B	コイ、フナ等比較的高温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03 mg/l 以下	0.002 mg/l 以下	0.05 mg/l 以下
生物特 B	生物Ａ又は生物 B の水域のうち、生物 B の欄に掲げる水生生物の産卵場（繁殖場）又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.03 mg/l 以下	0.002 mg/l 以下	0.04 mg/l 以下
備考　基準値は、年間平均値とする。				

出典：「水質汚濁に係る環境基準」（昭和46年12月 環境庁告示第59号、
最終改正：平成31年3月環境省告示第46号）



凡　例				
記　号		水　域　名	河　川　名	水質類型指定
	1	仁 淀 川 水 系	日　下　川	A
	2		柳　瀬　川	A

出典：平成 30 年度公共用水域及び地下水の水質測定結果（令和 2 年 高知県）

図名	図 3.2.12　水質類型指定河川位置図

N
W
E
S

S = 1:25,000

0　0.5　1.0　1.5km

【地下水】

対象地域及びその周辺では、地下水が利用されている。そのため、地下水の水質汚濁に係る環境基準を表 3.2.29 に示す。

表 3.2.29　地下水の水質汚濁に係る環境基準

項　　目	基 準 値
カドミウム	0.003mg／L 以下
全シアン	検出されないこと。
鉛	0.01mg／L 以下
六価クロム	0.05mg／L 以下
砒素	0.01mg／L 以下
総水銀	0.0005mg／L 以下
アルキル水銀	検出されないこと。
PCB	検出されないこと。
ジクロロメタン	0.02mg／L 以下
四塩化炭素	0.002mg／L 以下
クロロエチレン (別名塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー)	0.002mg／L 以下
1,2-ジクロロエタン	0.004mg／L 以下
1,1-ジクロロエチレン	0.1mg／L 以下
1,2-ジクロロエチレン	0.04mg／L 以下
1,1,1-トリクロロエタン	1mg／L 以下
1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg／L 以下
トリクロロエチレン	0.01mg／L 以下
テトラクロロエチレン	0.01mg／L 以下
1,3-ジクロロプロペン	0.002mg／L 以下
チウラム	0.006mg／L 以下
シマジン	0.003mg／L 以下
チオベンカルブ	0.02mg／L 以下
ベンゼン	0.01mg／L 以下
セレン	0.01mg／L 以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10mg／L 以下
ふっ素	0.8mg／L 以下
ほう素	1mg／L 以下
1,4-ジオキサン	0.05mg／L 以下

備考
1. 基準値は年間平均値とする。ただし、全シアンに係る基準値については 、最高値とする。
2. 「検出されないこと」とは、測定方法の欄に掲げる方法により測定した場合において、その結果が当該方法の定量限界を下回ることをいう。
3. 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の濃度は、規格 K0102 の 43.2.1、43.2.3、43.2.5 又は 43.2.6 により測定された硝酸イオンの濃度に換算係数 0.2259 を乗じたものと規格K0102 の 43.1 により測定された亜硝酸イオンの濃度に換算係数 0.3045 を乗じたものの和とする。
4. 1,2-ジクロロエチレンの濃度は、規格 K0125 の 5.1、5.2 又は 5.3.2 により測定されたシス体の濃度と規格 K0125 の 5.1、5.2 又は 5.3.1 により測定されたトランス体の濃度の和とする。

出典：「地下水の水質汚濁に係る環境基準について」（平成9年3月13日環境庁告示第10号、最終改正：令和2年3月環境省告示第35号）

【土壌汚染】

対象地域及びその周辺では、土壌汚染に係る苦情及び問題等は確認されていないが、参考として土壌汚染に係る環境基準を表 3.2.30 に示す。

表 3.2.30　土壌汚染に係る環境基準

項　　目	環境上の条件
カドミウム	検液 1L につき 0.01mg 以下であり、かつ、農用地においては、米 1kg につき 0.4 mg以下であること。
全シアン	検液中に検出されないこと。
有機燐（りん）	検液中に検出されないこと。
鉛	検液 1L につき 0.01mg 以下であること。
六価クロム	検液 1L につき 0.05mg 以下であること。
砒（ひ）素	検液 1L につき 0.01mg 以下であり、かつ、農用地（田に限る。）においては、土壌 1kg につき 15mg 未満であること。
総水銀	検液 1L につき 0.0005mg 以下であること。
アルキル水銀	検液中に検出されないこと。
PCB	検液中に検出されないこと。
銅	農用地（田に限る。）において、土壌 1kg につき 125mg 未満であること。
ジクロロメタン	検液 1L につき 0.02mg 以下であること。
四塩化炭素	検液 1L につき 0.002mg 以下であること。
クロロエチレン（別名塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー）	検液 1L につき 0.002mg 以下であること。
1,2-ジクロロエタン	検液 1L につき 0.004mg 以下であること。
1,1-ジクロロエチレン	検液 1L につき 0.1mg 以下であること。
1,2-ジクロロエチレン	検液 1L につき 0.04mg 以下であること。
1,1,1-トリクロロエタン	検液 1L につき 1mg 以下であること。
1,1,2-トリクロロエタン	検液 1L につき 0.006mg 以下であること。
トリクロロエチレン	検液 1L につき 0.03mg 以下であること。
テトラクロロエチレン	検液 1L につき 0.01mg 以下であること。
1,3-ジクロロプロペン	検液 1L につき 0.002mg 以下であること。
チウラム	検液 1L につき 0.006mg 以下であること。
シマジン	検液 1L につき 0.003mg 以下であること。
チオベンカルブ	検液 1L につき 0.02mg 以下であること。
ベンゼン	検液 1L につき 0.01mg 以下であること。
セレン	検液 1L につき 0.01mg 以下であること。
ふっ素	検液 1L につき 0.8mg 以下であること。
ほう素	検液 1L につき 1mg 以下であること。
1,4-ジオキサン	検液 1L につき 0.05mg 以下であること。

備考

1. 環境上の条件のうち検液中濃度に係るものにあっては付表に定める方法により検液を作成し、これを用いて測定を行うものとする。
2. カドミウム、鉛、六価クロム、砒（ひ）素、総水銀、セレン、ふっ素及びほう素に係る環境上の条件のうち検液中濃度に係る値にあっては、汚染土壌が地下水面から離れており、かつ、原状において当該地下水中のこれらの物質の濃度がそれぞれ地下水 1L につき 0.01mg、0.01mg、0.05mg、0.01mg、0.0005mg、0.01mg、0.8mg 及び 1mg を超えていない場合には、それぞれ検液 1L につき 0.03mg、0.03mg、0.15mg、0.03mg、0.0015mg、0.03mg、2.4mg 及び 3mg とする。
3. 「検液中に検出されないこと」とは、測定方法の欄に掲げる方法により測定した場合において、その結果が当該方法の定量限界を下回ることをいう。
4. 有機燐（りん）とは、パラチオン、メチルパラチオン、メチルジメトン及び EPN をいう。
5. 1,2-ジクロロエチレンの濃度は、日本工業規格 K0125 の 5.1、5.2 又は 5.3.2 より測定されたシス体の濃度と日本工業規格 K0125 の 5.1、5.2 又は 5.3.1 により測定されたトランス体の濃度の和とする。

出典：「土壌の汚染に係る環境基準について」（平成3年8月23日環境庁告示第46号、
最終改正：平成31年4月環境省告示第48号）

【騒　音】

「環境基本法」に基づく騒音に係る環境基準を表 3.2.31 に示す。

また、騒音に係る環境基準を適用するに当たっての地域の類型指定を表 3.2.32 に示す。

なお、対象地域は、騒音に係る環境基準の類型指定を受けていない。

表 3.2.31（1）　騒音に係る環境基準

地域の類型	基　準　値	
	昼 間	夜 間
AA	50 デシベル以下	40 デシベル以下
A 及び B	55 デシベル以下	45 デシベル以下
C	60 デシベル以下	50 デシベル以下

[注]1. 時間の区分は、昼間を午前 6 時から午後 10 時までの間とし、夜間を午後 10 時から翌日の午前 6 時までの間とする。
2. AA を当てはめる地域は、療養施設、社会福祉施設等が集合して設置される地域など特に静穏を要する地域とする。
3. A を当てはめる地域は、専ら住居の用に供される地域とする。
4. B を当てはめる地域は、主として住居の用に供される地域とする。
5. C を当てはめる地域は、相当数の住居と併せて商業、工業等の用に供される地域とする。

ただし、次表に掲げる地域に該当する地域（以下「道路に面する地域」という。）については、上表によらず次表の基準値の欄に掲げるとおりとする。

表 3.2.31（2）　騒音に係る環境基準（道路に面する地域）

地域の区分	基　準　値	
	昼　間	夜　間
A 地域のうち 2 車線以上の車線を有する道路に面する地域	60 デシベル以下	55 デシベル以下
B 地域のうち 2 車線以上の車線を有する道路に面する地域及び C 地域のうち車線を有する道路に面する地域	65 デシベル以下	60 デシベル以下

備考：車線とは、1 縦列の自動車が安全かつ円滑に走行するために必要な一定の幅員を有する帯状の車道部分をいう。この場合において、幹線交通を担う道路に近接する空間については、上表にかかわらず、特例として次表の基準値の欄に掲げるとおりとする。

表 3.2.31（3）　騒音に係る環境基準（幹線交通を担う道路に近接する空間）

基準値	
昼　　間	夜　　間
70 デシベル以下	65 デシベル以下
備考　個別の住居等において騒音の影響を受けやすい面の窓を主として閉めた生活が営まれていると認められるときは、屋内へ透過する騒音に係る基準（昼間にあっては 45 デシベル以下、夜間にあっては 40 デシベル以下）によることができる。	

出典：「騒音に係る環境基準について」（平成10年9月　環境庁告示第64号、
最終改正：平成24年3月環境省告示第54号）

表 3.2.32　騒音に係る環境基準の地域の類型の指定

該当類型	地域の区分
A	第一種低層住居専用地域、第二種低層住居専用地域 第一種中高層住居専用地域、第二種中高層住居専用地域
B	第一種住居地域、第二種住居地域、準住居地域
C	近隣商業地域、商業地域、準工業地域、工業地域

出典：高知県告示第218号（平成11年4月、最終改正平成24年3月告示第254号）

O) 環境基本法の規定により策定された公害防止計画の策定の状況

対象地域及びその周辺には、「環境基本法（平成 5 年 法律第 91 号）」第十七条第 1 項の規定により策定された公害防止計画の策定地域はない。

P) 騒音規制法に規定する自動車騒音の限度、地域指定状況、区域の区分、時間の区分の状況

「騒音規制法」（昭和 43 年法律第 98 号）第 17 条第 1 項の規定に基づく「指定地域内における自動車騒音の限度」（平成 12 年総理府令第 15 号）を表 3.2.33 に示す。

表 3.2.33　騒音規制法第 17 条第 1 項の規定に基づく指定地域内における自動車騒音の限度

区域の区分		時間の区分	
		昼間	夜間
1	a 区域及び b 区域のうち 1 車線を有する道路に面する区域	65 デシベル	55 デシベル
2	a 区域のうち 2 車線以上の車線を有する道路に面する区域	70 デシベル	65 デシベル
3	b 区域のうち 2 車線以上の車線を有する道路に面する区域及び c 区域のうち車線を有する道路に面する区域	75 デシベル	70 デシベル

備考 1. a 区域、b 区域及び c 区域とは、それぞれ各号に掲げる区域とし、都道府県知事（市の区域内については、市長）が定めた区域をいう。
a 区域：専ら住居の用に供される区域
b 区域：主として住居の用に供される区域
c 区域：相当数の住居と併せて商業、工業の用に供される区域
2. 時間の区分
昼間：午前 6 時から午後 10 時まで
夜間：午後 10 時から翌日の午前 6 時まで
3. 幹線交通を担う道路に近接する区域に係る限度の特例（下表のとおり）

昼　間	夜　間
75 デシベル	70 デシベル

出典：総理府令第 15 号（平成 12 年 3 月、最終改正：平成 23 年 11 月　環境省令第 32 号）

なお、「幹線交通を担う道路」とは、道路法第 3 条に規定する高速自動車国道、一般国道、都道府県道及び市町村道（市町村道にあたっては 4 車線以上の区間に限る。）並びに道路運送法第 2 条第 8 項に規定する自動車専用道路をいう。

また、「幹線交通を担う道路に近接する区域」とは、以下に示すように車線数の区分に応じて敷地の境界からの距離によりその範囲が定められている。

・2 車線以下の車線を有する幹線交通を担う道路敷地の境界から　15m
・2 車線を越える車線を有する幹線交通を担う道路敷地の境界から 20m

区域の区分は、「騒音に係る環境基準の地域の類型の指定による地域の類型」が当てはめられる（表 3.2.34 参照）。

なお、対象地域は、騒音規制法の指定地域に含まれていない。

表 3.2.34　騒音規制法第 17 条第 1 項の規定に基づく指定地域内における自動車騒音の限度を定める総理府令に基づく区域の指定

区域の区分	該当地域
a 区域	・第一種低層、中高層住居専用地域 ・第二種低層、中高層住居専用地域
b 区域	・第一種、第二種住居地域 ・準住居地域
c 区域	・近隣商業地域 ・商業地域 ・準工業地域 ・工業地域

出典：高知県告示第262号（平成12年4月、平成24年3月告示第255号改正）

Q) 振動規制法に規定する道路交通振動の限度、地域指定状況、区域の区分、時間の区分の状況

「振動規制法施行規則」に基づく道路交通振動の限度（要請限度）を表 3.2.35 に、区域の区分を表 3.2.36 に示す。

なお、対象地域は、指定区域に含まれていない。

表 3.2.35　道路交通振動の限度

時間の区分 / 区域の区分	昼　間 (8:00～19:00)	夜　間 (19:00～8:00)
第一種区域	65 デシベル	60 デシベル
第二種区域	70 デシベル	65 デシベル

但し、都道府県知事、道路管理者および都道府県公安委員会が協議するところにより、学校、病院等特に静穏を必要とする施設周辺の道路における限度は表に定める値以下当該値から五デシベル減じた値以上とする。

備考 1.第一種区域及び第二種区域とは、それぞれ次の各号に掲げる区域として都道府県知事が定めた区域をいう。

・第一種区域

良好な住居の環境を保全するため、特に静穏の保持を必要とする区域及び住居の用に供されているため、静穏の保持を必要とする区域

・第二種区域

住居の用に併せて商業、工業等の用に供されている区域であって、その区域内の住居の生活環境を保全するため、振動の発生を防止する必要がある区域及び主として工業等の併せている区域であって、その区域内の住民の生活環境を悪化させないため、著しい振動の発生を防止する必要がある区域

2.昼間及び夜間とは、それぞれの各号に掲げる時間の範囲内において都道府県知事（市の区域内の区域に係る時間については、市長。）が定めた時間をいう。

出典：「振動規制法施行規則」（昭和 51 年 11 月　総理府令第 58 号、
最終改正：令和 2 年 3 月　環境省令第 9 号）

表 3.2.36　区域の区分

区　分	用途地域
第一種区域	・第一種低層、中高層住居専用地域 ・第二種低層、中高層住居専用地域 ・第一種、第二種住居地域 ・準住居地域
第二種区域	・近隣商業地域 ・商業地域 ・準工業地域 ・工業地域 ・工業専用地域

出典：高知県告示第 566 号（昭和 54 年 10 月　平成 18 年 7 月告示第 535 号改正）
高知県告示第 567 号（昭和 54 年 10 月）

R) 悪臭防止法に規定する悪臭物質の排出を規制する地域、規制基準の状況

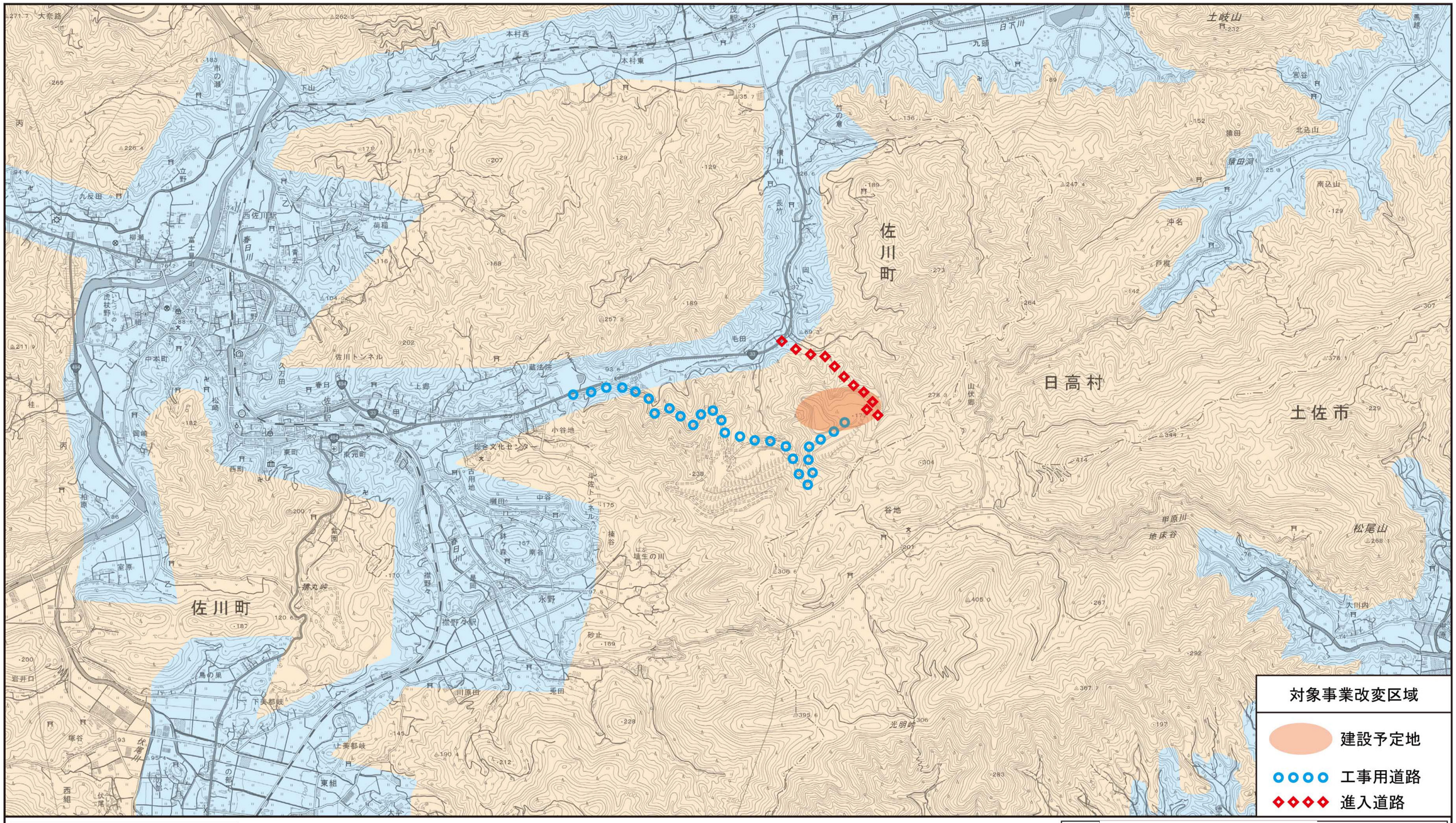
「悪臭防止法」（昭和 46 年法律第 91 号）第 3 条の規定により工場その他の事業場における事業活動に伴って発生する悪臭物質の排出（漏出を含む）が規制されており、規制区域によって悪臭物質の排出基準が定められている（表 3.2.37 参照）。高知県では県下全域を規制地域として指定しており、第一種区域及び第二種区域に区分している。

対象地域では、市街地や住宅付近、国道近傍を第一種区域に、それ以外の地域を第二種区域に指定している。建設予定地及び進入道路の大部分は「第二種区域」に、進入道路の国道 33 号近傍については「第一種区域」に指定されている（図 3.2.13 参照）。

表 3.2.37　規制区域における悪臭物質の規制基準

悪臭物質	単位	規制地域の区分	
		第一種区域	第二種区域
アンモニア	ppm	1	5
メチルメルカプタン	ppm	0.002	0.01
硫化水素	ppm	0.02	0.2
硫化メチル	ppm	0.01	0.2
二硫化メチル	ppm	0.009	0.1
トリメチルアミン	ppm	0.005	0.07
アセトアルデヒド	ppm	0.05	0.5
プロピオンアルデヒド	ppm	0.05	0.5
ノルマルブチルアルデヒド	ppm	0.009	0.08
イソブチルアルデヒド	ppm	0.02	0.2
ノルマルバレルアルデヒド	ppm	0.009	0.05
イソバレルアルデヒド	ppm	0.003	0.01
イソブタノール	ppm	0.9	20
酢酸エチル	ppm	3	20
メチルイソブチルケトン	ppm	1	6
トルエン	ppm	10	60
スチレン	ppm	0.4	2
キシレン	ppm	1	5
プロピオン酸	ppm	0.03	0.2
ノルマル酪酸	ppm	0.001	0.006
ノルマル吉草酸	ppm	0.0009	0.004
イソ吉草酸	ppm	0.001	0.01

出典：「悪臭防止法による規制地域の指定等」（平成 7 年 12 月高知県告示第 689 号、
最終改正：平成 24 年 3 月　高知県告示第 253 号）



凡　例	
記　号	名　称
	第　一　種　区　域
	第　二　種　区　域

出典：悪臭防止法による規制地域の指定等
（高知県 平成7年12月28日告示第689号）

図名	図 3.2.13　悪臭規制区域位置図

S) 水質汚濁防止法の規定により上乗せ排水基準が定められた区域

高知県清流保全条例（平成元年 12 月 21 日条例第 35 号・最終改正平成 24 年 10 月 16 日条例第 57 号）では、「水質汚濁防止法（昭和 45 年 法律第 138 号)」第三条第 3 項に基づき特定の事業又は施設及び水域に対して上乗せ排水基準が設定されており、事業実施区域及びその周辺には、上乗せ排水基準に係る水域として、仁淀川水域（仁淀川及びこれに流入する公共用水域）がある。各特定事業における上乗せ基準を表 3.2.38 に示す。

表 3.2.38　仁淀川水域に係る上乗せ排水基準

特定事業場の区分		項目及び許容限度（mg/L）		
		生物化学的酸素要求量（BOD）	浮遊物質量（SS）	ノルマルヘキサン抽出物質含有量（動植物油脂類含有量）
食料品製造業又は飲料等製造業		100（日間平均 80）	90（日間平均 70）	20
繊維工業又は繊維製品製造業		80（日間平均 60）	90（日間平均 70）	20
製紙業	5 万 m^3 以上	20（日間平均 15）	40（日間平均 30）	20
	1 万～5 万 m^3	40（日間平均 30）	50（日間平均 40）	20
	2 千～1 万 m^3	60（日間平均 40）	70（日間平均 50）	20
	1 千～2 千 m^3	70（日間平均 50）	80（日間平均 60）	20
	1 千 m^3 未満	80（日間平均 60）	90（日間平均 70）	20
化学工業、セメント製品製造業又は生コンクリート製造業		50（日間平均 40）	90（日間平均 70）	
採石業又は砂利採取業		50（日間平均 40）	120（日間平均 90）	
旅館業、飲食店等又は病院		60（日間平均 50）	90（日間平均 70）	20
し尿処理施設	浄化槽を設置するもの	（日間平均 30）	（日間平均 70）	
	上記以外	（日間平均 20）	（日間平均 50）	
その他の業種		50（日間平均 40）	90（日間平均 70）	

出典：「高知県清流保全条例」（平成元年 12 月高知県条例第 35 号、最終改正：平成 24 年 10 月高知県条例第 57 号）

T) 水質汚濁防止法の規定により指定された指定地域

対象地域及びその周辺には、「水質汚濁防止法（昭和 45 年 法律第 138 号)」第四条の二第１項の規定により指定された総量削減基本方針を定める地域はない。

U) 湖沼水質保全特別措置法の規定により指定された指定地域

対象地域及びその周辺には、「湖沼水質保全特別措置法（昭和 59 年 法律第 61 号)」第三条第２項の規定により指定された指定地域はない。

V) 排水基準を定める省令に規定する湖沼及び海域

対象地域及びその周辺には、「排水基準を定める省令（昭和 46 年 総理府令第 35 号)」別表第二の備考６及び備考７の規定により指定された指定地域はない。

W) 森林法の規定により指定された保安林の状況

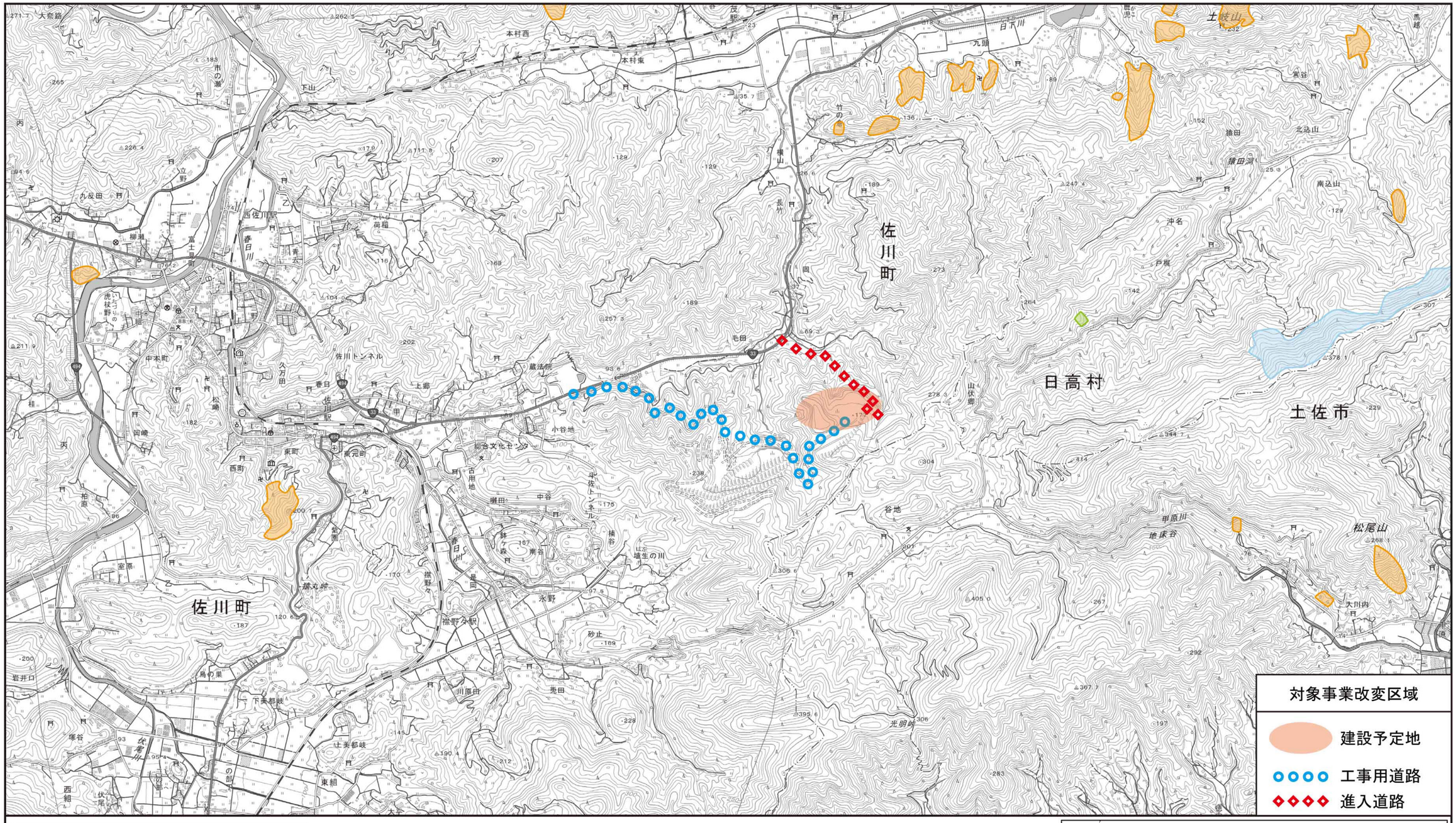
対象地域及びその周辺において「森林法（昭和 26 年 法律第 249 号)」第二十五条の規定により指定された土砂流出防備保安林、土砂崩壊防備保安林及び水源かん養保安林が指定されている。なお、事業実施区域周辺には保安林はない（図 3.2.14 参照）。

X) 都市緑地法により定められた緑地の保全及び緑化の推進に関する基本計画

対象地域及びその周辺には、「都市緑地法（昭和 48 年 法律第 72 号)」第四条第 1 項の規定により定められた緑地の保全及び緑化の推進に関する基本計画はない。

Y) 都市計画法により定められた用途地域

対象地域及びその周辺には、「都市計画法」（昭和 43 年法律第 100 号）に基づいた都市計画区域は指定されているが、用途地域は指定されていない。



凡　例	
記　号	名　称
	土砂流出防備保安林
	土砂崩壊防備保安林
	水源かん養保安林

出典：高知県治山林道課調べ（令和2年10月現在）

図名	図 3.2.14　保安林位置図

N
W
E
S

S = 1:25,000

0　0.5　1.0　1.5km

(2) その他の状況

A) 騒音規制法及び振動規制法に規定する特定建設作業騒音・振動の規制基準、地域指定状況、区域の区分、時間の区分の状況

「騒音規制法（昭和 43 年 法律第 98 号）」第十五条第 1 項に規定する、また、「振動規制法（昭和 51 年 法律第 64 号）」第十五条第 1 項に規定する特定建設作業騒音・振動の規制種別、規制地域の区分の指定状況は、表 3.2.39 及び表 3.2.40 に示すとおりである。

なお、対象地域において、規制基準の区分に指定されている区域はない。

表 3.2.39 特定建設作業騒音の規制基準

特定建設作業 / 規制種別	地域の区分	くい打機 くい抜機 くい打くい抜機	びょう打機	さく岩機	空気圧縮機	コンクリートプラント アスファルトプラント	バックホウ	トラクターショベル	ブルドーザ
基準値	①	敷地境界線で 85 デシベル							
作業時刻	①	午前 7 時～午後 7 時							
	②	午前 6 時～午後 10 時							
1 日当りの作業時間	①	10 時間以内							
	②	14 時間以内							
作業期間	①	連続 6 日を超えないこと							
作業日	①	日曜日、休日の作業禁止							

備考

地域の区分は以下のとおり。

＜地域の区分①＞

・騒音規制法第三条第一項の規定により指定された区域のうち、次のいずれかに該当する区域として都道府県知事又は騒音規制法施行令(昭和四十三年政令第三百二十四号)第四条第二項に規定する市の長が指定した区域

イ　良好な住居の環境を保全するため、特に静穏の保持を必要とする区域であること。

ロ　住居の用に供されているため、静穏の保持を必要とする区域であること。

ハ　住居の用に併せて商業、工業等の用に供されている区域であつて、相当数の住居が集合しているため、騒音の発生を防止する必要がある区域であること。

・学校教育法(昭和二十二年法律第二十六号)第一条に規定する学校、児童福祉法(昭和二十二年法律第百六十四号)第七条に規定する保育所、医療法(昭和二十三年法律第二百五号)第一条の五第一項に規定する病院及び同条第二項に規定する診療所のうち患者の収容施設を有するもの、図書館法(昭和二十五年法律第百十八号)第二条第一項に規定する図書館並びに老人福祉法(昭和三十八年法律第百三十三号)第五条の三に規定する特別養護老人ホームの敷地の周囲おおむね八十メートルの区域内であること。

＜地域の区分②＞

・騒音規制法第三条第一項の規定により指定された地域のうち、前号に掲げる区域以外の区域

出典：「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」
(昭和 43 年 11 月 27 日厚生省・建設省告示第 1 号、最終改正：平成 27 年 4 月 10 日環境庁告示第 66 号)
「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準に基づく知事の指定区域」
(昭和 48 年 3 月 19 日高知県告示第 111 号、最終改正：平成 24 年 3 月 31 日高知県告示第 251 号)

表 3.2.40　特定建設作業振動の規制基準

規制種別	特定建設作業 地域の区分	くい打機 くい抜機 くい打くい抜機	鋼球破壊	舗装版破砕機 (ハンマー落下)	ブレーカー
基準値	①②	敷地境界線で 75 デシベル			
作業時刻	①②	午前 8 時～午後 7 時			
1 日当りの作業時間	①	10 時間以内			
	②	14 時間以内			
作業期間	①②	連続 6 日を超えないこと			
作業日	①②	日曜日、休日の作業禁止			

備考

地域の区分は以下のとおり。

＜地域の区分①＞

・振動規制法(昭和 51 年法律第 64 号)第 3 条第 1 項の規定に基づき指定された地域のうち次に掲げる区域

1　騒音規制法(昭和 43 年法律第 98 号)第 4 条第 1 項の規定に基づき定めた第一種区域、第二種区域及び第三種区域

2　騒音規制法第 4 条第 1 項の規定に基づき定めた第四種区域のうち次に掲げる施設の敷地の周囲おおむね 80 メートルの区域

(1)　学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号)第 1 条に規定する学校

(2)　児童福祉法(昭和 22 年法律第 164 号)第 7 条第 1 項に規定する保育所

(3)　医療法(昭和 23 年法律第 205 号)第 1 条の 5 第 1 項に規定する病院及び同条第 2 項に規定する診療所のうち患者の収容施設を有するもの

(4)　図書館法(昭和 25 年法律第 118 号)第 2 条第 1 項に規定する図書館

(5)　老人福祉法(昭和 38 年法律第 133 号)第 5 条の 3 に規定する特別養護老人ホーム

＜地域の区分②＞

・振動規制法第三条第一項の規定により指定された地域のうち、前号に掲げる区域以外の区域

出典：「振動規制法施行規則」（昭和 51 年 11 月総理府令第 58 号、最終改正：令和 2 年 3 月環境省令第 9 号）
「振動規制法施行規則による区域の指定」
（昭和 54 年 10 月高知県告示第 566 号、最終改正：平成 18 年 7 月高知県告示第 535 号）

B) 高知県希少野生動植物保護条例の指定状況

「高知県希少野生動植物保護条例（平成 17 年高知県条例第 78 号）」では、指定希少野生動植物の保護のため、捕獲、採取、殺傷、損傷及び譲渡等を原則禁止としている。また、条例で必要と認める生息地等を「野生動植物保護区」に指定し、保護区内の開発行為、採取を規制している。

本条例で指定された希少野生動植物は 11 種ある。これら指定種は表 3.2.41 に示すとおりである。なお、対象地域に「野生動植物保護区」は存在しない。

表 3.2.41　特定希少野生動植物（平成 27 年 2 月指定）

区　分	種　名	県 RDB カテゴリー
哺乳類	ツキノワグマ	絶滅危惧Ⅰ類
魚類	ヒナイシドジョウ	絶滅危惧Ⅰ類
魚類	イドミミズハゼ	絶滅危惧Ⅰ類
魚類	トビハゼ	絶滅危惧Ⅱ類
魚類	トサシマドジョウ	絶滅危惧Ⅰ類
甲殻類	シオマネキ	絶滅危惧Ⅱ類
陸産貝類	ヒラコベソマイマイ	絶滅危惧Ⅰ類
高等植物	ダイサギソウ	絶滅危惧ⅠA 類
高等植物	デンジソウ	絶滅危惧ⅠA 類
高等植物	マイヅルテンナンショウ	絶滅危惧Ⅱ類
高等植物	ヤブレガサモドキ	絶滅危惧ⅠA 類

C) 高知県清流保全条例の施行状況

高知県において、「高知県清流保全条例（平成元年 12 月条例第 35 号）」が制定されており、水質汚濁防止法第三条の排水基準にかえて適用する上乗せ排水基準が設定されている。なお、対象地域周辺では、仁淀川水域に上乗せ基準が適用される。

D) 景観法等に基づく景観地区等の指定状況

対象地域及びその周辺には、「景観法（平成 16 年 6 月法律第 110 号）」に基づく指定区域は含まれない。

E) 砂防法の規定により指定された砂防指定地の状況

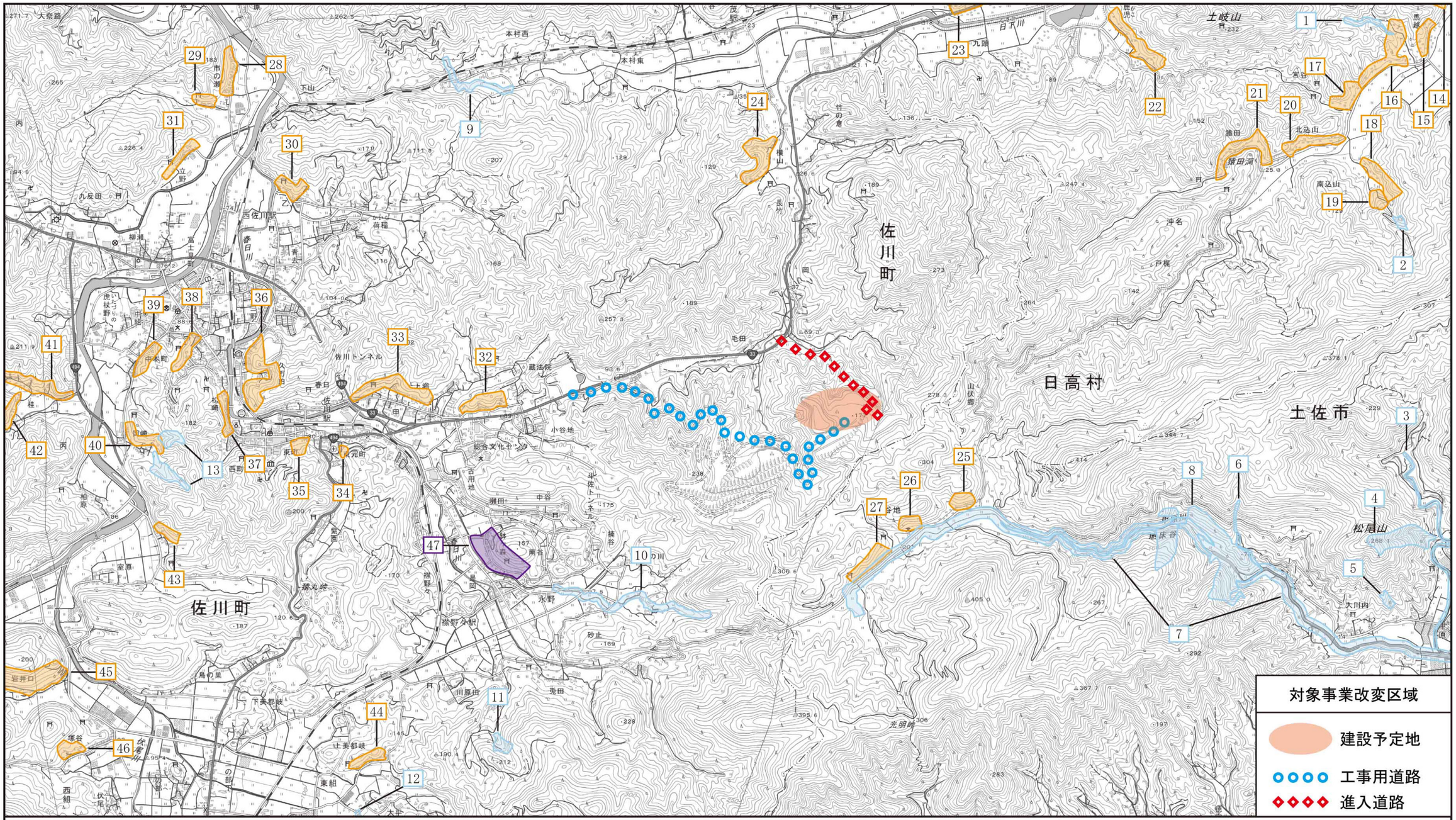
「砂防法」（明治 30 年法律第 29 号）では、治水砂防のために砂防施設を要する地域並びに一定の行為を制限する必要がある地域を「砂防指定地」として指定している。対象地域には、砂防指定地が存在する（図 3.2.15 参照）。

F) 急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律の規定により指定された急傾斜地崩壊危険区域の状況

「急傾斜の崩壊による災害の防止に関する法律」（昭和 44 年法律第 57 号）では、崩壊するおそれのある急傾斜地（傾斜度 30 度以上）で、その崩壊を助長・誘発する行為を制限する必要がある地域を「急傾斜地崩壊危険区域」として指定している。対象地域には、急傾斜地崩壊危険区域が存在する（図 3.2.15 参照）。

G) 地すべり等防止法の規定により指定された地すべり防止区域の状況

「地すべり防止法」（昭和 33 年法律第 30 号）では、地すべりをしている区域または地すべりするおそれのある区域及びその周囲において、地すべりを助長・誘発する行為を制限する必要がある地域を「地すべり防止区域」として指定している。対象地域には、地すべり防止区域が存在する（図 3.2.15 参照）。



凡　例							
番　号	名　称	番　号	名　称	番　号	名　称	番　号	名　称
1	馬越谷川	13	岡崎東谷川及び同右支川	25	谷地東（上）	37	西谷
2	寺半田谷川	14	楠ノ木谷	26	谷地東（下）	38	中本町
3	神谷川	15	馬越	27	谷地西	39	島の土居
4	カラ谷川	16	馬越（西）	28	市の瀬	40	岡崎
5	大川内川及び同右支川	17	宮谷口	29	市の瀬（西）	41	桂（北）
6	勘重川	18	南込山（北）	30	諏訪ノ宮	42	桂
7	甲原川	19	南込山（南）	31	立野	43	室原
8	地床谷川	20	込山	32	上郷（東）	44	上美都岐
9	中山川	21	猿田	33	森ケ崎	45	岩井口
10	埴生の川	22	鹿児	34	菜園畠	46	塚谷
11	隠里川	23	岩目地	35	佐川東町	47	鉢ヶ森
12	白水川	24	横山	36	久万田		

凡　例	
記　号	名　称
	砂　防　指　定　地
	急傾斜地崩壊危険区域
	地すべり防止区域

出典：高知県防災マップ（令和2年10月現在 高知県）
高知県の土砂災害危険度情報（令和2年10月現在 高知県）

図名　図 3.2.15　砂防・急傾斜・地すべり法指定地位置図

S = 1:25,000
0　0.5　1.0　1.5km

3.2.8. その他の事項

(1) 廃棄物処理施設の状況

対象地域及びその周辺は「高知県ごみ処理広域化計画（平成 11 年 6 月策定）」において中央西部ブロックに区分けされており、ブロック内には以下の廃棄物処理施設が存在する（表 3.2.42～表 3.2.47 参照）。また、産業廃棄物処分業者については、佐川町、土佐市、日高村に所在する業者を抽出した。

なお、対象地域には、産業廃棄物最終処分場は存在しない。

表 3.2.42 ごみ焼却施設の現況

施設名	住所	処理能力（t/日）	年間処理量（t/年度）	処理の種類	炉数	使用開始年度	備考
北原クリーンセンター	土佐市北地 2290	120	14,170	焼却	2	2001	熱利用
高吾北清掃センター	佐川町丙 2827	40	7,643	焼却	2	1993	熱利用

出典：「第 4 期高知県廃棄物処理計画（平成 28 年度～平成 32 年度）」（平成 28 年　高知県林業振興・環境部）

表 3.2.43 不燃・粗大ごみ処理施設

施設名	住所	処理能力（t/日）	年間処理量（t/年度）	処理方式	処理対象廃棄物	使用開始年度
北原クリーンセンター粗大ごみ処理施設	土佐市北地 2290	10	1,132	併用※	粗大ごみ、不燃ごみ、資源ごみ	1998
北原クリーンセンター粗大ごみ圧縮機	土佐市北地 2290	3	12	圧縮	粗大ごみ、資源ごみ	1988
高吾北清掃センター粗大ごみ処理施設	佐川町丙 2827	10	424	併用※	粗大ごみ、不燃ごみ	1993

※併用：可燃性及び不燃性の粗大ごみを破砕（粉砕）する施設
出典：「第 4 期高知県廃棄物処理計画（平成 28 年度～平成 32 年度）」（平成 28 年　高知県林業振興・環境部）

表 3.2.44 資源化施設

施設名	住所	処理能力（t/日）	年間処理量（t/年度）	施設区分	処理対象廃棄物	使用開始年度
吾北塵芥処理場※1	いの町清水上分	1	9	その他	金属類	1997
高吾北清掃センター資源ごみ選別施設	佐川町丙 2827	10	550	その他	紙類、金属類、ガラス類、ペットボトル、布類、不燃ごみ、その他	1995
仁淀川中央清掃事務組合不燃物処理施設※2	日高村柱谷 367	8	317	容器包装リサイクル推進施設	金属類、ガラス類	1976

※1：吾北塵芥処理場は現在休止中。
※2：仁淀川中央清掃事務組合は平成 27 年に解散、施設は平成 28 年 3 月 31 日に廃止している。
出典：「第 4 期高知県廃棄物処理計画（平成 28 年度～平成 32 年度）」（平成 28 年　高知県林業振興・環境部）

表 3.2.45　一般廃棄物処分場

施設名	住所	埋立面積 (m²)	全体容量 (m³)	埋立容量 (m³/年度)※	残余容量 (m³/年度)※	処理対象廃棄物	埋立開始年度	埋立終了年度
土佐市 一般廃棄物最終処分場	土佐市大字北地字西イノコ田2333	15,000	122,000	1,526 (1380)	84,985 (81,032)	焼却残渣（主灰）、不燃ごみ、焼却残渣（飛灰）、破砕ごみ、処理残渣	1994	2017
高吾北広域町村事務組合 高吾北処理センター	越知町越知杉奥谷ノ生元2224	2,400	19,000	923 (0)	3,057 (1,335)	焼却残渣（主灰）、焼却残渣（飛灰）、破砕ごみ、処理残渣	2002	2018

※（）無しは平成 28 年度の値を、（）内は平成 30 年度の値を示す。
出典：「第 4 期 高知県廃棄物処理計画（平成 28 年度～平成 32 年度）」（平成 28 年　高知県林業振興・環境部）
「平成 30 年度　一般廃棄物処理事業の概要」（令和 2 年 3 月　高知県林業振興・環境部環境対策課）

表 3.2.46　し尿処理施設

施設名	住所	汚水処理※						資源化処理			使用開始年度
		処理方式	処理能力 (kL/日)	1 日当たり (kL/日)	年間 (kL/年度)	し尿 (kL/年度)	浄化槽汚泥 (kL/年度)	処理方式	資源化能力		
									汚泥等 (t/日)	有機性廃棄物 (t/日)	
仁淀川下流衛生事務組合 衛生センター	土佐市高岡町甲1460-1	標脱	120	112	40,945 (32,816)	16,126 (11,170)	24,819 (21,646)	堆肥化	1	—	1999
高吾北広域町村事務組合 高吾北衛生センター	越知町越知甲 41	嫌気	47	44	16,183 (15,669)	9,418 (8,648)	6,765 (7,021)	メタン発酵 堆肥化	2	—	1966

※（）無しは平成 28 年度の値を、（）内は平成 30 年度の値を示す。
出典：「第 4 期 高知県廃棄物処理計画（平成 28 年度～平成 32 年度）」（平成 28 年　高知県林業振興・環境部）
「平成 30 年度　一般廃棄物処理事業の概要」（令和 2 年 3 月　高知県林業振興・環境部環境対策課）
「一般廃棄物処理実態調査　平成 30 年度調査結果」（令和 2 年 4 月　環境省）

表 3.2.47　産業廃棄物処分業者

施設名	住所	処理方法	取扱品目
(有)佐川衛生	佐川町西山 1226	破砕、圧縮	木くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、金属くず、がれき類
(公財)エコサイクル高知	日高村本村字焼坂 659 番 1 他	破砕、管理型埋立、滅菌滅容、	燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、動物系固形不要物、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず・及び陶磁器くず、鉱さい、がれき類、動物のふん尿、動物の死体、ばいじん、13 号廃棄物、廃石綿等、感染性産業廃棄物
日本道路(株)	日高村大字沖名 7713 番地	破砕	がれき類
(有)森本砂利	日高村本村字天神 169	破砕	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類
(有)錦山通商	日高村下分字大影 5284 番 1	破砕	木くず
東洋電化工業(株)	日高村本村字焼坂 663 番 2 他	破砕（木くず移動式）、圧縮、切断	木くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類
(株)田原工業	土佐市高岡町乙芋穀堂 2205	焼却、破砕（木くず移動式）、圧縮、減容固化	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず・及び陶磁器くず、がれき類
(有)土佐土建	土佐市甲原字ヲタシ越 2394 番 2	破砕	木くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類
(有)榮光商会	土佐市東鴨地字ウキチ 359 番 1 他	堆肥化	汚泥、木くず、動物性残さ、動物のふん尿
(有)BIKEN	土佐市甲原字的場 2592	圧縮、減容	廃プラスチック類、紙くず、金属くず
野瀬小夜子	土佐市波介字葛ラ谷 375 番	破砕	廃プラスチック類（農業用廃塩化ビニールに限る）

出典：「高知県産業廃棄物処理業者名簿（特別管理産業廃棄物を含む）」（令和 2 年 9 月 1 日現在　高知県林業振興・環境部環境対策課）

(2) 放射線の状況

対象地域では、高知県が管理する中央西福祉保健所（高知県佐川町）において、2012 年度より空間放射線量率を継続して測定を実施している（図 3.2.16 参照）。本測定所における、2012 年度から2019 年度の測定値を図 3.2.17 に示す。

また、対象地域外の県保健衛生総合庁舎（高知県高知市）においても、同様の測定を実施しており、同様の機関の測定値を参考値として示す（図 3.2.18 参照）。

調査結果によると、中央西福祉保健所における空間放射線量率は、降雨等の影響により一時的な上昇が見られるものの、測定期間を通して概ね 0.04～0.05μSv/h のゾーン内であった。また、県保健衛生総合庁舎における空間放射線量率は、測定期間を通して概ね 0.02～0.03μSv/h のゾーン内であり、中央西福祉保健所における結果と比較してやや低い傾向が見られる。

参考：人間の主な生活空間における空間放射線量率は以下のとおりである。

0.01～1μSv/h

高知県の放射線量に対する防護措置の基準は以下のとおりである。

緊急時モニタリング結果等によりプルーム（放射性物質を含む空気の一団）の
通過が予測される場合・・・屋内退避
20μSv/h 以上 ・・・一時移転
500μSv/h 以上・・・避難

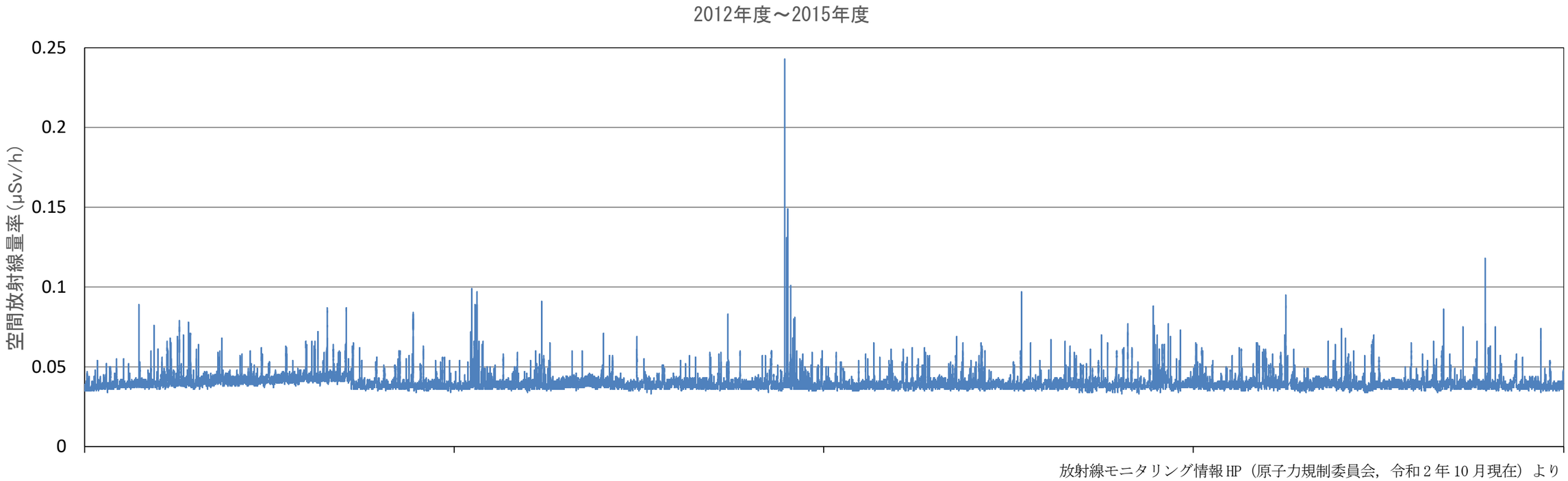
出典：放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料（平成 30 年度版）（環境省 平成 31 年 4 月）
高知県原子力災害避難等実施計画 ver.2 （高知県 平成 30 年 5 月）



凡　例	
記　号	名　称
●	中央西福祉保健所

出典：放射線モニタリング情報HP
（令和2年10月現在 原子力規制委員会）

図名	図 3.2.16　放射線測定所位置図



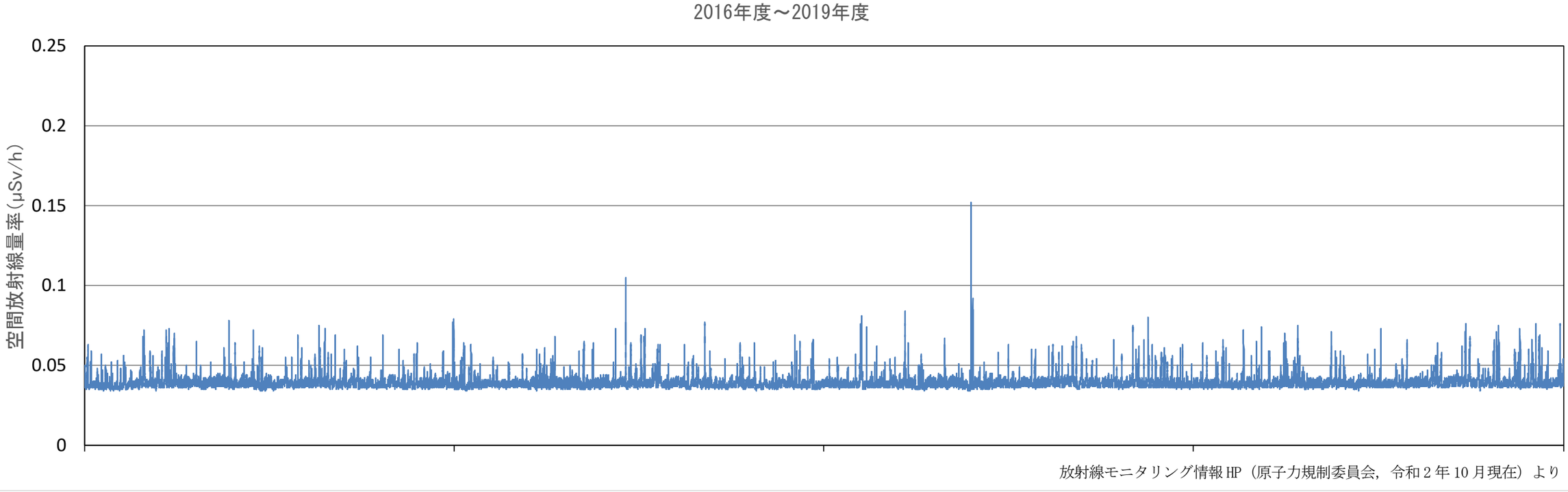
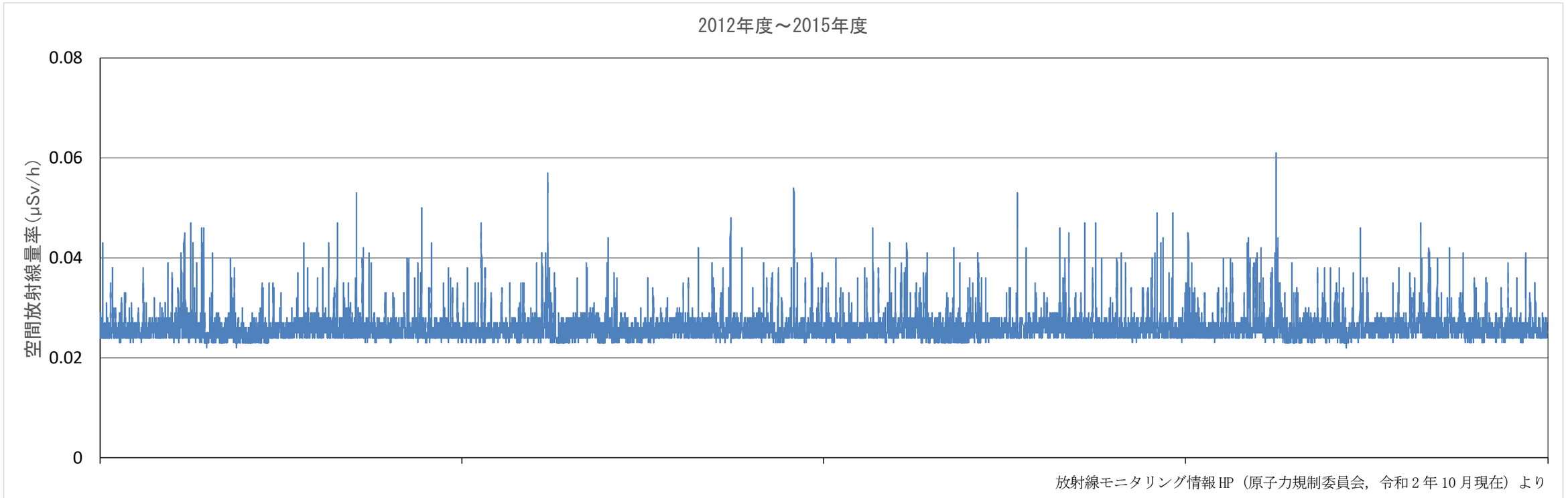


図 3.2.17　中央西福祉保健所（高知県佐川町）における空間放射線量率（2012～2019 年度）



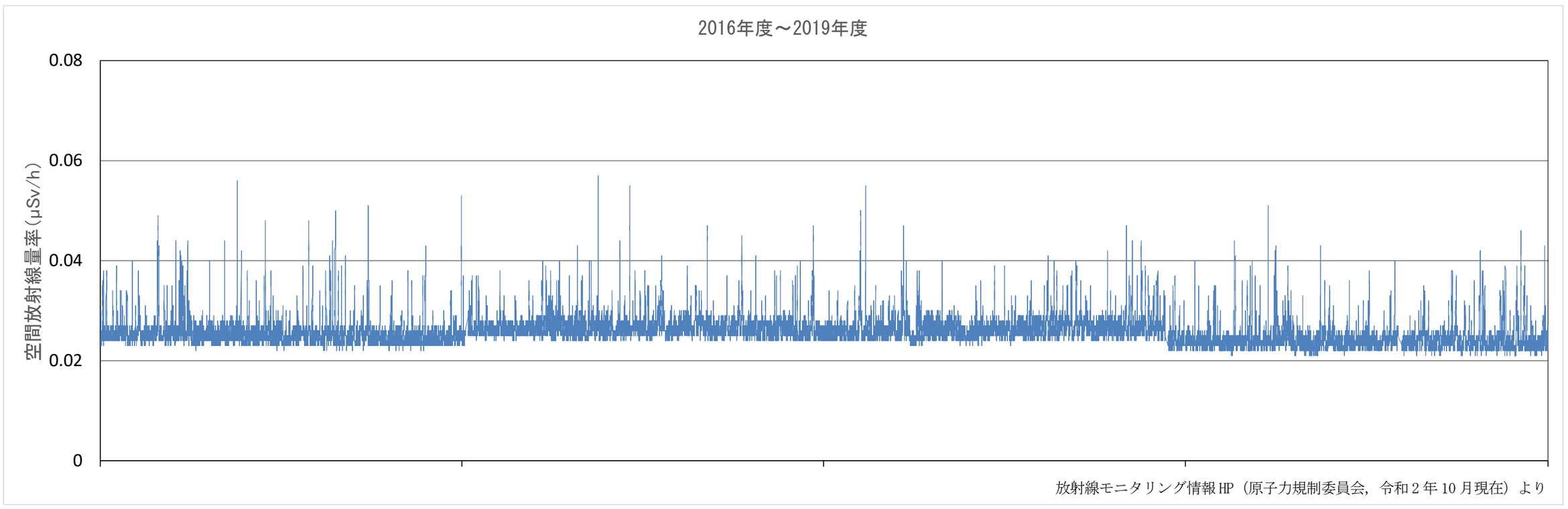


図 3.2.18　県保健衛生総合庁舎（高知県高知市）における空間放射線量率（2012～2019 年度）

⑶ 温室効果ガスの状況

高知県では、県内における温室効果ガスの排出量算出結果を公表している。表 3.2.48 に部門別（産業、家庭、業務その他、運輸、工業プロセス、廃棄物、その他）の温室効果ガス排出量の算定結果を示す。また、図 3.2.19 及び図 3.2.20 に、温室効果ガス排出量の推移と部門別排出状況の推移を示す。なお、温室効果ガスの排出係数（電気の供給 1kWh 当たりの二酸化炭素排出量）は年度ごとに発表された値を用いている。

温室効果ガス排出量の推移をみると、2010 年度から 2013 年度まで増加傾向を続け、2013 年度以降減少傾向にあったものの、2017 年度は前年度の排出量に対し、若干ではあるが増加に転じている。

部門別排出量を見ると、産業、運輸、工業プロセス部門では 1990 年度の排出量に対して減少しているものの、家庭、業務その他、廃棄物、その他部門では 1990 年度の排出量に対して増加している。

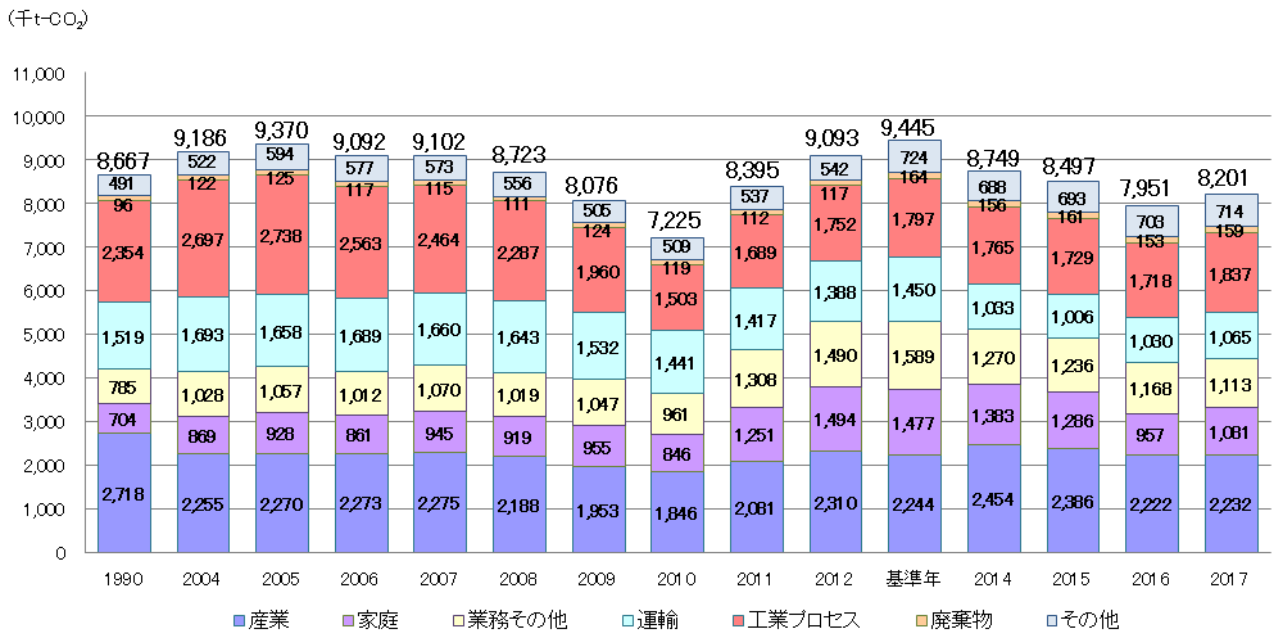
表 3.2.48　部門別の温室効果ガス排出量算定結果（排出係数変動）

（単位：千t-CO_2）	H2 1990	H16 2004	H17 2005	H18 2006	H19 2007	H20 2008	H21 2009	H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 基準年	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017
総排出量	8,667	9,186	9,370	9,092	9,102	8,723	8,076	7,225	8,395	9,093	9,445	8,749	8,497	7,951	8,201
森林吸収量	0	804	965	1,063	1,390	1,331	1,331	1,423	1,247	601	1,188	1,357	1,544	1,291	1,166
実質排出量(総排出量-吸収量)	8,667	8,382	8,405	8,029	7,712	7,392	6,745	5,802	7,148	8,492	8,257	7,392	6,953	6,660	7,035
エネルギー起源CO_2	5,726	5,845	5,913	5,835	5,950	5,769	5,487	5,094	6,057	6,682	6,760	6,140	5,914	5,377	5,491
産業	2,718	2,255	2,270	2,273	2,275	2,188	1,953	1,846	2,081	2,310	2,244	2,454	2,386	2,222	2,232
非製造業	880	555	532	537	573	589	531	543	580	670	614	354	333	286	298
農林水産業	711	409	391	382	461	485	438	438	454	540	495	160	160	137	146
建設業・鉱業	169	146	141	155	112	104	93	105	126	130	119	194	173	149	152
製造業	1,838	1,700	1,738	1,736	1,702	1,599	1,422	1,303	1,501	1,640	1,630	2,100	2,053	1,936	1,934
家庭	704	869	928	861	945	919	955	846	1,251	1,494	1,477	1,383	1,286	957	1,081
業務その他	785	1,028	1,057	1,012	1,070	1,019	1,047	961	1,308	1,490	1,589	1,270	1,236	1,168	1,113
運輸	1,519	1,693	1,658	1,689	1,660	1,643	1,532	1,441	1,417	1,388	1,450	1,033	1,006	1,030	1,065
自動車	1,193	1,545	1,506	1,533	1,500	1,501	1,399	1,297	1,280	1,260	1,307	892	875	902	933
鉄道	24	19	21	21	21	20	20	19	19	20	22	22	22	21	20
内航船舶	253	77	71	71	75	62	59	66	60	55	58	57	51	49	56
国内航空	49	52	60	64	64	60	54	59	58	53	63	62	58	58	56
工業プロセス	2,354	2,697	2,738	2,563	2,464	2,287	1,960	1,503	1,689	1,752	1,797	1,765	1,729	1,718	1,837
クリンカ製造	2,282	2,568	2,613	2,428	2,338	2,173	1,862	1,395	1,578	1,652	1,694	1,677	1,642	1,629	1,744
その他	72	129	125	135	126	114	98	108	111	100	103	88	87	89	93
廃棄物	96	122	125	117	115	111	124	119	112	117	164	156	161	153	159
一般廃棄物	65	72	76	71	68	72	78	78	70	79	85	70	72	64	70
産業廃棄物	31	50	49	46	47	39	46	41	42	38	79	86	89	89	89
その他	491	522	594	577	573	556	505	509	537	542	724	688	693	703	714
メタン	197	136	127	124	125	126	118	119	119	121	238	213	204	201	201
一酸化二窒素	156	259	327	320	314	306	278	269	286	288	276	284	282	277	277
ハイドロフルオロカーボン	18	56	58	61	70	78	90	96	106	116	197	179	196	214	225
パーフルオロカーボン	105	45	50	40	32	21	7	8	8	8	9	9	9	9	9
六ふっ化硫黄	15	26	32	32	32	25	12	17	18	9	4	3	2	2	2

単位	排出係数														
	1990年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
$kgCO_2/kWh$	0.410	0.360	0.378	0.368	0.392	0.378	0.407	0.326	0.552	0.700	0.699	0.676	0.651	0.510	0.514

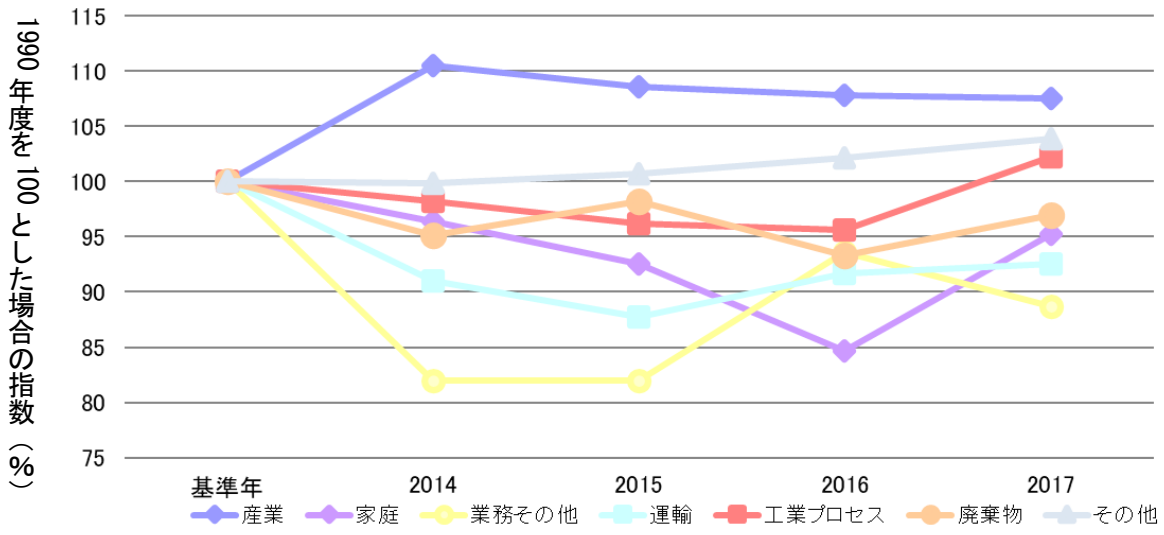
注）赤字は暫定値を示す。

出典：高知県 HP 高知県内における温室効果ガスの排出状況について（令和２年３月末現在）



出典：高知県 HP 高知県内における温室効果ガスの排出状況について（令和２年３月末現在）

図 3.2.19 温室効果ガス排出量の推移（排出係数変動）



出典：高知県 HP 高知県内における温室効果ガスの排出状況について（令和２年３月末現在）

図 3.2.20 部門別排出状況の推移（排出係数変動）